

市民意識調査、青少年アンケート 結果報告書（案）

令和元年10月

朝霞市

目次

第1部 朝霞市市民意識調査結果	1
I 調査の概要	1
1. 調査の目的	4
2. 調査の方法	4
3. 集計・分析のための地区区分	4
4. 調査項目	4
5. 回収結果	4
6. 報告書の見方	5
7. 分析のポイント	6
8. 回答者の属性	7
II 調査結果分析	14
1. 朝霞市の「住みよさ」について	15
2. 日頃の地域との関わりについて	22
3. 市政について	47
4. 市の全般的な取組について	61
5. まちづくりへの市民の参加について	80
6. これからまちづくりについて	87
7. 自由記述	96
資料編:調査票	98
第2部 朝霞市青少年アンケート結果	117
I 調査の概要	118
1. 調査の目的	119
2. 調査の方法	119
3. 集計・分析のための地区区分	119
4. 調査項目	119

5. 回収結果	119
6. 報告書の見方	119
7. 回答者の属性	121
II 調査結果分析	126
1. 朝霞市について日頃感じていること	127
2. これからのまちづくりについて	140
3. 地域との関わりについて	152
4. 自由記述	180
資料編:調査票	182

第1部 朝霞市市民意識調査結果

I 調査の概要

1. 調査の目的

この市民意識調査は令和3年度（2021年度）から5年間のまちづくりの指針となる「第5次朝霞市総合計画後期基本計画」を策定するに当たって、市民の皆様からまちづくりに対する考え方やご意見等を伺い、基礎資料として活用するために行ったものである。

2. 調査の方法

- ① **調査対象** 市内居住の18歳以上の男女（平成31年4月1日時点での満年齢）
- ② **対象者数** 3,000人
- ③ **抽出方法** 住民基本台帳（令和元年7月1日現在）から無作為抽出
- ④ **調査方法** 郵送配布、郵送回収
- ⑤ **調査期間** 令和元年7月16日送付、8月9日締切

3. 集計・分析のための地区区分

A 地区	大字上内間木、大字下内間木
B 地区	朝志ヶ丘、北原、田島、西原、浜崎、宮戸
C 地区	大字台、大字根岸、岡、仲町、根岸台
D 地区	泉水、西弁財、東弁財、三原
E 地区	青葉台、幸町、栄町、膝折町、本町、溝沼、陸上自衛隊朝霞駐屯地

4. 調査項目

- ①朝霞市の「住みよさ」について
- ②日頃の地域との関わりについて
- ③市政について
- ④市の全般的な取組について
- ⑤まちづくりへの市民の参加について
- ⑥これからのまちづくりについて
- ⑦自由記述

5. 回収結果

- ①標本数 3,000票
- ②有効回収数 1,098票
- ③有効回収率 36.6%

6. 報告書の見方

①集計について

比率は、全て百分率（%）で表し、小数点第2位以下を四捨五入して算出している。このため、比率の合計が100.0%にならない場合がある。

また、集計上の無回答とは、無回答及び無効回答の合算票数を示している。

②用語の取り扱いについて

図表及び文章中で、選択肢の文言を一部省略して用いている。

③設問ごとの集計の基数

グラフや図表で、“n=1,098”や（1,098）と表記してあるのは集計の基数である。全員が回答すべき設問では1,098となるが、回答者が限定される場合は、この数を下回る。

④意識調査の信頼性

住民基本台帳から無作為抽出による調査を行っているため、調査結果には統計上の誤差が生じことがある。今回の単純集計の場合の標本誤差（信頼度を95%とした場合）は、下の式により求められる。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \times \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \cdot \frac{P(1-P)}{n}}$$

N=母集団の数
n=基数（サンプル数）
P=回答率

下表のように、今回の市民意識調査では、母集団の数を118,239人（令和元年7月1日現在の市内居住の18歳以上の男女）として有効回収数（サンプル数=1,098票）から標本誤差を計算すると、±3.0%以内になる（信頼度95%とした場合）。

⑤加重平均値の算出方法（結果は64ページ以降に掲載）

加重平均値は、以下の計算式で求めた。

$$\text{加重平均} = \frac{A \times 2 + B \times 1 + C \times 0 + D \times (-1) + E \times (-2)}{(\text{無回答を除く回答総数})}$$

<満足度>	<重要度>	<ポイント>
A : 「満足している」	「重要である」	2 ポイント
B : 「ある程度満足している」	「どちらかといえば重要である」	1 ポイント
C : 「わからない」	「わからない」	0 ポイント
D : 「やや不満である」	「あまり重要でない」	-1 ポイント
E : 「不満である」	「重要でない」	-2 ポイント

※回答者が全員「満足している」「重要である」であれば、2.0 ポイントとなり、全員が「ある程度満足している」「どちらかといえば重要である」であれば、1.0 ポイントとなる。

7. 分析のポイント

本調査の分析の視点は、以下の通りである。

①経年比較

これまでに実施した意識調査と経年比較を行う。

※昭和 59 年度、平成元年度、平成 6 年度、平成 11 年度、平成 16 年度、平成 22 年度、平成 25 年度、令和元年度実施。

②年代、居住年数、地区による比較

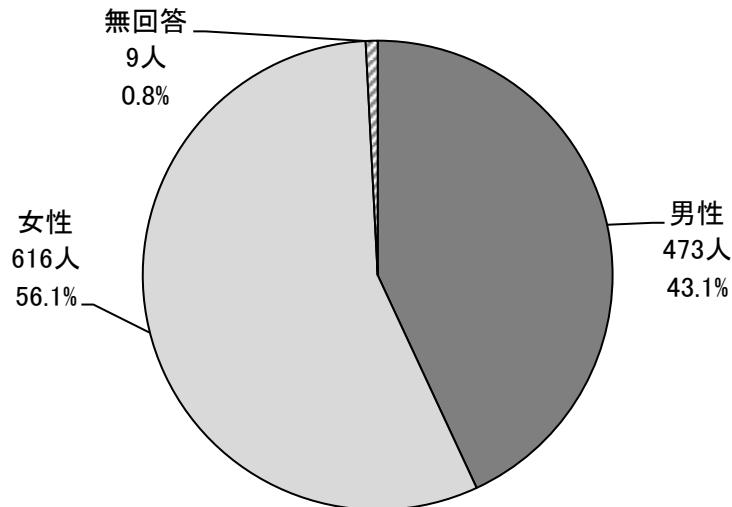
③前期基本計画の満足度・重要度評価

8. 回答者の属性

F1 あなたの性別は。

回答者の性別は、「女性」の割合が 56.1%、「男性」の割合が 43.1% となっている。

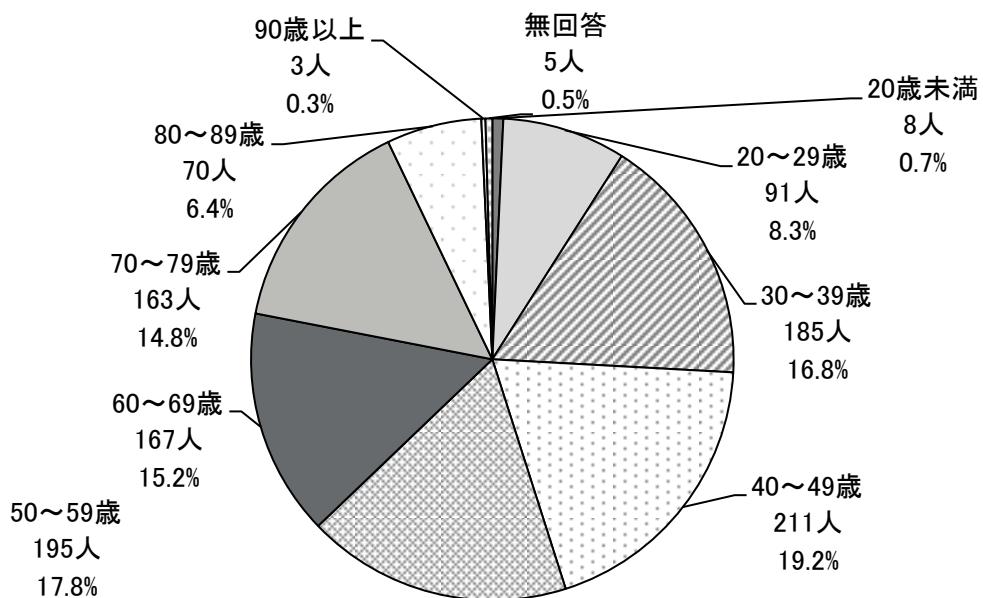
n=1,098



F2 あなたの年齢は。

回答者の年代は、「40～49 歳」の割合が 19.2% で最も高く、続いて「50～59 歳」(17.8%)、「30～39 歳」(16.8%) となっている。

n=1,098



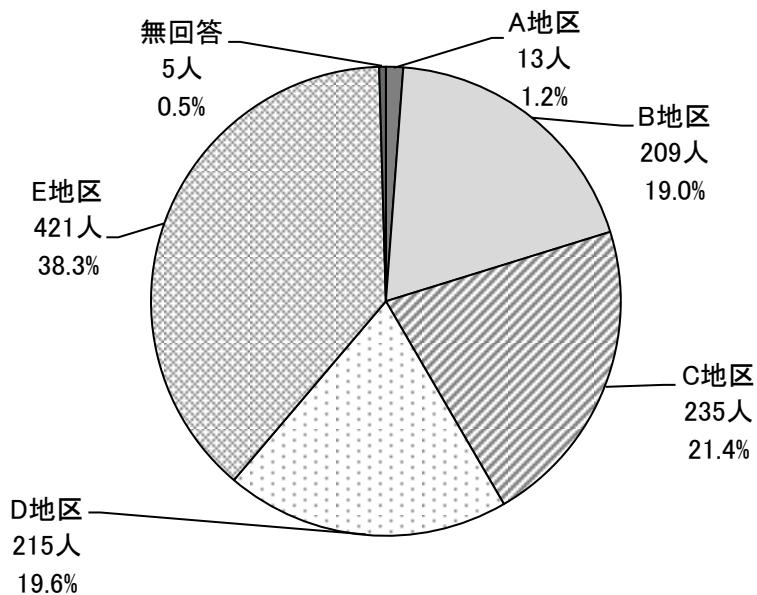
F3 あなたのお住まいはどの地区ですか。

住んでいる地区は、「E 地区」の割合が 38.3%で最も高く、続いて「C 地区」(21.4%)、「D 地区」(19.6%)、「B 地区」(19.0%)、A 地区 (1.2%) となっている。

大字・町村別でみた住んでいる地区は、「根岸台」の割合が 11.9%で最も高く、続いて「三原」(11.7%)、「本町」(10.6%) となっている。

※地区区分については、下図参照。

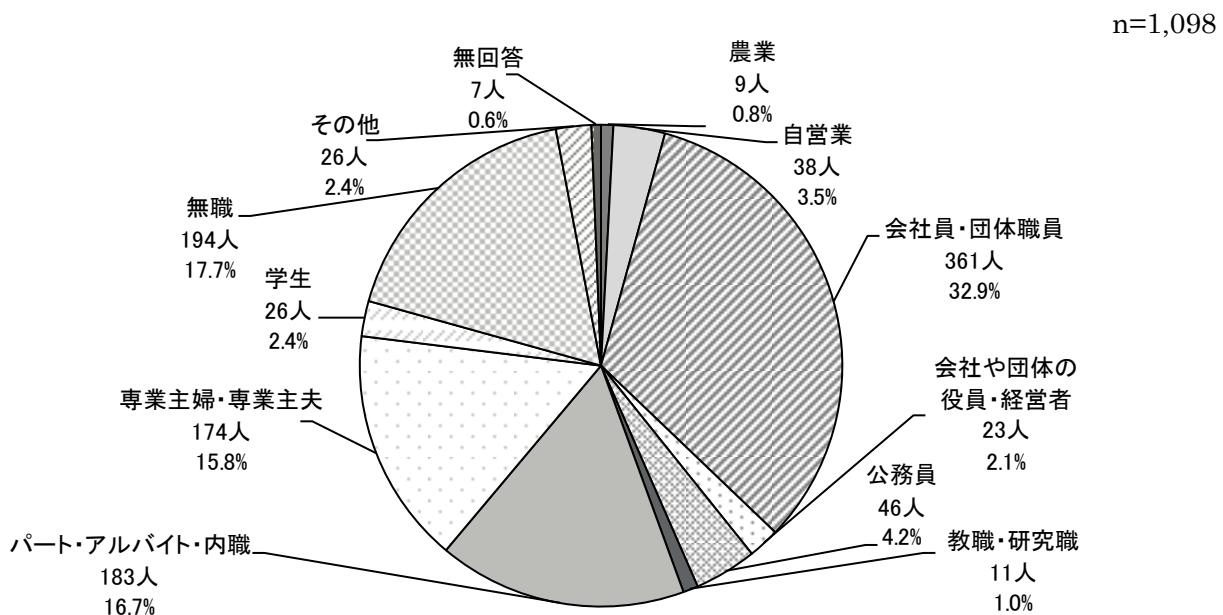
n=1,098





F4 あなたの主な職業・就業形態等は。

回答者の職業は、「会社員・団体職員」の割合が32.9%で最も高く、続いて「無職」(17.7%)、「パート・アルバイト・内職」(16.7%)、「専業主婦・専業主夫」(15.8%)となっている。

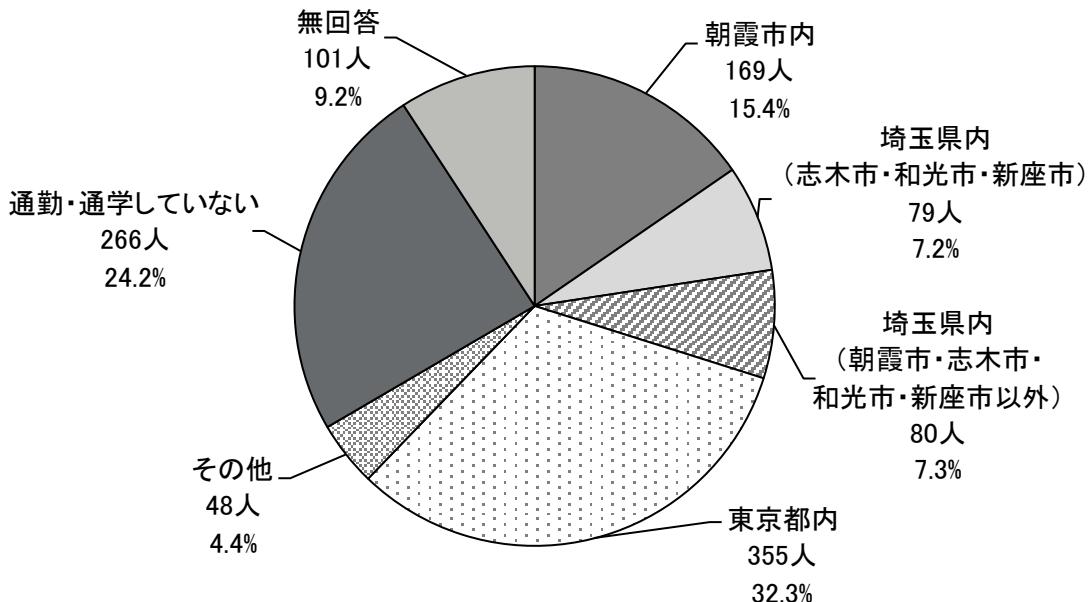


F5 あなたの勤務先、通学先はどちらですか。

回答者の勤務先、通学先は、「東京都内」の割合が32.3%で最も高く、続いて、「通勤・通学していない」が24.2%、「朝霞市内」(15.4%)、「埼玉県内（朝霞市・志木市・和光市・新座市以外）」(7.3%)となっている。

また、朝霞市内を含めた“埼玉県内”は29.9%となっている。

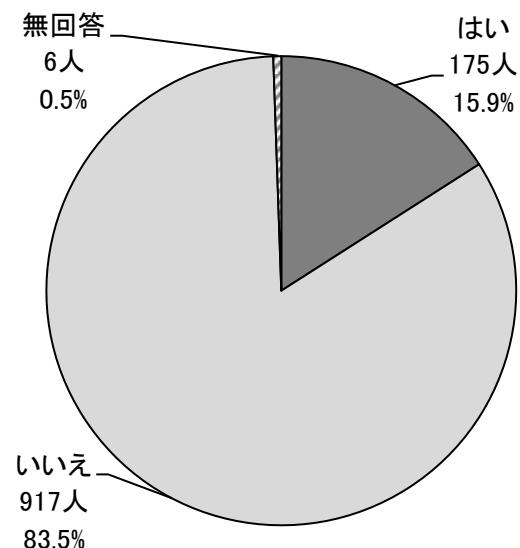
n=1,098



F6 あなたは、生まれた時、または幼少の頃から朝霞市にお住まいですか。

生まれた時から朝霞市に住んでいるかどうかについては、「はい」の割合が 15.9%、「いいえ」の割合が 83.5%となっている。

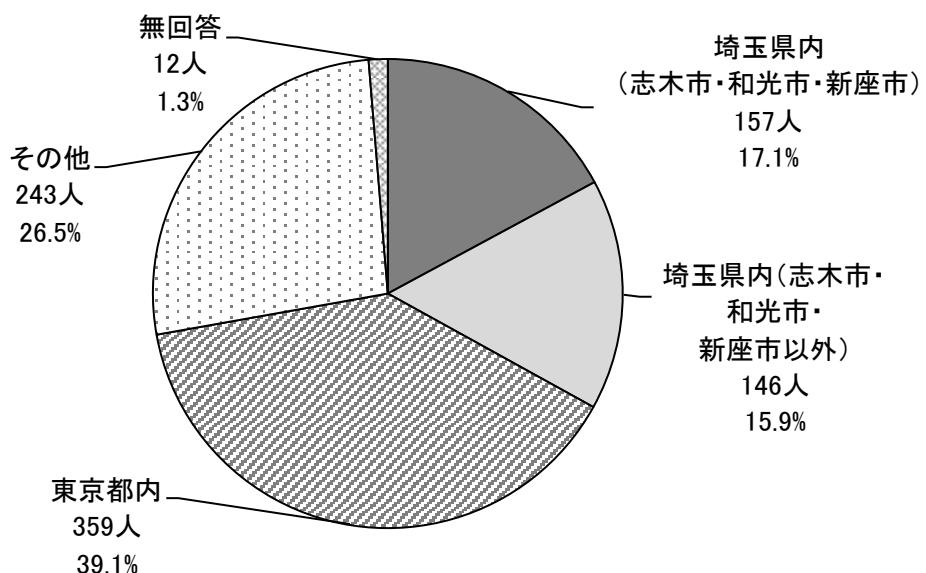
n=1,098



F7 F6で「2 いいえ」と回答された方にお聞きします。朝霞市に住む以前はどちらにお住まいでしたか。

市外から転入してきた回答者の以前の住まいは、「東京都内」の割合が 39.1%で最も高く、続い「その他」(26.5%)、「埼玉県内（志木市・和光市・新座市）」(17.1%) となっている。

n=917

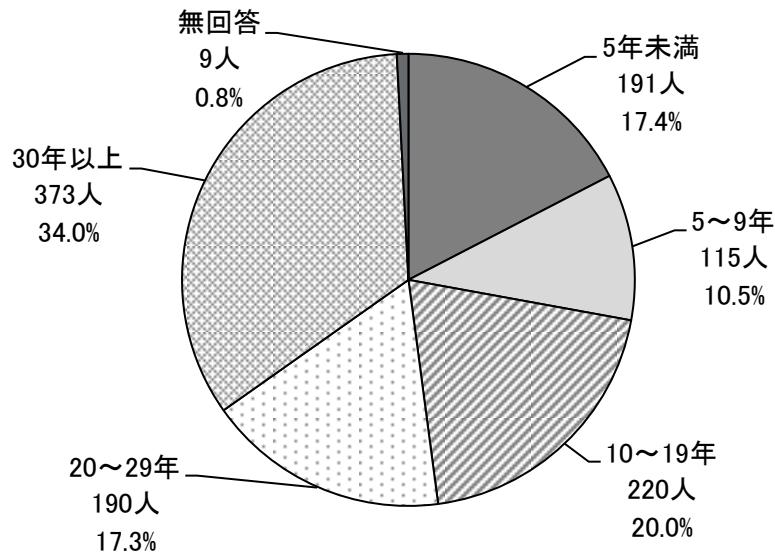


F8 あなたは、朝霞市にお住まいになってどれくらいになりますか。

朝霞市に住んでいる年数は、「30 年以上」の割合が 34.0%で最も高く、続いて「10~19 年」(20.0%)、「5 年未満」(17.4%) となっている。

また、「5 年未満」(17.4%)、「5~9 年」(10.5%) を合わせた“10 年未満”の割合が 27.9%となっている。

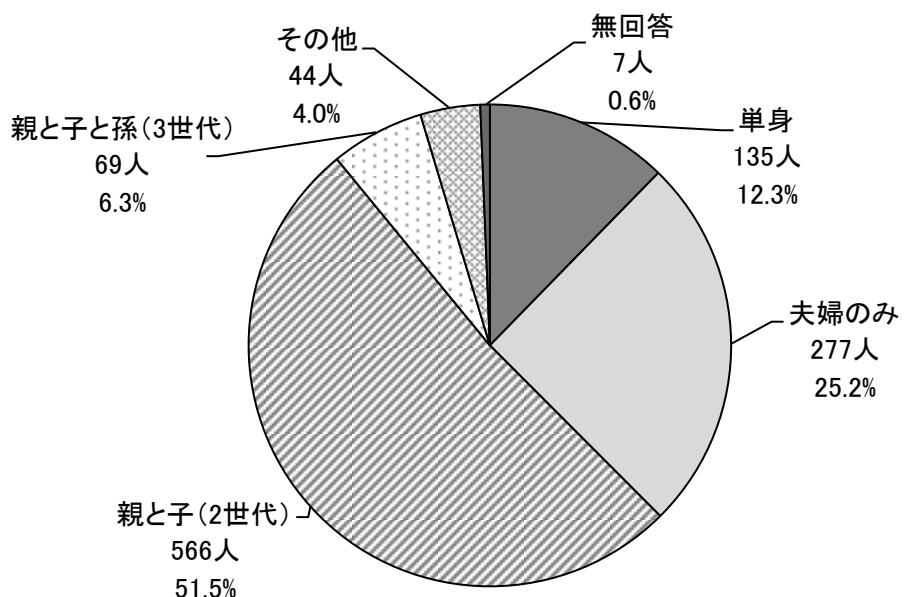
n=1,098



F9 あなたの同居している世帯・家族の構成は。

家族構成は、親と子（2 世代）の割合が 51.5%で最も高く、続いて「夫婦のみ」(25.2%)、「単身」(12.3%) と続いている。

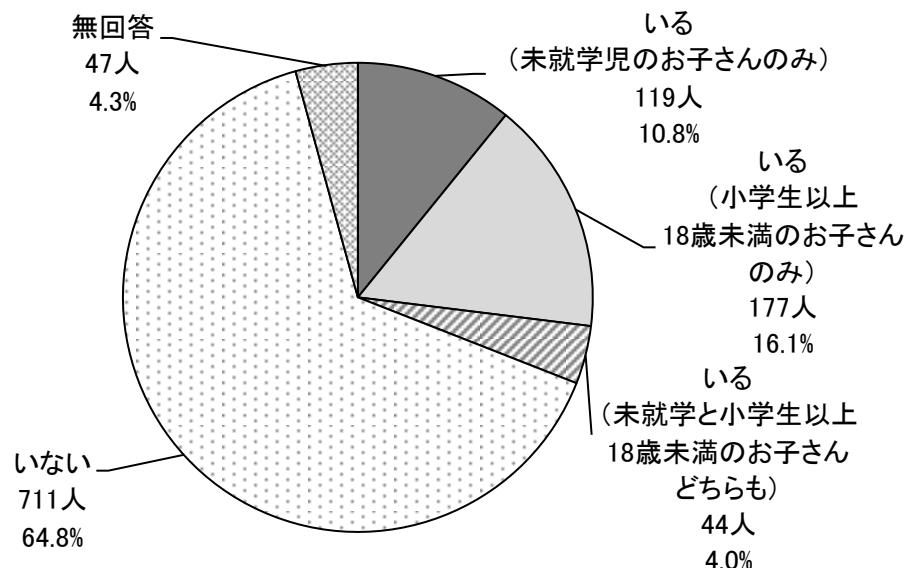
n=1,098



F10 あなたと同居している世帯・家族の中に 18 歳未満のお子さんはいますか。

同居している世帯・家族の中に 18 歳未満のお子さんがいるかどうかについては、「いない」の割合が 64.8% で最も高く、続いて「いる（小学生以上 18 歳未満のお子さんのみ）」（16.1%）、「いる（未就学児のお子さんのみ）」（10.8%）となっている。

n=1,098



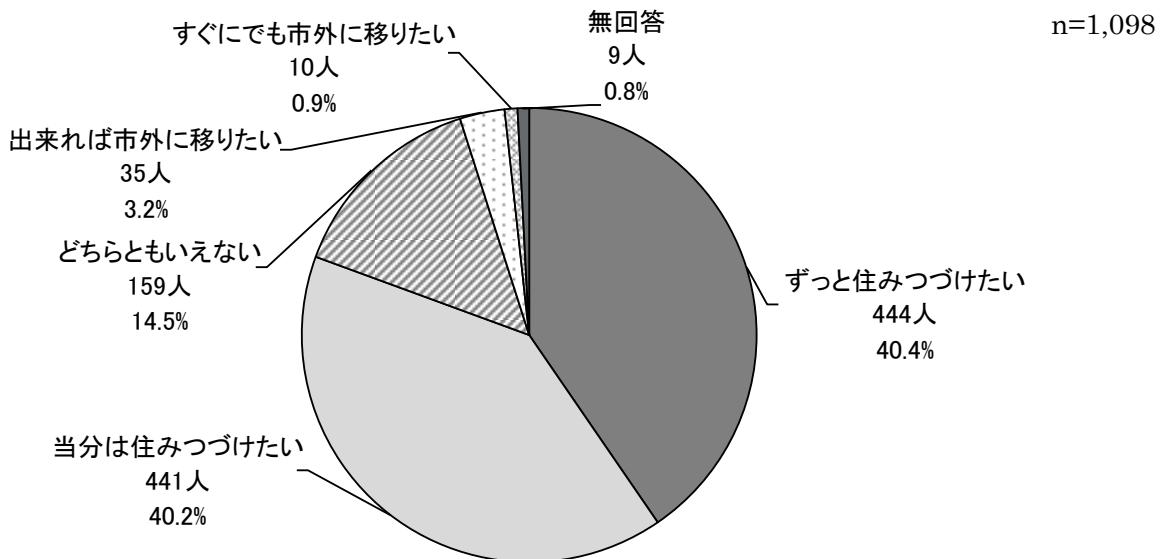
II 調査結果分析

1. 朝霞市の「住みよさ」について

問1 あなたは、これからも朝霞市に住みつづけたいと思いますか。次の中から1つ選んでください。

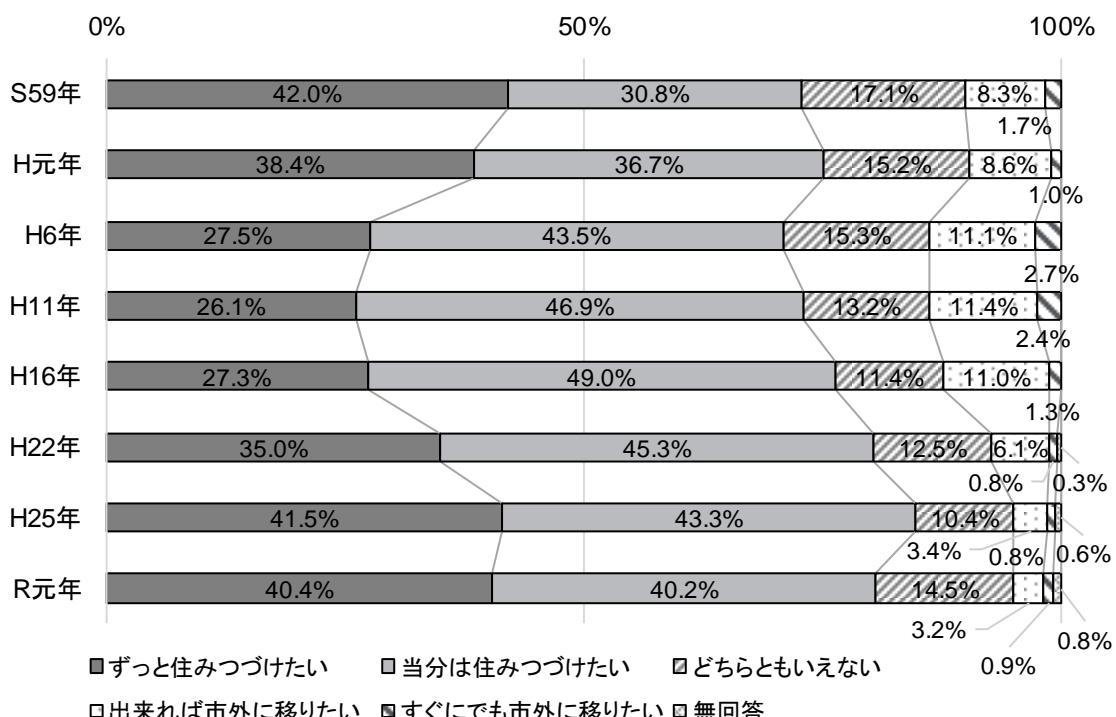
<全体>

朝霞市への定住意向は、「ずっと住みつづけたい」(40.4%)、「当分は住みつづけたい」(40.2%)を合わせた“住みつづけたい”割合が 80.6%となっている。一方、「出来れば市外に移りたい」(3.2%)、「すぐにでも市外に移りたい」(0.9%)を合わせた“市外に移りたい”割合は 4.1%となっている。



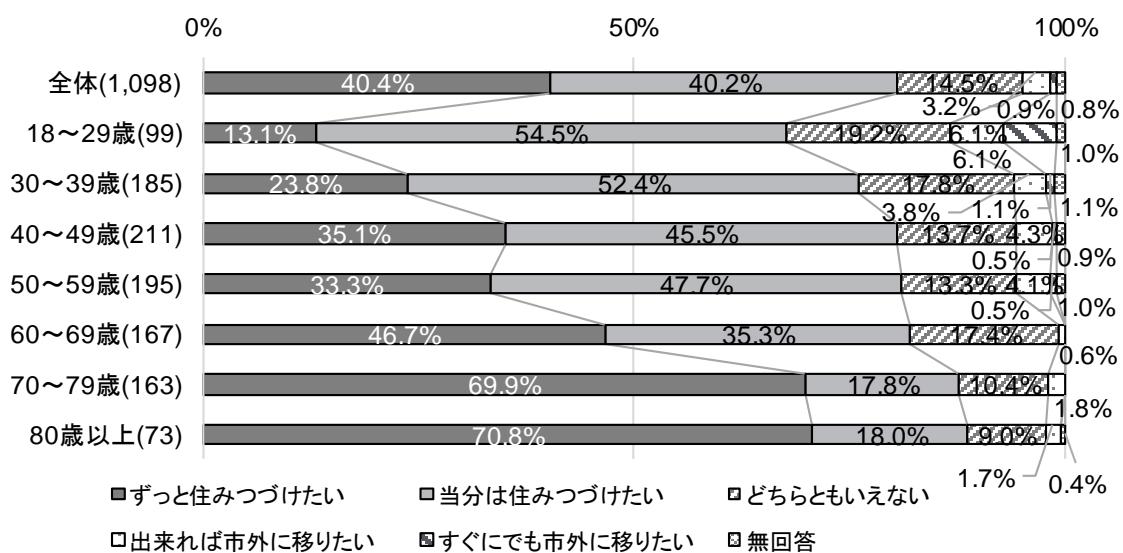
<経年比較>

平成 22 年以降、大きな変化は見られない。



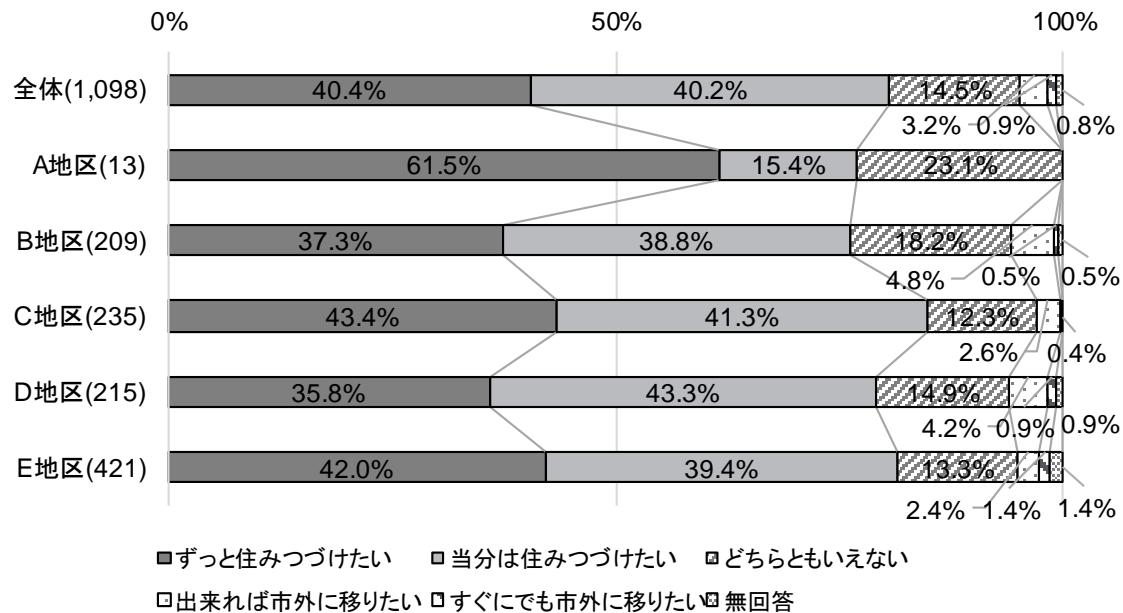
<年代>

年代が高い方が、「ずっと住み続けたい」割合が高くなる傾向にある。



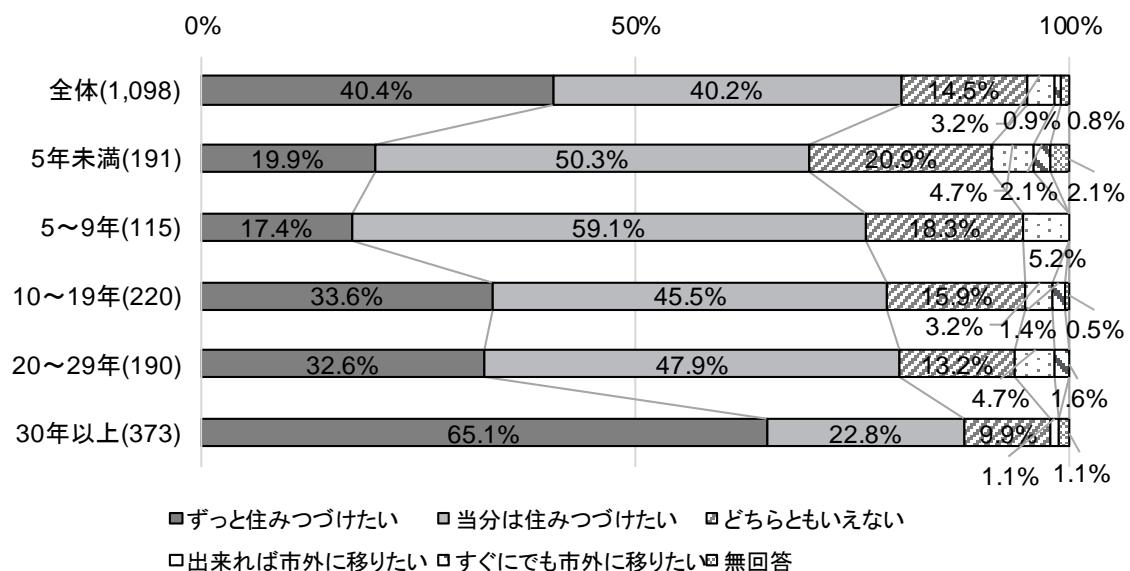
<居住地区>

“A 地区” では「ずっと住み続けたい」割合が高い。



<居住年数>

居住年数が長い方が、「ずっと住み続けたい」割合が高くなる傾向にある。



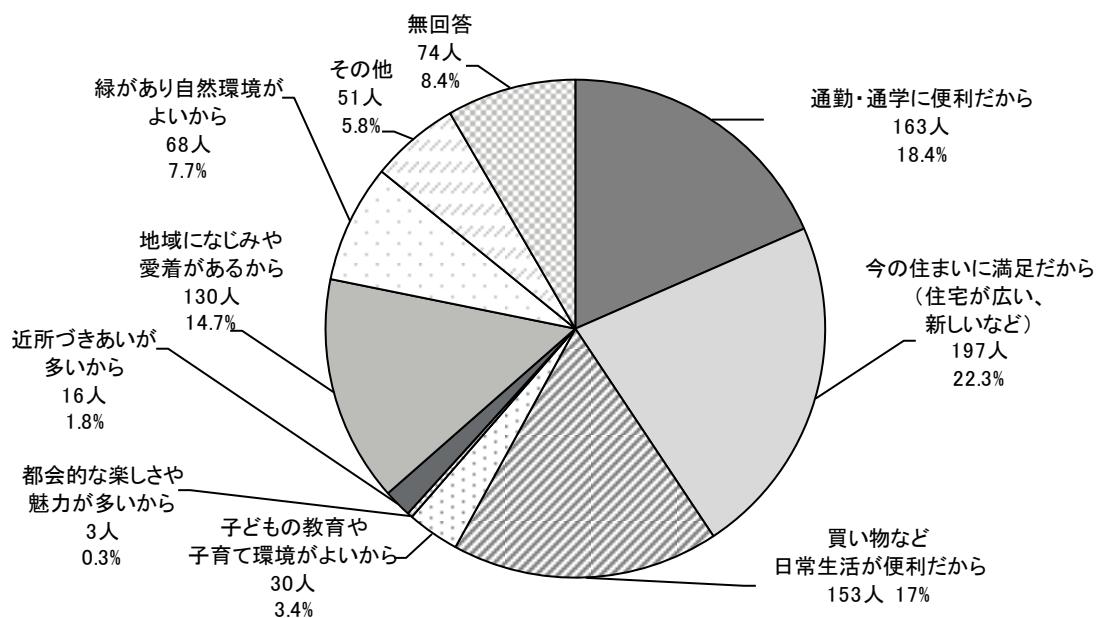
問2 問1で「1 ずっと住みつづけたい」「2 当分は住みつづけたい」を選んだ方にお聞きします。あなたが朝霞市に住みつづけたいとお考えになった理由を、次の中から1つ選んでください。

<全体>

住みつづけたい理由は、「今の住まいに満足だから（住宅が広い、新しい）」の割合が 22.3%で最も高く、続いて「通勤・通学に便利だから」(18.4%)、「買い物など日常生活が便利だから」(17.3%)、「地域になじみや愛着があるから」 (14.7%) となっている。

「その他」には、「交通の便が良い」、「子供たちが近くに住んでいる」などの記述があった。

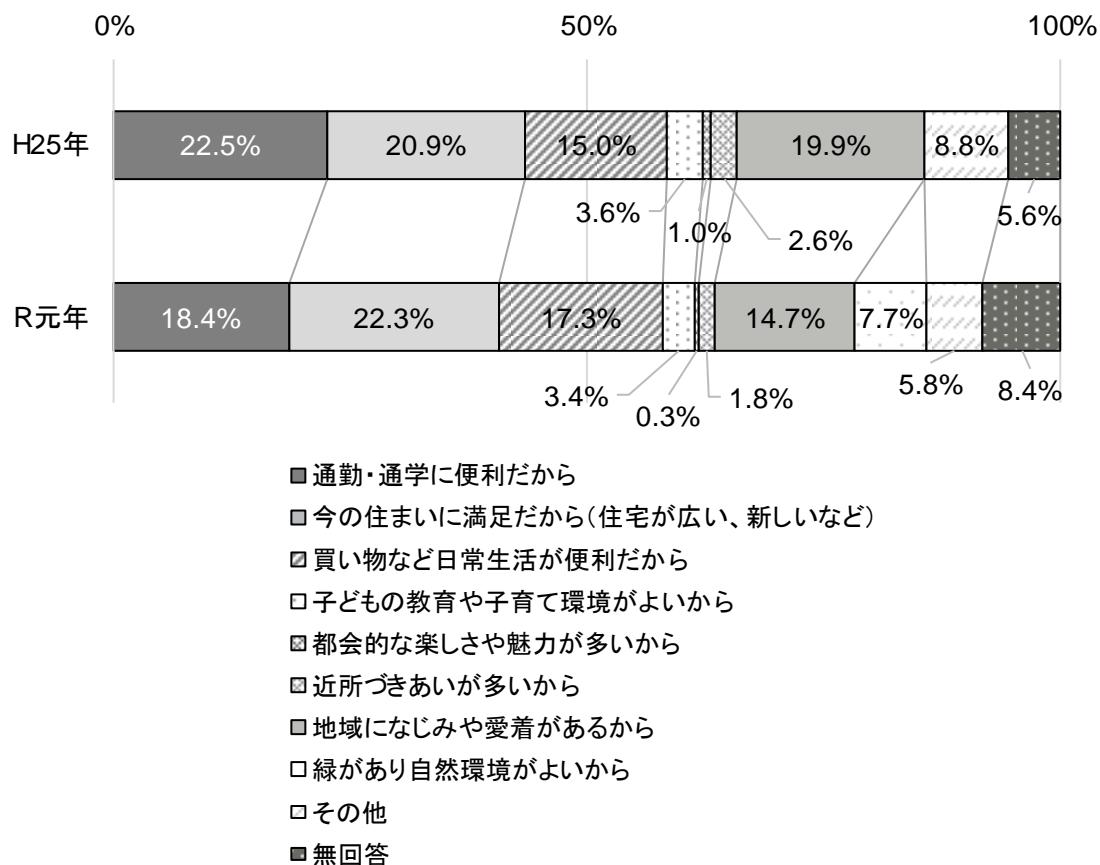
n=885



<経年比較>

「買い物など日常生活が便利だから」が増加している一方で、「通勤・通学に便利だから」、「地域になじみや愛着があるから」は減少している。

※選択肢「緑があり自然環境がよいから」は、令和元年に新設している。



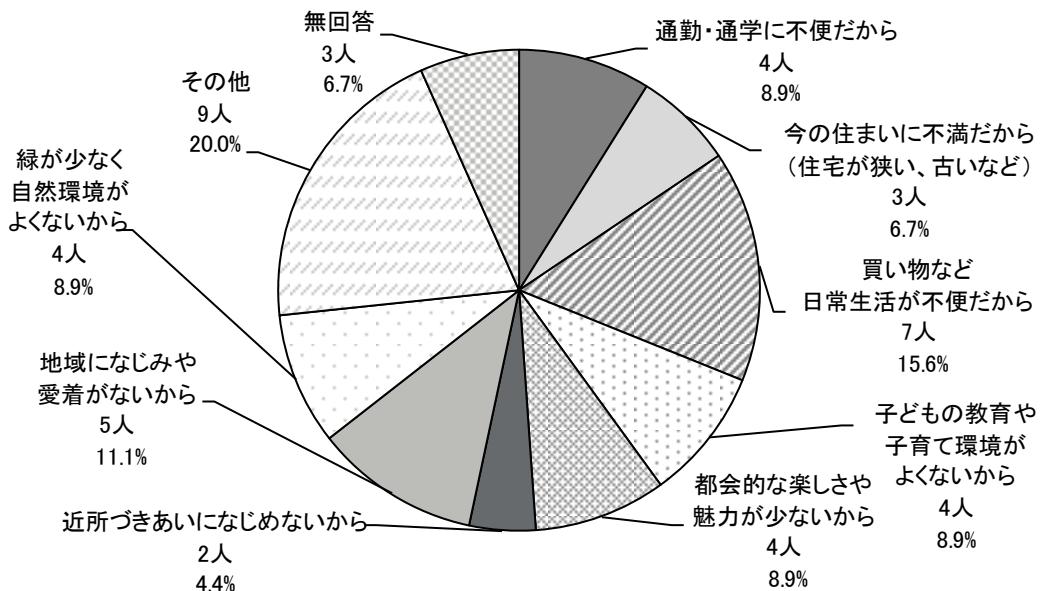
問3 問1で「4 出来れば市外に移りたい」「5 すぐにでも市外に移りたい」を選んだ方にお聞きします。あなたが市外に移りたいとお考えになった理由を、次の中から1つ選んでください。

<全体>

市外に移りたい理由は、「買い物など日常生活が不便だから」の割合が 15.6%で最も高く、続いて「地域になじみや愛着がないから」(11.1%) となっている。

「その他」には、「ポイ捨て、歩きタバコが多く環境が悪い」、「保育園に入れないと」などの記述があった。

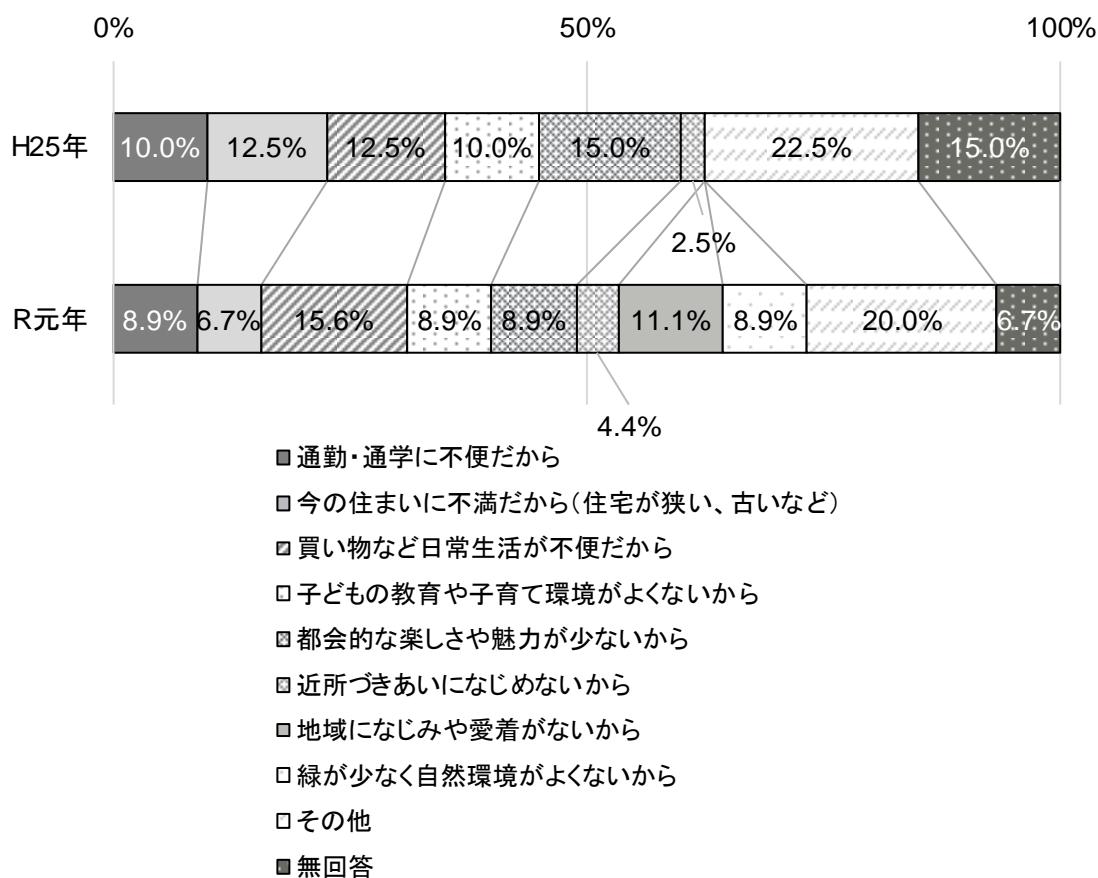
n=45



<経年比較>

「買い物など日常生活が不便だから」、「地域になじみや愛着がないから」、「近所づきあいになじめないから」が増加している一方で、「通勤・通学に不便だから」、「今の住まいに不満だから（住宅が狭い、古いなど）」、「子どもの教育や子育て環境がよくないから」、「都会的な楽しさや魅力が少ないから」は減少している。

※選択肢「緑が少なく自然環境がよくないから」は、令和元年に新設している。



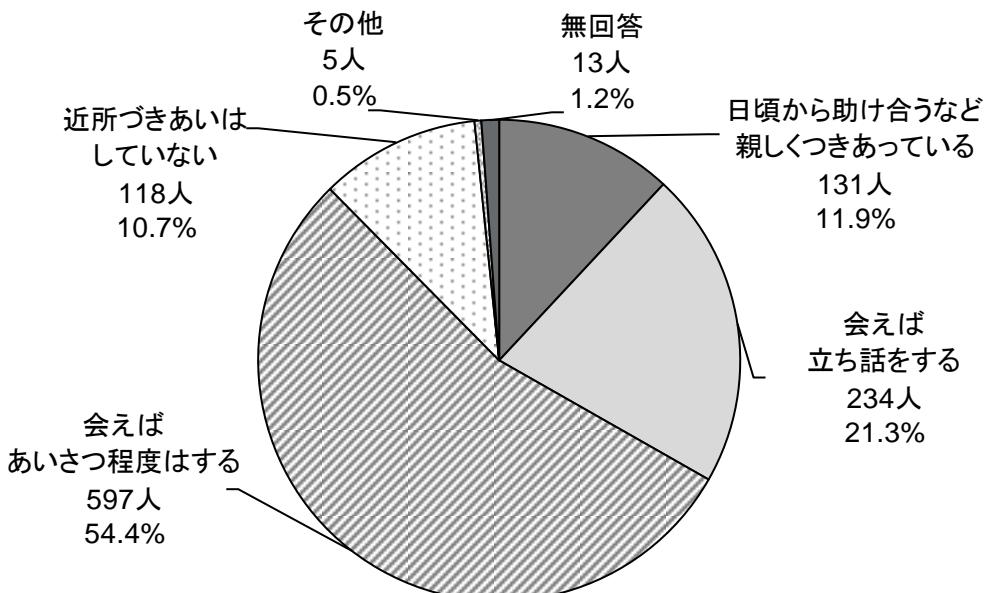
2. 日頃の地域との関わりについて

問4 あなたは日頃、近所の方とどのようなおつきあいをしていますか。次の中から1つ選んでください。

<全体>

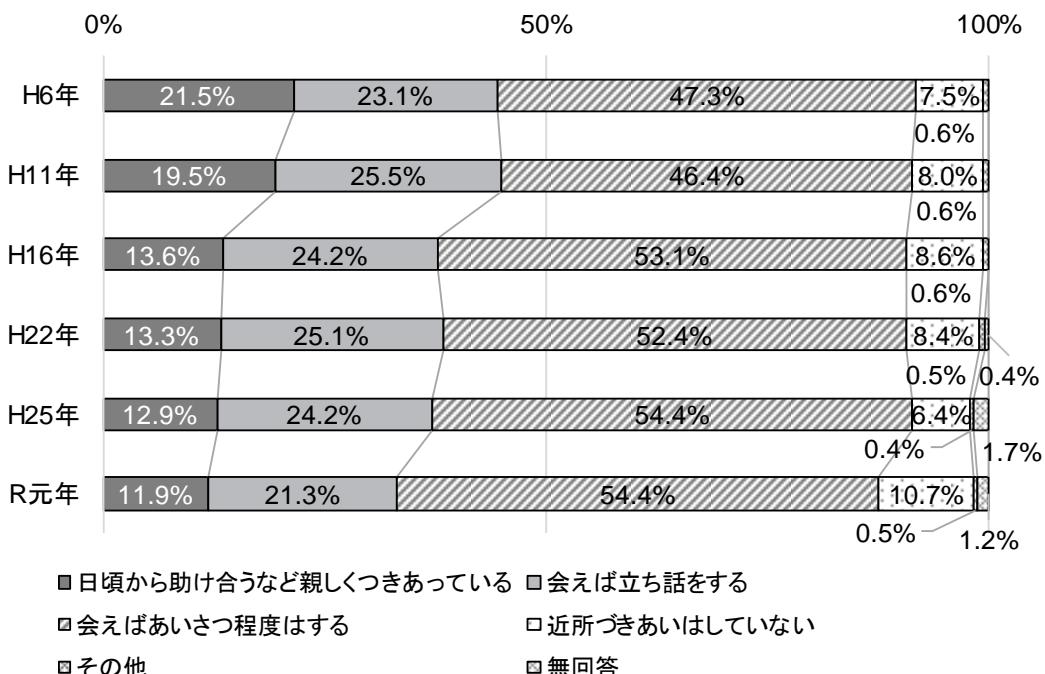
近所との日頃の付き合いは、「会えればあいさつ程度はする」割合が 54.4%で最も高く、続いて「会えれば立ち話をする」(21.3%)、「日頃から助け合うなど親しくつきあっている」(11.9%) となっている。

n=1,098



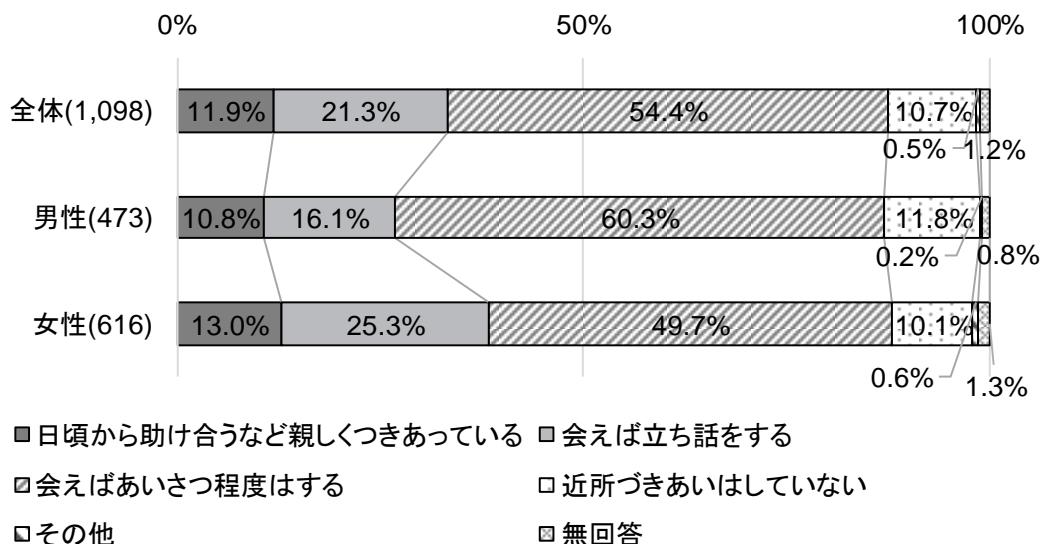
<経年比較>

「近所づきあいはしていない」の割合は、平成 11 年以降ほぼ横ばいで推移していたが、令和元年に増加している。



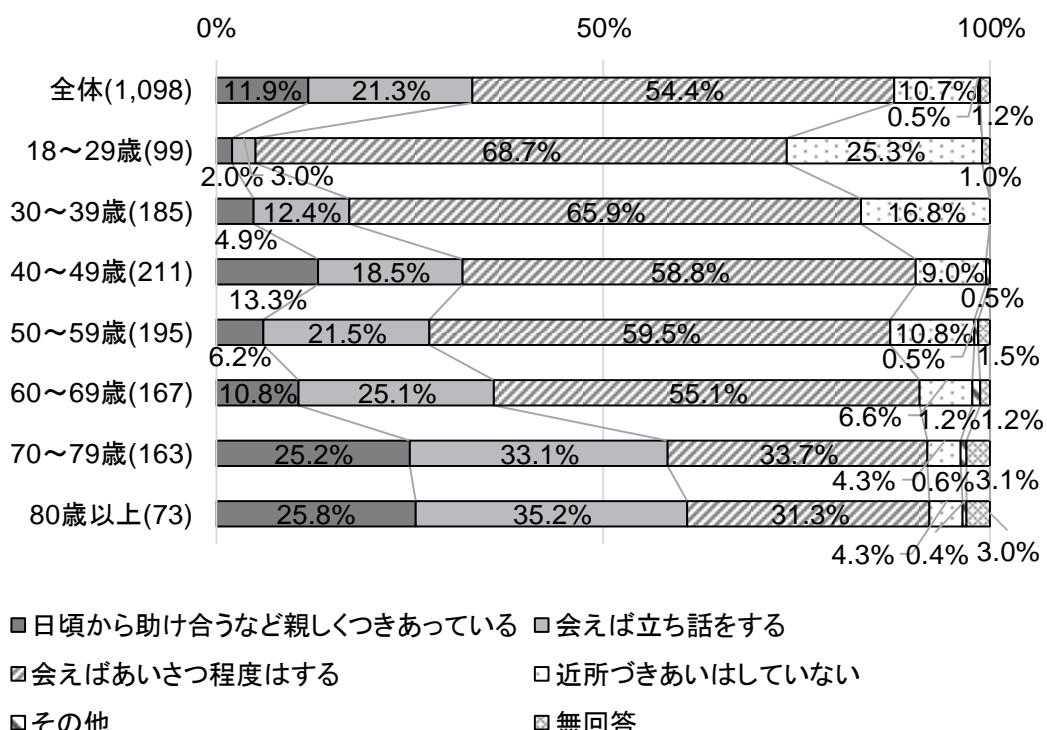
<性別>

女性の方が、「日頃から助け合うなど親しくつきあっている」と「会えば立ち話をする」の割合が比較的高い。



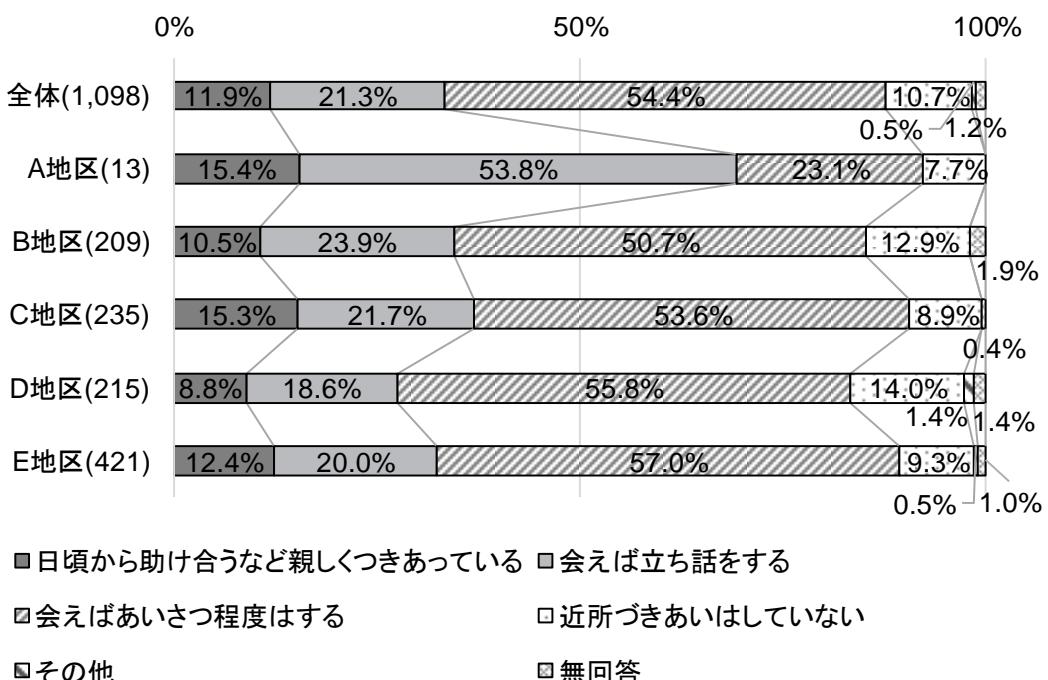
<年代>

年代が高い方が、「日頃から助け合うなど親しくつきあっている」と「会えば立ち話をする」の割合が高くなる傾向にある。“80歳以上”では、「日頃から助け合うなど親しくつきあっている」と「会えば立ち話をする」の割合が比較的高く7割を超えており。“18～29歳”では、「近所づきあいはしていない」の割合が比較的高く2割を超えており。



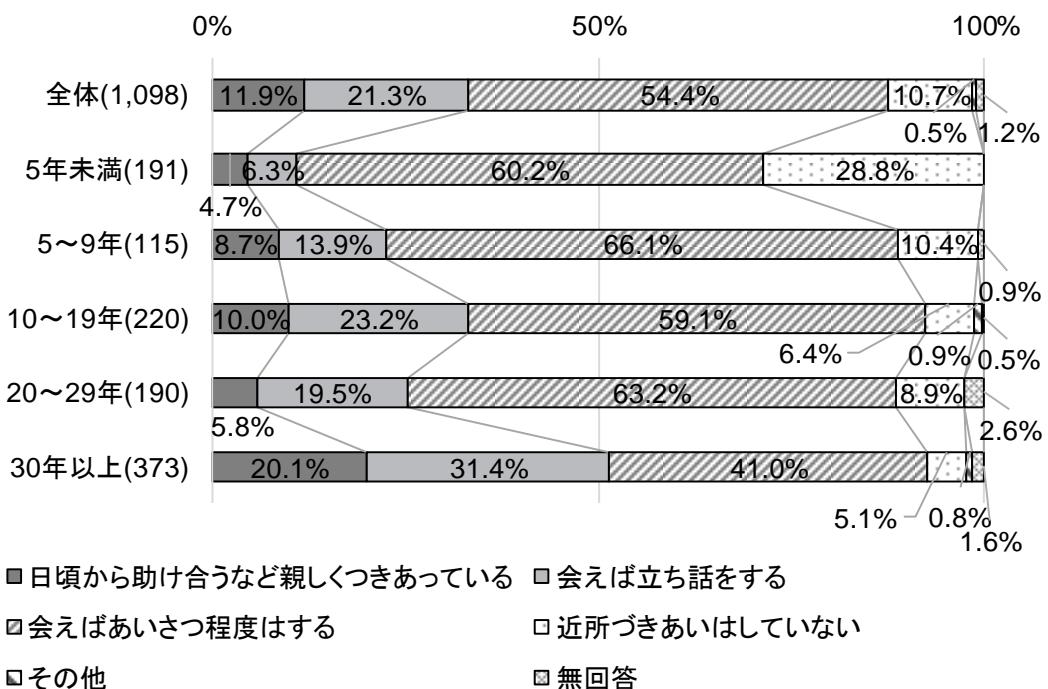
<居住地区>

“A 地区”では「日頃から助け合うなど親しくつきあっている」と「会えば立ち話をする」の割合が比較的高い。



<居住年数>

年数が長い方が、「日頃から助け合うなど親しくつきあっている」と「会えば立ち話をする」の割合が高くなる傾向にある。“30 年以上”では、「日頃から助け合うなど親しくつきあっている」と「会えば立ち話をする」の割合が比較的高く 5 割を超えていている。



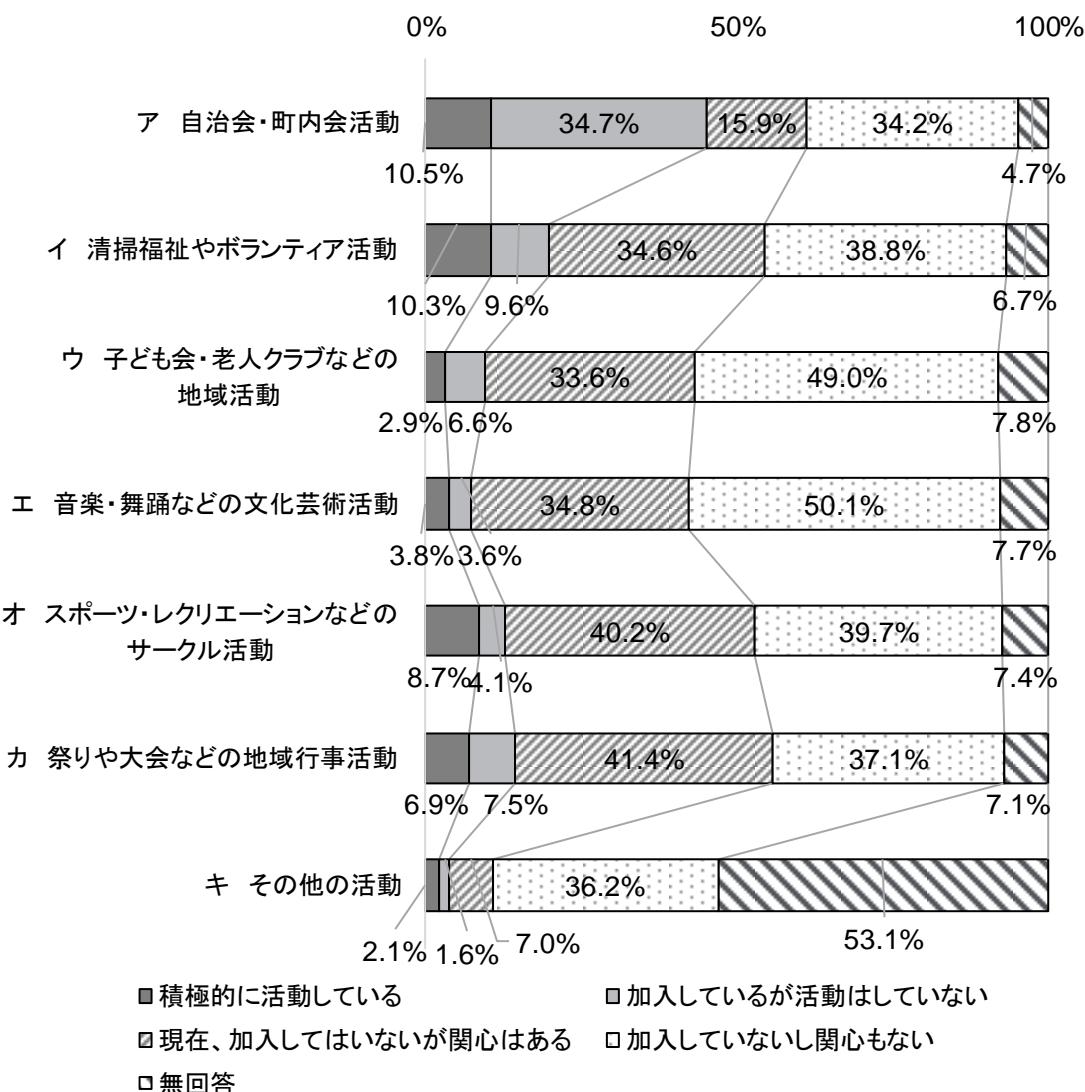
問5 あなたは日頃、地域の自治会・町内会やボランティア団体などで、コミュニティ活動を行っていますか。次の活動(ア～キ)それぞれについて1つずつ選んでください。

<全体>

コミュニティ活動への参加は、「積極的に活動している」割合は「自治会・町内会活動」が10.5%で最も高く、続いて「清掃福祉やボランティア活動」(10.3%)となっている。また、「加入しているが活動はしていない」割合も「自治会・町内会活動」が34.7%で最も高い。

「現在、加入してはいないが関心はある」割合は「祭りや大会などの地域行事活動」が41.4%で最も高く、続いて「スポーツ・レクリエーションなどのサークル活動」(40.2%)、「音楽・舞踊などの文化芸術活動」(34.8%)となっている。

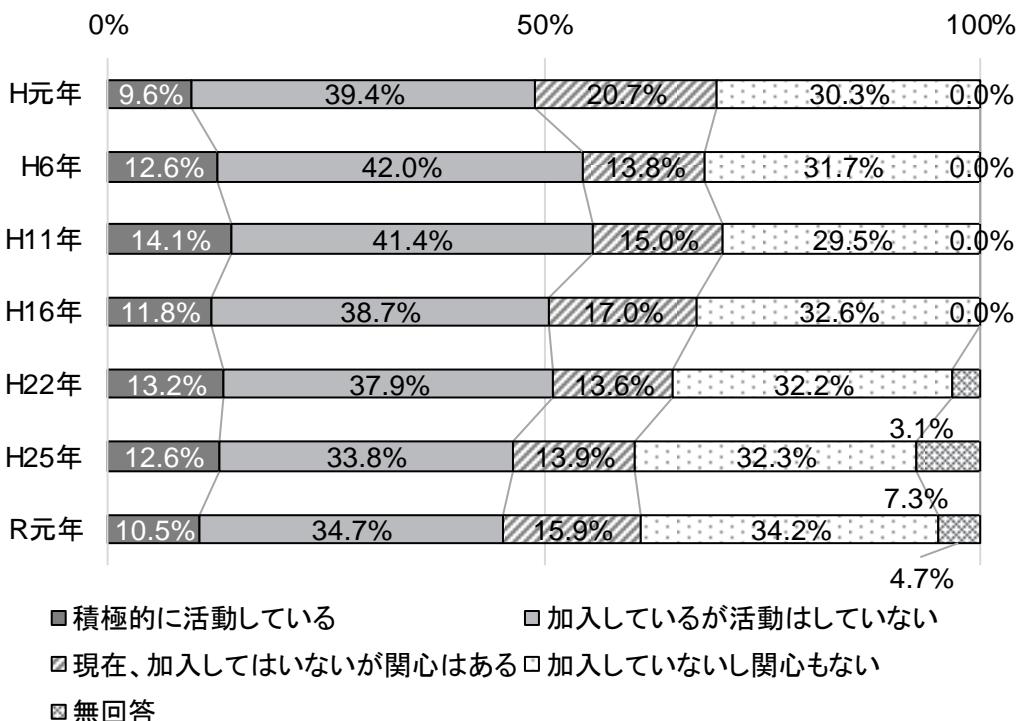
n=1,098



ア 自治会・町内会活動

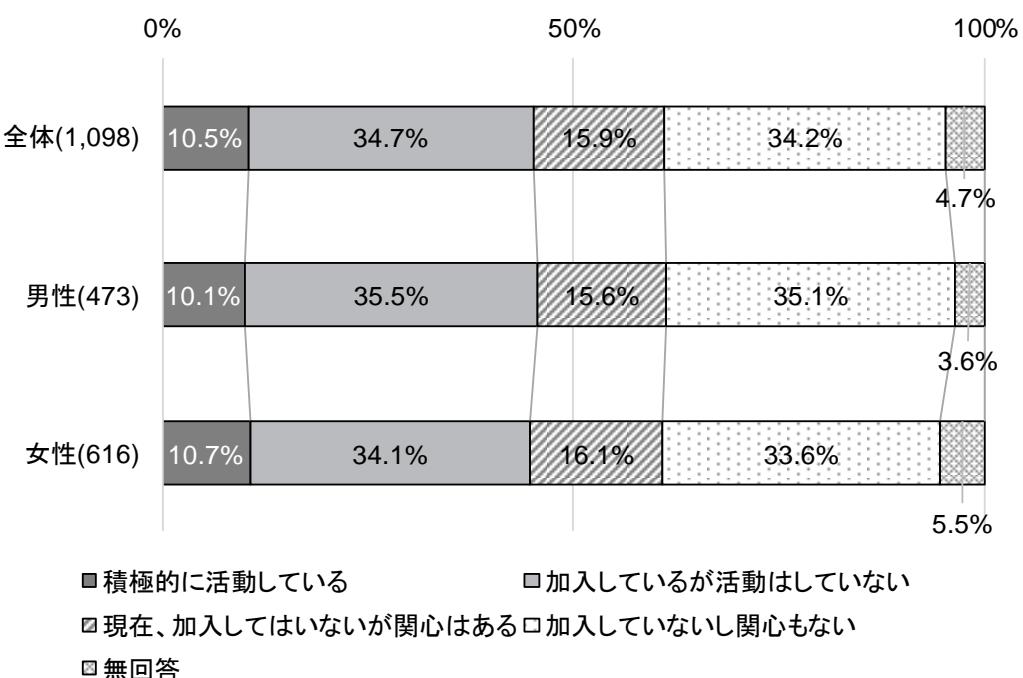
＜経年比較＞

「積極的に活動している」割合は平成 22 年以降、「加入しているが活動はしていない」割合は平成 11 年以降、減少傾向にある。一方、「現在、加入してはいないが関心はある」割合は令和元年、増加に転じている。



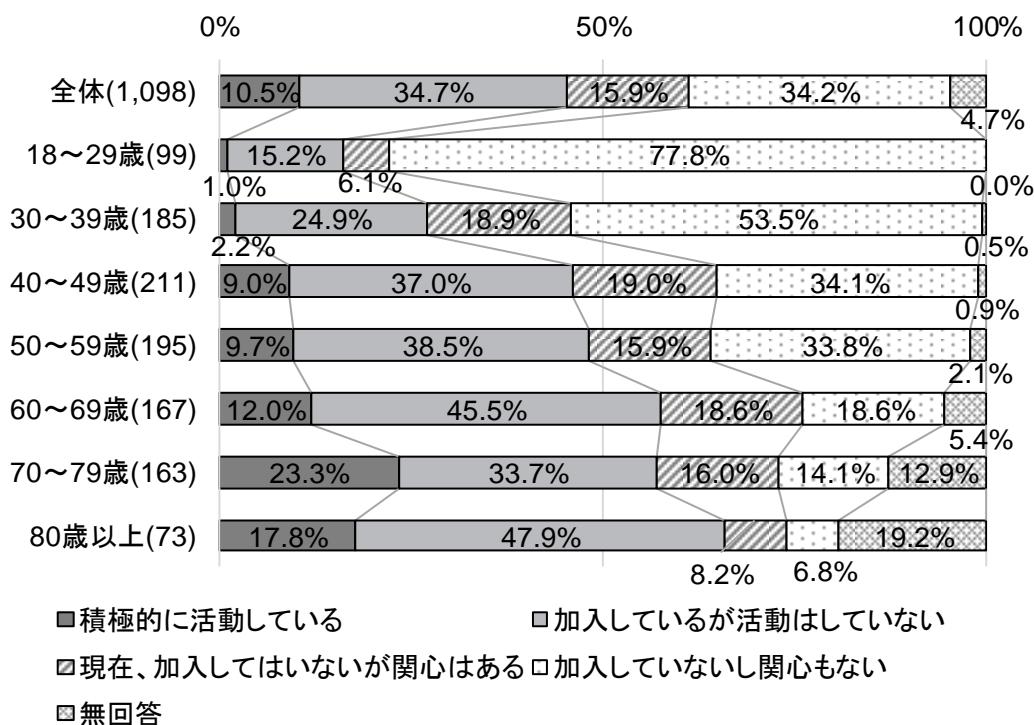
＜性別＞

性別での特徴は見られない。



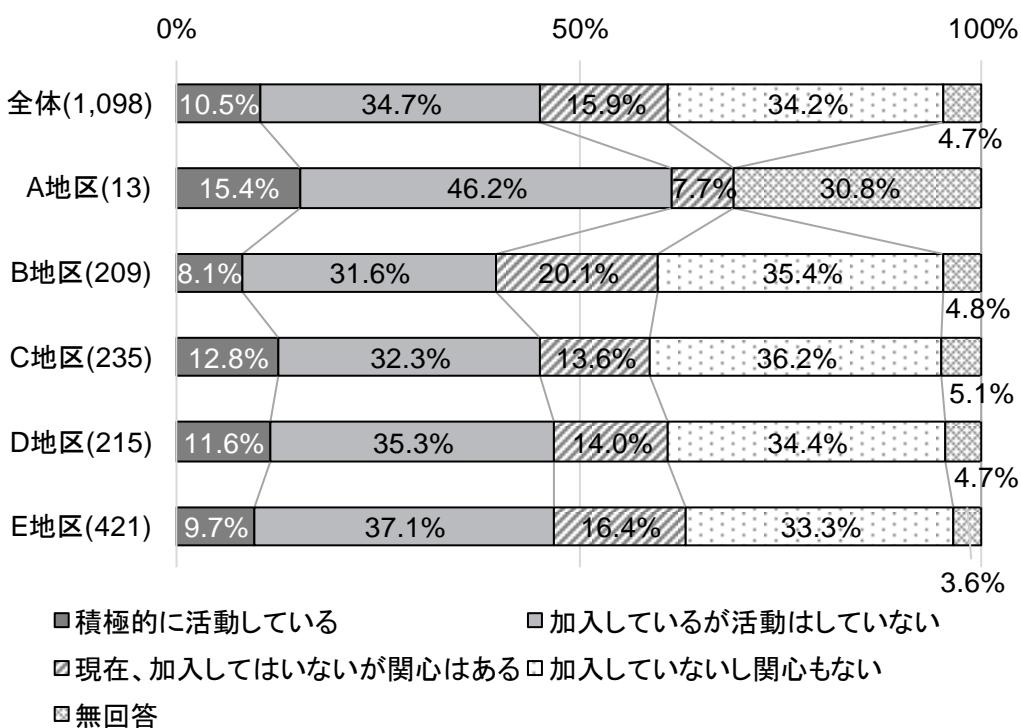
<年代>

年代が高い方が、「積極的に活動している」割合が高くなる傾向にある。“18～29歳”では「加入していないし関心もない」の割合が比較的高く7割を超えてい。



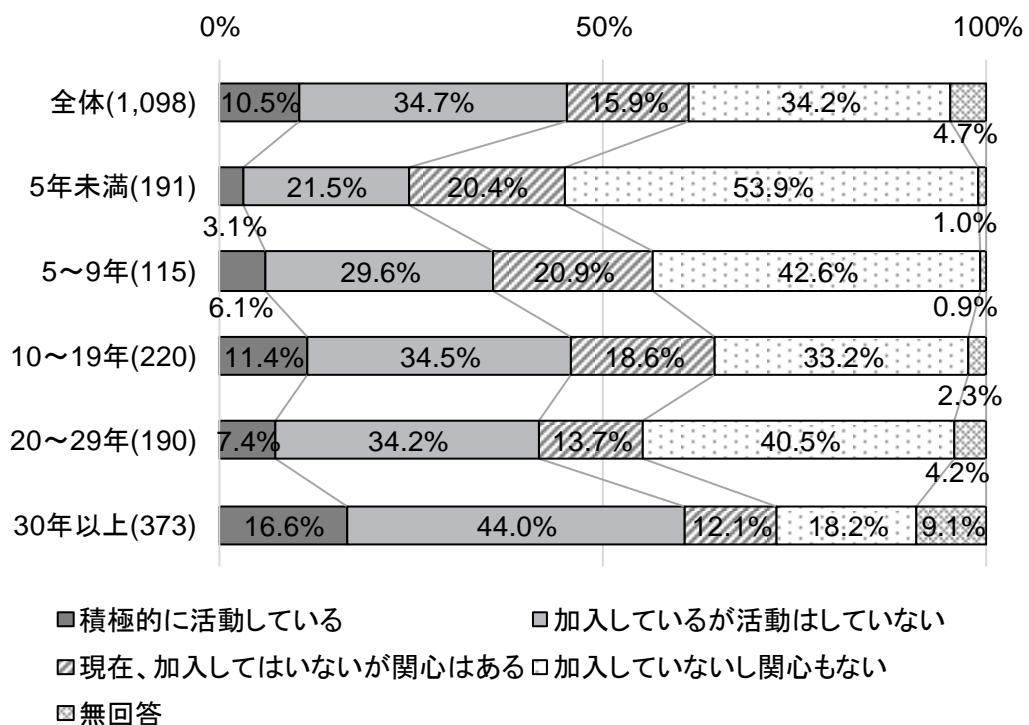
<居住地区>

“A地区”では「加入しているが活動はしていない」の割合が比較的高く4割を超えている。



<居住年数>

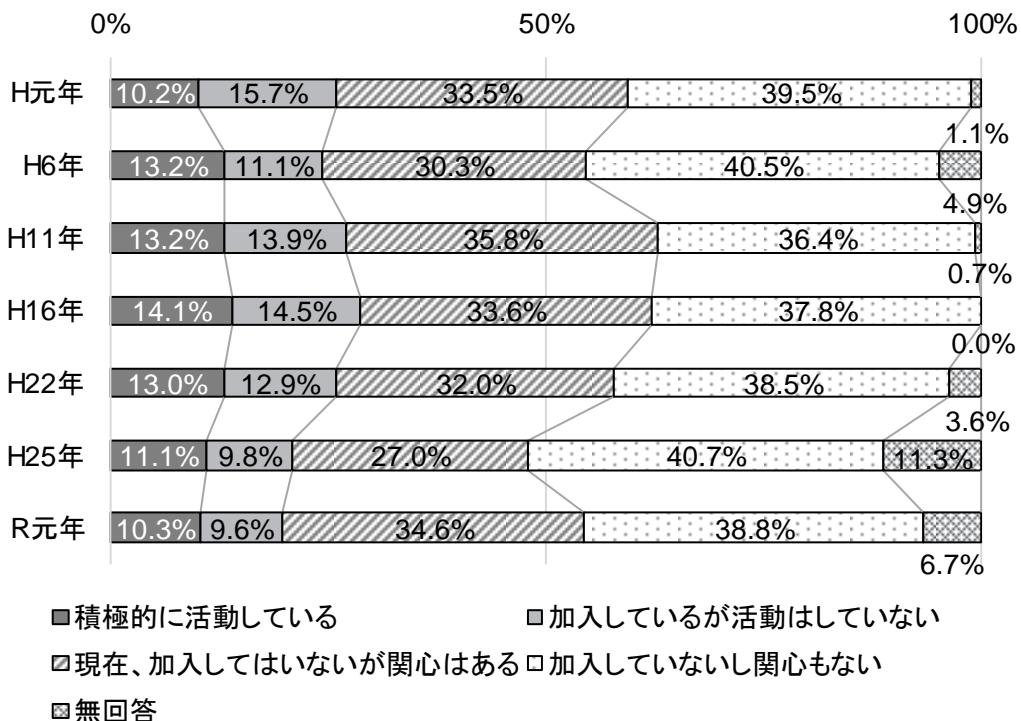
年数が長い方が、「加入しているが活動はしていない」の割合が高くなる傾向にある。“5年未満”では、「加入していないし関心もない」の割合が比較的高く5割を超えており。



イ 清掃奉仕や福祉ボランティア活動

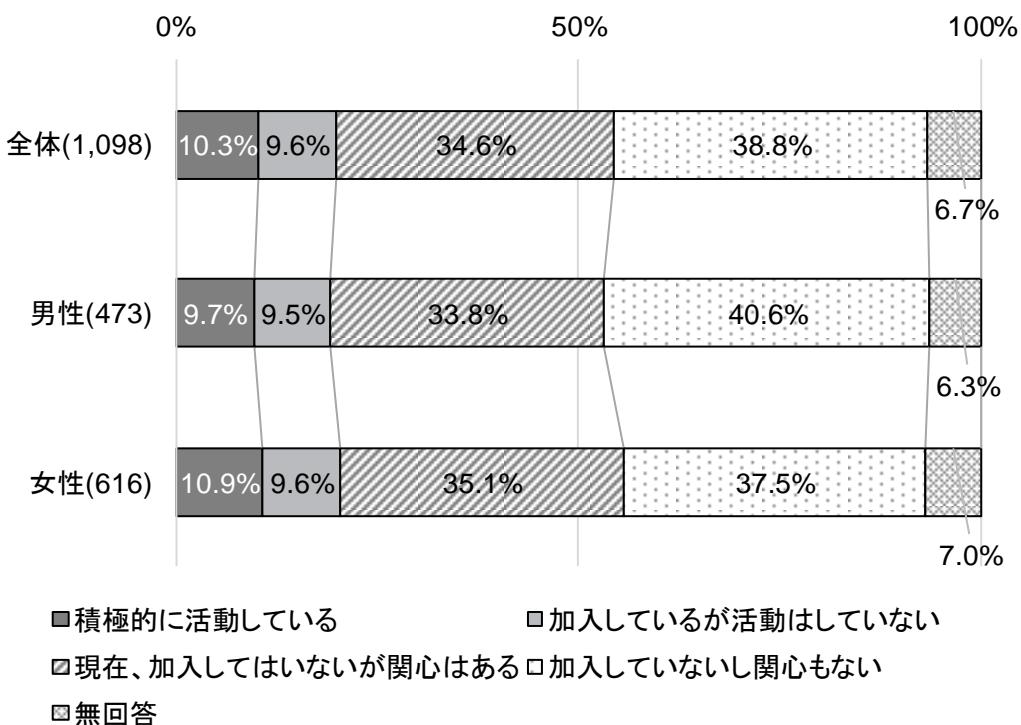
＜経年比較＞

「積極的に活動している」、「加入しているが活動はしていない」割合は平成 16 年以降、減少している。一方、「現在、加入してはいないが関心はある」割合は令和元年、増加に転じている。



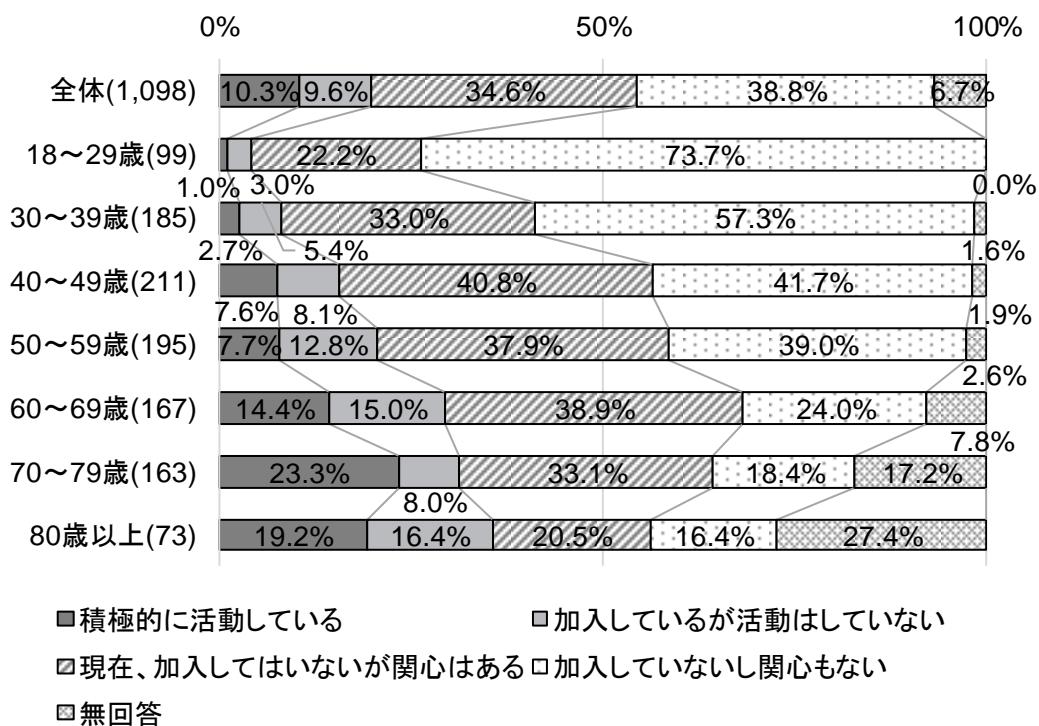
＜性別＞

性別での特徴は見られない。



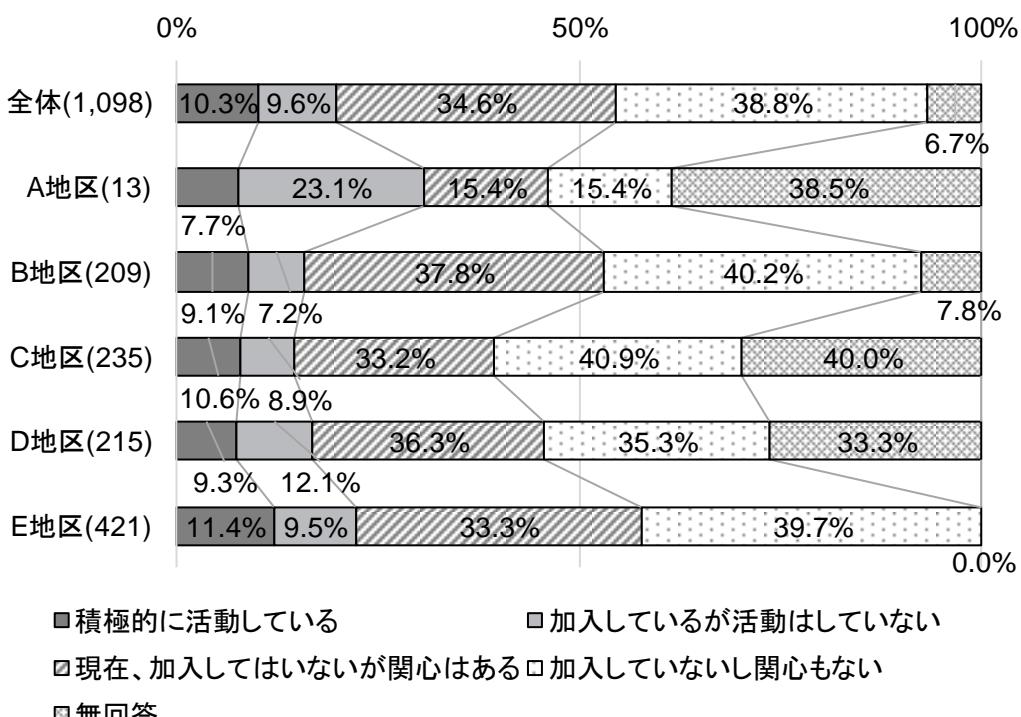
<年代>

年代が高い方が、「積極的に活動している」割合が高くなる傾向にある。“18～29歳”では「加入していないし関心もない」の割合が比較的高く7割を超えてい。



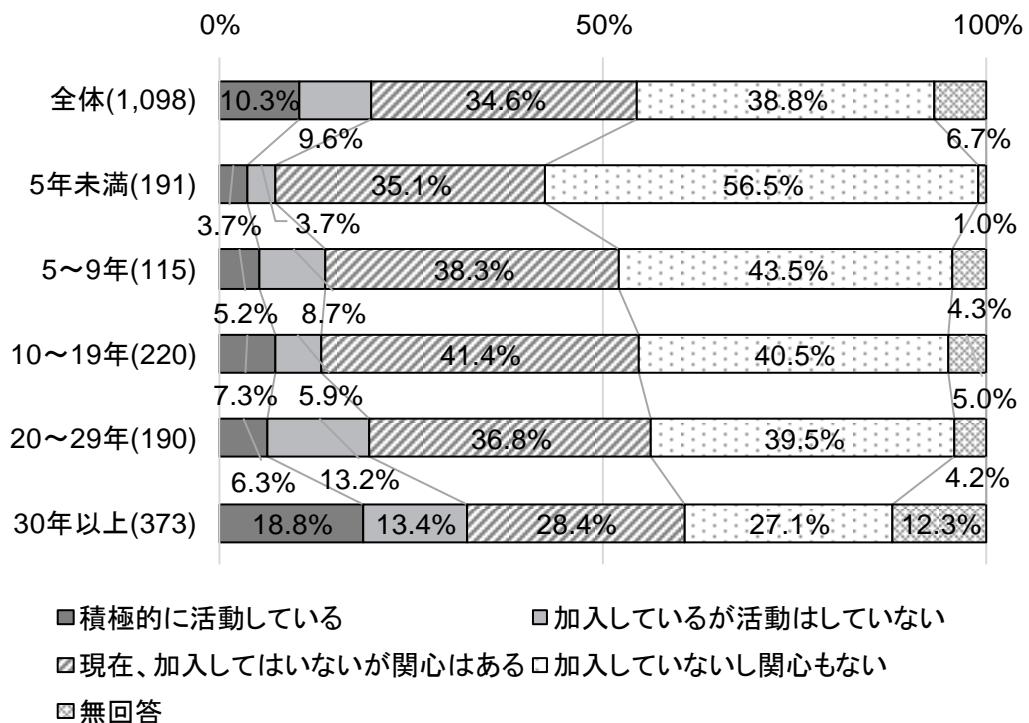
<居住地区>

“A地区”では「加入しているが活動はしていない」の割合が比較的高く2割を超えている。



<居住年数>

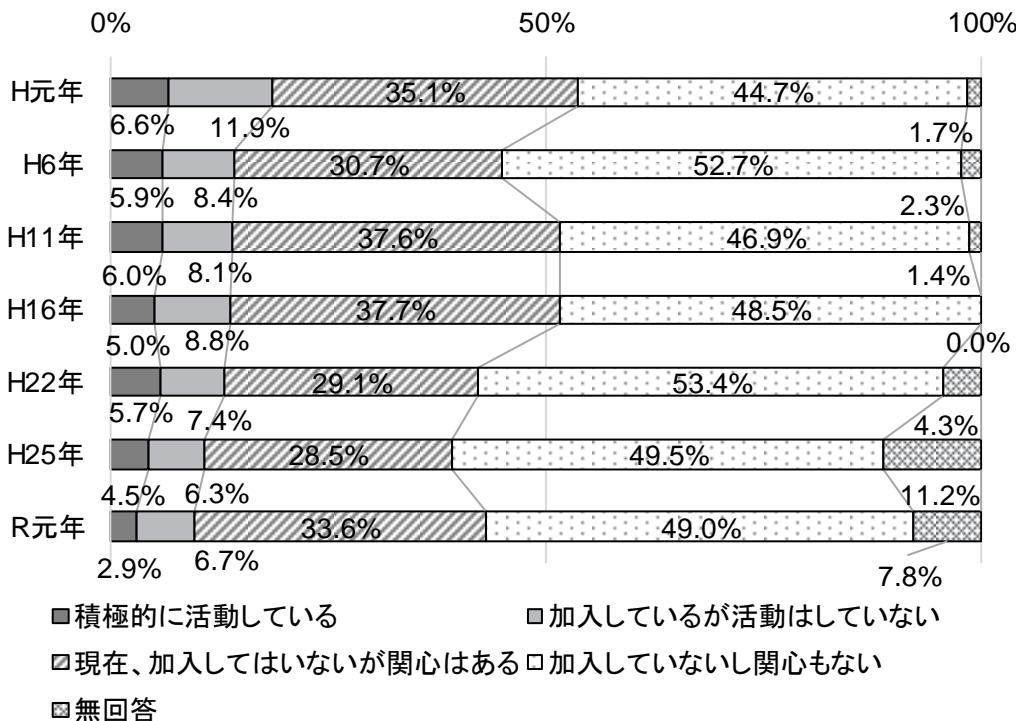
年数が長い方が、「加入しているが活動はしていない」の割合が高くなる傾向にある。“5年未満”では、「加入していないし関心もない」の割合が比較的高く5割を超えており。



ウ 子ども会・老人クラブなどの地域活動

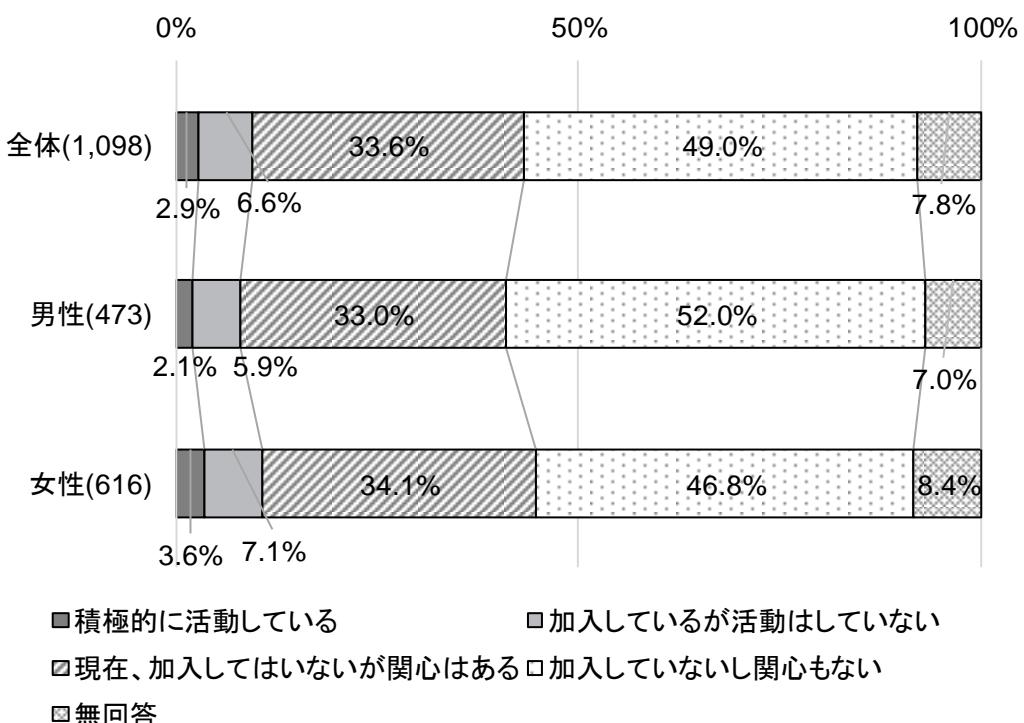
＜経年比較＞

「積極的に活動している」割合は平成 22 年以降、減少している。一方、「現在、加入してはないが関心はある」割合は令和元年、増加に転じている。



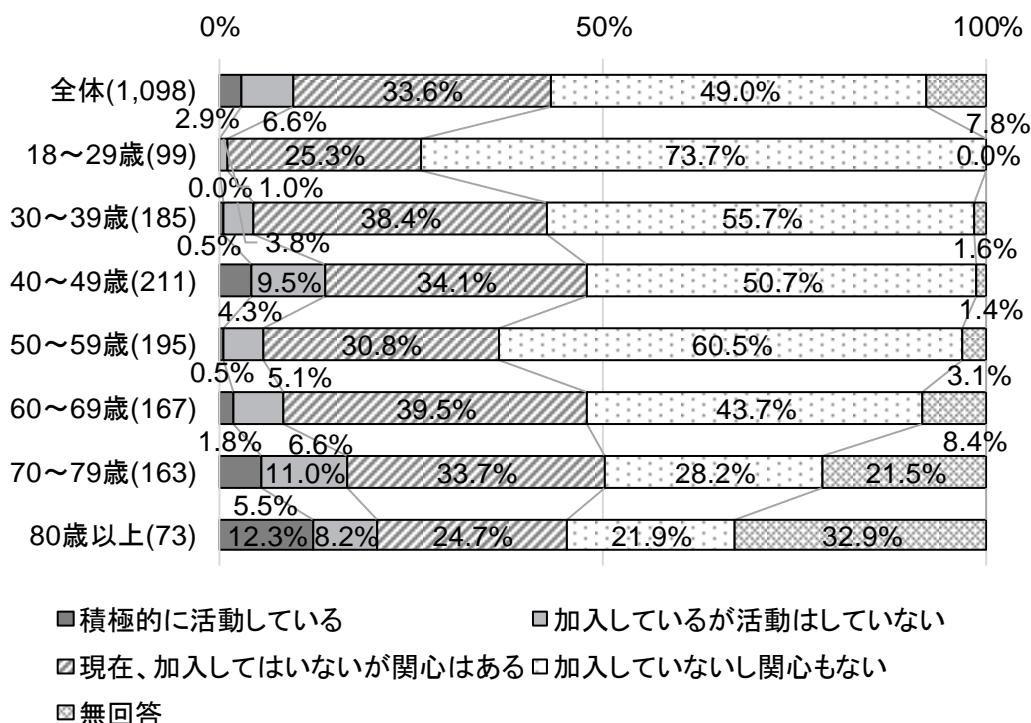
＜性別＞

性別での特徴は見られない。



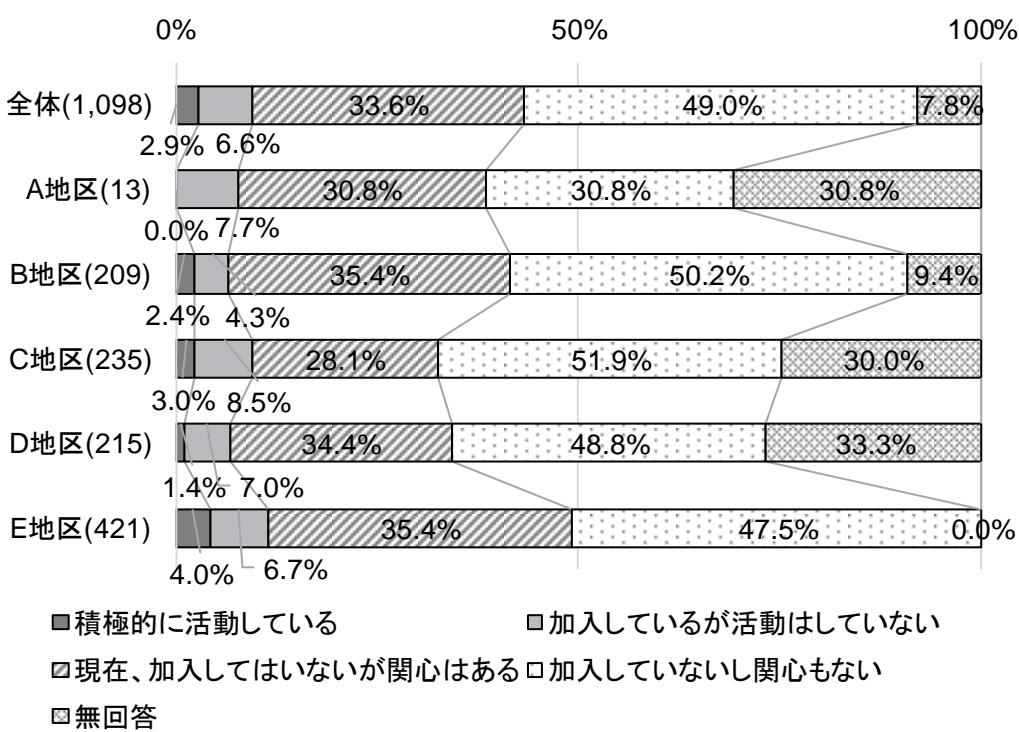
<年代>

年代が高い方が、「積極的に活動している」割合が高くなる傾向にある。“18～29歳”では「加入していないし関心もない」の割合が比較的高く7割を超えていている。



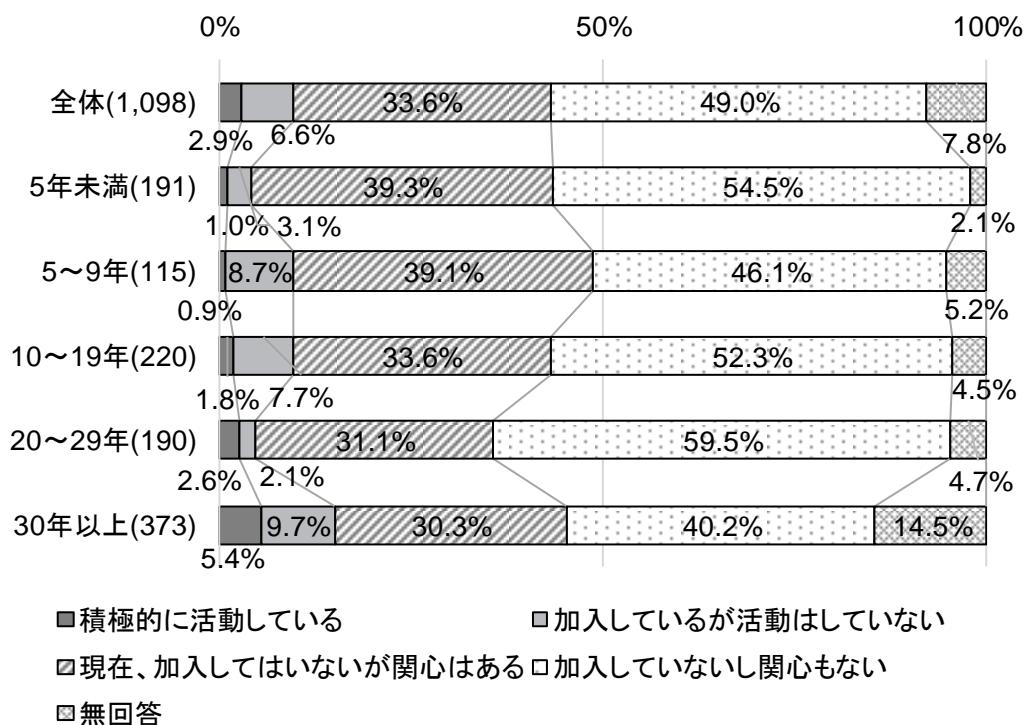
<居住地区>

“A地区”では「加入しているが活動はしていない」の割合が比較的高く2割を超えていている。



<居住年数>

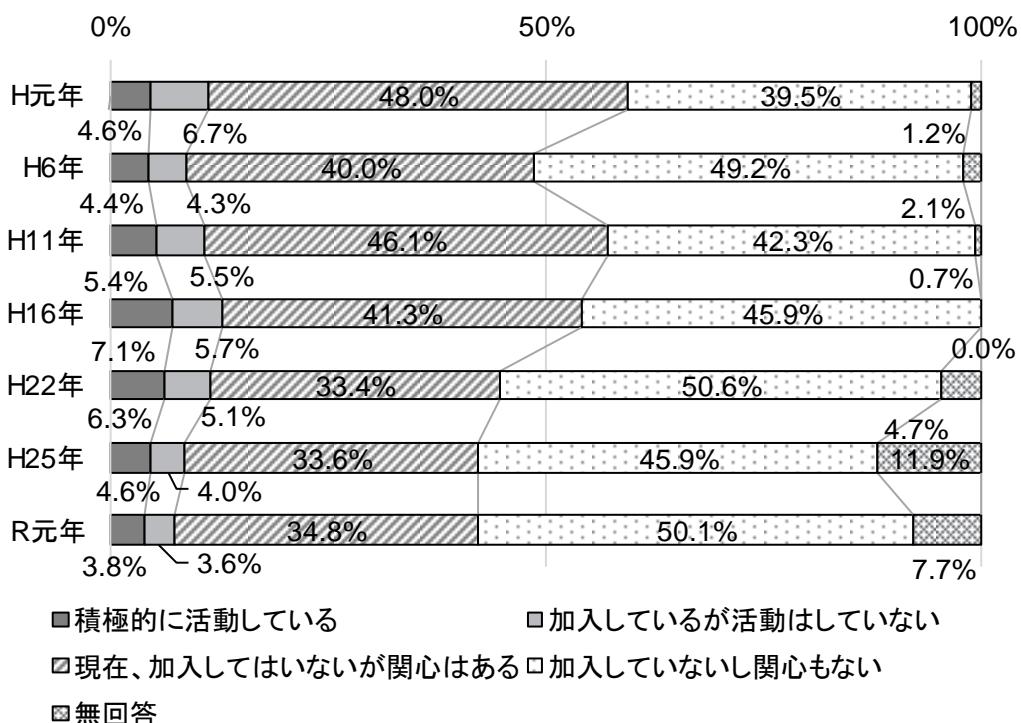
年数が長い方が、「加入しているが活動はしていない」の割合が高くなる傾向にある。“5年未満”では、「加入していないし関心もない」の割合が比較的高く5割を超えており。



エ 音楽・舞踊などの文化芸術活動

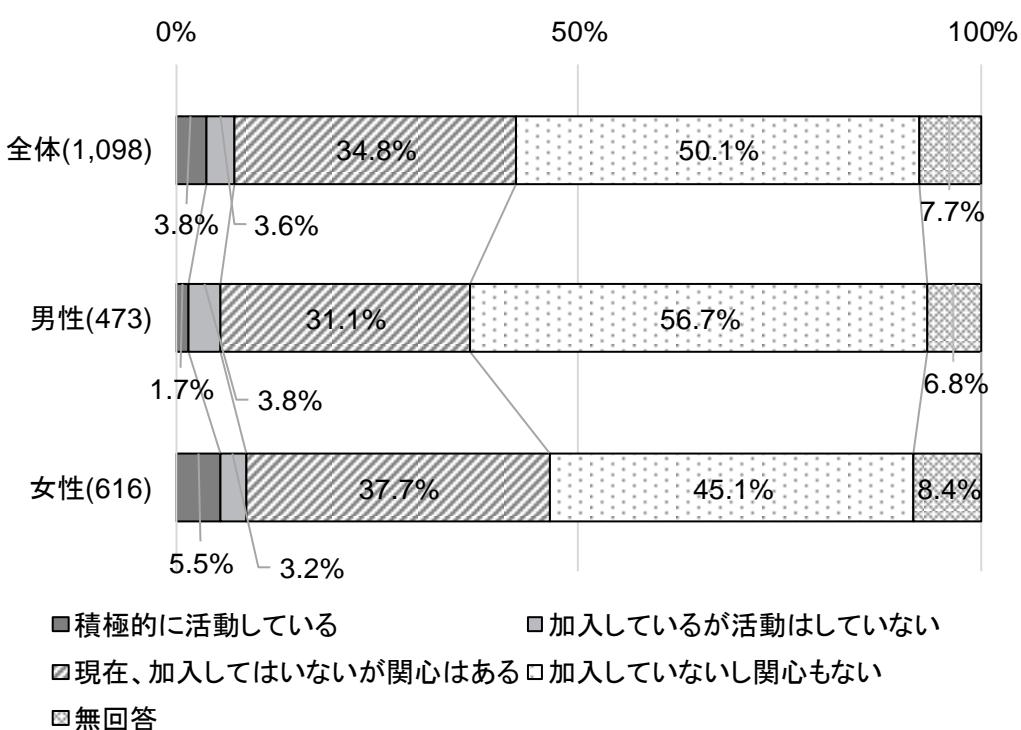
＜経年比較＞

「積極的に活動している」、「加入しているが活動はしていない」割合は平成 16 年以降、減少している。



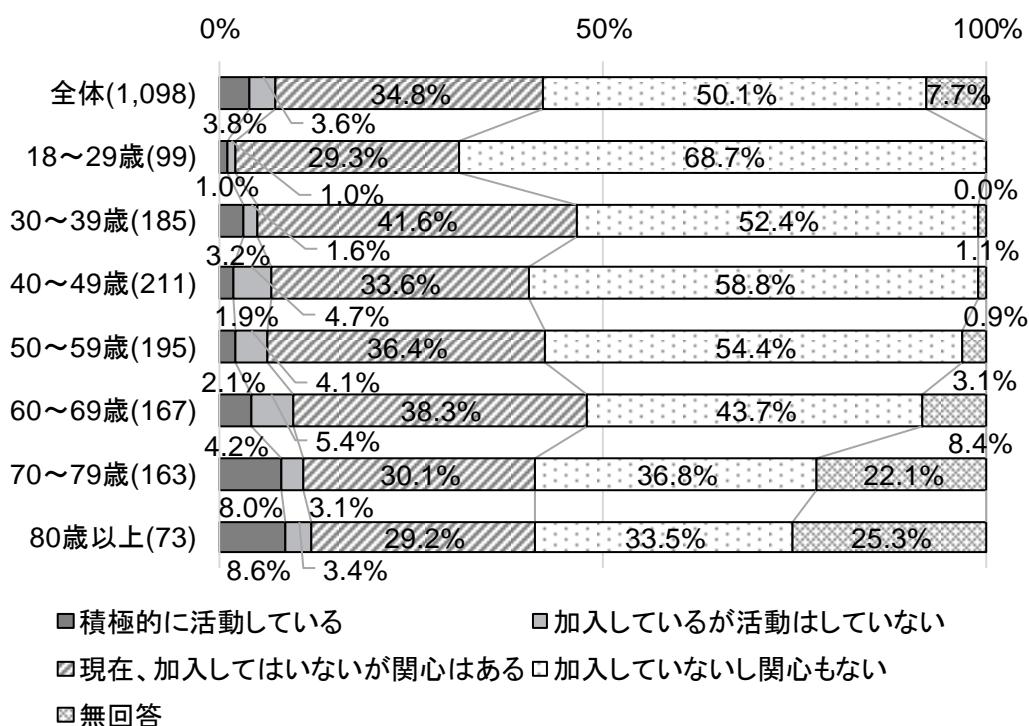
＜性別＞

男性の方が、「加入していないし関心もない」の割合が比較的高い。



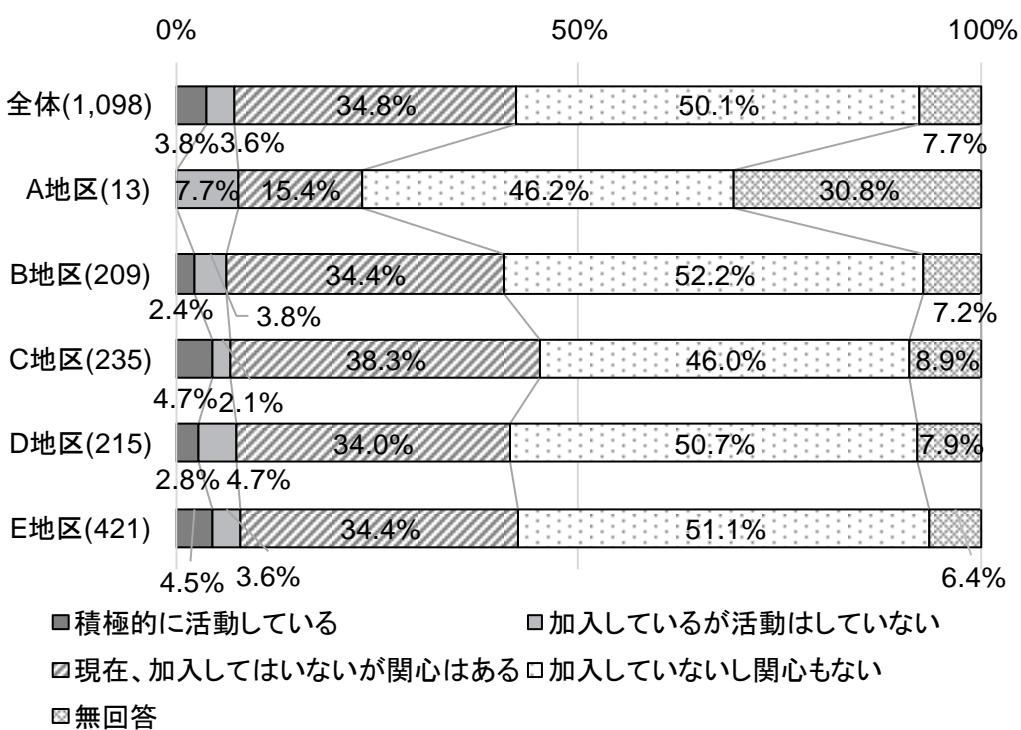
<年代>

“18～29歳”では「加入していないし関心もない」の割合が比較的高く6割を超えてい。



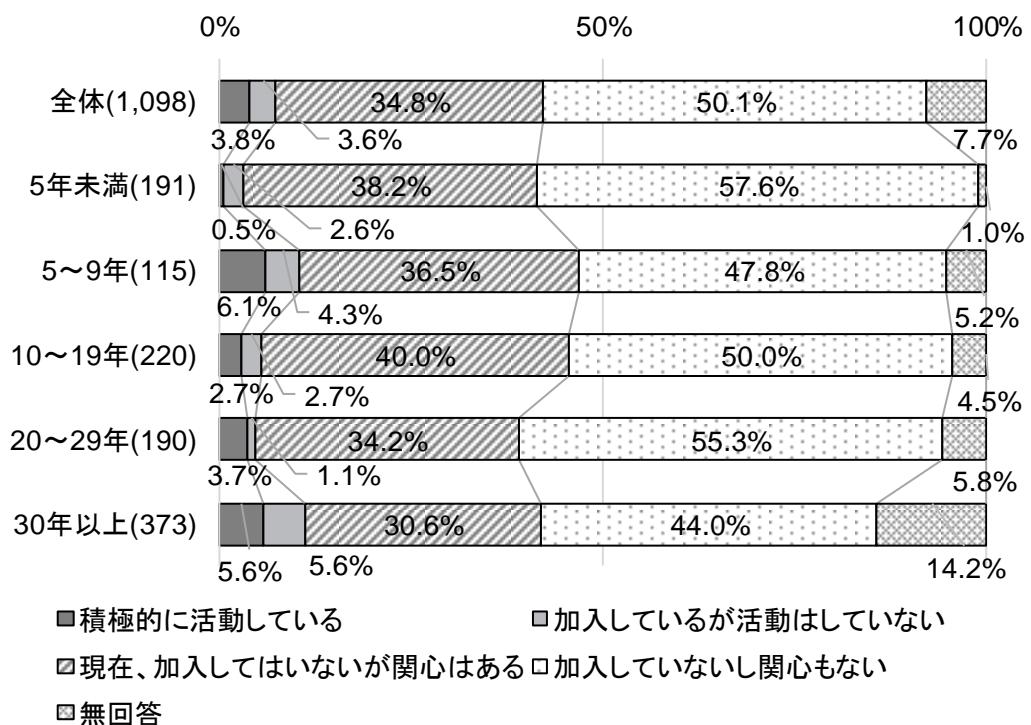
<居住地区>

地区での特徴は見られない。



<居住年数>

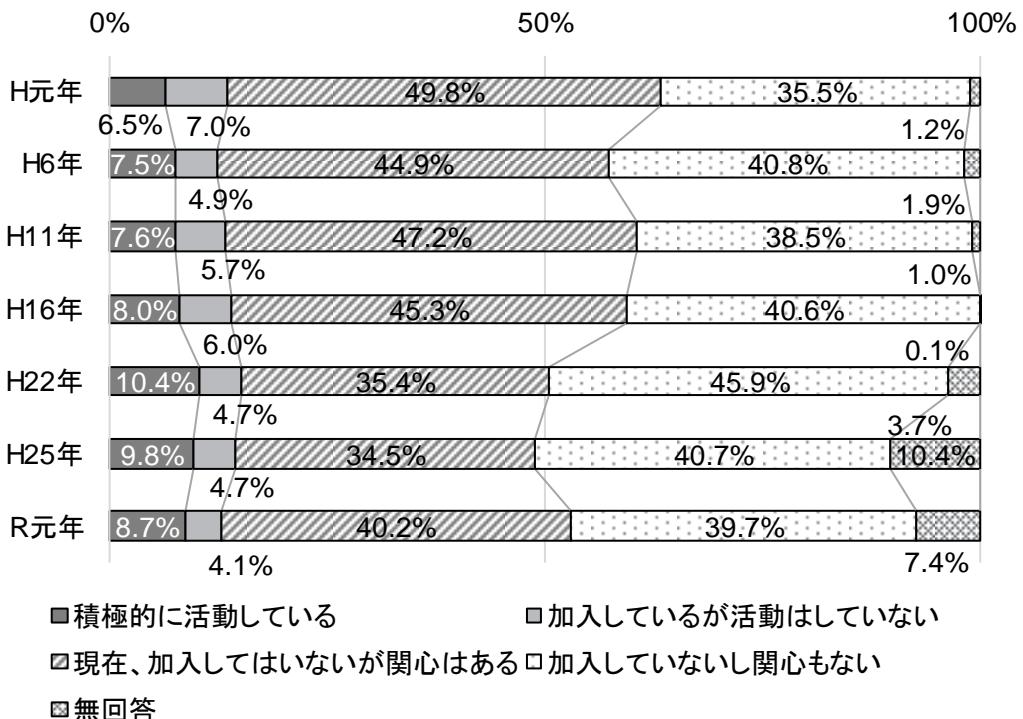
年数での特徴は見られない。



オ スポーツ・レクリエーションなどのサークル活動

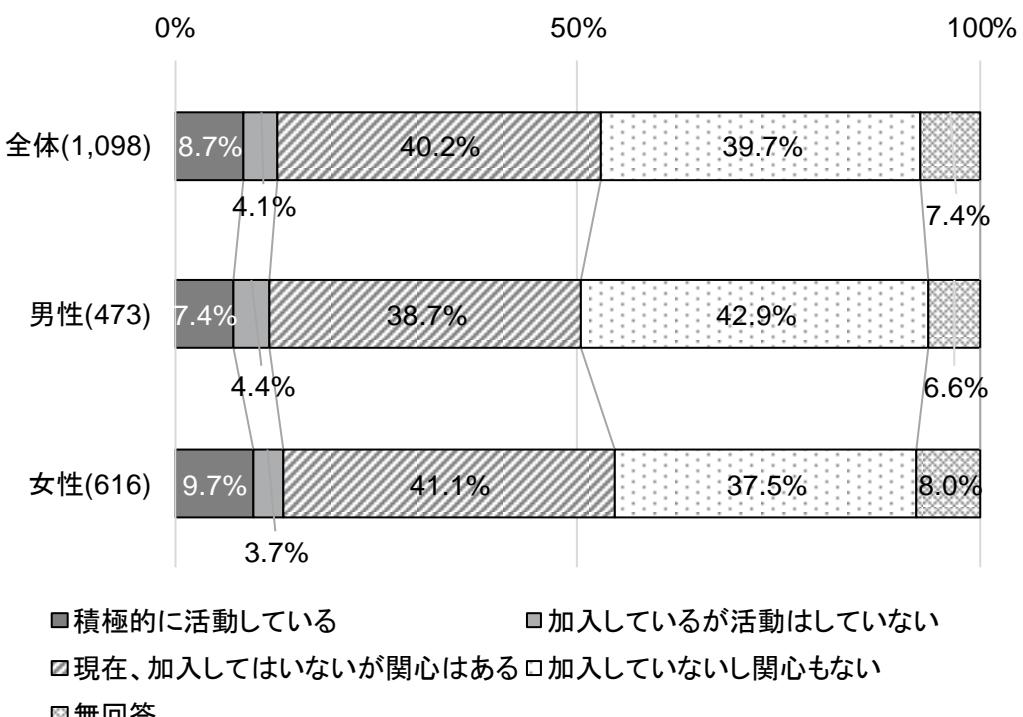
＜経年比較＞

「積極的に活動している」、「加入しているが活動はしていない」割合は平成 22 年以降、減少している。一方、「現在、加入してはいないが関心はある」割合は令和元年、増加に転じている。



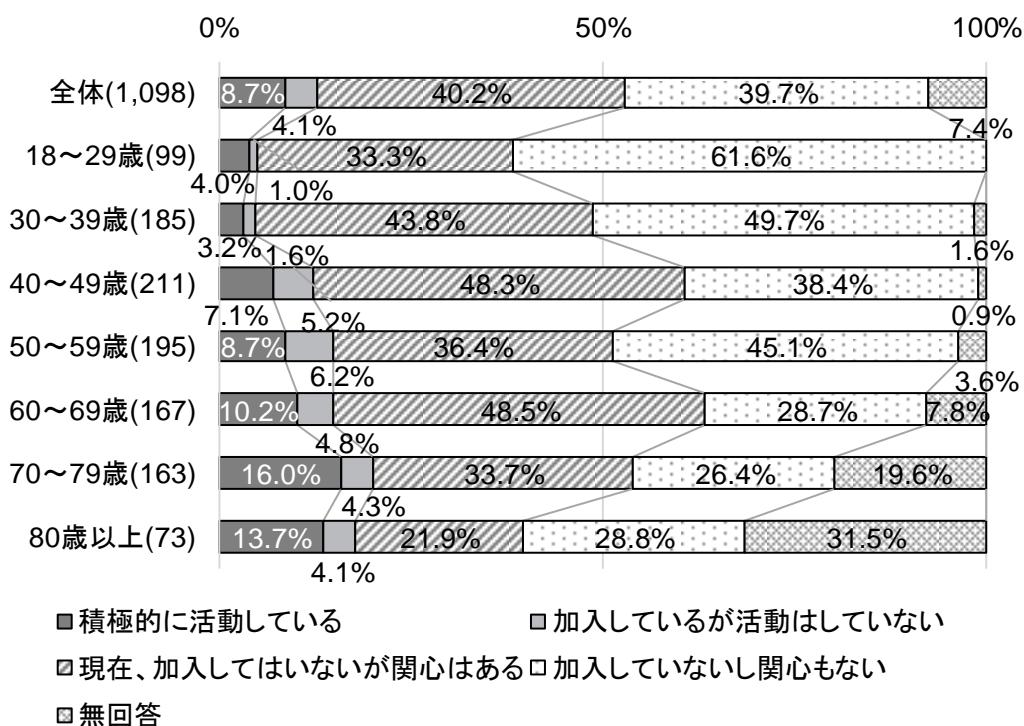
＜性別＞

性別での特徴は見られない。



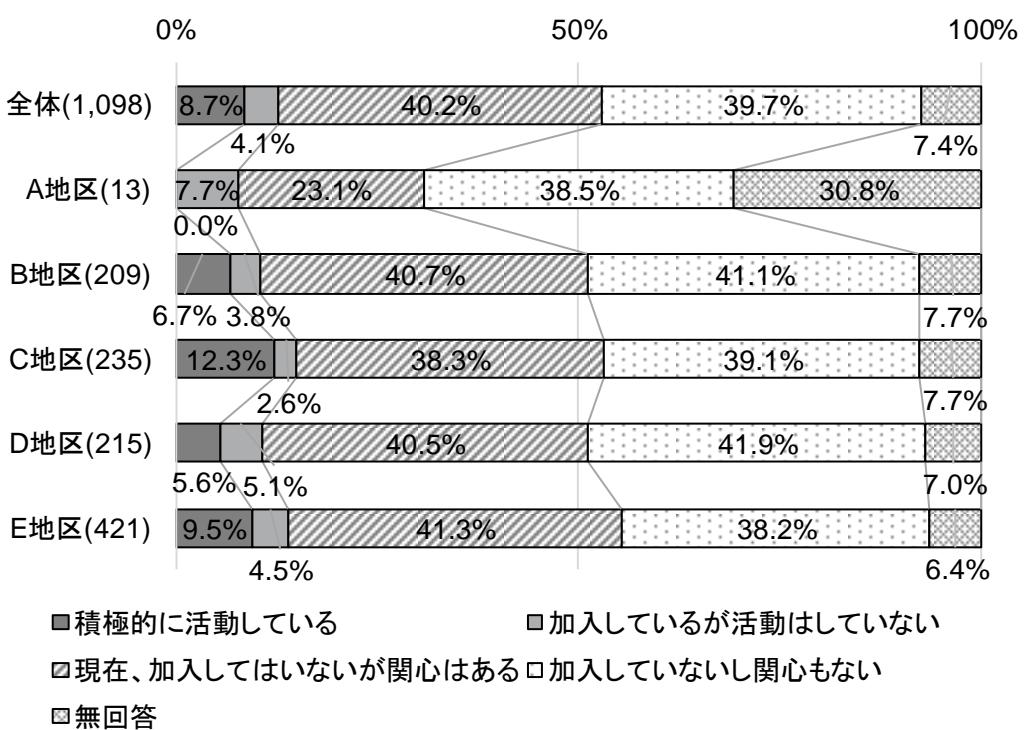
<年代>

“18～29歳”では「加入していないし関心もない」の割合が比較的高く6割を超えていている。



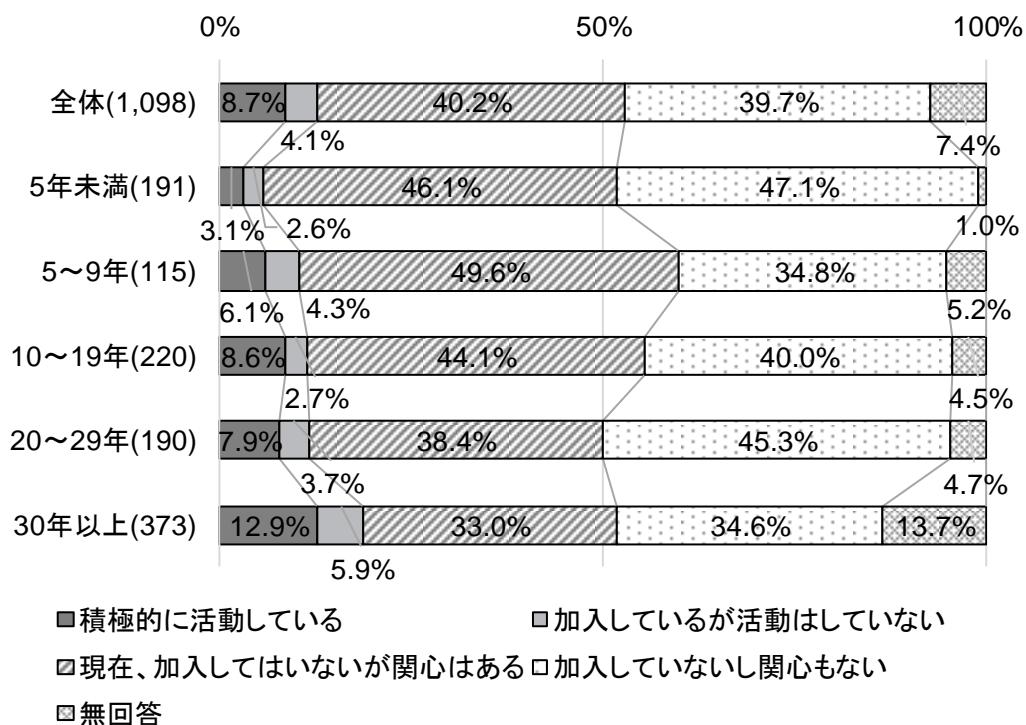
<居住地区>

“C地区”では「積極的に活動している」の割合が比較的高く1割を超えている。



<居住年数>

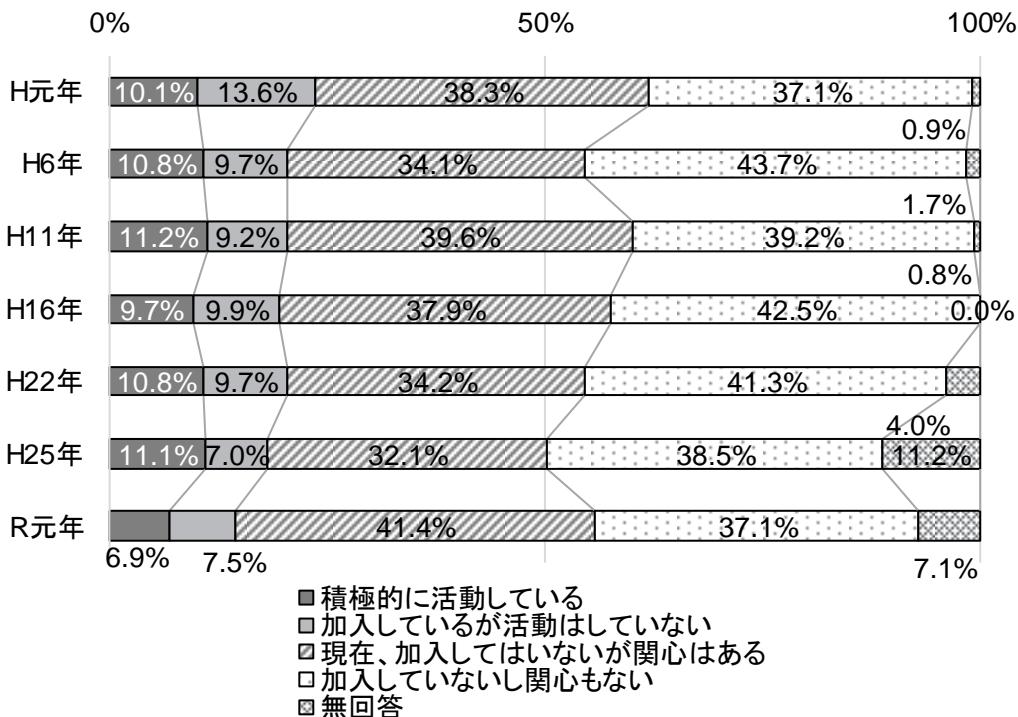
年数が長い方が、「積極的に活動している」の割合が高くなる傾向にある。“30年以上”では「積極的に活動している」の割合が比較的高く1割を超えていている。



力 祭りや大会などの地域行事活動

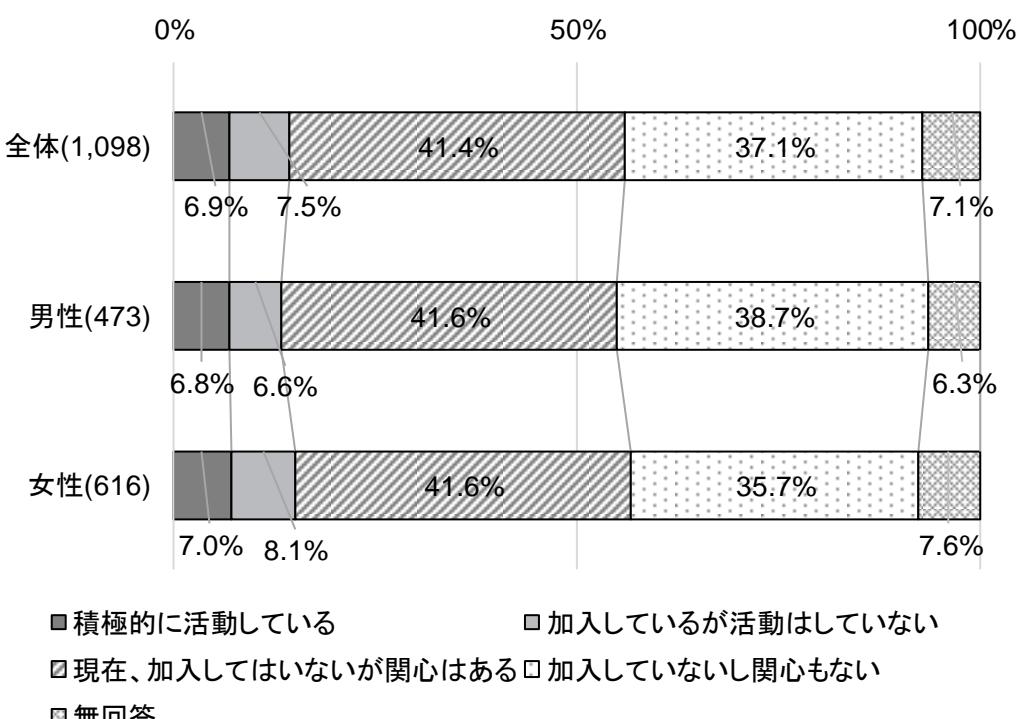
＜経年比較＞

「積極的に活動している」割合は令和元年、減少に転じている。一方、「現在、加入してはいないが関心はある」割合は令和元年、増加に転じている。



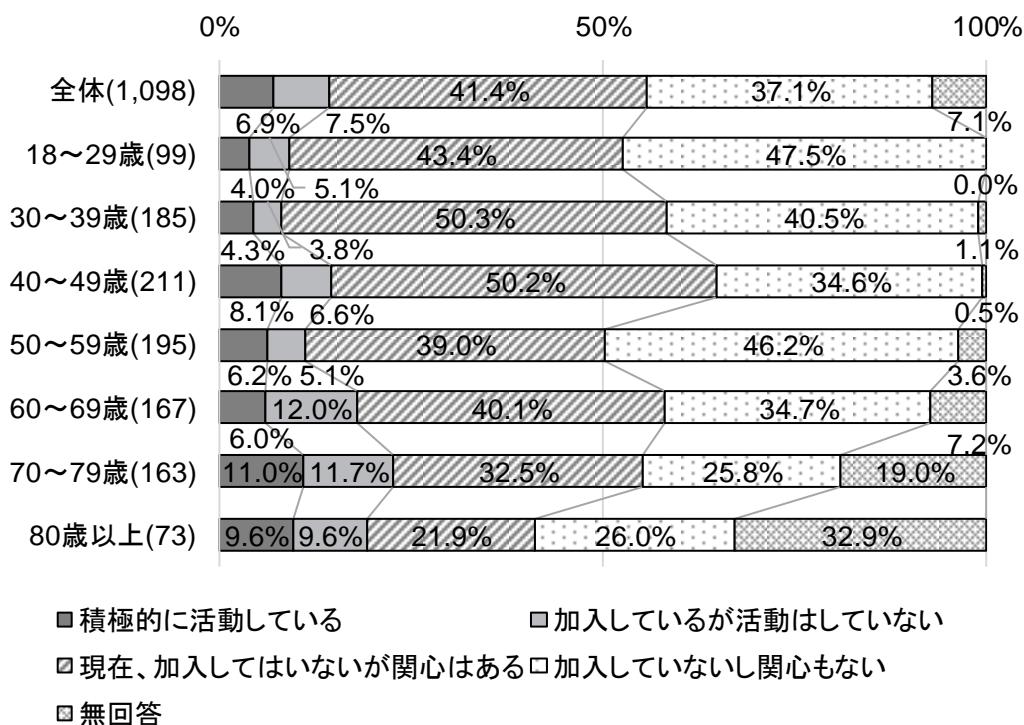
＜性別＞

性別での特徴は見られない。



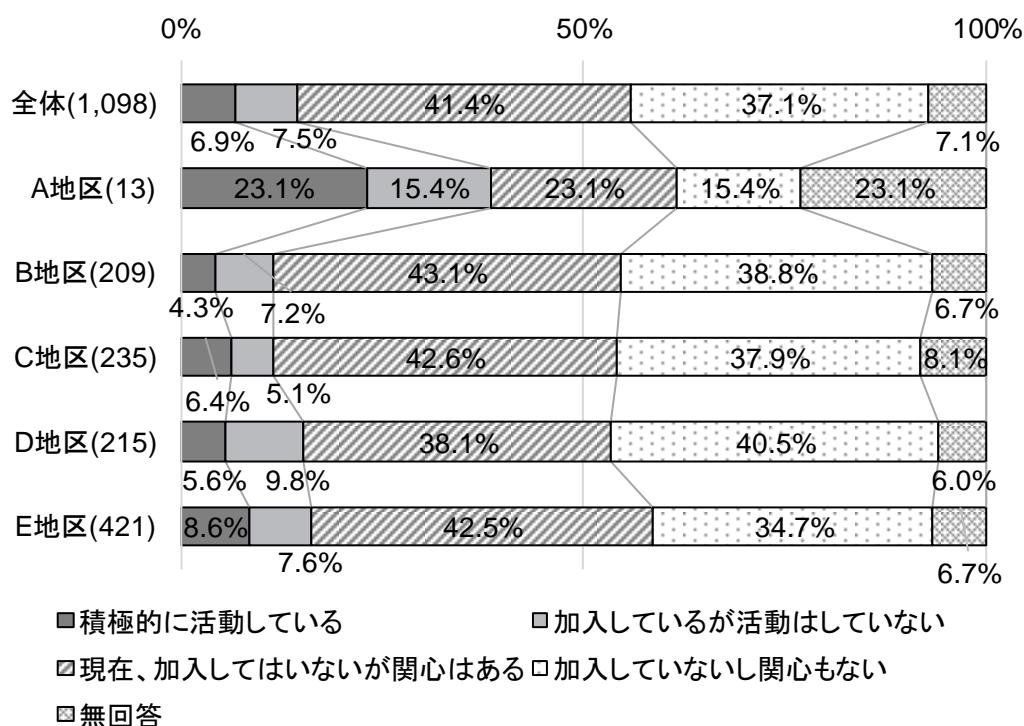
<年代>

“30～39歳”、“40～49歳”では「現在、加入してはいないが関心はある」の割合が比較的高く5割を超えていている。



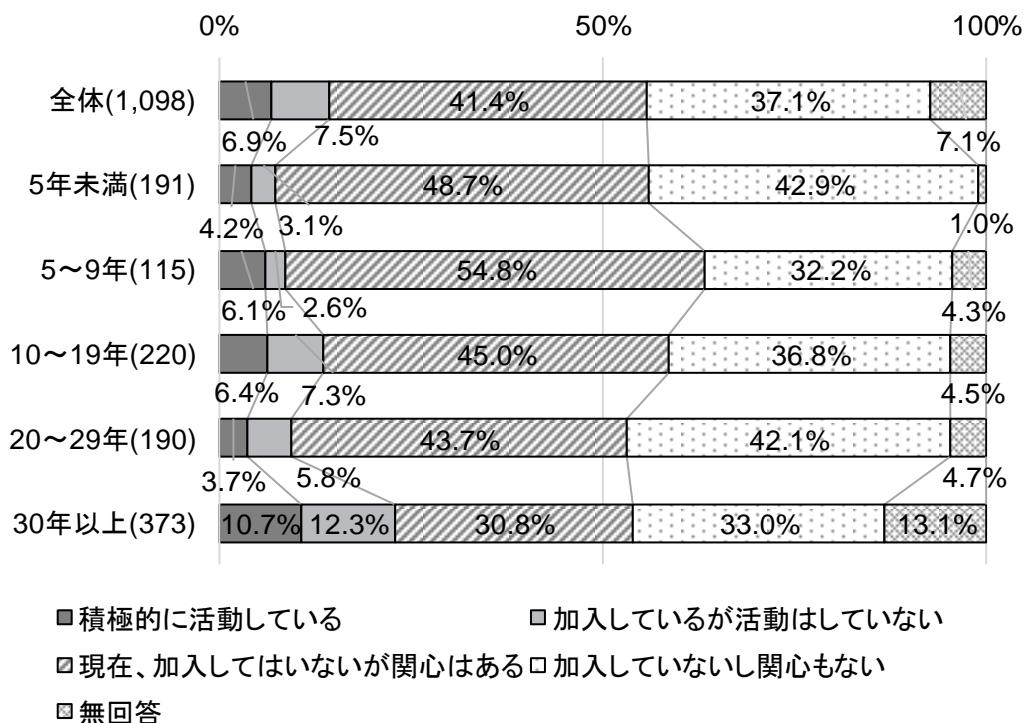
<居住地区>

“A地区”では「積極的に活動している」の割合が比較的高く2割を超えている。



<居住年数>

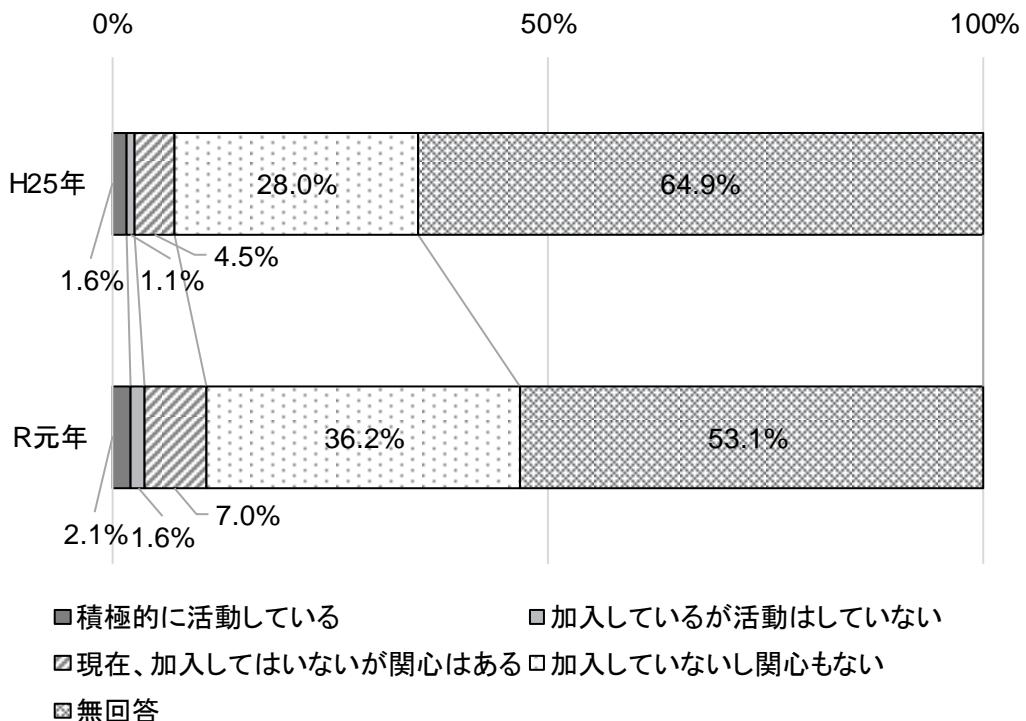
“5～9年”では「現在、加入してはいないが関心はある」の割合が比較的高く5割を超える。



キ その他の活動

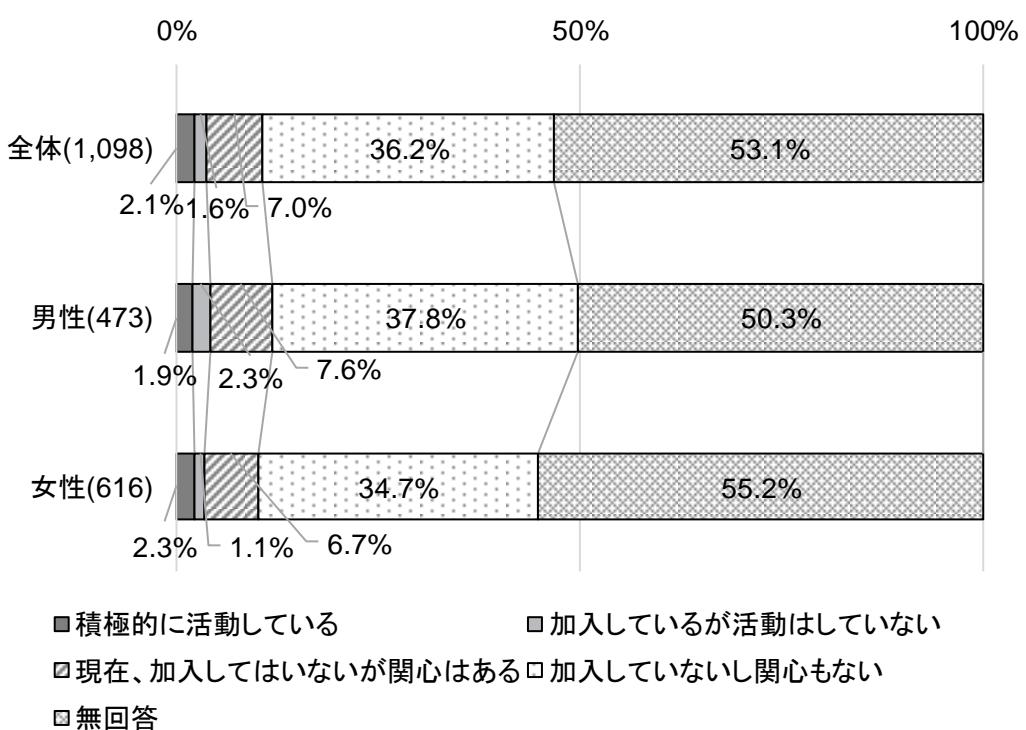
<経年比較>

経年比較での特徴は見られない。



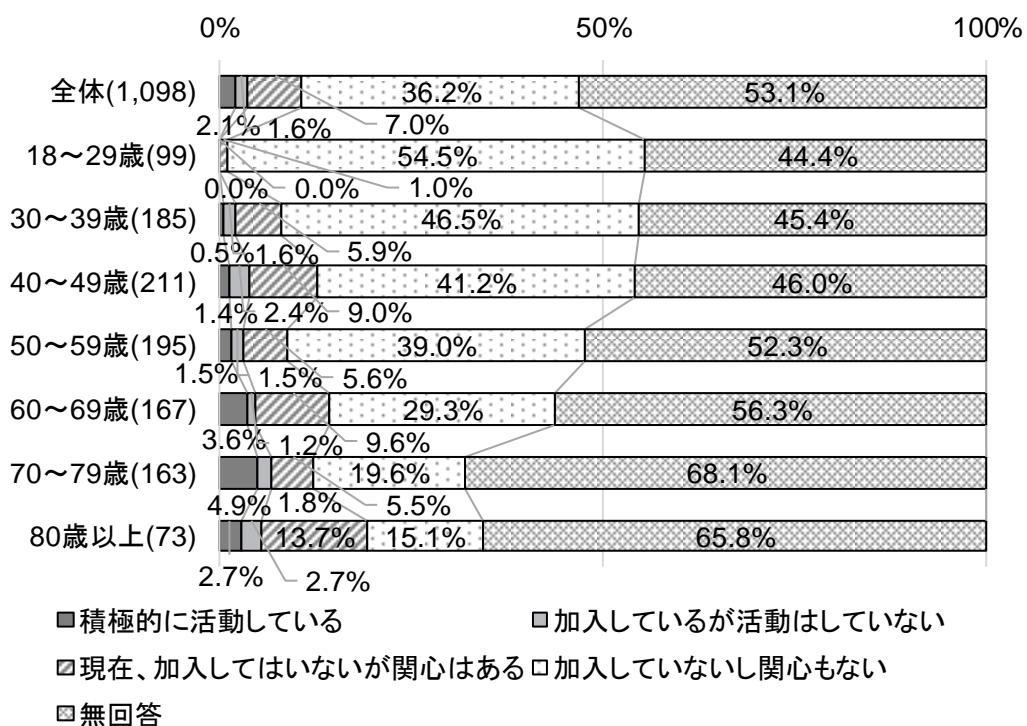
<性別>

性別での特徴は見られない。



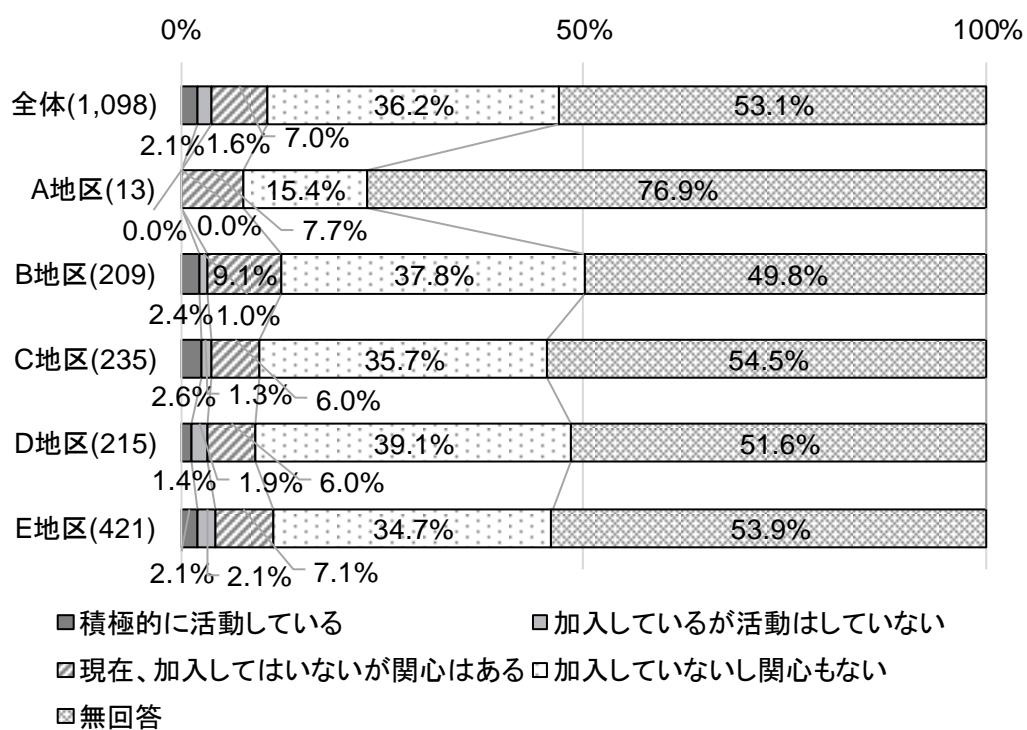
<年代>

“18～29歳”では「加入していないし関心もない」の割合が比較的高く5割を超えていている。



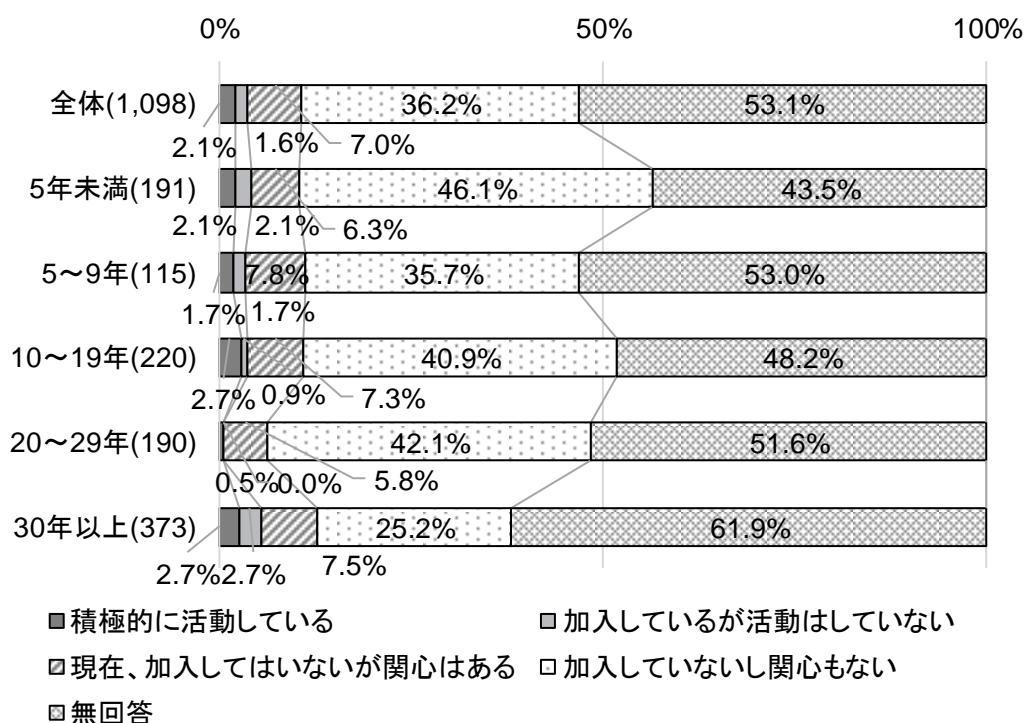
<居住地区>

“A地区”では「加入していないし関心もない」の割合が比較的低く2割を切っている。



<居住年数>

“30年以上”では「加入していないし関心もない」の割合が比較的低く3割を切っている。

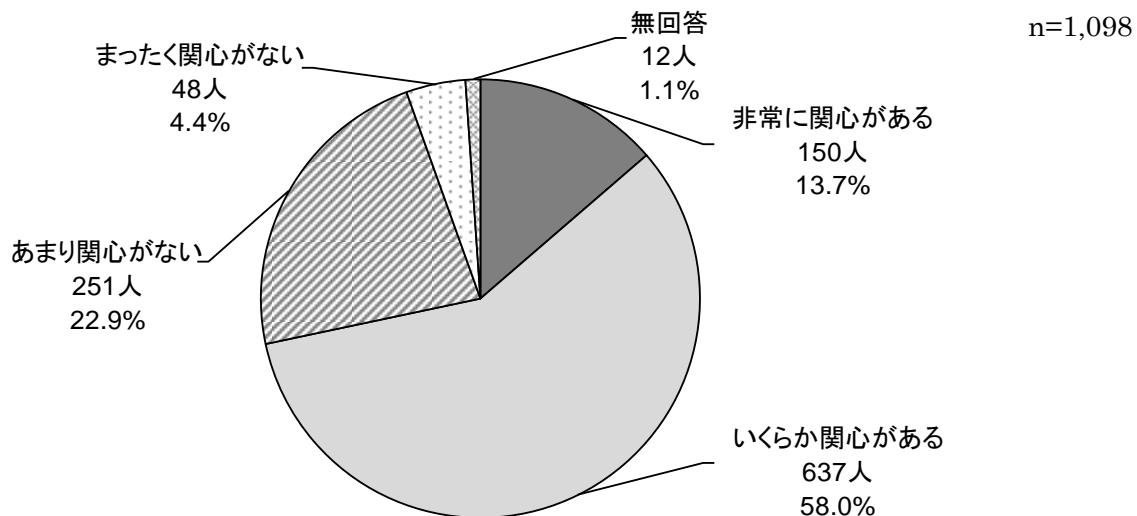


3. 市政について

問6 あなたの市政に対する関心の度合いを次の中から1つ選んでください。

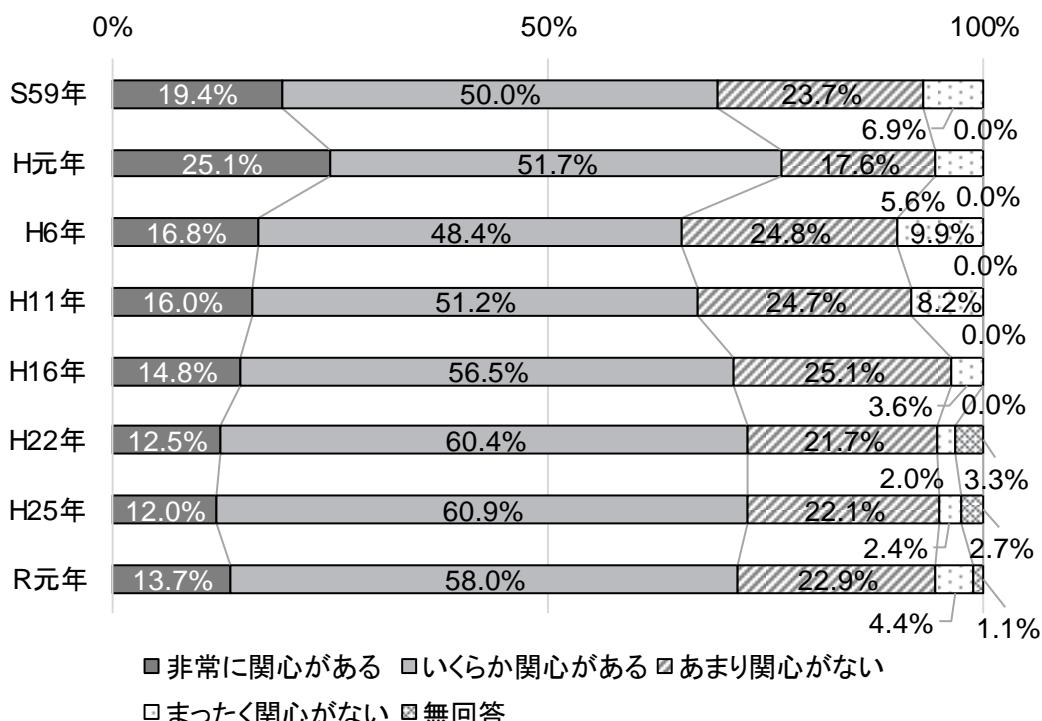
<全体>

市政に対する関心は、「いくらか関心がある」の割合が 58.0%で最も高く、続いて「あまり関心がない」(22.9%)、「非常に関心がある」(13.7%)、「まったく関心がない」(4.4%) となっている。「非常に関心がある」と「いくらか関心がある」を合わせた“関心がある”割合が 7 割を超えている。



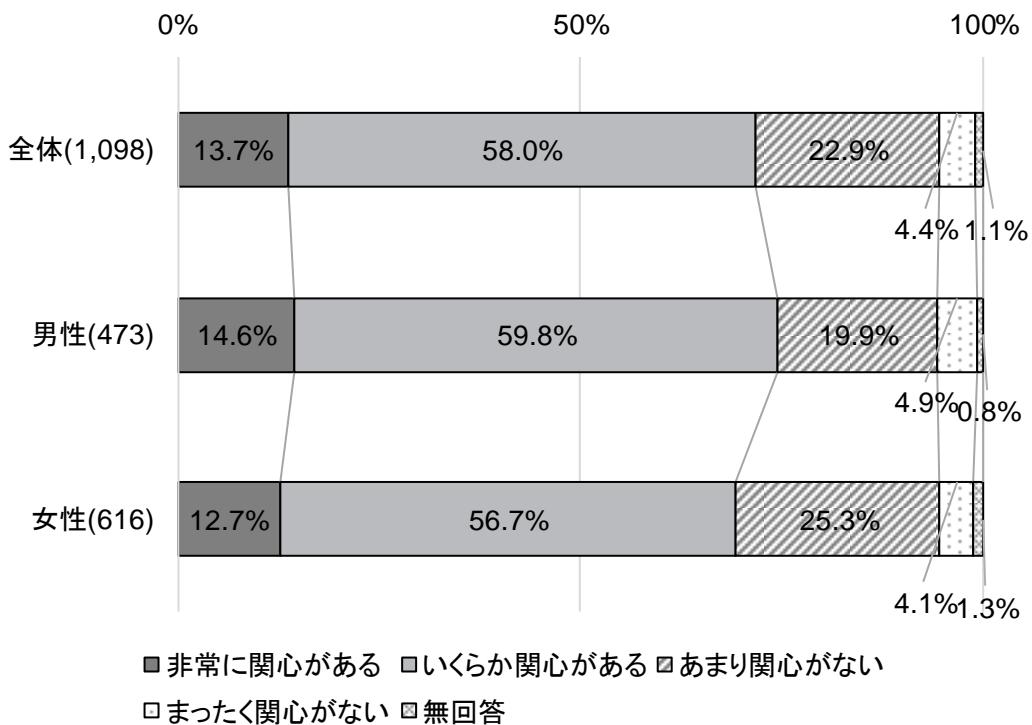
<経年比較>

「非常に関心がある」割合は平成元年以降、減少していたが、令和元年増加に転じている。



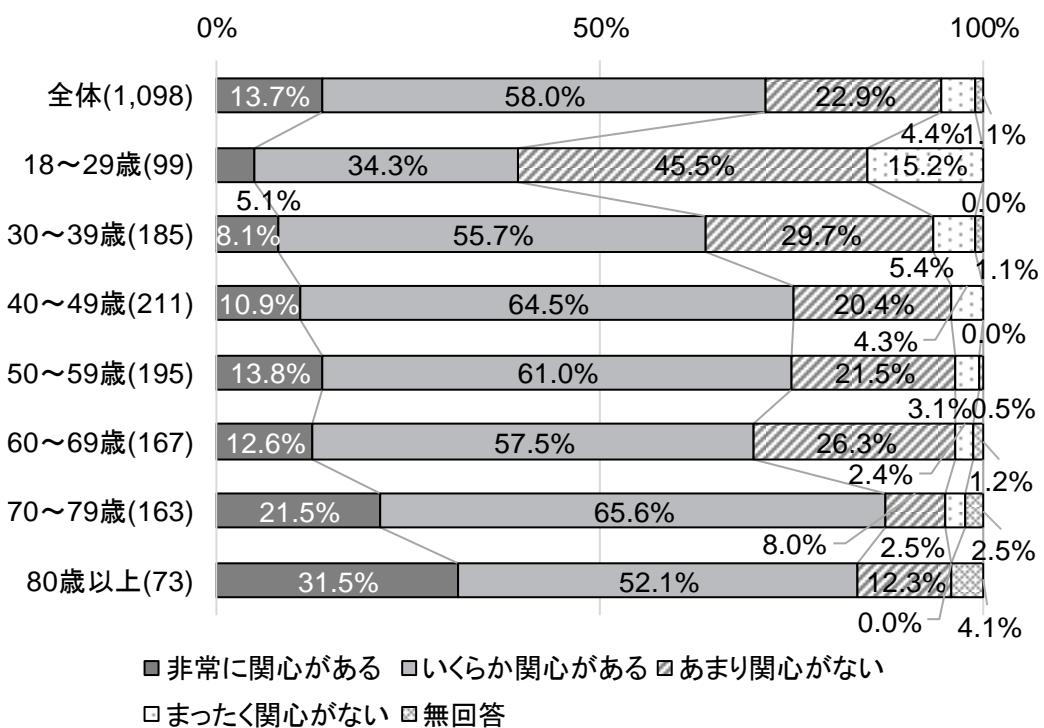
<性別>

性別での特徴は見られない。



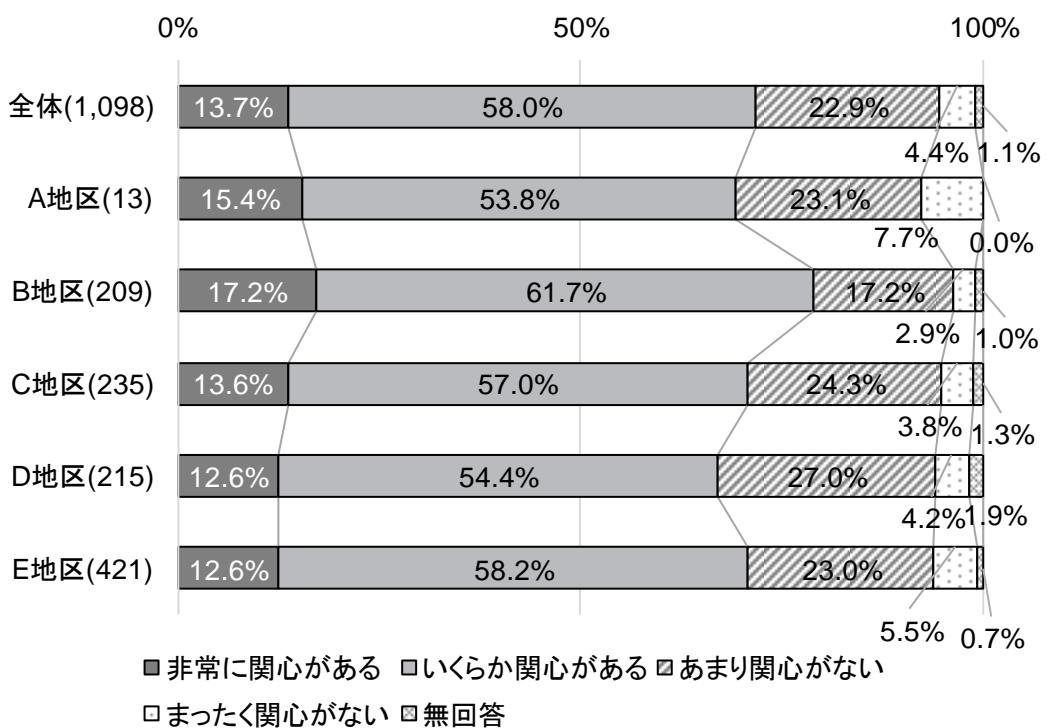
<年代>

年代が高い方が、「非常に関心がある」割合が高くなる傾向にある。



<居住地区>

“D 地区”では「あまり関心がない」の割合が比較的高く 25%を超えてい。

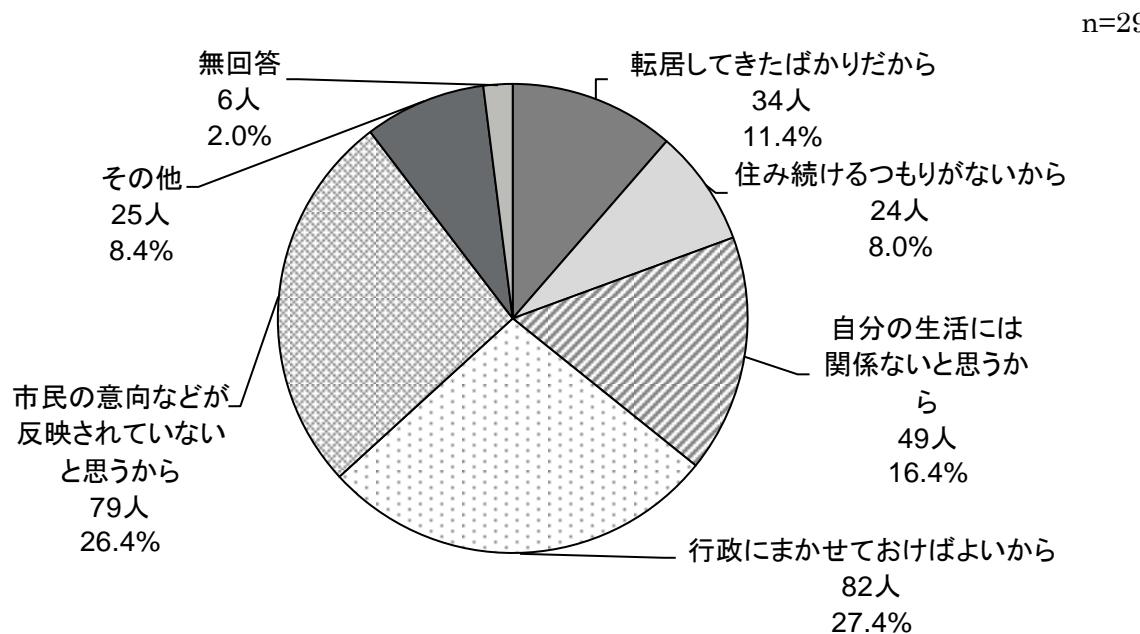


問7 問6で「3 あまり関心がない」「4 まったく関心がない」を選んだ方にお聞きします。
あなたが市政にあまり関心がないのはなぜですか。次の中から1つ選んでください。

<全体>

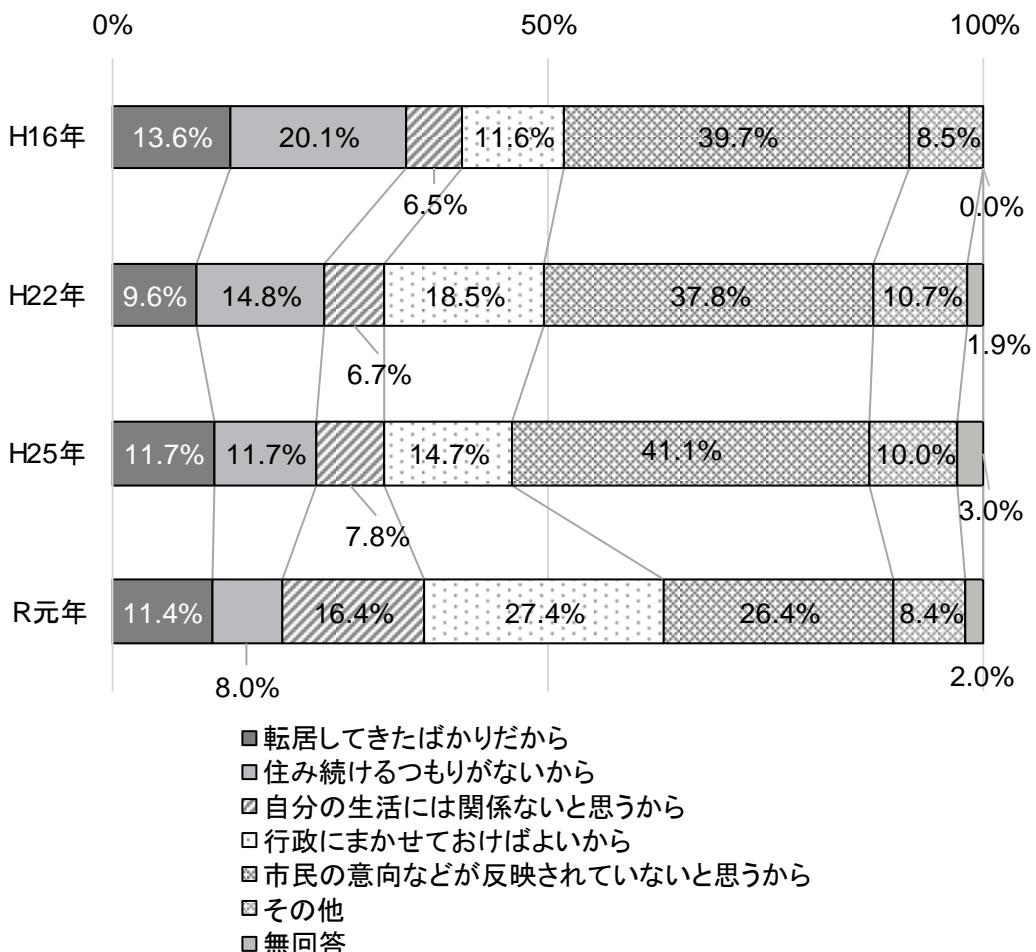
市政に関心がない理由は、「行政にまかせておけばよいから」の割合が27.4%で最も高く、続いて「市民の意向などが反映されていないと思うから」(26.4%)、「自分の生活には関係ないと思うから」(16.4%)、「転居してきたばかりだから」(11.4%)となっている。

「その他」には、「自分の生活に関係している実感がない」、「毎日忙しすぎて考えている暇がない」、「現状に対してあまり不満がない」などの記述があった。



<経年比較>

「住み続けるつもりがないから」の割合は平成 16 年以降、減少している。一方、「自分の生活には関係ないと思うから」の割合は平成 16 年以降、「行政にまかせておけばよいから」の割合は令和元年に、増加に転じている。

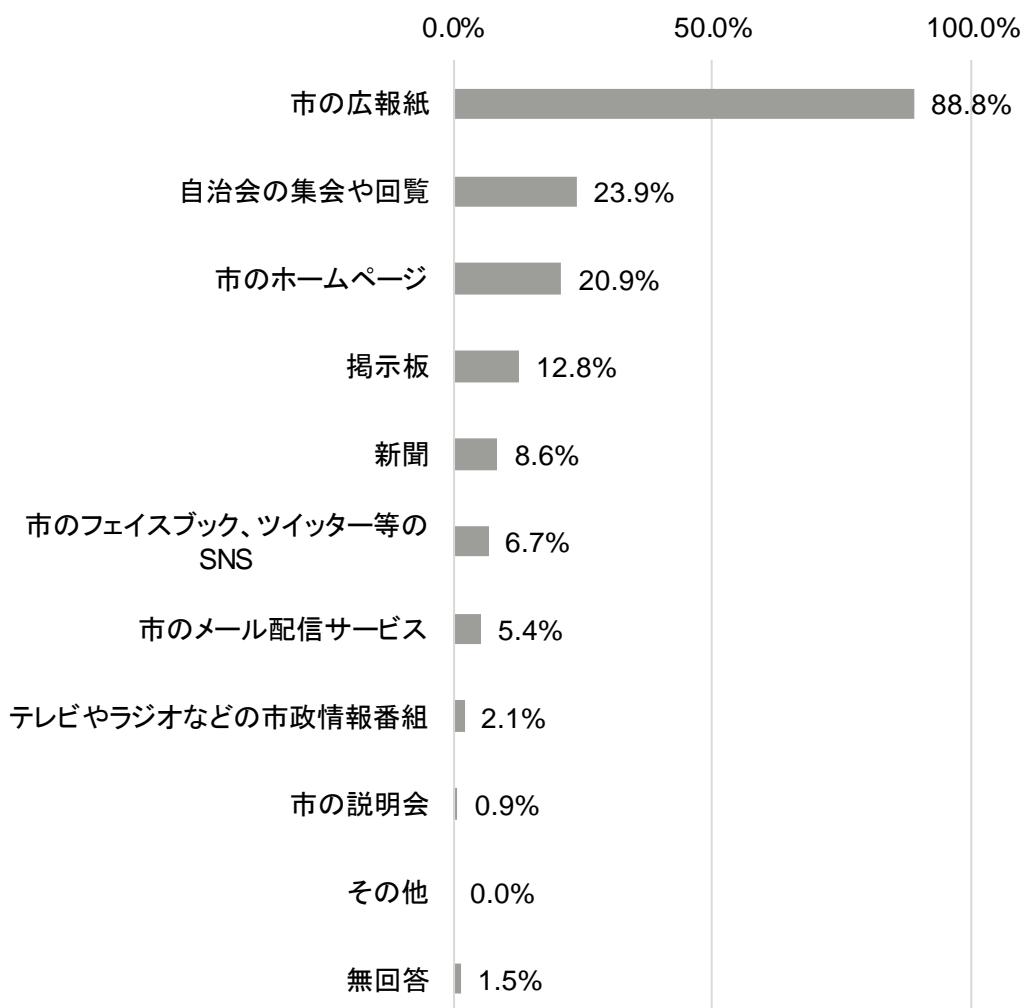


問8 あなたは、普段、市政情報(市が発信する情報、市からのお知らせ)をどのような媒体で入手していますか。次の中からすべて選んでください。

<全体>

市政情報入手媒体は、「市の広報紙」の割合が88.8%で最も高く、続いて「自治会の集会や回覧」(23.9%)、「市のホームページ」(20.9%)、「掲示板」(12.8%)となっている。

n=1,098



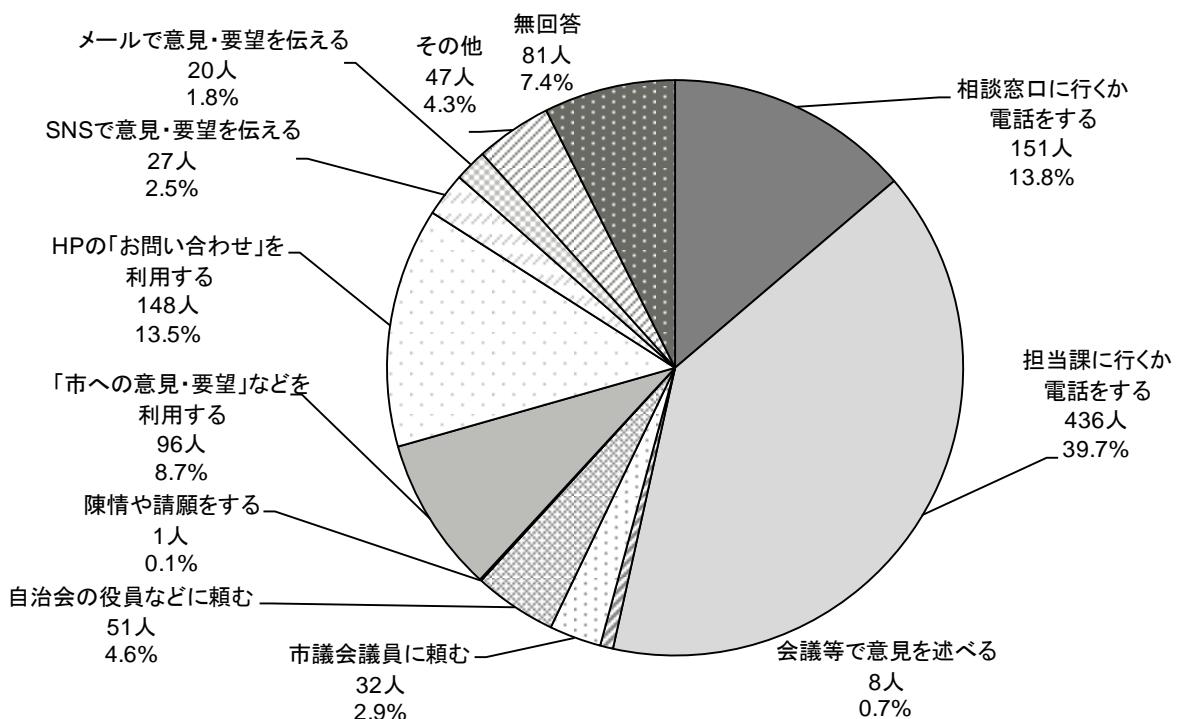
問9 あなたは、意見や要望などを市に伝えたい場合はどのような手段を選びますか。次の中から1つ選んでください。

<全体>

市への意見や要望の伝達手段は、「市役所の担当課へ行くか、または電話をする」割合が39.7%で最も高く、続いて「市が開く各種相談に行くか、または相談窓口に電話をする」(13.8%)、「市のホームページの「お問い合わせ」を利用する」(13.5%)となっている。

「その他」には、「どうしたら良いかわからない」、「窓口に行ったけど、意見を聞いてくれない」、「意見が出来ると思っていませんでした」などの記述があった。

n=1,098



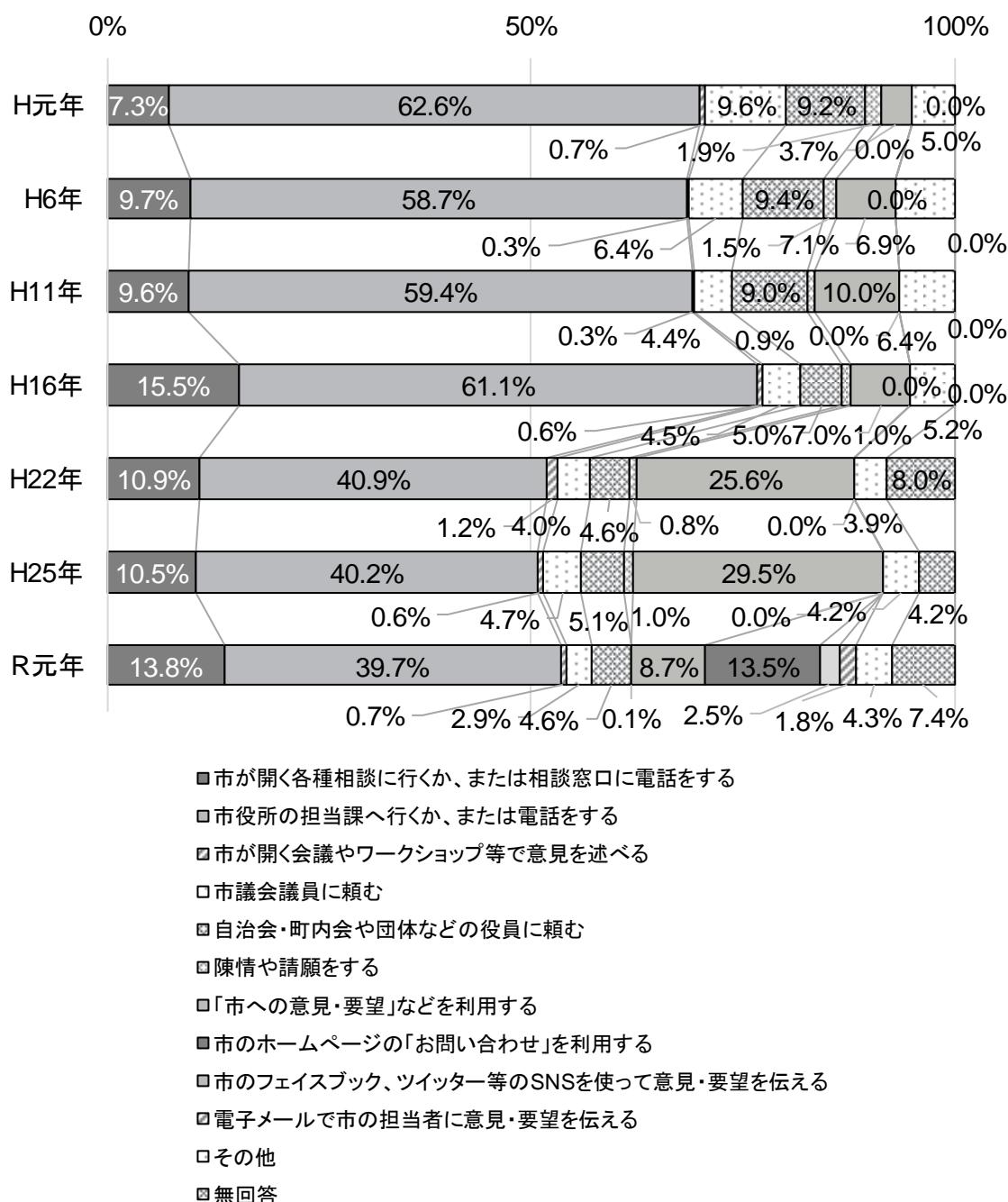
※紙面の関係上、選択肢の文面を一部省略しています。省略した選択肢は下記の通りです。

- ・市が開く各種相談に行くか、または相談窓口に電話をする → 相談窓口に行くか電話をする
- ・市役所の担当課へ行くか、または電話をする → 担当課に行くか電話をする
- ・市が開く会議やワークショップ等で意見を述べる → 会議等で意見を述べる
- ・自治会・町内会や団体などの役員に頼む → 自治会の役員などに頼む
- ・市のホームページの「お問い合わせ」を利用する → HPの「お問い合わせ」を利用する
- ・市のフェイスブック、ツイッター等のSNSを使って意見・要望を伝える
→ SNSで意見・要望を伝える
- ・電子メールで市の担当者に意見・要望を伝える → メールで意見・要望を伝える

＜経年比較＞

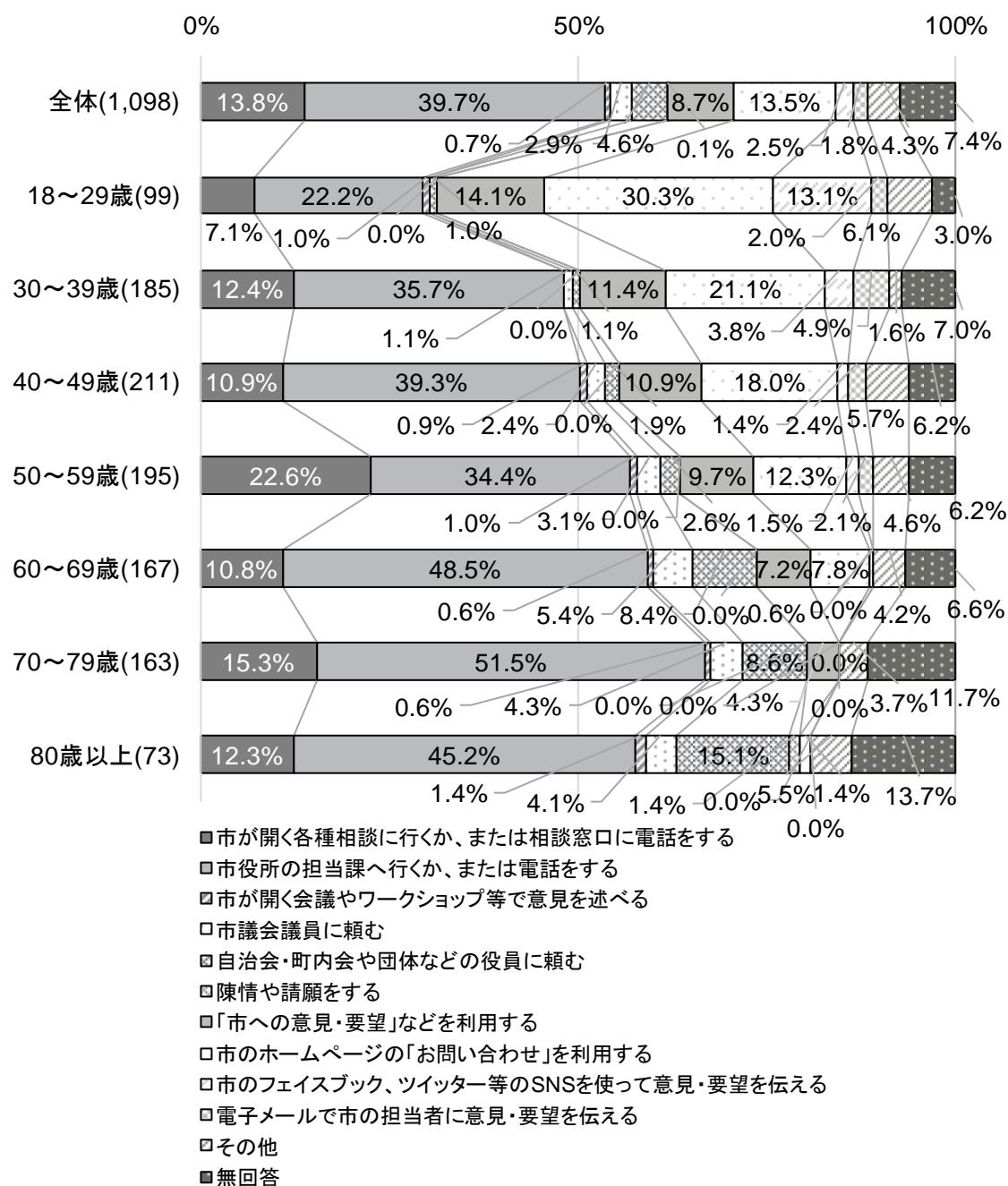
「市が開く各種相談に行くか、または相談窓口に電話をする」の割合は平成 16 年以降、減少していたが、令和元年に増加に転じている。一方、「『市への意見・要望』などを利用する」の割合は平成 16 年以降、増加していたが、令和元年に減少に転じている。

※選択肢「市のホームページの「お問い合わせ」を利用する」、「市のフェイスブック、ツイッター等の SNS を使って意見・要望を伝える」、「電子メールで市の担当者に意見・要望を伝える」は、令和元年に新設している。



<年代>

年代が低い方が、「市のホームページの「お問い合わせ」を利用する」割合が高くなる傾向にある。年代が高い方が、「自治会・町内会や団体などの役員に頼む」割合が高くなる傾向にある。

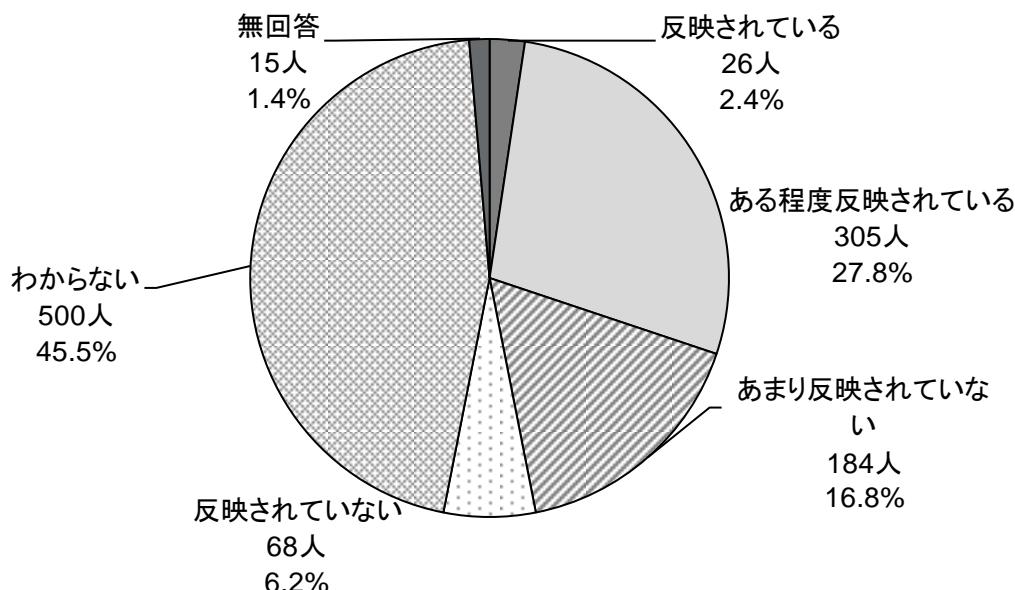


問10 あなたは、ご自身の経験からみて、市民の意見や要望が市政に反映されていると思いますか。次の
中から1つ選んでください。

<全体>

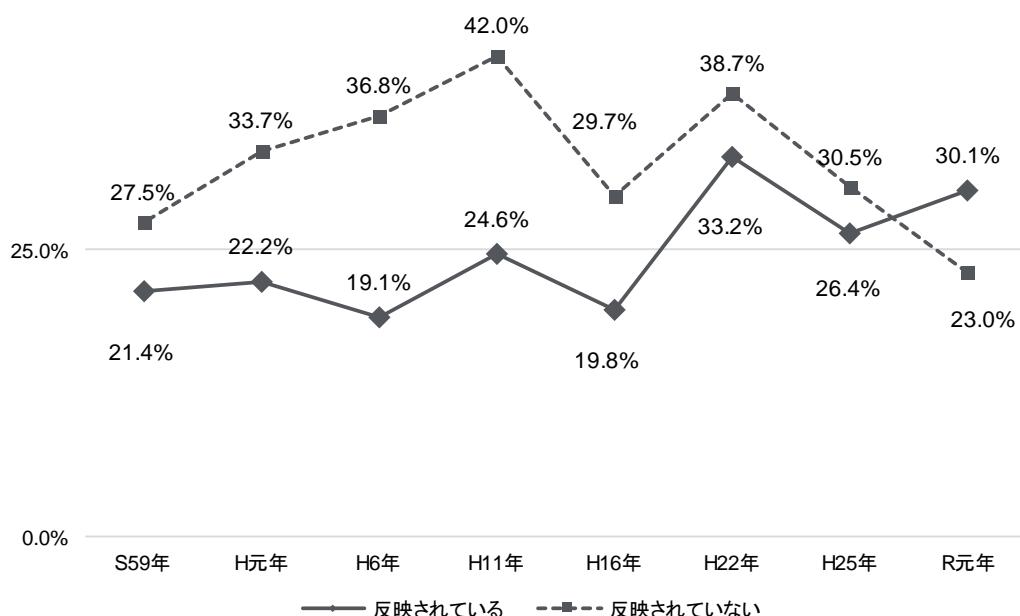
市民の意見や要望が市政に反映されているかどうかについては、「わからない」割合が45.5%で最も高く、続いて「ある程度反映されている」(27.8%)、「あまり反映されていない」(16.8%)、「反映されていない」(6.2%)となっている。

n=1,098



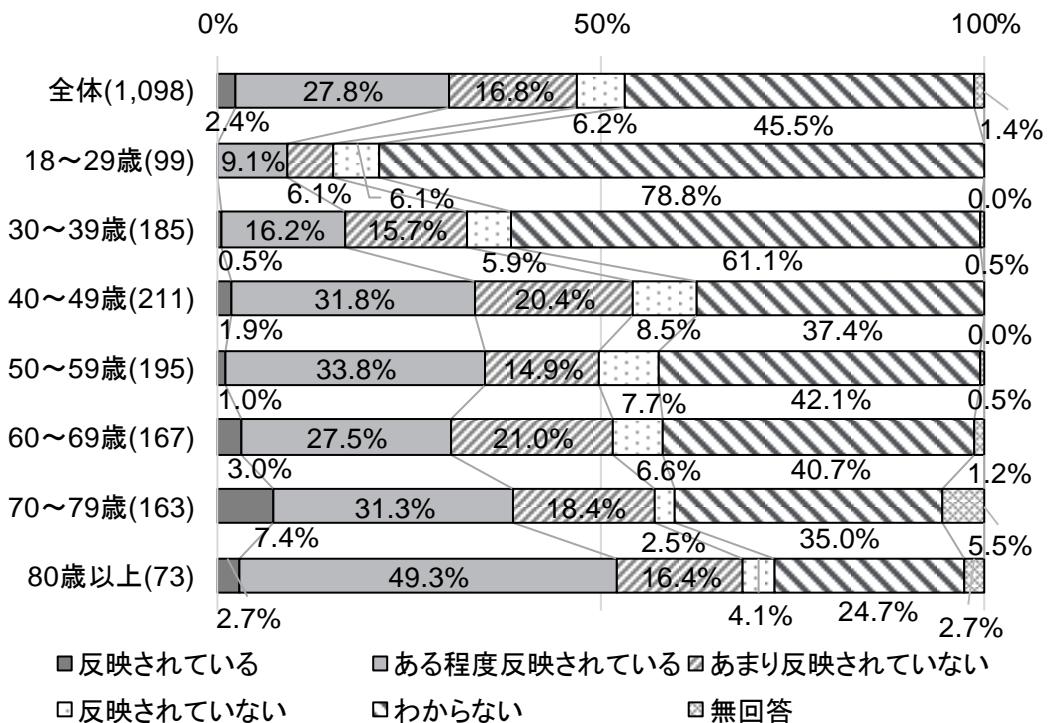
<経年比較>

経年比較では、反映されているか否かの2つの軸で端的に状況を把握できるようにするために、それぞれの意見の差を比較できるよう、経年の横軸グラフで表現している。“反映されていない”が 50.0%



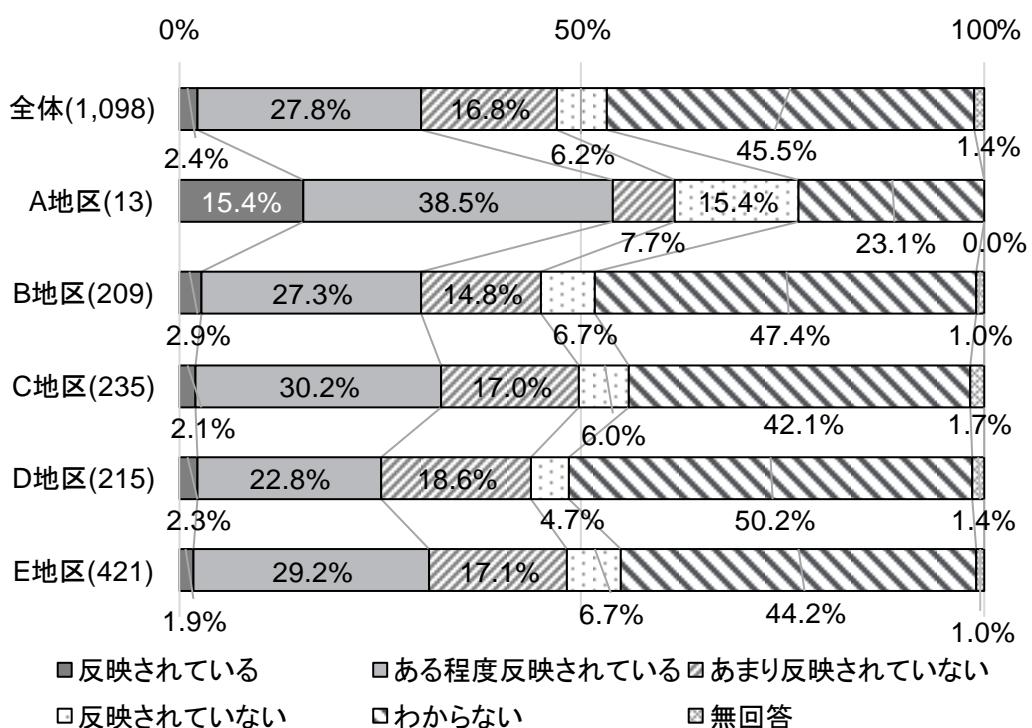
<年代>

年代が高い方が、「ある程度反映されている」割合が高くなる傾向にある。



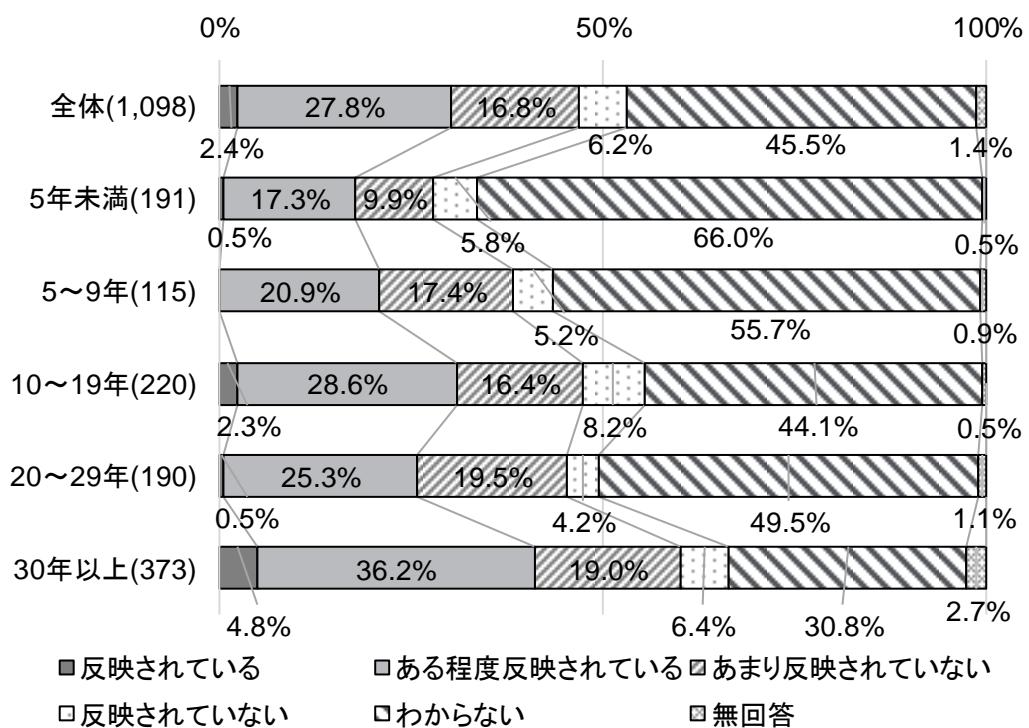
<居住地区>

“A 地区”では「ある程度反映されている」の割合が比較的高く 4 割近くに上っている。



<居住年数>

年数が長い方が、「ある程度反映されている」割合が高くなる傾向にある。

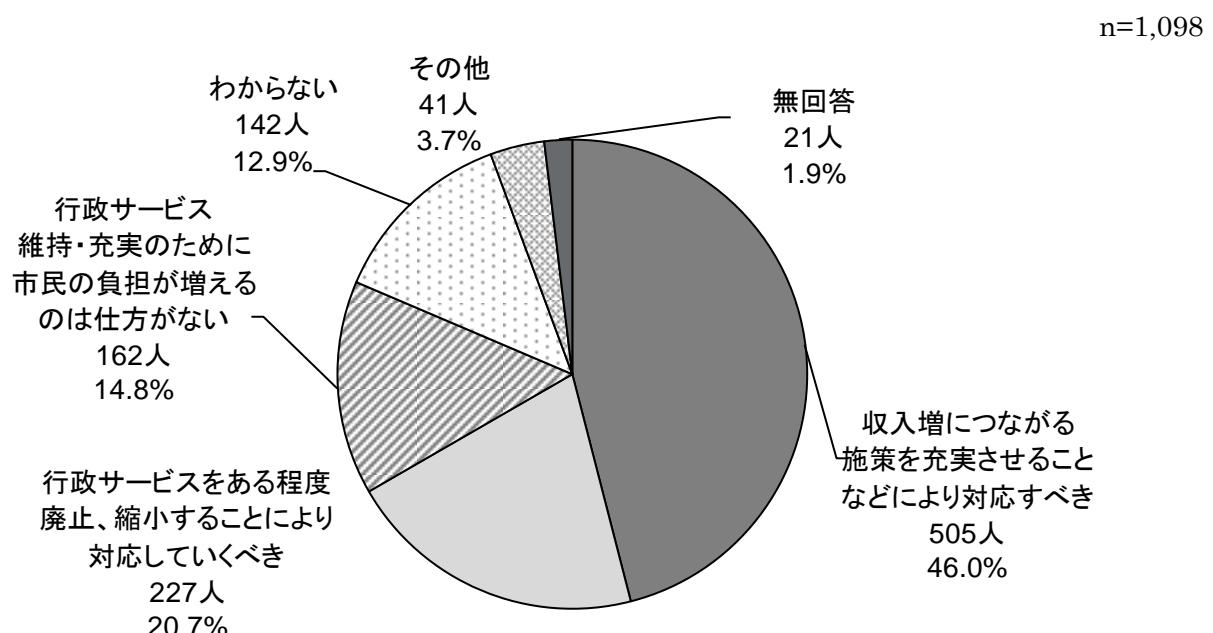


問11 今後、生産年齢人口(15~64歳)の減少により税収減が見込まれるなど、市の財政状況がより厳しくなっていくことも予想されます。市が提供しているサービスの維持・充実について、市の努力により対応できる範囲を超えることがあった場合、今後どのように対応すべきだと思いますか。あなたの考えに近いものを1つ選んでください。

<全体>

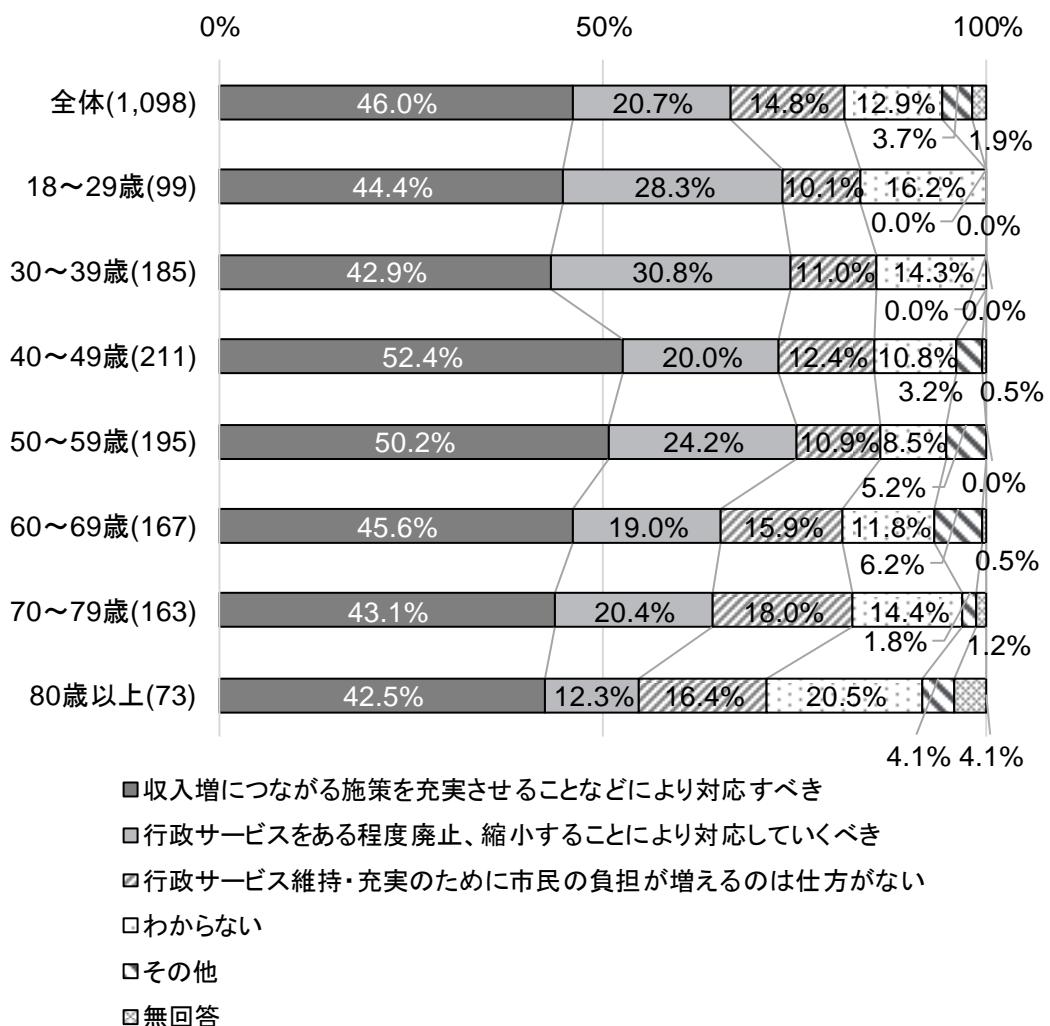
行政サービスの維持・充実の考え方については、「収入増につながる施策を充実させることなどにより対応すべき」の割合が46.0%で最も高く、続いて「行政サービスをある程度廃止、縮小することにより対応していくべき」(20.7%)、「行政サービス維持・充実のために市民の負担が増えるのは仕方がない」(14.8%)、「わからない」(12.9%)となっている。

「その他」には、「市議会議員数の削減など市のムダな支出を抑える」、「都内（職場）へのアクセスが良い点を全面的にアピールし、新たな市民を増やすべき」、「市に頼らない生き方の推進（災害時や自立、健康）」などの記述があった。



<年代>

年代が低い方が、「行政サービスをある程度廃止、縮小することにより対応していくべき」割合が高くなる傾向にある。



4. 市の全般的な取組について

(1) 分野ごとの取組の満足度・重要度

問 12 以下に示す分野ごとの取組(1~29)について、それぞれどのように感じていますか。次の項目ごとに、当てはまる番号を1つずつ選んでください。

第5次朝霞市総合計画前期基本計画の分野ごとの取組29項目のそれぞれについて、満足度と重要度の調査を行った。

<満足度・全体>

「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた高い割合になっているのは、「ごみ処理」(71.2%)、「市街地整備」(55.7%)、「保健・医療」(52.7%)の3項目で、5割を超えている。

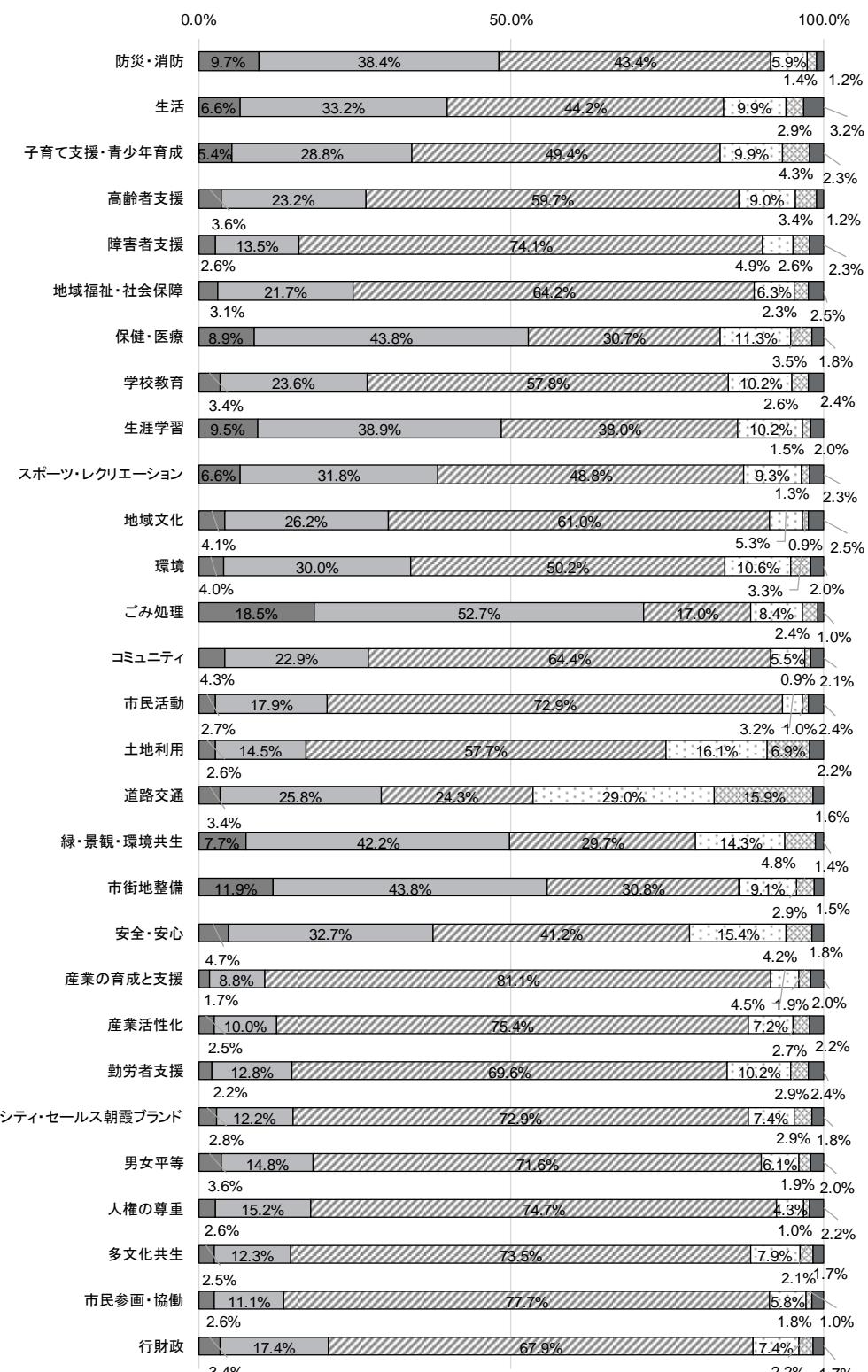
また、「やや不満である」と「不満である」を合わせて5割を超えているものは無く、高い割合となっているのは「道路交通」(44.9%)、「土地利用」(23.0%)である。

<重要度・全体>

「重要である」と「どちらかといえば重要である」を合わせた高い割合になっているのは、「ごみ処理」(90.3%)、「防災・消防」(89.2%)、「保健・医療」(87.1%)、「安全・安心」(84.5%)、「生活」(84.2%)、「道路交通」(84.0%)、「市街地整備」(83.6%)、「子育て支援・青少年育成」(81.5%)、「高齢者支援」(80.9%)、「学校教育」(80.2%)の10項目で、8割を超えている。

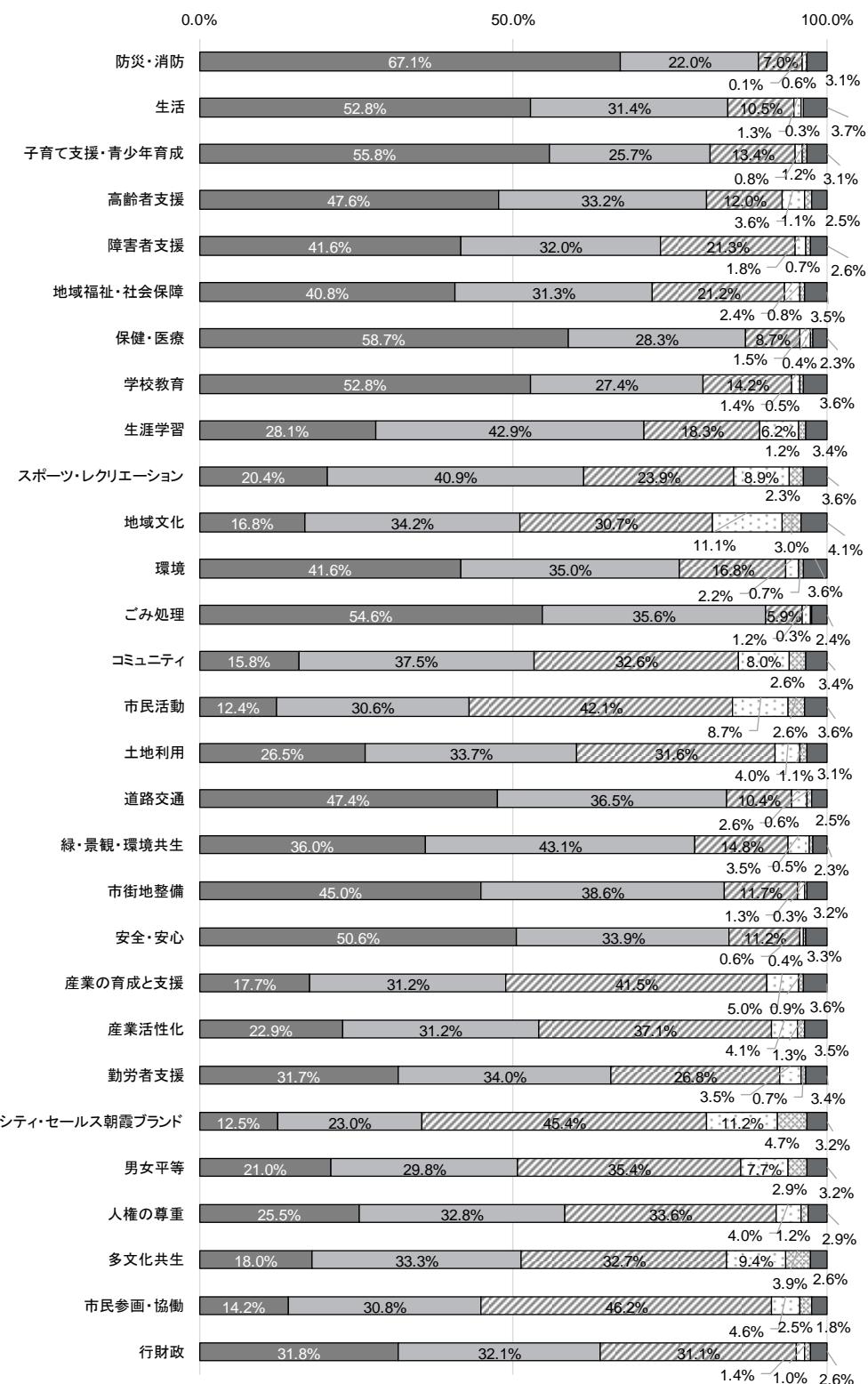
また、「あまり重要でない」と「重要でない」を合わせて1割を超えている項目は、「シティ・セールス朝霞ブランド」(15.9%)、「地域文化」(14.1%)、「多文化共生」(13.3%)、「市民活動」(11.4%)、「スポーツ・レクリエーション」(11.2%)、「コミュニティ」(10.7%)、「男女平等」(10.6%)の7項目である。

<満足度>



■満足している □ある程度満足している □わからない □やや不満である □不満である ■無回答

<重要度>



■重要である □どちらかといえば重要である □わからない □あまり重要でない □重要でない □無回答

(2)市民の施策満足度・重要度(加重平均)

満足度と重要度の相関関係をマトリクス（散布図）で表した。

5ページに示すとおりの方法で調査結果をポイント化したところ、満足度は「土地利用」、「道路交通」を除き、重要度はすべてプラスの評価であった。

ポートフォリオのマトリクス（散布図）では、縦軸は「重要度」、横軸は「満足度」を表しており、2本の補助線は、それぞれ「重要度」の全項目（29項目）の平均値と、「満足度」の全項目（29項目）の平均値の位置を示している。

なお、4つの区切りのタイプは、以下のとおりである。

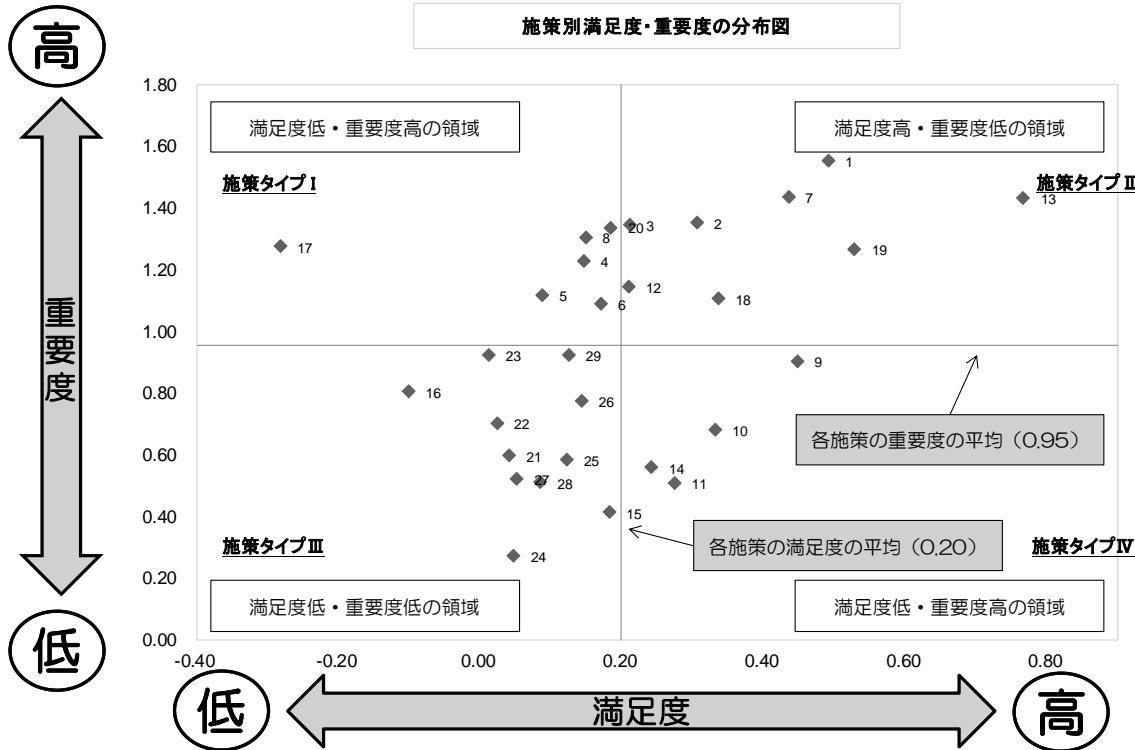
施策タイプI・・・「重要度」が平均値以上で、「満足度」は平均値以下のもの

施策タイプII・・・「重要度」が平均値以上で、「満足度」も平均値以上のもの

施策タイプIII・・・「重要度」が平均値以下で、「満足度」も平均値以下のもの

施策タイプIV・・・「重要度」が平均値以下で、「満足度」は平均値以上のもの

「重要度」	「満足度」の全項目の平均値
<p><u>施策タイプI</u></p> <p>今後の重要度が高いが、現在の満足度が低いため、 力を入れて取り組むべき項目</p>	<p><u>施策タイプII</u></p> <p>今後の重要度が高いが、現在の満足度も高いため、 現状維持を図るべき項目</p>
<p>現在の満足度が低いが、今後の重要度も低いため、 状況に応じて取り組むべき項目</p>	<p><u>「重要度」の全項目の平均値</u></p> <p>現在の満足度が高く、今後の重要度は低いため、 水準の維持は求められるが、市民からみた優先度は高くない項目</p>
<p><u>施策タイプIII</u></p>	<p><u>施策タイプIV</u></p>



		満足度	重要度
1	防災・消防	0.49	1.55
2	生活	0.31	1.35
3	子育て支援・青少年育成	0.21	1.35
4	高齢者支援	0.15	1.23
5	障害者支援	0.09	1.12
6	地域福祉・社会保障	0.17	1.09
7	保健・医療	0.43	1.44
8	学校教育	0.15	1.31
9	生涯学習	0.45	0.90
10	スポーツ・レクリエーション	0.33	0.68
11	地域文化	0.27	0.51
12	環境	0.21	1.15
13	ごみ処理	0.77	1.43
14	コミュニティ	0.24	0.56
15	市民活動	0.18	0.41
16	土地利用	-0.10	0.81
17	道路交通	-0.28	1.28
18	緑・景観・環境共生	0.34	1.11
19	市街地整備	0.53	1.27
20	安全・安心	0.18	1.34
21	産業の育成と支援	0.04	0.60
22	産業活性化	0.02	0.70
23	勤労者支援	0.01	0.92
24	シティ・セールス朝霞ブランド	0.05	0.27
25	男女平等	0.12	0.58
26	人権の尊重	0.14	0.77
27	多文化共生	0.05	0.52
28	市民参画・協働	0.08	0.51
29	行財政	0.12	0.92
平均		0.20	0.95

<満足度・年代>

“18～29 歳”では「生活」、“40～49 歳”と“50～59 歳”と“60～69 歳”と“70～79 歳”と“80 歳以上”では「保健・医療」が上位 5 項目に入っている。

<重要度・年代>

“18～29 歳”と“30～39 歳”と“60～69 歳”では「学校教育」、“40～49 歳”、“50～59 歳”、“60～69 歳”、“70～79 歳”、“80 歳以上”では「ごみ処理」が上位 5 項目に入っている。

<満足度・居住地区>

“A 地区”では「コミュニティ」、“D 地区”では「生活」が上位 5 項目に入っている。

<重要度・居住地区>

“A 地区”では「道路交通」、“B 地区”では「安全・安心」、“C 地区”と“D 地区”と“E 地区”では「子育て支援・青少年育成」、「生活」が上位 5 項目に入っている。

満足度<全体>



重要度<全体>



満足度<18~29歳>



重要度<18~29歳>



満足度<30~39歳>



重要度<30~39歳>



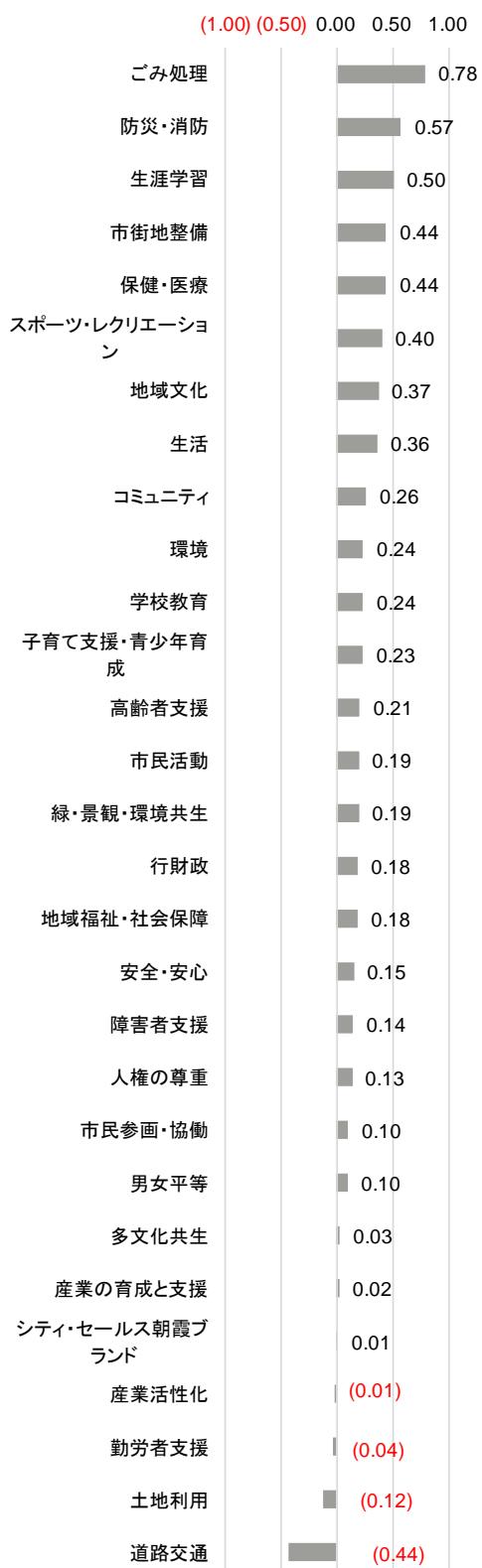
満足度<40~49 歳>



重要度<40~49 歳>



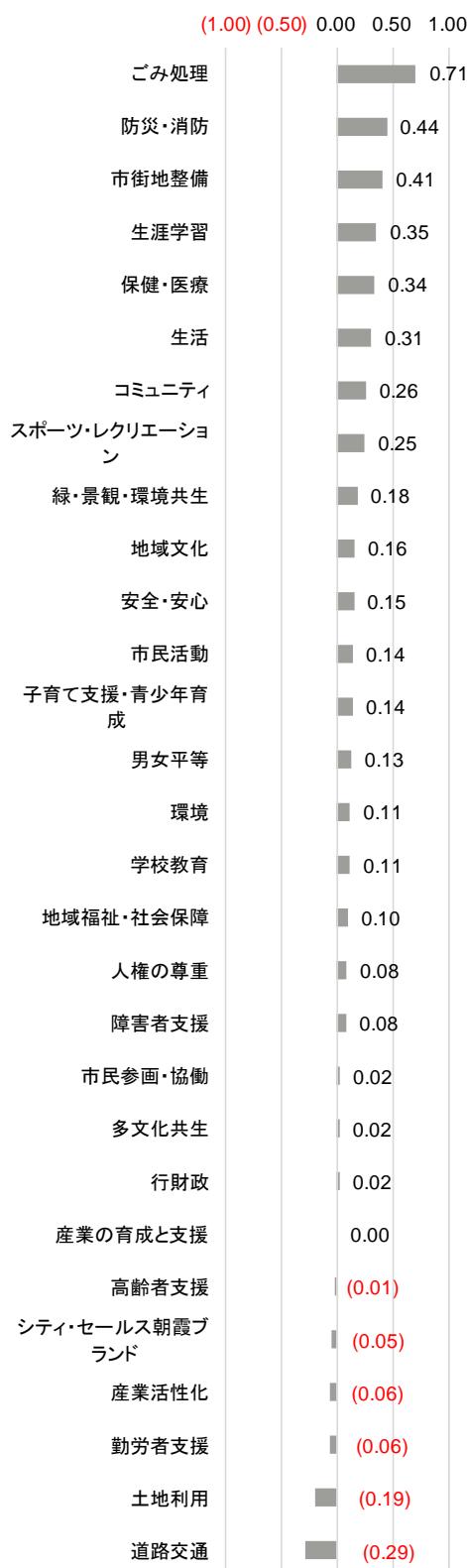
満足度<50~59歳>



重要度<50~59歳>

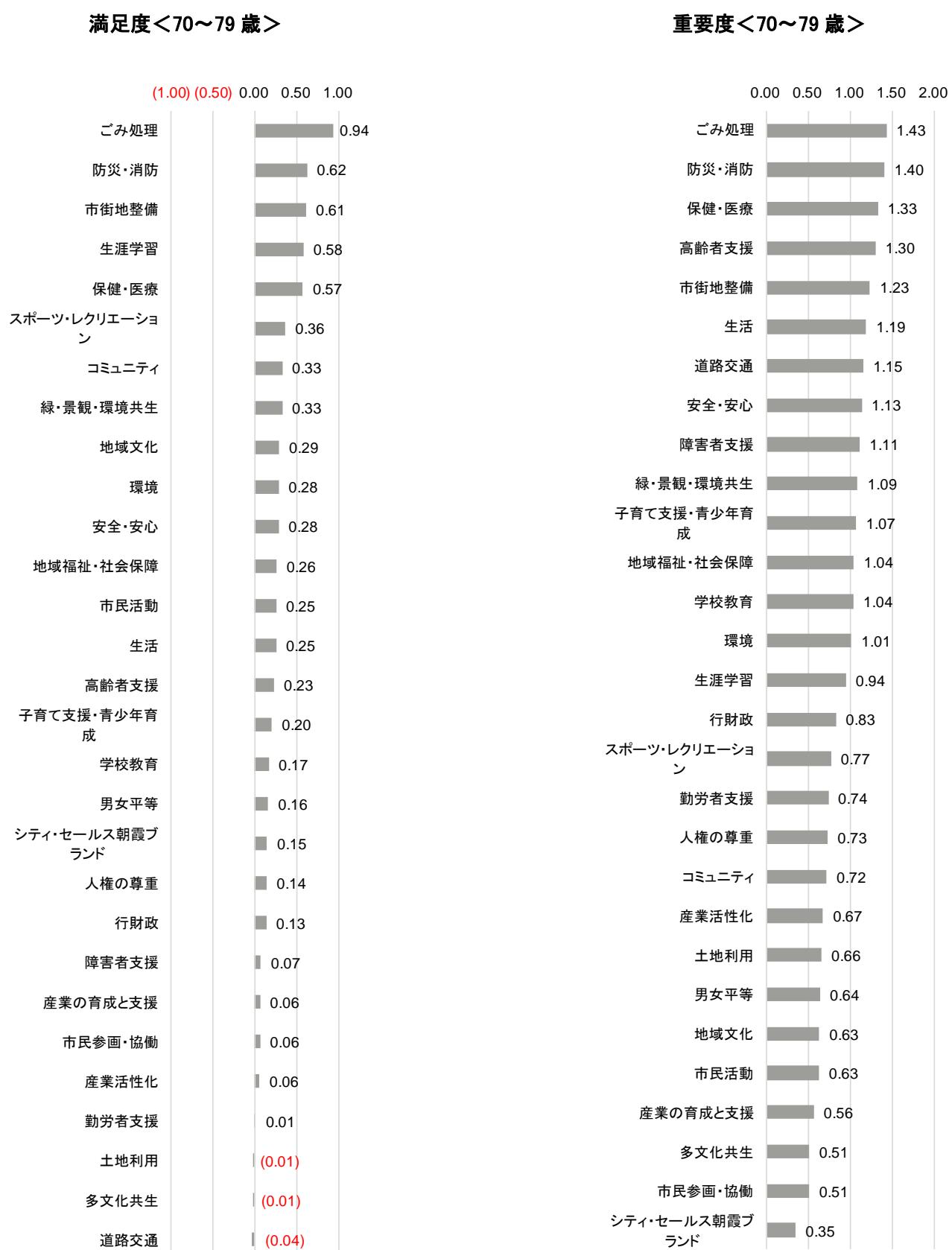


満足度<60~69 歳>



重要度<60~69 歳>





満足度<80歳以上>



重要度<80歳以上>



満足度<A 地区>



重要度<A 地区>



満足度<B 地区>



重要度<B 地区>



満足度<C 地区>



重要度<C 地区>



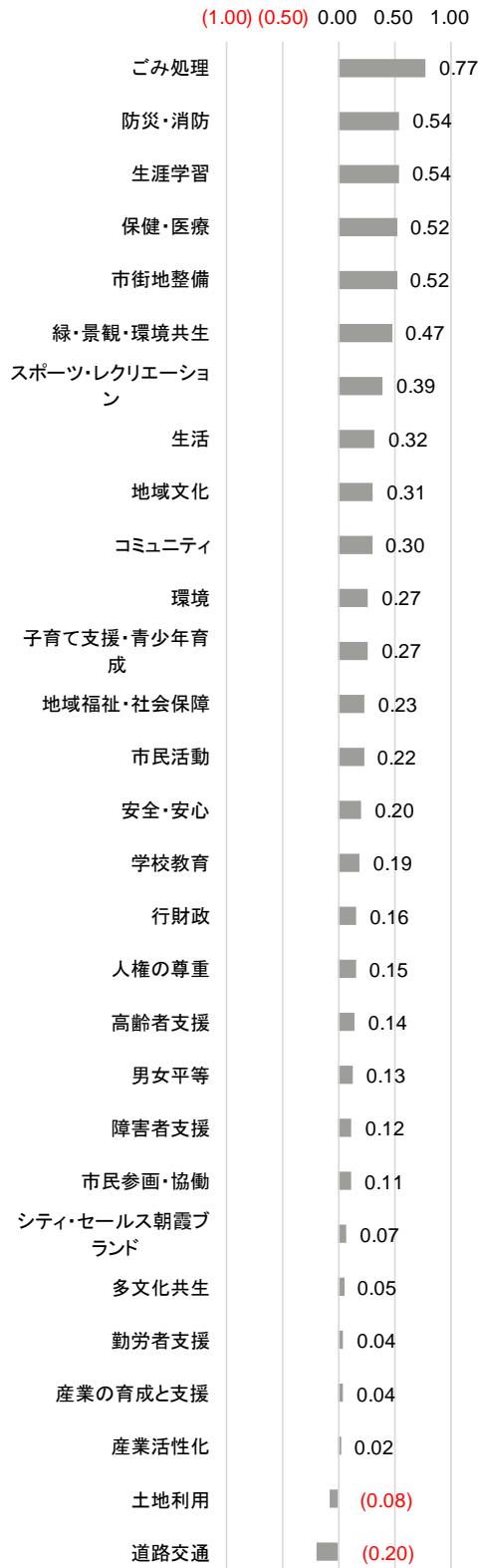
満足度<D 地区>



重要度<D 地区>



満足度<E 地区>



重要度<E 地区>



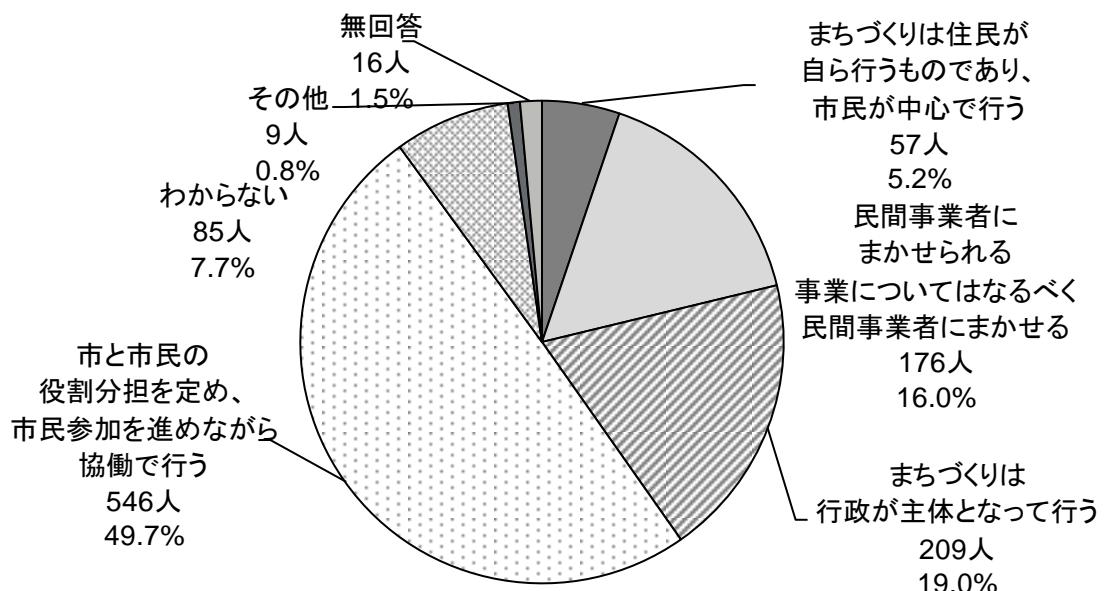
5. まちづくりへの市民の参加について

問 13 まちづくりの役割分担に関して、あなたの考えにもっとも近いものを、次の中から 1 つ選んでください。

<全体>

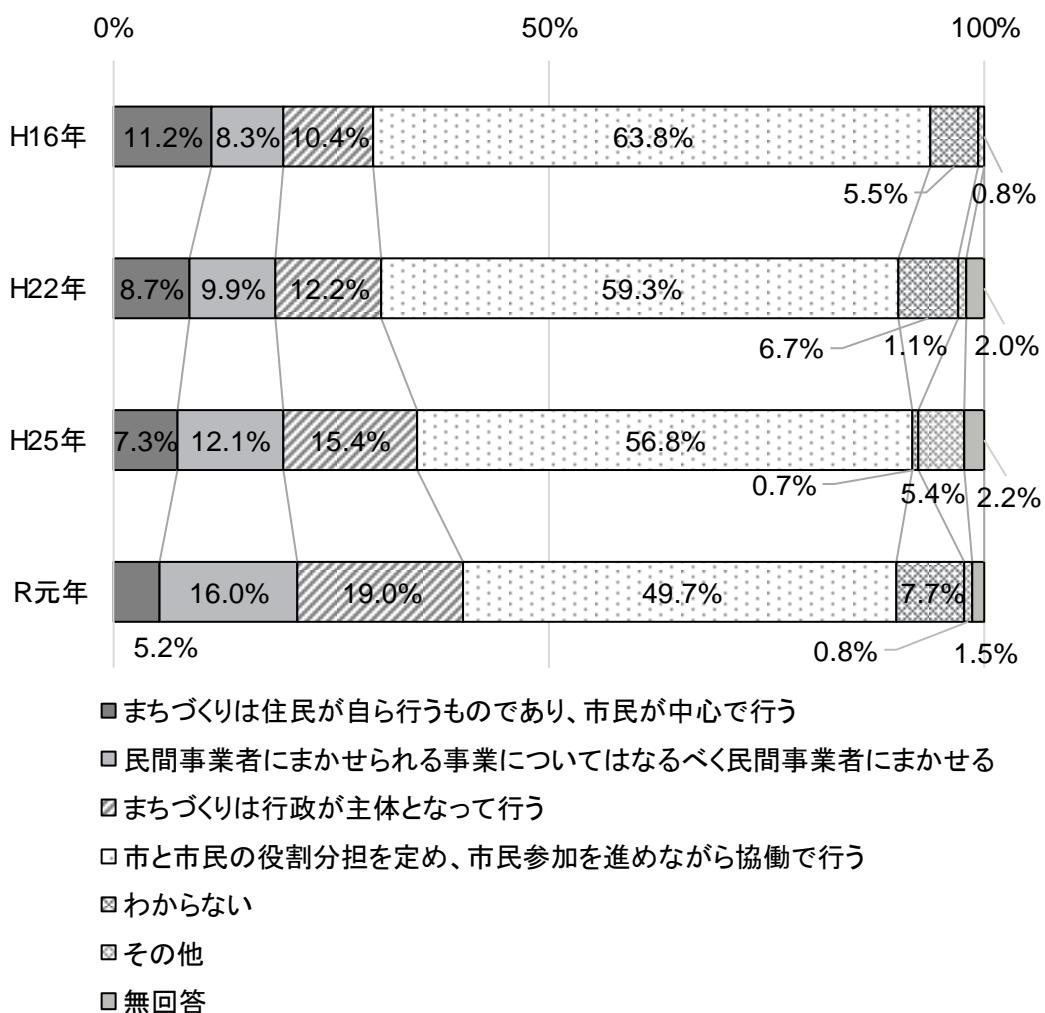
まちづくりの役割分担は、「市と市民の役割分担を定め、市民参加を進めながら協働で行う」の割合が 49.7% で最も高く、続いて「まちづくりは行政が主体となって行う」(19.0%)、「民間事業者にまかせられる事業についてはなるべく民間事業者にまかせる」(16.0%)、「まちづくりは住民が自ら行うものであり、市民が中心で行う」(5.2%) となっている。

n=1,098



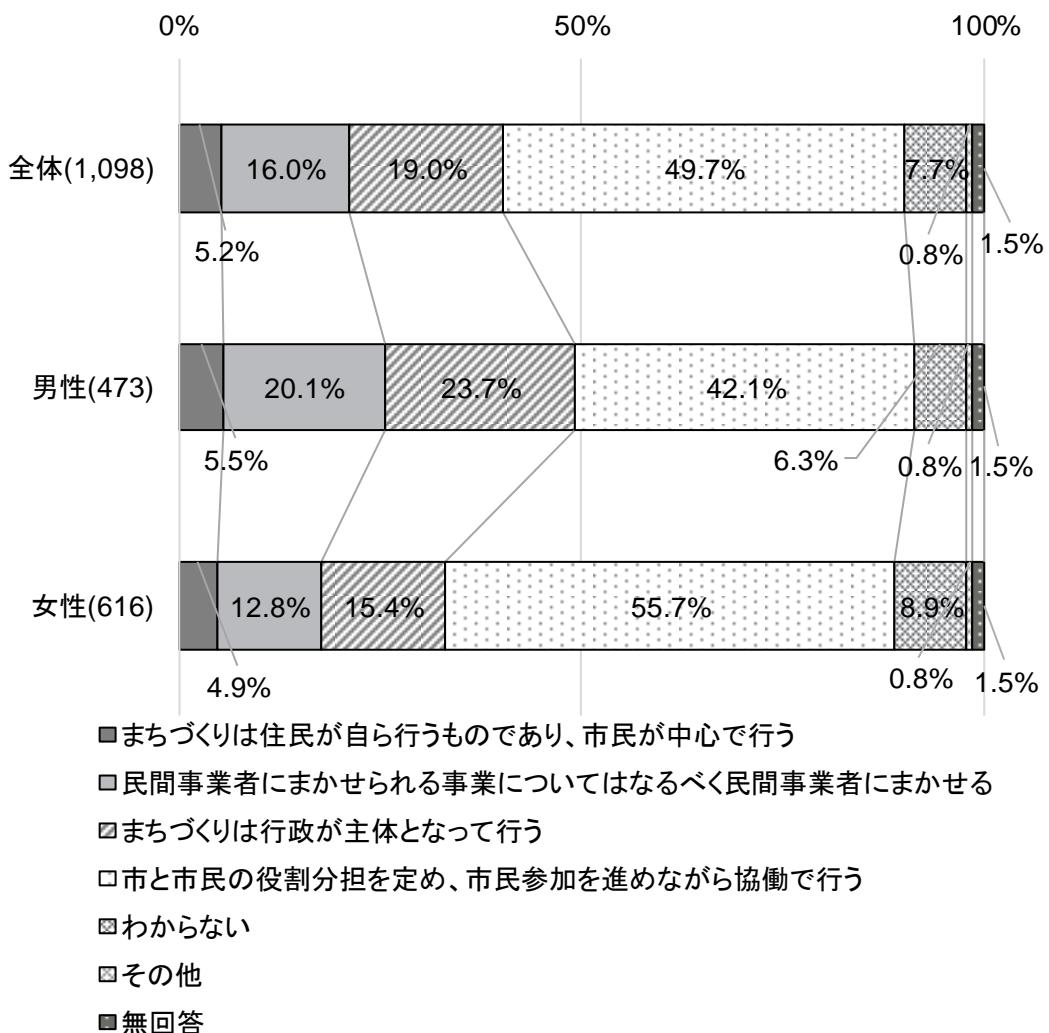
＜経年比較＞

「民間事業者にまかせられる事業についてはなるべく民間事業者にまかせる」、「まちづくりは行政が主体となって行う」割合は、平成 16 年以降、増加している。一方、「まちづくりは住民が自ら行うものであり、市民が中心で行う」、「市と市民の役割分担を定め、市民参加を進めながら協働で行う」割合は、平成 16 年以降、減少している。



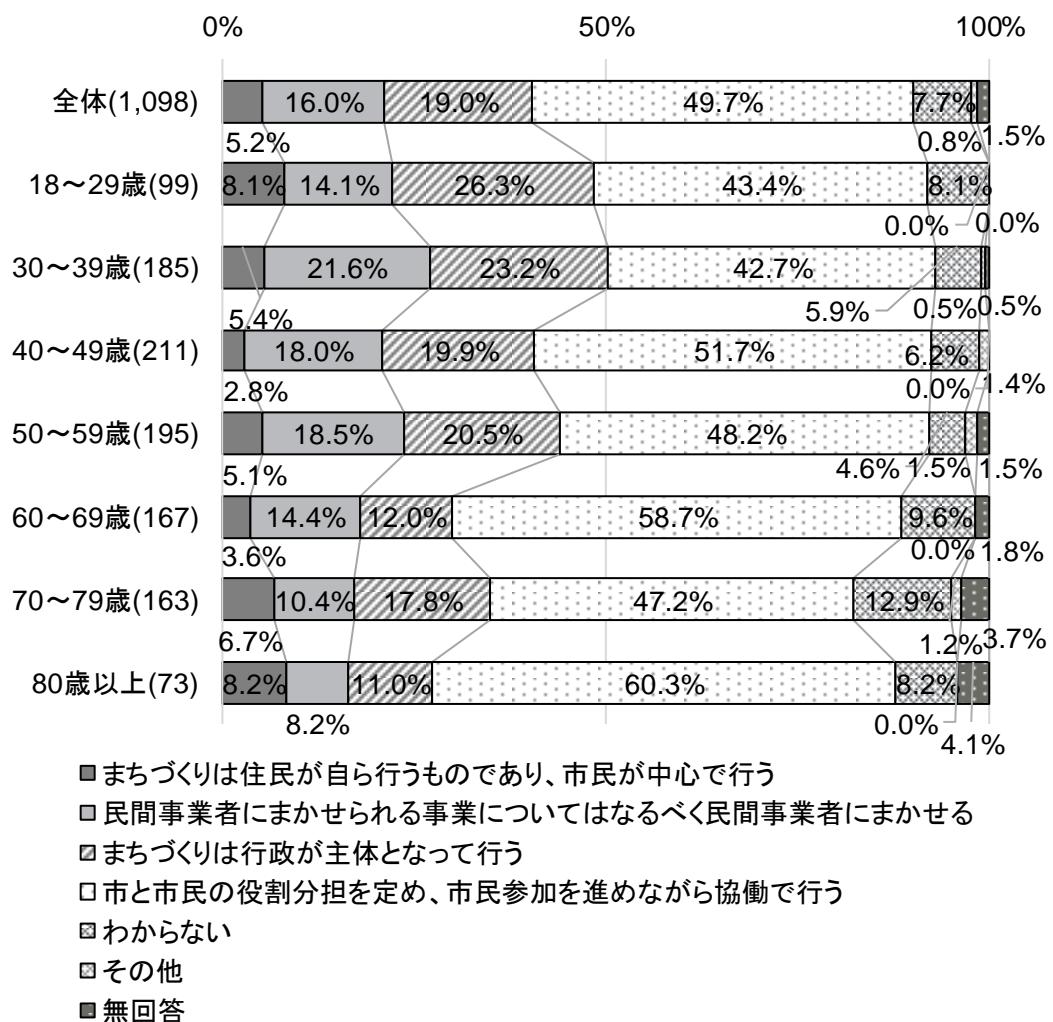
<性別>

男性の方が、「民間事業者にまかせられる事業についてはなるべく民間事業者にまかせる」、「まちづくりは行政が主体となって行う」割合が高い一方で、女性の方が、「市と市民の役割分担を決め、市民参加を進めながら協働で行う」割合が高い。



<年代>

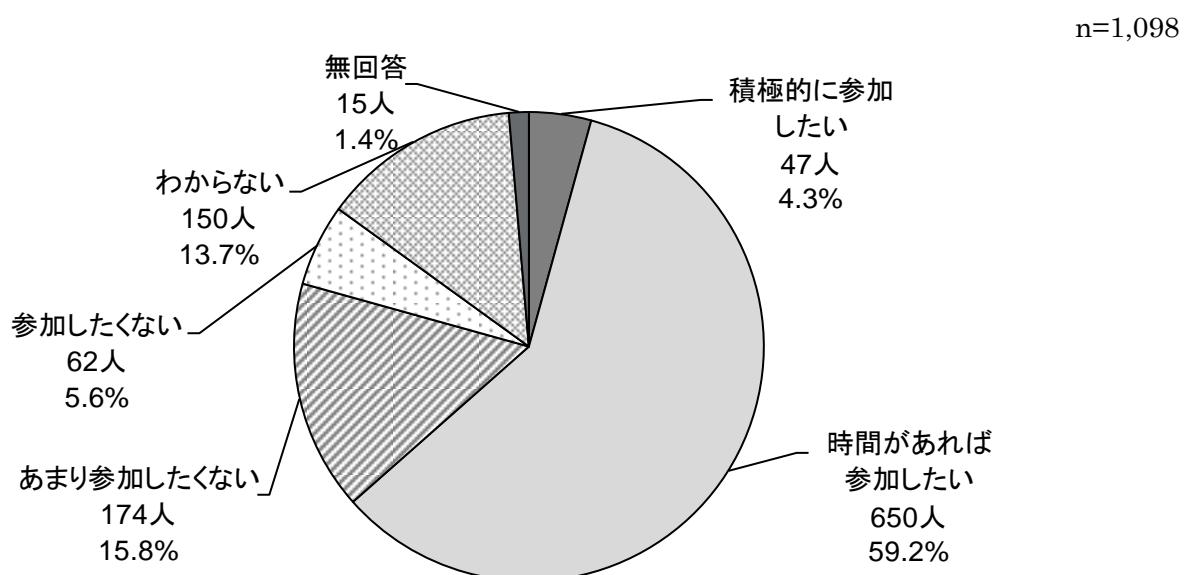
年代が高い方が、「まちづくりは行政が主体となって行う」割合が高くなる傾向にある。



問14 あなたのまちづくりに対する意欲を、次の中から1つ選んでください。

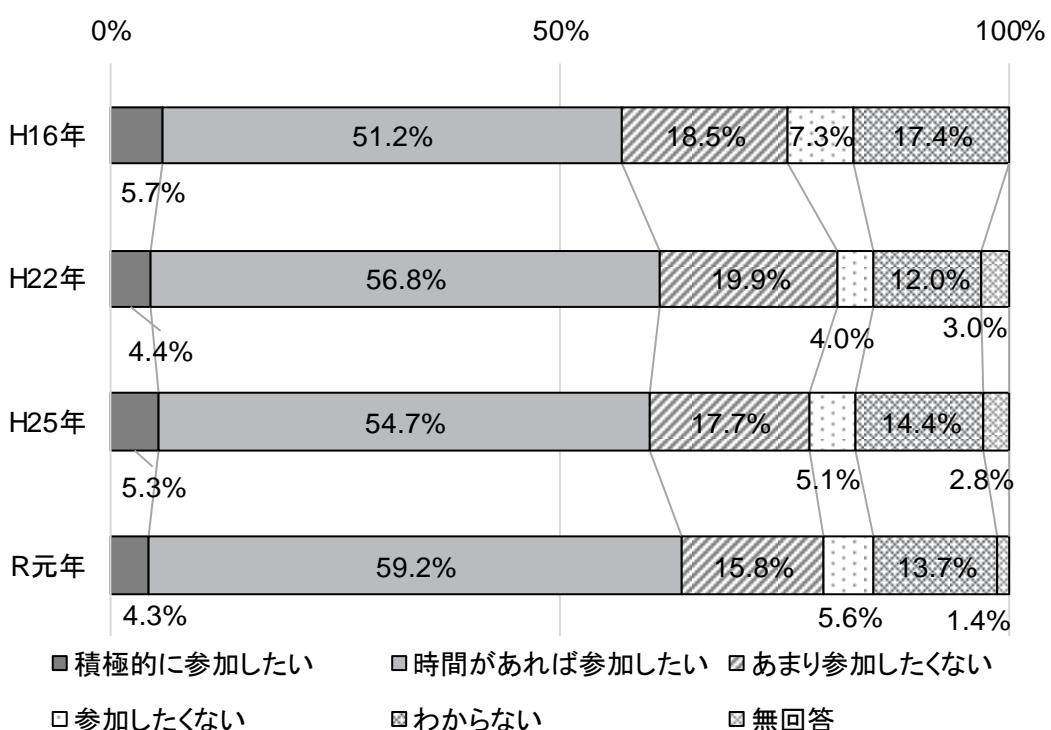
<全体>

まちづくりに対する意欲は、「時間があれば参加したい」の割合が 59.2% で最も高く、続いて「あまり参加したくない」(15.8%)、「わからない」(13.7%)、「参加したくない」(5.6%)、「積極的に参加したい」(4.3%) となっている。「積極的に参加したい」と「時間があれば参加したい」を合わせた“参加したい”割合が 6 割を超えていている。



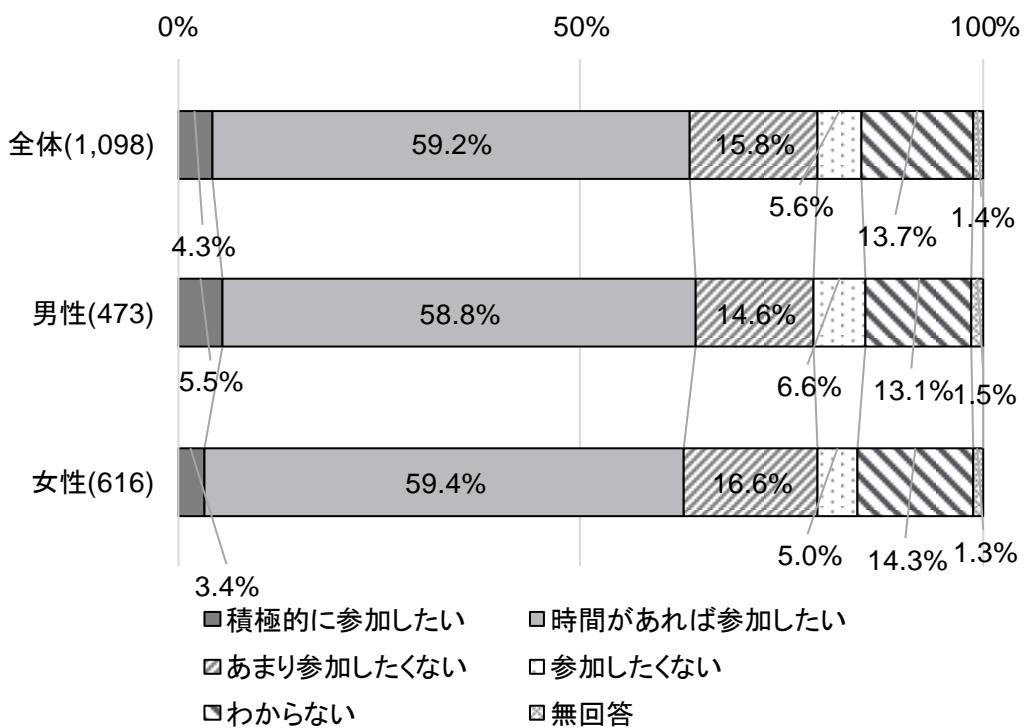
<経年比較>

「あまり参加したくない」割合は平成 22 年以降、減少している。



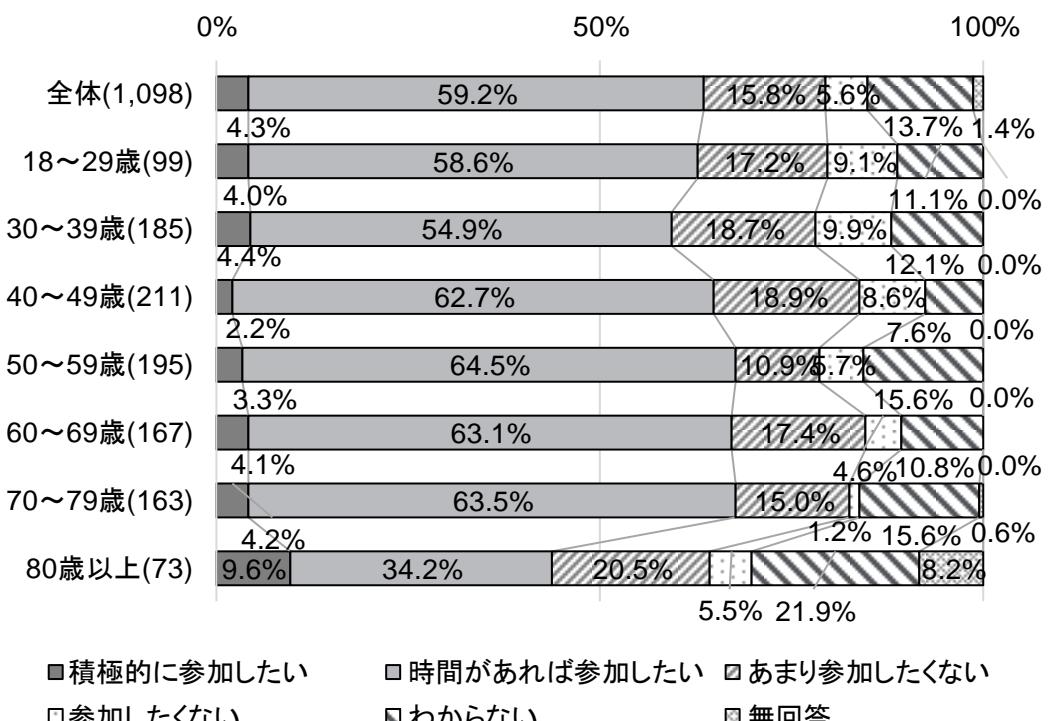
<性別>

性別での特徴は見られない。



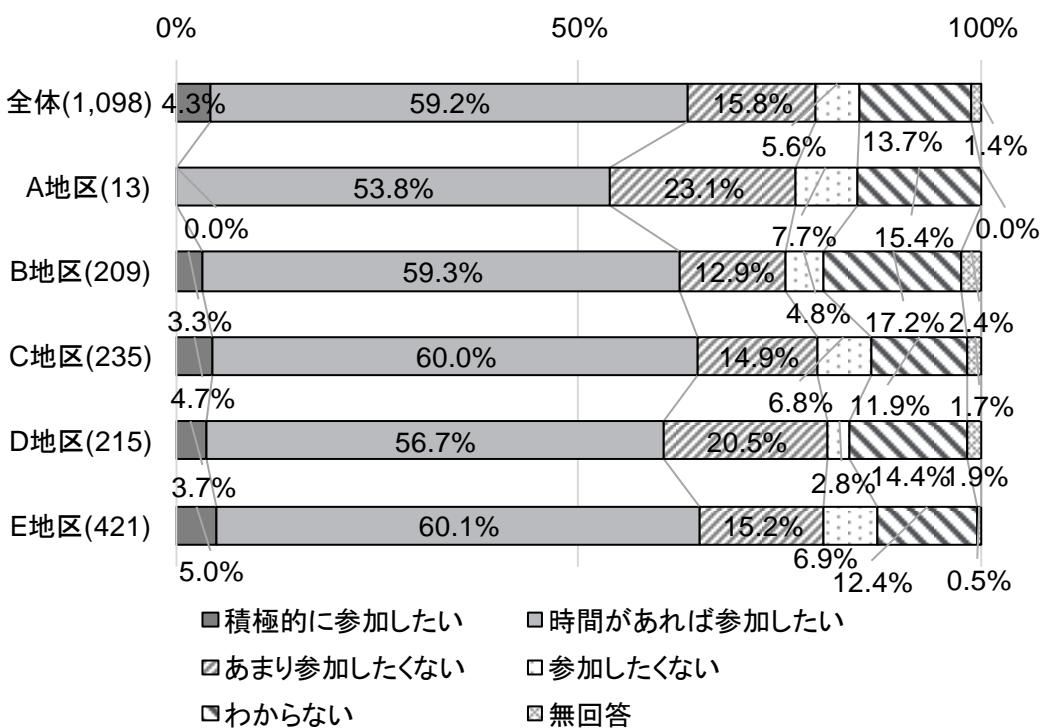
<年代>

“80歳以上”では「積極的に参加したい」割合が比較的高い一方で、「時間があれば参加したい」割合は比較的低く、4割を切っている。



<居住地区>

“B 地区”では「あまり参加したくない」割合が比較的低い。



6. これからのかまちづくりについて

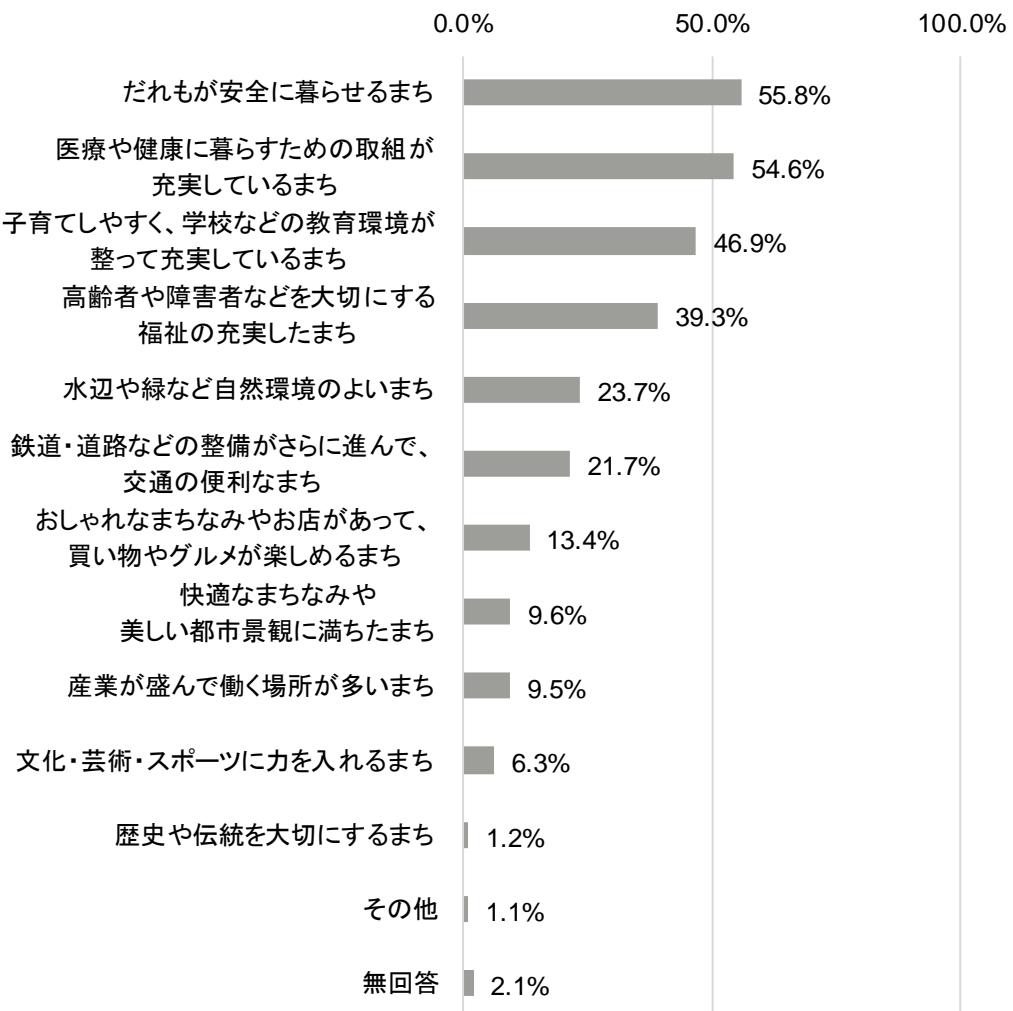
問15 あなたは、将来の朝霞市をどのようなまちにしていきたいと思いますか。あなたのイメージに近いものを、次のものから3つまで選んでください。

＜全体＞

まちづくりの方向性は、「だれもが安全に暮らせるまち」の割合が 55.8%で最も高く、続いて「医療や健康に暮らすための取組が充実しているまち」(54.6%)、「子育てしやすく、学校などの教育環境が整って充実しているまち」(46.9%)、「高齢者や障害者などを大切にする福祉の充実したまち」(39.3%)となっている。

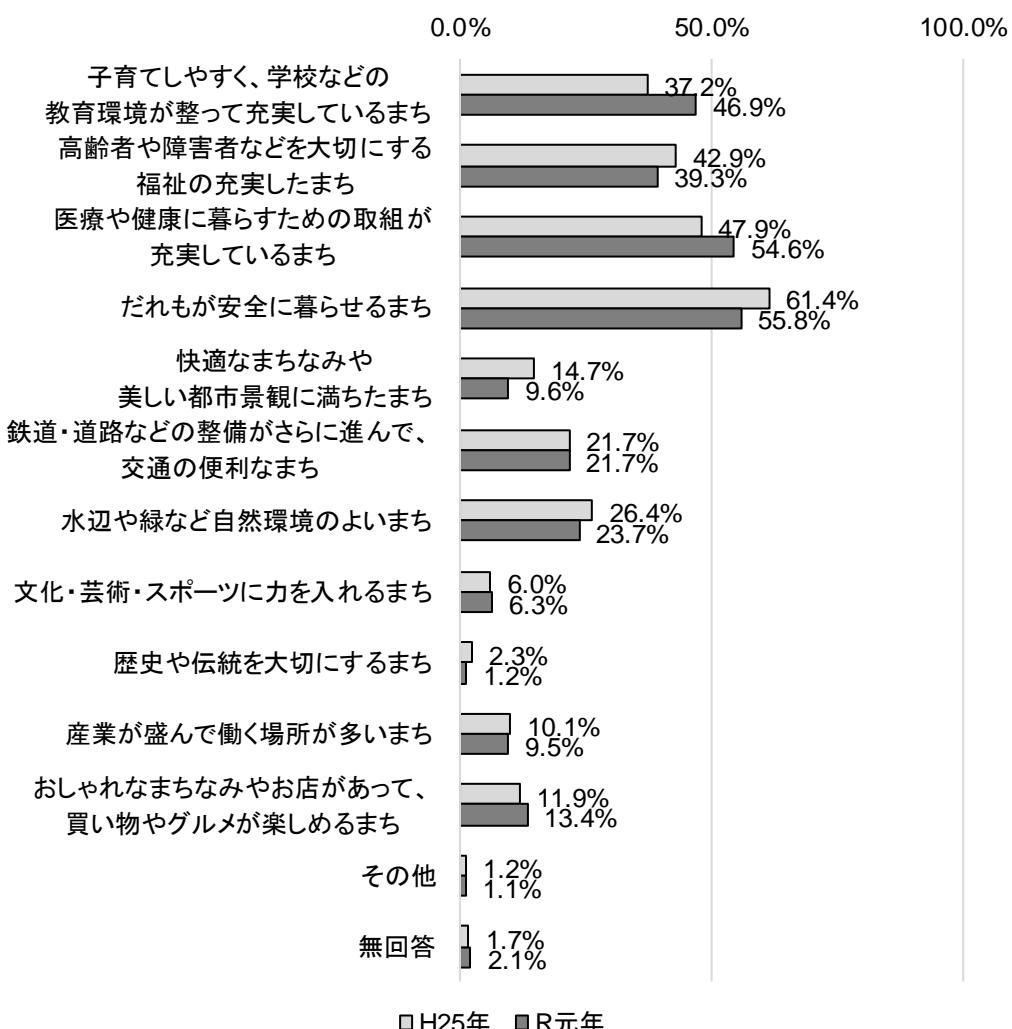
「その他」には、「朝霞に住みたいと思われるようなブランド力のあるまち」、「災害に強いまち(避難時に個室がつくられる。トイレの数を増やす等)」などの記述があった。

n=1,098



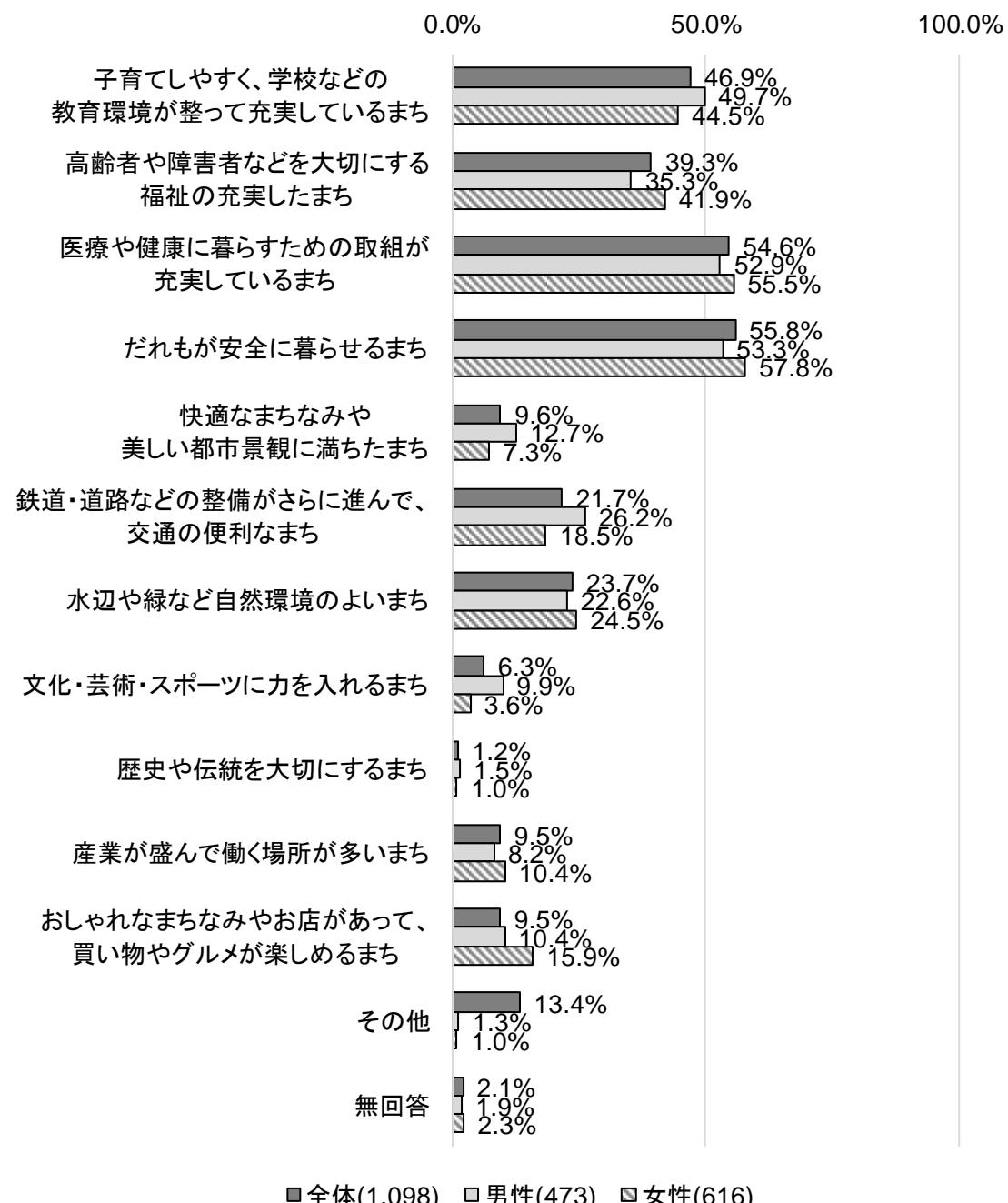
<経年比較>

「子育てしやすく、学校などの教育環境が整って充実しているまち」割合は、増加している。



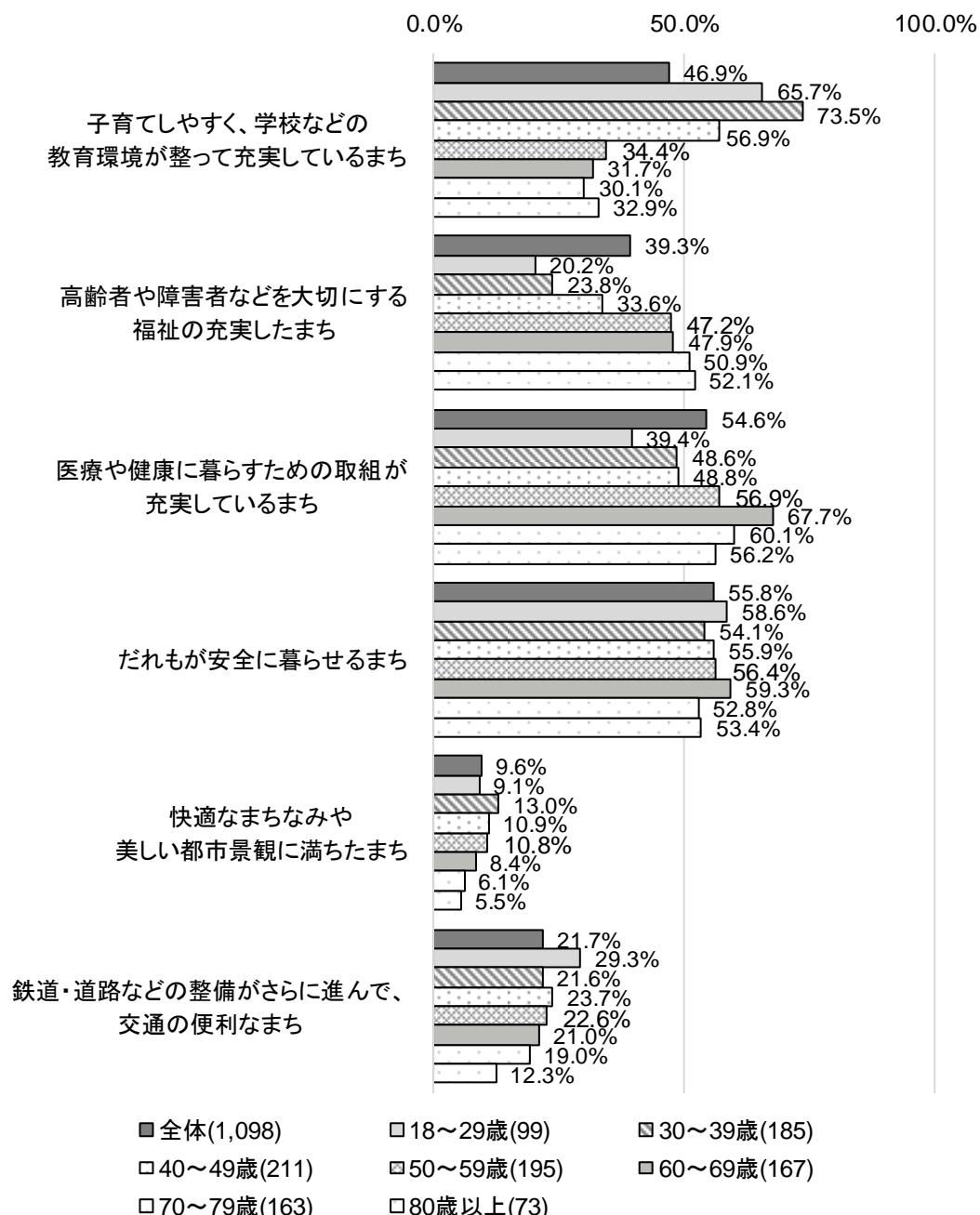
<性別>

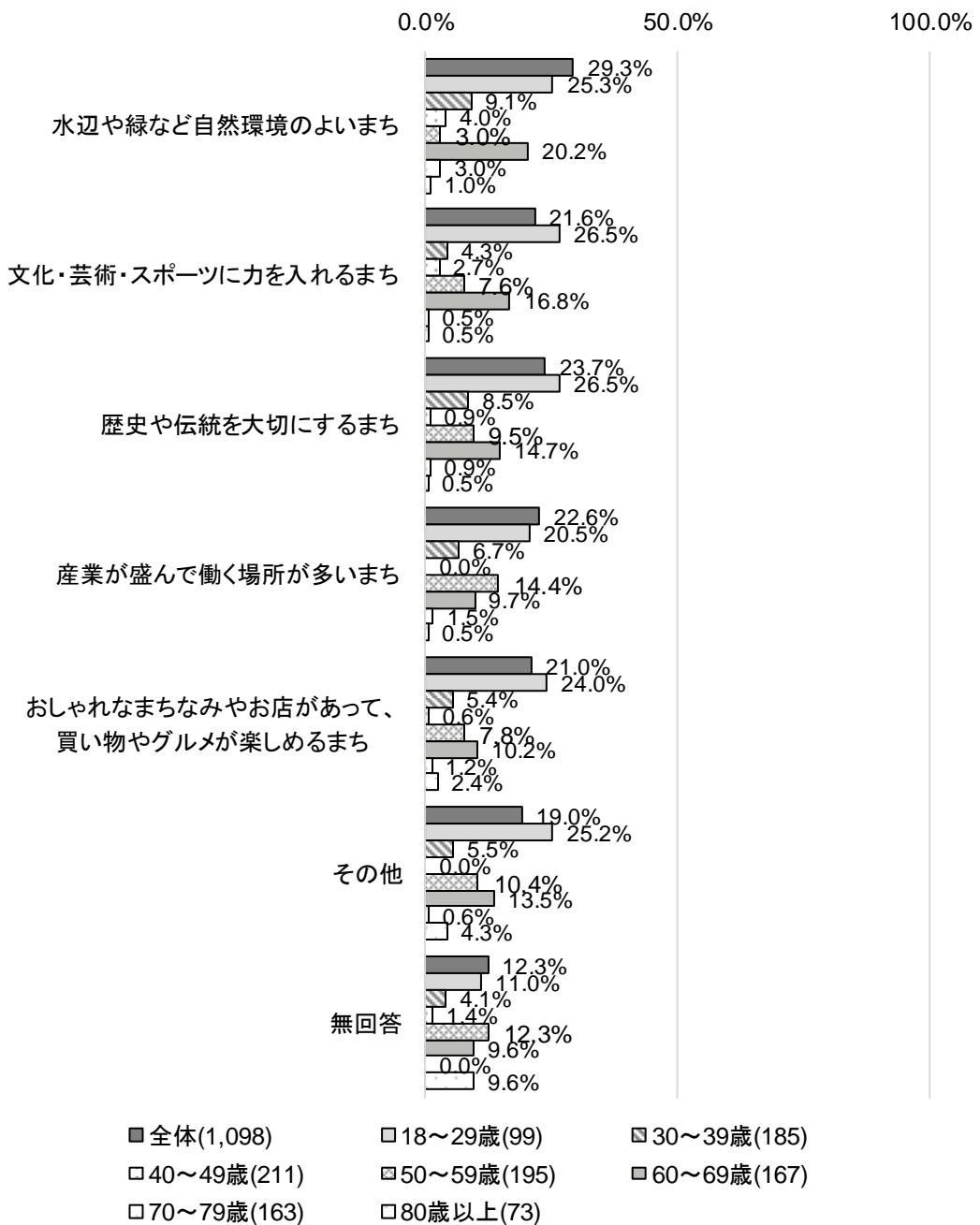
“男性”の方が、「文化・芸術・スポーツに力を入れるまち」割合が高く、1割近くに上っている。



<年代>

年代が低い方が、「子育てしやすく、学校などの教育環境が整って充実しているまち」割合が高くなる傾向にある。



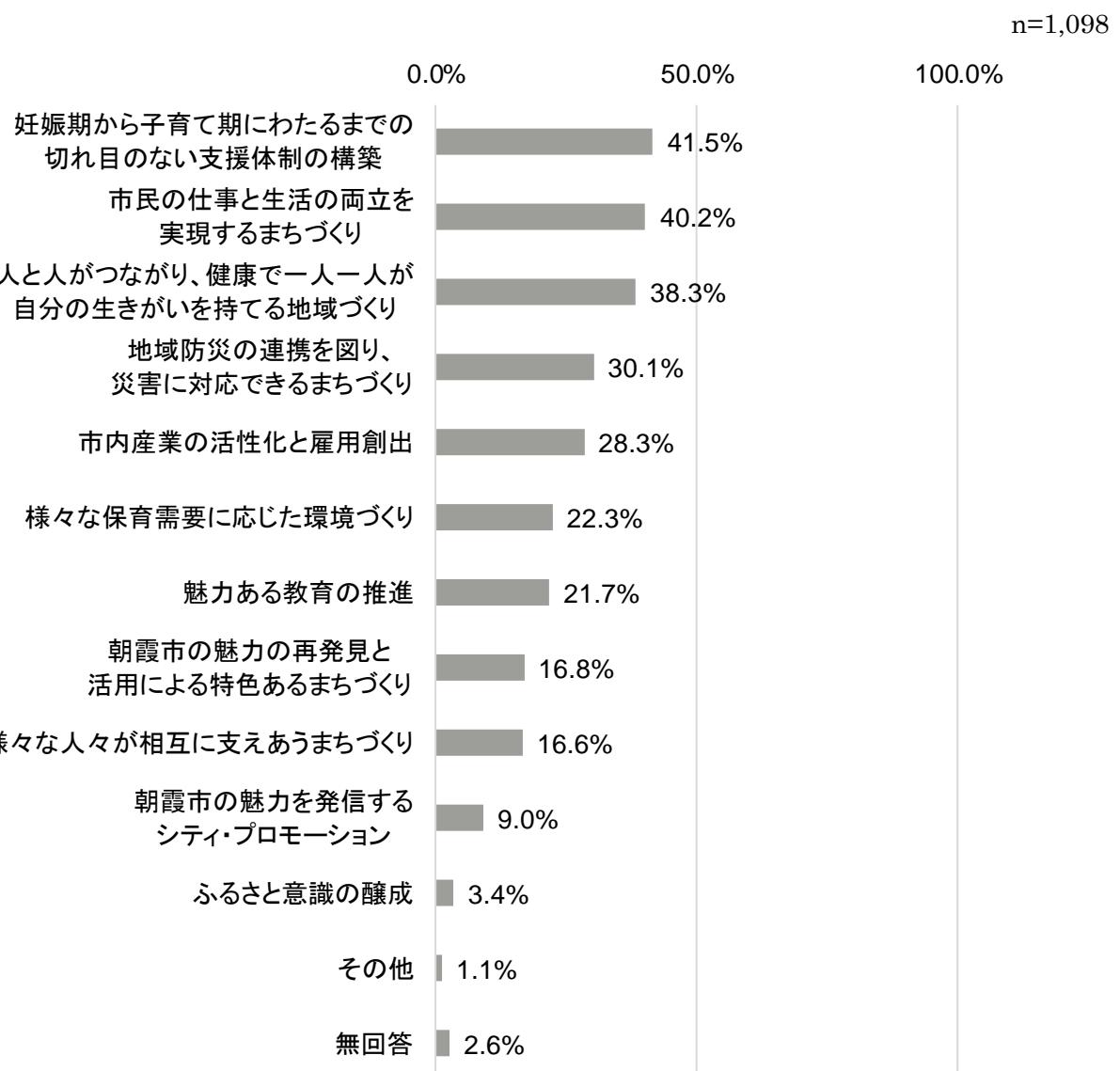


問16 今後、人口減少・少子高齢化が進むことが予想される中、どのような対策に取り組むべきだと思いますか。あなたの考えに近いものを、次の3つまで選んでください。

<全体>

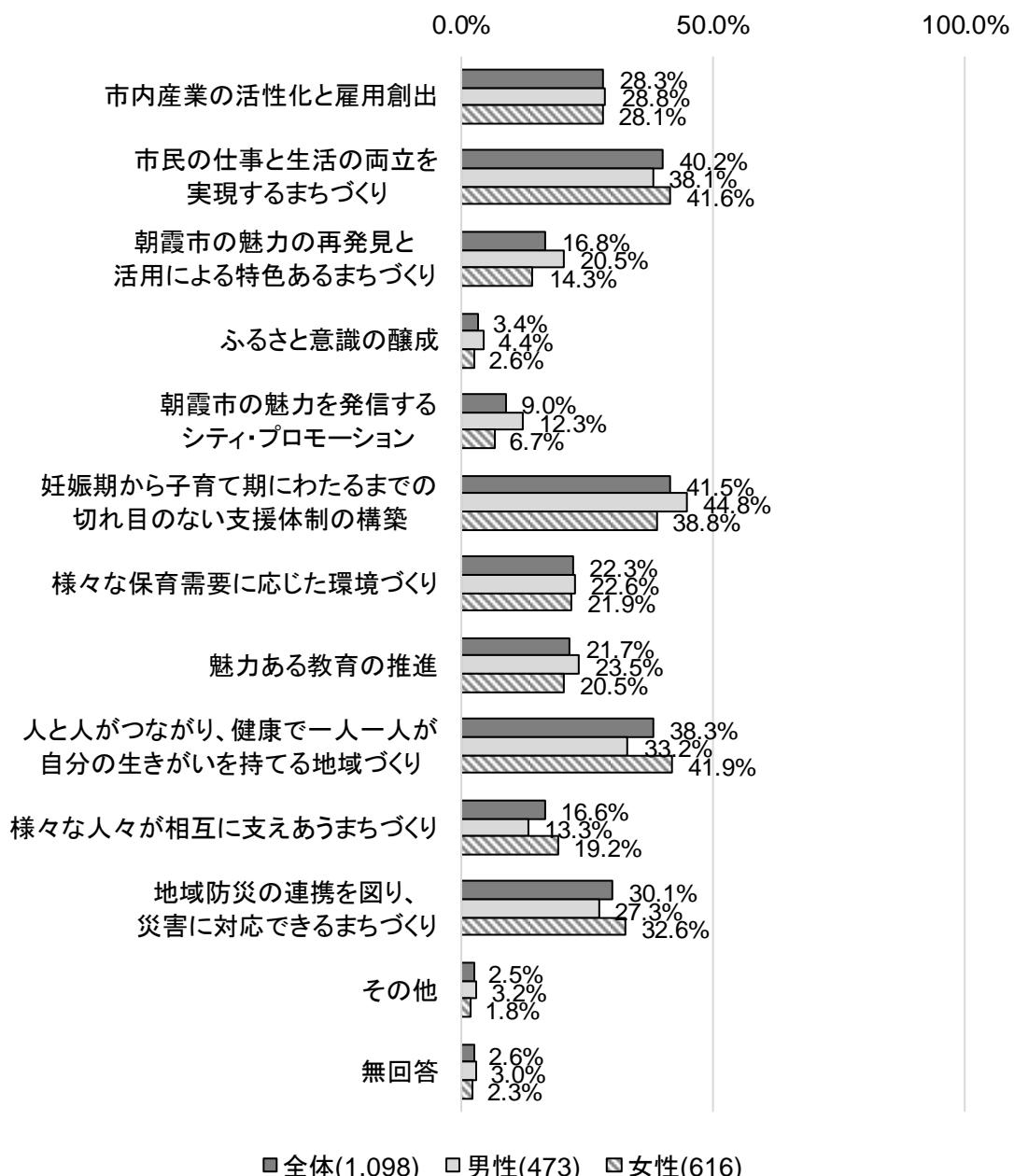
人口減少・少子高齢化対策は、「妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目のない支援体制の構築」の割合が41.5%で最も高く、続いて「市民の仕事と生活の両立を実現するまちづくり」(40.2%)、「人と人がつながり、健康で一人一人が自分の生きがいを持てる地域づくり」(38.3%)、「地域防災の連携を図り、災害に対応できるまちづくり」(30.1%)となっている。

「その他」には、「歩道や自転車道など交通の便利なまちづくり」、「市民レベルで相互扶助が出来るような体制を行政主導で作るべき」、「弱者にやさしいまちづくり」などの記述があった。



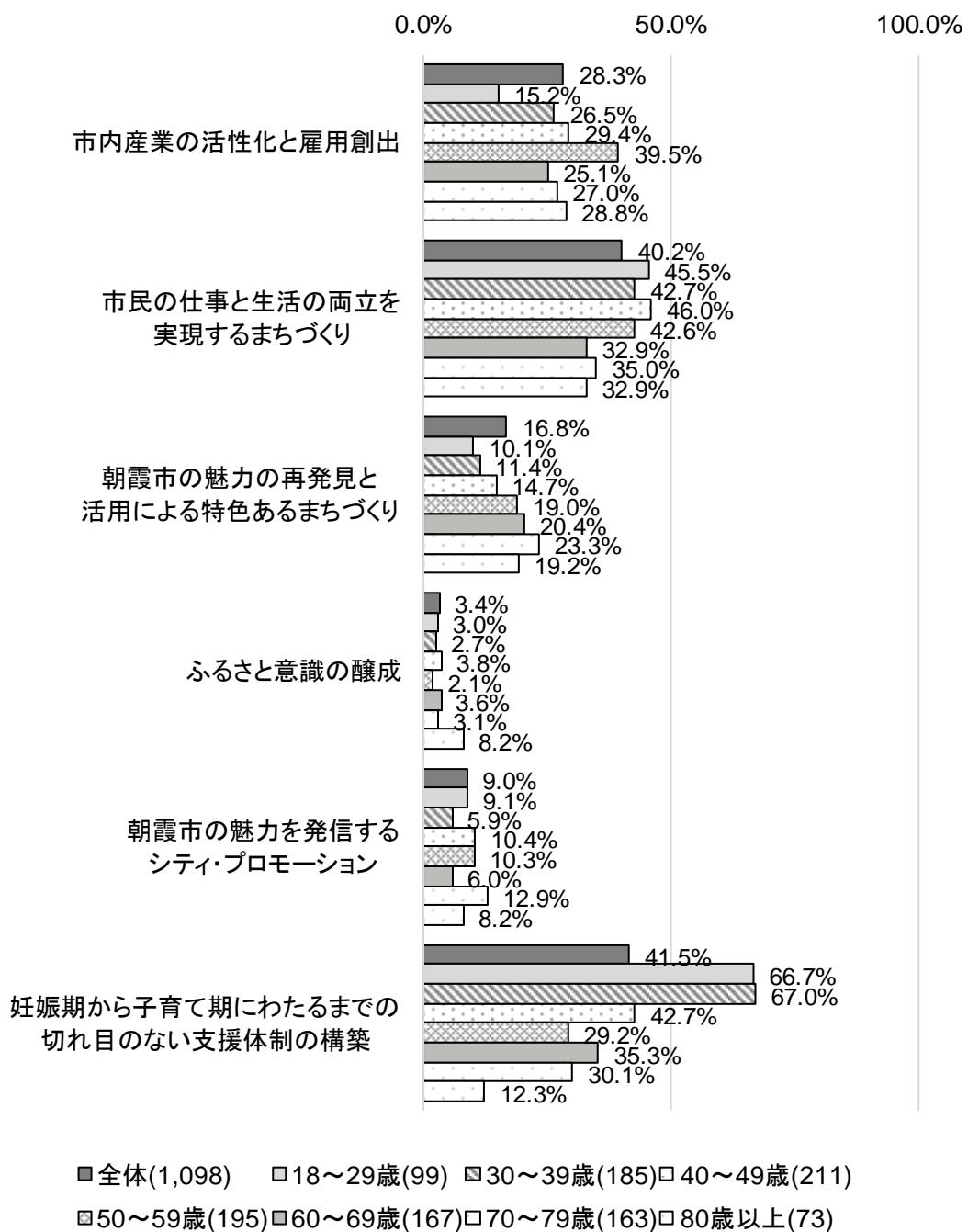
<性別>

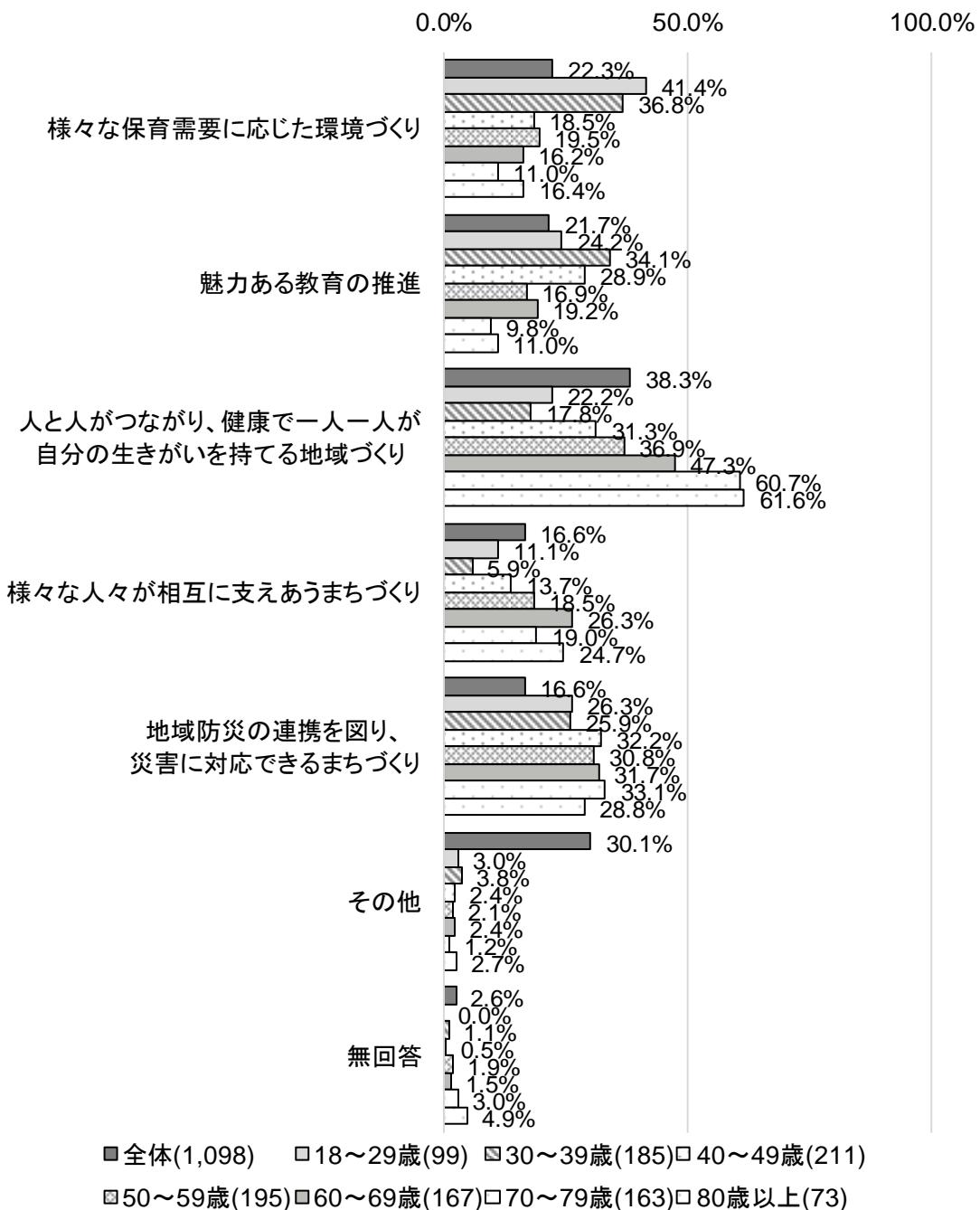
“男性”の方が、「朝霞市の魅力を発信するシティ・プロモーション」割合が高く、1割を超えている。



<年代>

年代が低い方が、「市民の仕事と生活の両立を実現するまちづくり」、「妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目のない支援体制の構築」割合が高くなる傾向にある。一方、年代が高い方が、「人と人がつながり、健康で一人一人が自分の生きがいを持てる地域づくり」割合が高くなる傾向にある。

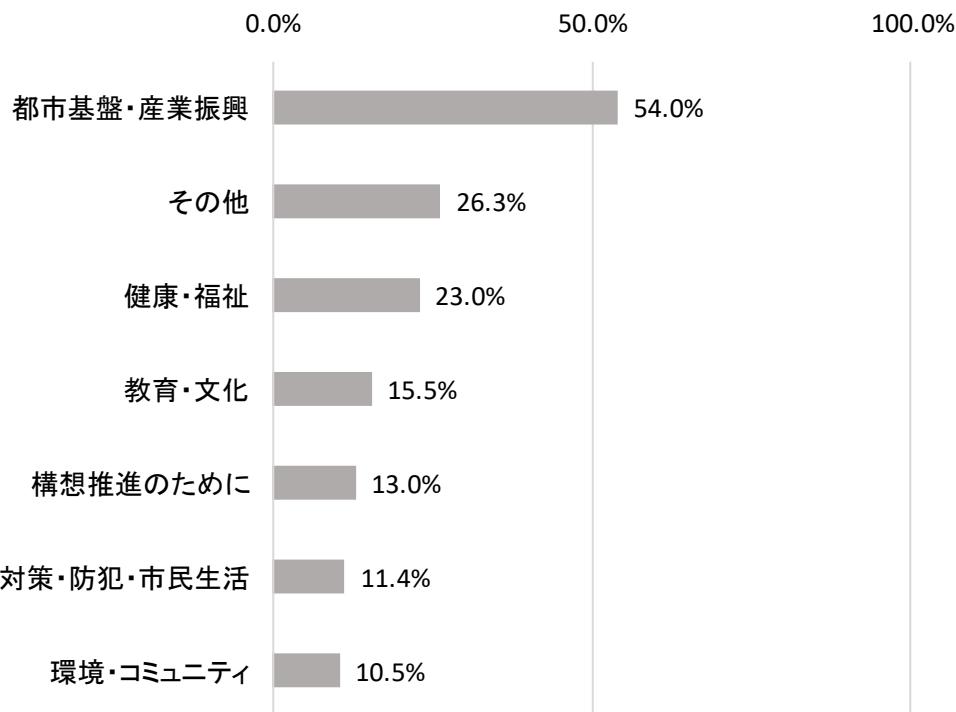




7. 自由記述

最後に、今後のまちづくりや市政について、ご意見などがありましたらお書きください。

n=361



<全体>

自由意見欄に記入があったのは回答者 1,098 人のうち 361 人（32.9%）である。一人が複数の意見を記入している場合は分割した。このため、意見数は 555 件となった。

政策分野別にみると、「都市基盤・産業振興」の分野が回答者全体の 54.0% と最も多く、続いて、「その他」（26.3%）、「健康・福祉」（23.0%）となっている。

<政策分野>

「災害対策・防犯・市民生活」（41 件）では、「街灯の増設要望」、「防災無線が聞こえない」、「安全・安心のまちづくりへの期待」、「防犯カメラの設置要望」に関する意見が多数あった。

「健康・福祉」（83 件）では、「子育て支援への期待」、「待機児童の解消」、「高齢者に優しい街づくりへの期待」、「学童保育の充実」、「医療費無料」、「子育て環境の整った街としてアピールすべき」に関する意見が多数あった。

「教育・文化」（56 件）では、「彩夏祭への期待」、「小学校の生徒数のバラツキ是正」、「教育の充実への期待」、「彩夏祭への不満・改善提案」に関する意見が多数あった。

「環境・コミュニティ」（38 件）では、「自然環境の保護」、「ムクドリ対策強化」、「ごみ分別・収集への改善提案」、「喫煙対策強化」に関する意見が多数あった。

「都市基盤・産業振興」(195件)では、「道路整備」、「公共交通（バス）の充実」、「魅力あるまちづくりに向けた施策強化」、「駅のエレベーター設置」、「市のPR強化」、「米軍跡地の活用」、「土地の利活用全般に関する要望」、「商業施設の充実」、「電車の利便性向上」、「電線地中化」、「公園の整備」、「駅舎の改修」、「開発の地域間格差」、「信号設置」、「交通規制」、「駅周辺の開発・整備」に関する意見が多数あった。

「構想推進のために」(47件)では、「外国人へのマナー徹底」、「市政のコストダウン」、「マイノリティーに優しいまちづくり」に関する意見が多数あった。

「その他」(95件)では、「アンケートの設問」、「アンケートの返却方法」に関する意見が多数あった。

資料編：調查票

朝霞の未来のためにあなたの声を聞かせてください！

朝 霞 市 民 意 識 調 査

調査へのご協力のお願い

日頃から市政に対しご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、朝霞市では、令和3年度（2021年度）から5年間のまちづくりの指針となる「第5次朝霞市総合計画後期基本計画」を策定するに当たって、市民の皆様からまちづくりに対する考え方やご意見等を伺うため、アンケート調査を行うことといたしました。皆様からお寄せいただいた意見等については、計画づくりの基礎資料とさせていただきます。

なお、本調査の対象については、市内にお住まいの18歳以上の方3,000人を無作為に選出いたしました。ご回答は、全て統計的に処理しますので、回答者が特定されることはありません。

5分から10分程度で回答できる調査です。本調査の趣旨をご理解いただき、ぜひご協力くださるようお願い申し上げます。

令和元年（2019年）7月

朝霞市長 富岡 勝則

ご記入に当たってのお願い

- 1 質問への回答は、宛て名にあるご本人がお答えください。
- 2 当てはまる項目に○印を付けてください。当てはまる項目がない場合は、「その他」の番号に○印を付けて、（ ）内に内容をご記入ください。
- 3 ご記入が終わりましたら、同封の返信用封筒にこの調査票を入れ、
令和元年（2019年）8月9日（金）までに、切手をはらずに郵便ポスト
に投函してください。
- 4 お名前やご住所を書いていただく必要はございません。また、返信の際は、
同封の「調査票」以外のものは入れないでください。
- 5 調査結果については、市の広報紙やホームページ等で公表する予定です。



朝霞市キャラクター
ぽぽたん

問い合わせ先

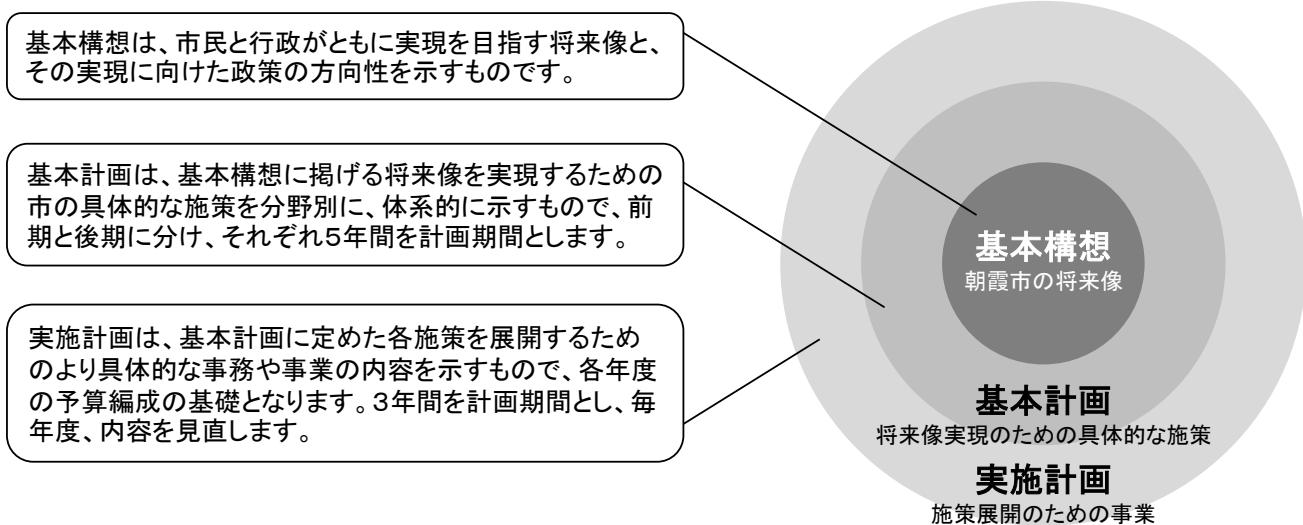
朝霞市役所 政策企画課 政策企画係
TEL 048-463-3089 (直通)
FAX 048-467-0770

総合計画とは

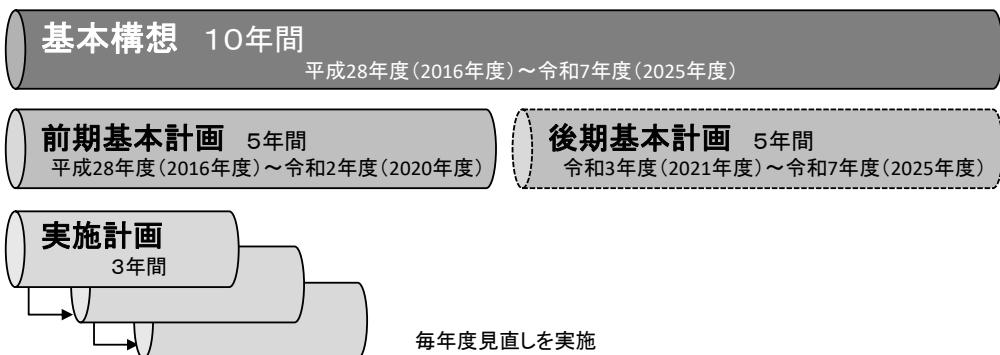
総合計画は、市のすべての計画の基本となるまちづくりのための計画で、上位に位置付けられる計画です。「将来の朝霞市をどのようなまちにするか」というビジョンを描きながら、その実現に向けて計画的に市政運営を進めていくため、各分野の方向性や取組を総合的、体系的にまとめた計画です。

第5次朝霞市総合計画は、基本構想、基本計画（前期・後期）、実施計画で構成しています。このうち、前期基本計画が令和2年度（2020年度）末で5年間の計画期間が終了を迎えることから、市では続く令和3年度（2021年度）からの5年間を計画期間とする第5次朝霞市総合計画後期基本計画の策定に向けた取組を開始しました。

【総合計画の構成】



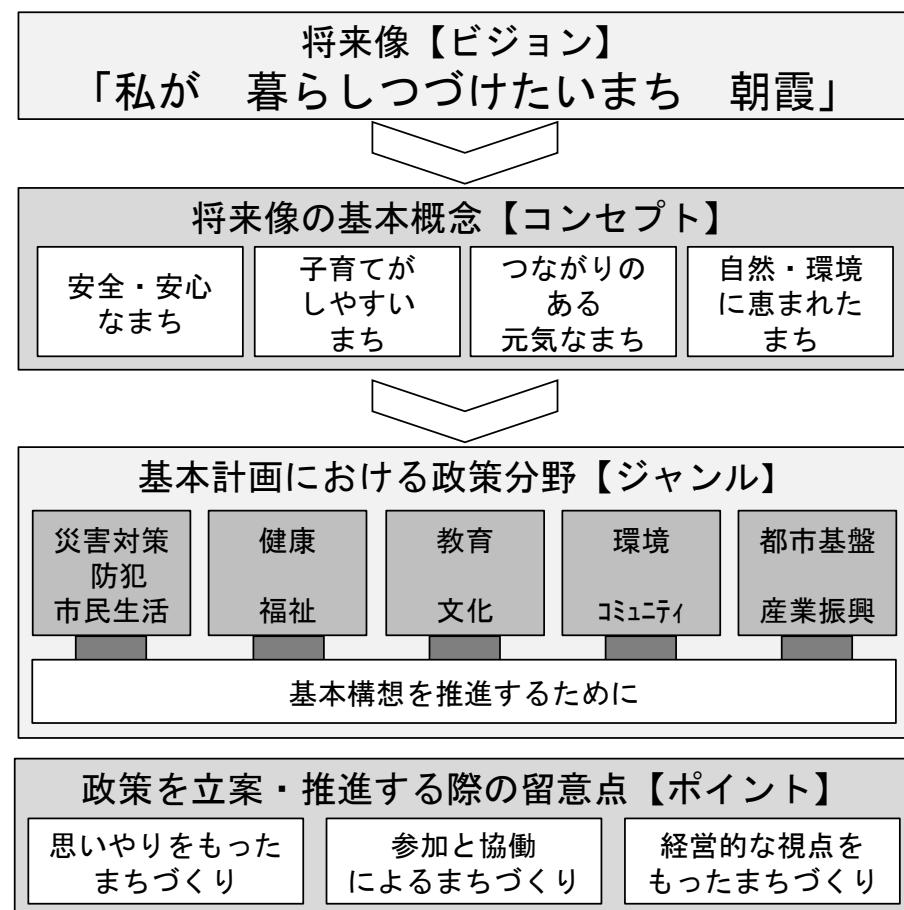
【計画期間】



第5次朝霞市総合計画についての詳細はホームページでご覧いただけます。

<https://www.city.asaka.lg.jp/soshiki/2/5jisougoukeikaku.html>

【基本構想の構成】



○将来像【ビジョン】

「朝霞に関わりのある一人一人が主人公である」という意味を込めて、将来像の主語を“私”としています。

“私”が「朝霞に暮らしつづけたい」と思えるようなまちにしていきます。

○将来像の基本概念【コンセプト】

どのようなまちであれば「暮らしつづけたい」と思えるのか、「私たちのまちはこうありたい」という想いを4つの基本概念としてまとめています。

この4つの基本概念を私たちと行政が共有し、将来像の実現に取り組んでいます。

○基本計画における政策分野【ジャンル】

本市は、将来像の実現に向け、政策分野を設け、具体的な施策を立案し取り組みを進めます。政策分野に基づいて施策を体系的にまとめたものが基本計画です。

○政策を立案・推進する際の留意点【ポイント】

将来像の確実な実現に向け、市民と市は、3つの留意点を共有し、ともにまちづくりを進めています。

はじめに、あなたご自身のことについてお聞きします

令和元年（2019年）7月1日時点でお答えください

F 1 あなたの性別は。

- | | |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

F 2 あなたの年齢は。

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1 20歳未満 | 2 20～29歳 | 3 30～39歳 |
| 4 40～49歳 | 5 50～59歳 | 6 60～69歳 |
| 7 70～79歳 | 8 80～89歳 | 9 90歳以上 |

F 3 あなたのお住まいはどの地区ですか。

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1 青葉台（1丁目） | 2 朝志ヶ丘（1～4丁目） |
| 3 大字上内間木 | 4 大字下内間木 |
| 5 大字台 | 6 大字根岸 |
| 7 岡（1～3丁目、大字含む） | 8 北原（1～2丁目） |
| 9 幸町（1～3丁目） | 10 栄町（1～5丁目） |
| 11 泉水（1～3丁目） | 12 田島（1～2丁目、大字含む） |
| 13 仲町（1～2丁目） | 14 西原（1～2丁目） |
| 15 西弁財（1～2丁目） | 16 根岸台（1～8丁目） |
| 17 浜崎（1～4丁目、大字含む） | 18 東弁財（1～3丁目） |
| 19 膝折町（1～5丁目） | 20 本町（1～3丁目） |
| 21 溝沼（1～7丁目、大字含む） | 22 三原（1～5丁目） |
| 23 宮戸（1～4丁目、大字含む） | 24 陸上自衛隊朝霞駐屯地 |

F 4 あなたの主な職業・就業形態等は。

- | | |
|----------------|----------------|
| 1 農業 | 2 自営業 |
| 3 会社員・団体職員 | 4 会社や団体の役員・経営者 |
| 5 公務員 | 6 教職・研究職 |
| 7 パート・アルバイト・内職 | 8 専業主婦・専業主夫 |
| 9 学生 | 10 無職 |
| 11 その他（ ） | |

F 5 あなたの勤務先、通学先はどちらですか。

- | | |
|---------------|---------------------|
| 1 朝霞市内 | 2 埼玉県内（志木市・和光市・新座市） |
| 3 埼玉県内（1・2以外） | 4 東京都内 |
| 5 その他（ ） | 6 通勤・通学していない |

F 6 あなたは、生まれた時、または幼少の頃から朝霞市にお住まいですか。

- | | |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

F 7 F 6で「2 いいえ」と回答された方にお聞きします。朝霞市に住む以前はどちらにお住まいでしたか。

- | | |
|---------------------|-------------|
| 1 埼玉県内（志木市・和光市・新座市） | 2 埼玉県内（1以外） |
| 3 東京都内 | 4 その他（ ） |

F 8 あなたは、朝霞市にお住まいになってどれくらいになりますか。

- | | | |
|----------|---------|----------|
| 1 5年未満 | 2 5～9年 | 3 10～19年 |
| 4 20～29年 | 5 30年以上 | |

F 9 あなたの同居している世帯・家族の構成は。

- | | | |
|--------------|----------|------------|
| 1 単身 | 2 夫婦のみ | 3 親と子（2世代） |
| 4 親と子と孫（3世代） | 5 その他（ ） | |

F 10 あなたと同居している世帯・家族の中に18歳未満のお子さんはいますか。

- | |
|-------------------------------|
| 1 いる（未就学のお子さんのみ） |
| 2 いる（小学生以上18歳未満のお子さんのみ） |
| 3 いる（未就学と小学生以上18歳未満のお子さんどちらも） |
| 4 いない |

I 朝霞市の「住みよさ」についてお聞きします

問1

あなたは、これからも朝霞市に住みつづけたいと思いますか。次の中から1つ選んでください。

- | | |
|----------------|------------------------------|
| 1 ずっと住みつづけたい | } 1または2を選んだ方は、
問2にお進みください |
| 2 当分は住みつづけたい | |
| 3 どちらともいえない | |
| 4 出来れば市外に移りたい | 4または5を選んだ方は、
問3にお進みください |
| 5 すぐにでも市外に移りたい | |

問2

問1で「1 ずっと住みつづけたい」「2 当分は住みつづけたい」を選んだ方にお聞きします。あなたが朝霞市に住みつづけたいとお考えになった理由を、次の中から1つ選んでください。

- | | |
|-------------------|--------------------------------|
| 1 通勤・通学に便利だから | 2 今の住まいに満足だから
(住宅が広い、新しいなど) |
| 3 買い物など日常生活が便利だから | 4 子どもの教育や子育て環境がよいから |
| 5 都会的な楽しさや魅力が多いから | 6 近所づきあいが多いから |
| 7 地域になじみや愛着があるから | 8 縁があり自然環境がよいから |
| 9 その他 () | |

問3

問1で「4 出来れば市外に移りたい」「5 すぐにでも市外に移りたい」を選んだ方にお聞きします。あなたが市外に移りたいとお考えになった理由を、次の中から1つ選んでください。

- | | |
|--------------------|-------------------------------|
| 1 通勤・通学に不便だから | 2 今の住まいに不満だから
(住宅が狭い、古いなど) |
| 3 買い物など日常生活が不便だから | 4 子どもの教育や子育て環境がよくないから |
| 5 都会的な楽しさや魅力が少ないから | 6 近所づきあいになじめないから |
| 7 地域になじみや愛着がないから | 8 縁が少なく自然環境がよくないから |
| 9 その他 () | |

II 日頃の地域との関わりについてお聞きします

問4

あなたは日頃、近所の方とどのようなおつきあいをしていますか。次の中から1つ選んでください。

- 1 日頃から助け合うなど親しくつきあっている
- 2 会えば立ち話をする
- 3 会えばあいさつ程度はする
- 4 近所づきあいはしていない
- 5 その他（ ）

問5

あなたは日頃、地域の自治会・町内会やボランティア団体などで、コミュニティ活動を行っていますか。次の活動（ア～キ）それぞれについて1つずつ選んでください。

	「積極的に活動している」	「加入しているが活動はしていない」	「現在、加入してはないが関心はある」	「加入していないし関心もない」
ア 自治会・町内会活動	1	2	3	4
イ 清掃奉仕や福祉ボランティア活動	1	2	3	4
ウ 子ども会・老人クラブなどの地域活動	1	2	3	4
エ 音楽・舞踊などの文化芸術活動	1	2	3	4
オ スポーツ・レクリエーションなどのサークル活動	1	2	3	4
カ 祭りや大会などの地域行事活動	1	2	3	4
キ その他の活動（ ）	1	2	3	4

III 市政についてお聞きします

問6

あなたの市政に対する関心の度合いを次の中から1つ選んでください。

- | | | |
|-------------|---|----------------------------|
| 1 非常に関心がある | } | 3または4を選んだ方は、
問7にお答えください |
| 2 いくらか関心がある | | |
| 3 あまり関心がない | | |
| 4 まったく関心がない | | |

問7

問6で「3 あまり関心がない」「4 まったく関心がない」を選んだ方にお聞きします。

あなたが市政に関心がないのはなぜですか。次の中から1つ選んでください。

- | | |
|-------------------------|------------------|
| 1 転居してきたばかりだから | 2 住み続けるつもりがないから |
| 3 自分の生活には関係ないと思うから | 4 行政にまかせておけばよいから |
| 5 市民の意向などが反映されていないと思うから | |
| 6 その他 () | |

問8

あなたは、普段、市政情報（市が発信する情報、市からのお知らせ）をどのような媒体で入手していますか。次の中からすべて選んでください。

- | | |
|------------------------|---------------|
| 1 市の広報紙 | 2 市のホームページ |
| 3 市のフェイスブック、ツイッター等のSNS | 4 市のメール配信サービス |
| 5 テレビやラジオなどの市政情報番組 | 6 掲示板 |
| 7 自治会の集会や回覧 | 8 市の説明会 |
| 9 新聞 | |
| 10 その他 () | |

問9

あなたは、意見や要望などを市に伝えたい場合はどのような手段を選びますか。次のなかから1つ選んでください。

- 1 市が開く各種相談に行くか、または相談窓口に電話をする
- 2 市役所の担当課へ行くか、または電話をする
- 3 市が開く会議やワークショップ等で意見を述べる
- 4 市議会議員に頼む
- 5 自治会・町内会や団体などの役員に頼む
- 6 陳情や請願をする
- 7 「市への意見・要望」などを利用する
- 8 市のホームページの「お問い合わせ」を利用する
- 9 市のフェイスブック、ツイッター等のSNSを使って意見・要望を伝える
- 10 電子メールで市の担当者に意見・要望を伝える
- 11 その他（ ）

問10

あなたは、ご自身の経験からみて、市民の意見や要望が市政に反映されていると思いますか。次のなかから1つ選んでください。

- | | |
|---------------|---------------|
| 1 反映されている | 2 ある程度反映されている |
| 3 あまり反映されていない | 4 反映されていない |
| 5 わからない | |

問11

今後、生産年齢人口（15～64歳）の減少により税収減が見込まれるなど、市の財政状況がより厳しくなっていくことも予想されます。市が提供しているサービスの維持・充実について、市の努力により対応できる範囲を超えることがあった場合、今後どのように対応すべきだと思いますか。あなたの考えに近いものを1つ選んでください。

- 1 収入増につながる施策を充実させることなどにより対応すべき
- 2 行政サービスをある程度廃止、縮小することにより対応していくべき
- 3 行政サービス維持・充実のために市民の負担が増えるのは仕方がない
- 4 わからない
- 5 その他（ ）

※行政が提供しているサービスの一例：住民異動の手続き、子育て支援などの児童福祉、高齢者・障害者に対する福祉、ゴミ処理や公共施設の運営など

IV 市の全般的な取組についてお聞きします

問12

以下に示す分野ごとの取組（1～29）について、それぞれどのように感じていますか。次の項目ごとに、当てはまる番号を1つずつ選んでください。

注) ご記入にあたって

満足度

各欄の左側に記す項目ごとに、その現状についてどのように感じているか、当てはまる番号を1つ選んで○印を付けてください。

重要度

各欄の左側に記す項目ごとに、今後の取組の重要度についてどのように感じているか、当てはまる番号を1つ選んで○印を付けてください。

	満足度					重要度				
	満足している	ある程度満足している	わからない	やや不満である	不満である	重要である	どちらかといえば重要な	わからない	あまり重要なない	重要なない
1 防災・消防 ・防災対策の推進 ・地域防災力の強化 ・消防体制の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2 生活 ・防犯のまちづくりの推進 ・消費者の自立支援の充実 ・安心できる葬祭の場の提供	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

	満足度					重要度				
	満足している	ある程度満足している	わからぬ	やや不満である	不満である	重要である	どちらかといえば重要である	わからぬ	あまり重要でない	重要でない
3 子育て支援・青少年育成 ・幼児期等の教育と保育の充実 ・子どもたちが健やかに育つ環境づくり ・子育て家庭を支えるための環境づくり ・青少年の健全育成の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
4 高齢者支援 ・健康・生きがいづくりと介護予防の支援 ・自立のためのサービスの確立 ・安全・安心な生活ができる環境の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
5 障害者支援 ・共生社会の実現 ・地域における自立生活の支援 ・自立した社会生活・就労支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
6 地域福祉・社会保障 ・地域福祉の推進 ・社会保障制度の運営	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
7 保健・医療 ・健康づくりの支援 ・保健サービスの充実 ・医療体制の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

	満足度					重要度				
	満足している	ある程度満足している	わからぬ	やや不満である	不満である	重要である	どちらかといえば重要である	わからぬ	あまり重要でない	重要でない
8 学校教育 ・朝霞の次代を担う人材の育成 ・確かな学力と自立する力の育成 ・質の高い教育を支える教育環境の整備充実 ・学校・家庭・地域が連携した教育の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
9 生涯学習 ・生涯学習活動の推進 ・学習しやすい環境整備（公民館・図書館・博物館等）の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
10 スポーツ・レクリエーション ・スポーツ・レクリエーション活動の推進 ・スポーツ施設の整備充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
11 地域文化 ・歴史や伝統の保護・活用 ・芸術文化の振興 ・地域文化によるまちづくり	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
12 環境 ・住みよい環境づくりの推進 ・循環型社会の推進 ・低炭素社会の推進 ・環境教育・環境学習の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

	満足度					重要度				
	満足している	ある程度満足している	わからぬ	やや不満である	不満である	重要である	どちらかといえば重要である	わからぬ	あまり重要でない	重要でない
13 ごみ処理 ・ごみの減量・リサイクルの推進 ・ごみ処理体制の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
14 コミュニティ ・コミュニティ活動の推進 ・活動施設の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
15 市民活動 ・市民活動への支援 ・市民活動環境の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
16 土地利用 ・市街地の適正な利用 ・市街地周辺の適正な利用（市街化調整区域の整序）	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
17 道路交通 ・やさしさに配慮した道づくり ・まちの骨格となる道路づくり ・良好な交通環境づくり	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
18 緑・景観・環境共生 ・まちの骨格となる緑づくり ・うるおいのある生活環境づくり ・まちの魅力を生み出す景観づくり ・循環型社会を目指した環境にやさしいまちづくり	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

	満足度					重要度				
	満足している	一定程度満足している	わからぬ	やや不満である	不満である	重要である	どちらかといえば重要である	わからぬ	あまり重要でない	重要でない
19 市街地整備 ・特性に応じた市街地づくり ・上水道の整備・充実 ・公共下水道の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
20 安全・安心 ・災害や犯罪に強いまちづくり ・全ての人にやさしいまちづくり（生活空間のユニバーサルデザイン化の推進等）	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
21 産業の育成と支援 ・産業育成のための連携強化 ・起業・創業の支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
22 産業活性化 ・魅力ある商工業機能の形成 ・中小企業の経営基盤の強化 ・都市農業の振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
23 勤労者支援 ・勤労者支援の充実 ・雇用の促進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
24 シティ・セールス朝霞ブランド ・シティ・セールス朝霞ブランドの育成 ・シティ・プロモーションの展開	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
25 男女平等 ・男女平等の意識づくり ・男女平等が実感できる生活の実現	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

	満足度					重要度				
	満足している	ある程度満足している	わからない	やや不満である	不満である	重要である	どちらかといえば重要である	わからない	あまり重要でない	重要でない
26 人権の尊重 ・人権教育・啓発活動 ・問題解決に向けた支援体制の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
27 多文化共生 ・外国人市民が暮らしやすいまちづくり ・多文化共生への理解の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
28 市民参画・協働 ・参画と協働の仕組みの検討 ・市民参画と協働の推進 ・情報提供の充実と市民ニーズの把握	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
29 行財政 ・総合計画の推進 ・まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進 ・公平・適正な負担による財政基盤の強化 ・公共施設の効果的・効率的な管理運営 ・適正かつ効率的な行政事務の遂行 ・機能的な組織づくりと人材育成	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

V まちづくりへの市民の参加についてお聞きします

問13

まちづくりの役割分担に関して、あなたの考えにもっとも近いものを、次の中から1つ選んでください。

- 1 まちづくりは住民が自ら行うものであり、市民が中心で行う
- 2 民間事業者にまかせられる事業についてはなるべく民間事業者にまかせる
- 3 まちづくりは行政が主体となって行う
- 4 市と市民の役割分担を定め、市民参加を進めながら協働で行う
- 5 わからない
- 6 その他（ ）

問14

あなたのまちづくりに対する意欲を、次の中から1つ選んでください。

- | | |
|--------------|---------------|
| 1 積極的に参加したい | 2 時間があれば参加したい |
| 3 あまり参加したくない | 4 参加したくない |
| 5 わからない | |

VI これからまちづくりについてあなたの考えをお聞きします

問15

あなたは、将来の朝霞市をどのようなまちにしていきたいと思いますか。あなたのイメージに近いものを、次の中から3つまで選んでください。

- 1 子育てしやすく、学校などの教育環境が整って充実しているまち
- 2 高齢者や障害者などを大切にする福祉の充実したまち
- 3 医療や健康に暮らすための取組が充実しているまち
- 4 だれもが安全に暮らせるまち
- 5 快適な街並みや美しい都市景観に満ちたまち
- 6 鉄道・道路などの整備がさらに進んで、交通の便利なまち
- 7 水辺や緑など自然環境のよいまち
- 8 文化・芸術・スポーツに力を入れるまち
- 9 歴史や伝統を大切にするまち
- 10 産業が盛んで働く場所が多いまち
- 11 おしゃれな街並みやお店があって、買い物やグルメが楽しめるまち
- 12 その他（ ）

問16

今後、人口減少・少子高齢化が進むことが予想される中、どのような対策に取り組むべきだと考えますか。あなたの考えに近いものを、次の中から3つまで選んでください。

- 1 市内産業の活性化と雇用創出
- 2 市民の仕事と生活の両立を実現するまちづくり
- 3 朝霞市の魅力の再発見と活用による特色あるまちづくり
- 4 ふるさと意識の醸成
- 5 朝霞市の魅力を発信するシティ・プロモーション
- 6 妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目のない支援体制の構築
- 7 様々な保育需要に応じた環境づくり
- 8 魅力ある教育の推進
- 9 人と人がつながり、健康で一人一人が自分の生きがいを持てる地域づくり
- 10 様々な人々が相互に支えあうまちづくり
- 11 地域防災の連携を図り、災害に対応できるまちづくり
- 12 その他（ ）

自由意見欄

最後に、今後のまちづくりや市政について、ご意見などがありましたらお書きください。

以上で質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。

第2部 朝霞市青少年アンケート結果

I 調査の概要

1. 調査の目的

「市の全体的な計画」のことを朝霞市では「総合計画」と呼んでいる。現在、令和3年度（2021年度）からの計画の策定を進めており、この青少年アンケートは「第5次朝霞市総合計画後期基本計画」を策定する基礎資料として活用するために行ったものである。

2. 調査の方法

- ① **調査対象** 市内居住の12～18歳未満の男女（平成31年4月1日時点での満年齢）
- ② **対象者数** 1,000人
- ③ **抽出方法** 住民基本台帳（令和元年7月1日現在）から無作為抽出
- ④ **調査方法** 郵送配布、郵送回収
- ⑤ **調査期間** 令和元年7月16日送付、8月9日締切

3. 集計・分析のための地区区分

A 地区	大字上内間木、大字下内間木
B 地区	朝志ヶ丘、北原、田島、西原、浜崎、宮戸
C 地区	大字台、大字根岸、岡、仲町、根岸台
D 地区	泉水、西弁財、東弁財、三原
E 地区	青葉台、幸町、栄町、膝折町、本町、溝沼、陸上自衛隊朝霞駐屯地

4. 調査項目

- ①朝霞市について日頃感じていること
- ②これからのまちづくりについて
- ③日頃の地域との関わりについて
- ④自由記述

5. 回収結果

- ①標本数 1,000票
- ②有効回収数 362票
- ③有効回収率 36.2%

6. 報告書の見方

①集計について

比率は、全て百分率（%）で表し、小数点第2位以下を四捨五入して算出している。このため、比率の合計が100.0%にならない場合がある。

また、集計上の無回答とは、無回答及び無効回答の合算票数を示している。

②用語の取り扱いについて

図表及び文章中で、選択肢の文言を一部省略して用いている。

③設問ごとの集計の基数

グラフや図表で、“n=362” や (362) と表記してあるのは集計の基数である。全員が回答すべき設問では 362 となるが、回答者が限定される場合は、この数を下回る。

④経年比較について

これまでに実施した意識調査と経年比較を行う。

※平成 22 年度、平成 25 年度、令和元年度実施。

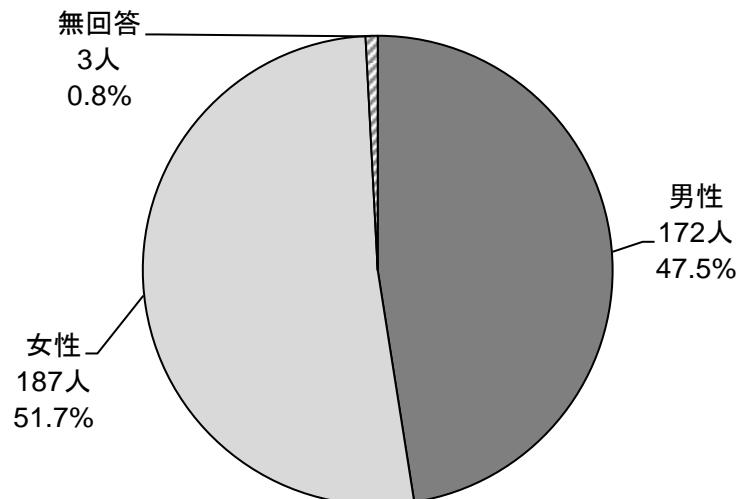
前々回調査（平成 21 年調査）では、朝霞市に立地する市立中学校及び県立高校から、各学校とも 1 クラスずつ抽出し、在学する生徒を対象に調査を行っているため、前々回調査との経年比較については、それぞれの結果を単純に比較することができないが、参考として記載している。

7. 回答者の属性

F1 あなたの性別は。

回答者の性別は、「女性」の割合が 51.7%、「男性」の割合が 47.5% となっている。

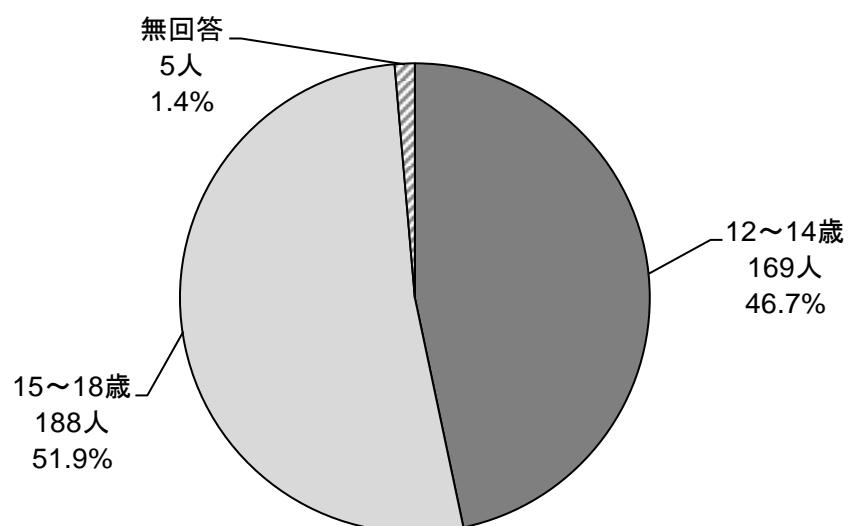
n=362



F2 あなたの年齢は。

年齢は、「15~18 歳」の割合が 51.9% で、「12~14 歳」の割合が 46.7% となっている。

n=362



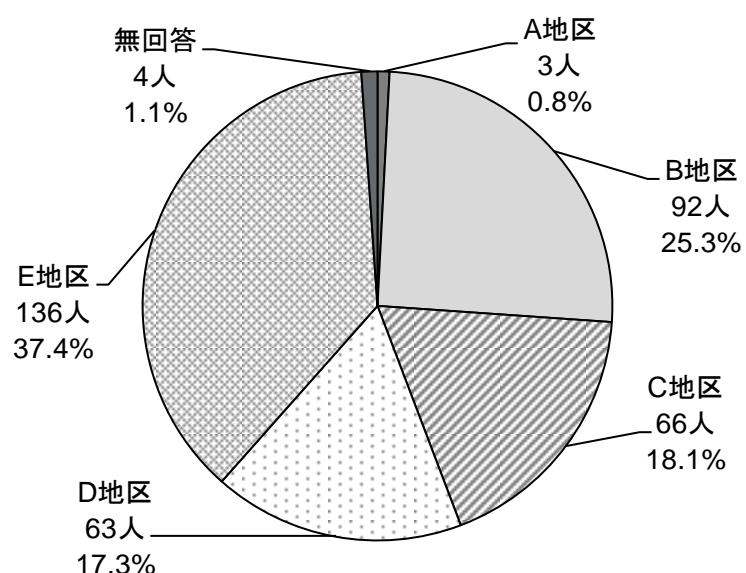
F3 あなたのお住まいはどの地区ですか。

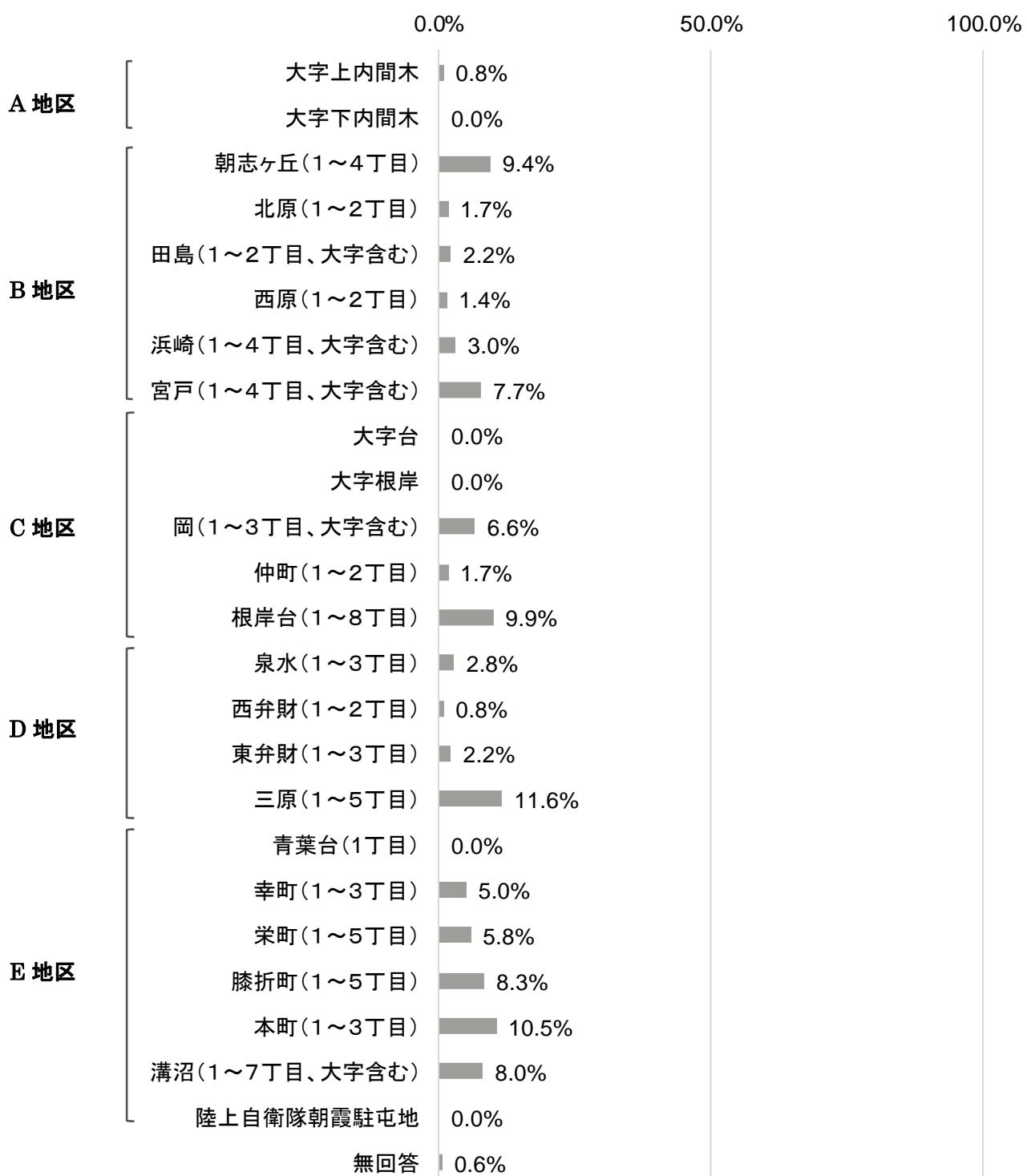
住んでいる地区は、「E 地区」の割合が 37.4%で最も高く、続いて「B 地区」(25.3%)、「C 地区」(18.1%)、「D 地区」(17.3%)、「A 地区」(0.8%) となっている。

大字・町村別でみた住んでいる地区は、「三原」の割合が 11.6%で最も高く、続いて「本町」(10.5%)、「根岸台」(9.9%) となっている。

※地区区分については、下図参照。

n=362

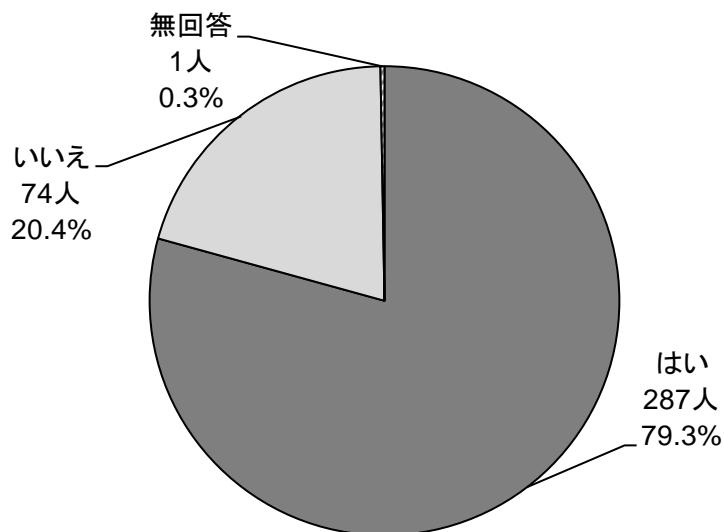




F4 あなたは、生まれた時、または幼少の頃から朝霞市にお住まいですか。

生まれた時から朝霞市に住んでいるかどうかについては、「はい」の割合が 79.3%、「いいえ」の割合が 20.4%となっている。

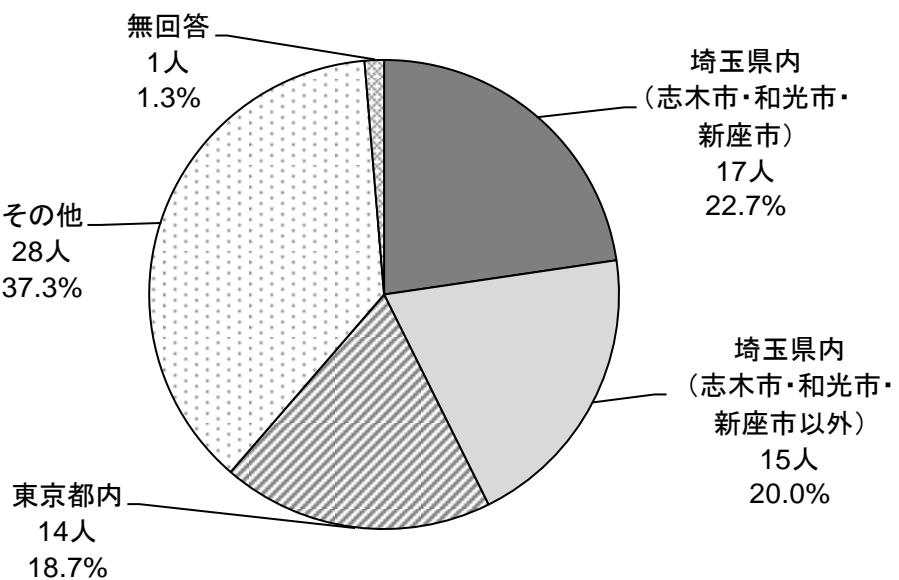
n=362



F5 F4で「2 いいえ」と回答された方にお聞きします。朝霞市に住む以前はどちらにお住まいでしたか。

市外から転入してきた回答者の以前の住まいは、「その他」の割合が 37.3%で最も高く、続いて「埼玉県内（志木市・和光市・新座市）」（22.7%）、「埼玉県内（志木市・和光市・新座市以外）」（20.0%）となっている。

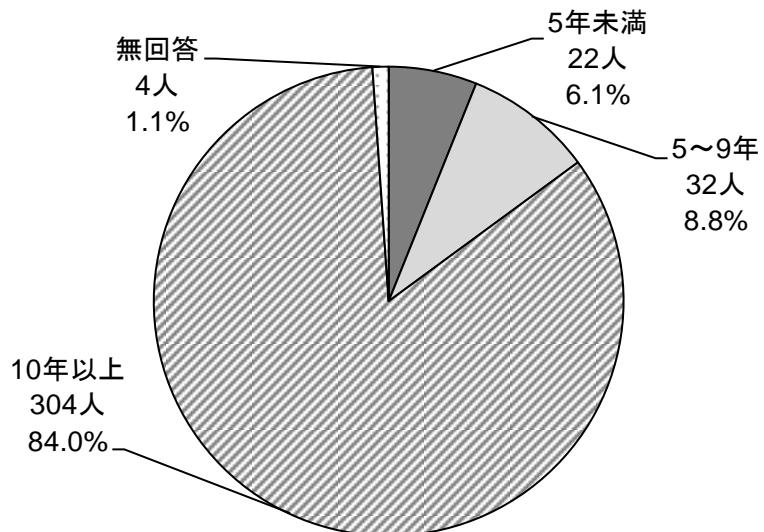
n=74



F6 あなたは、朝霞市にお住まいになってどれくらいになりますか。

朝霞市に住んでいる年数は、「10 年以上」の割合が 84.0%で最も高く、続いて「5~9 年」(8.8%)、「5 年未満」(6.1%) となっている。

n=362



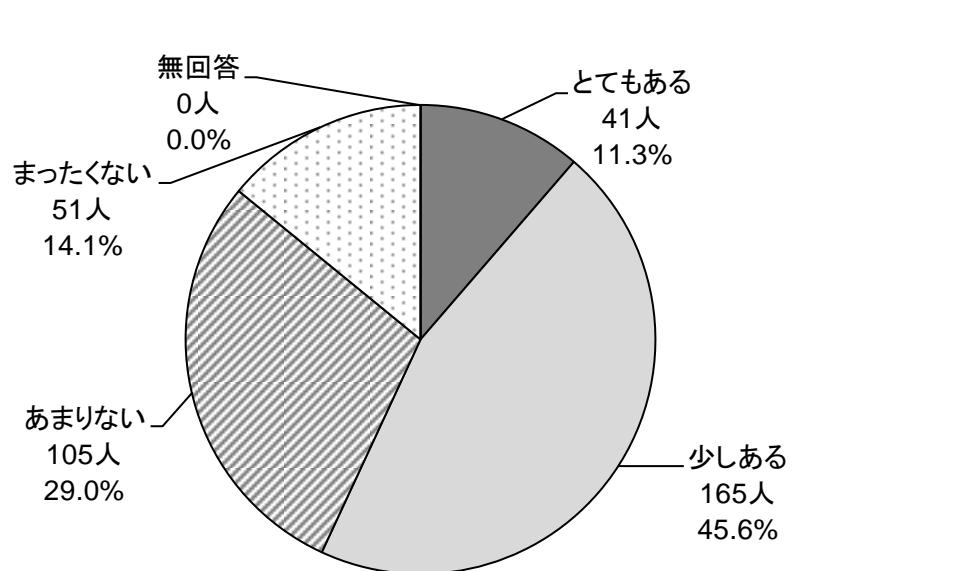
II 調査結果分析

1. 朝霞市について日頃感じていること

問1 あなたは、「朝霞市」のまちづくりに興味や関心がありますか。次の中から1つ選んでください。

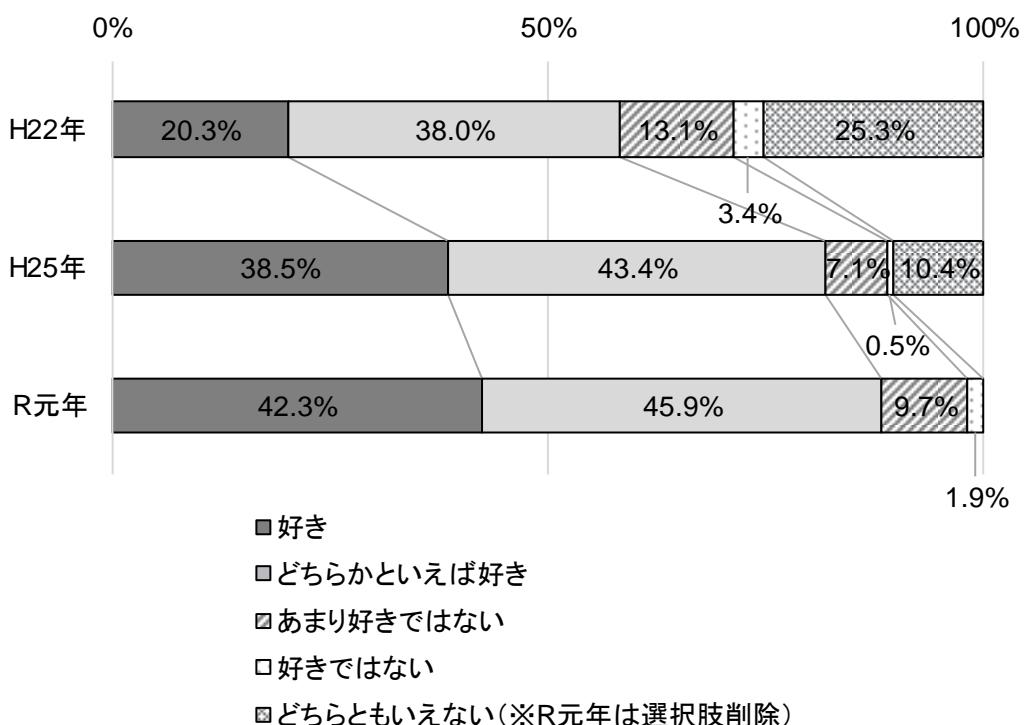
<全体>

朝霞市のまちづくりへの興味や関心は、「とてもある」(11.3%)、「少しある」(45.6%)を合わせた“興味・関心がある”割合が56.9%となっている。一方、「あまりない」(29.0%)、「まったくない」(14.1%)を合わせた“興味・関心がない”割合が43.1%となっている。



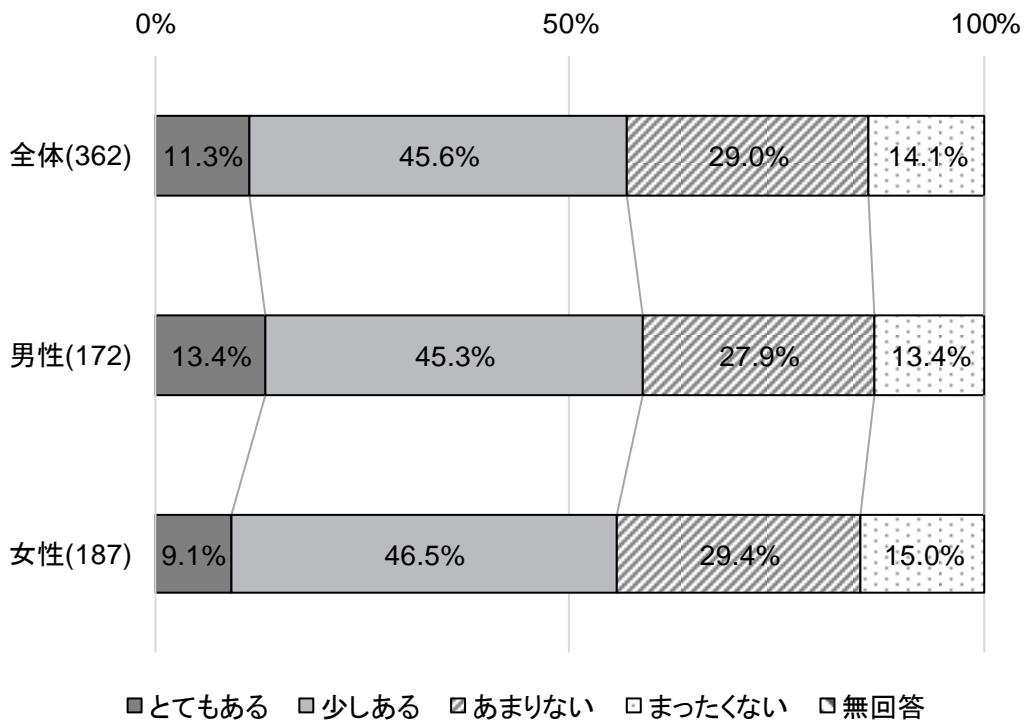
<経年比較>

「とてもある」割合は平成22年以降、増加している。



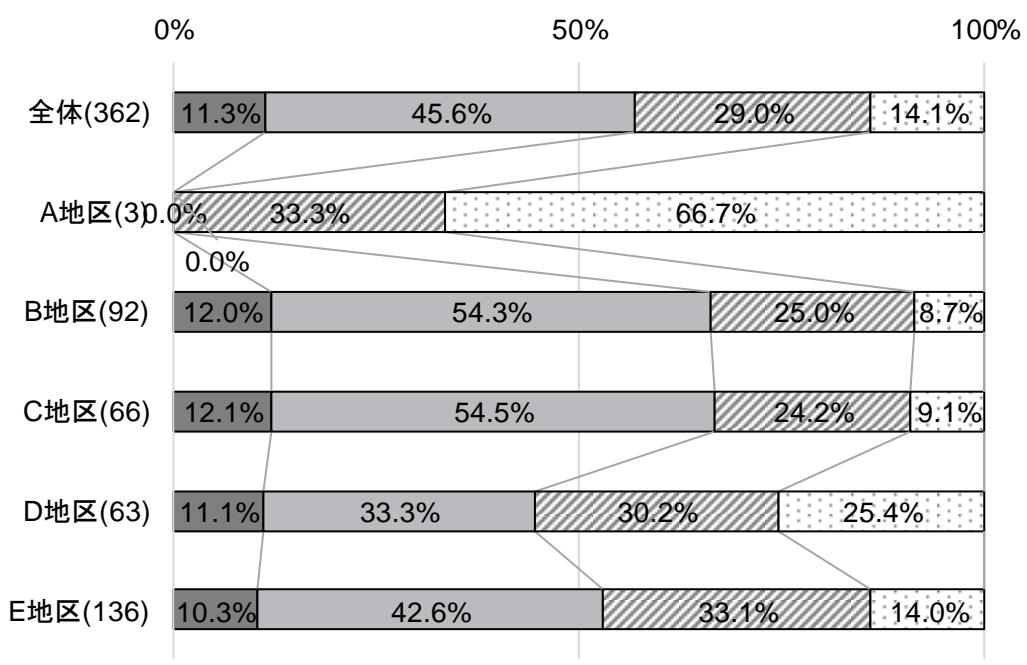
<性別>

性別での特徴は見られない。



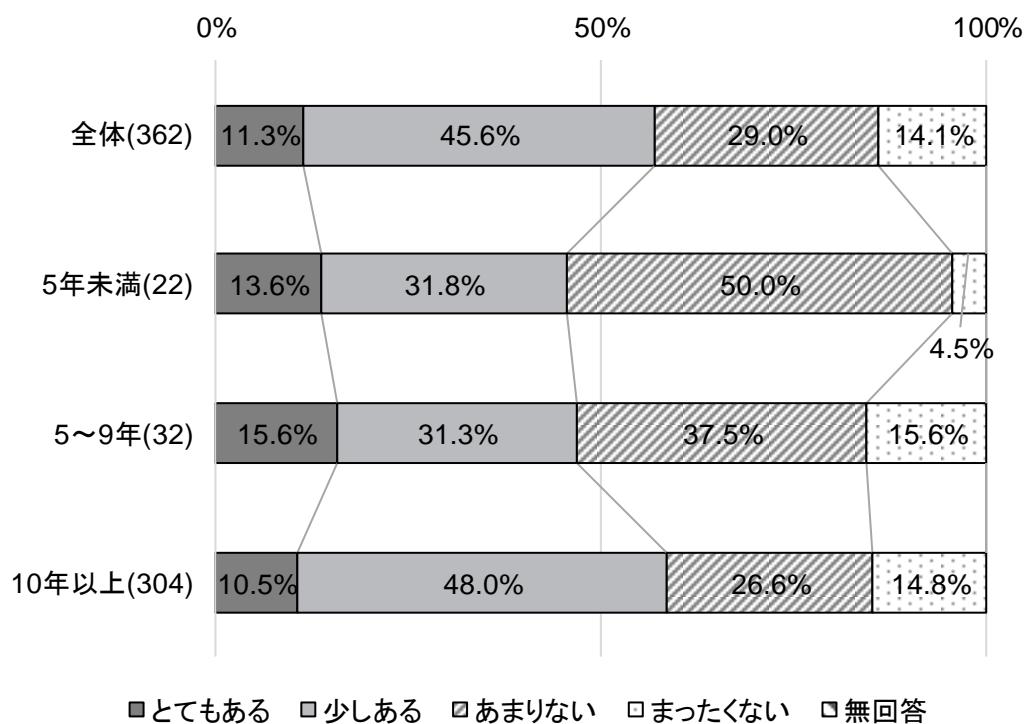
<居住地区>

“D 地区” では「少しある」割合が比較的高く、4 割を切っている。



<居住年数>

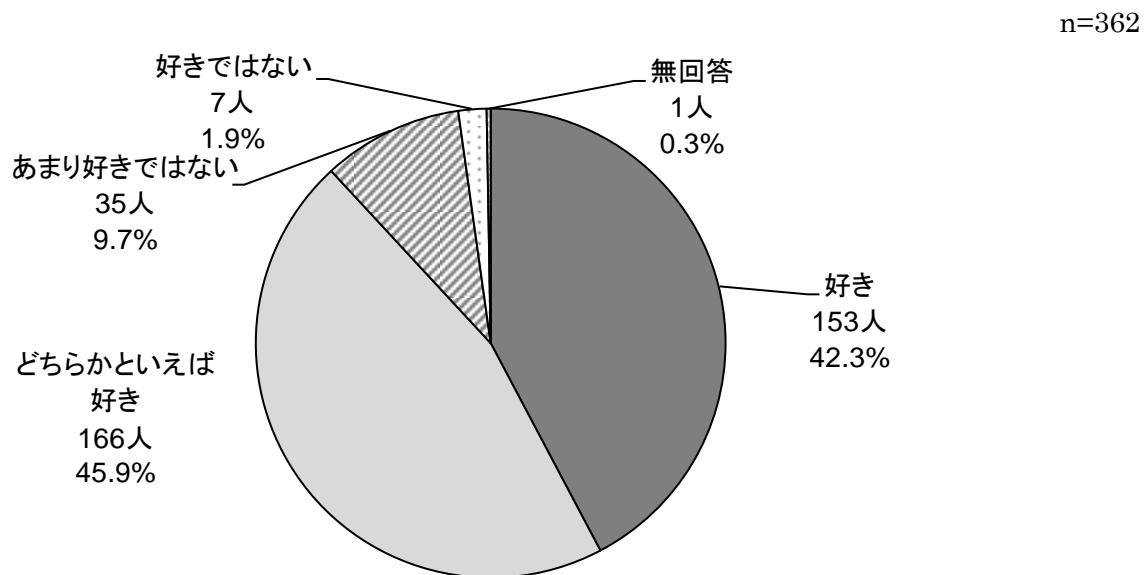
“10年以上”では「少しある」割合が比較的高く、4割を超えてい。



問2 あなたは、「朝霞市」が好きですか。次の中から1つ選んでください。

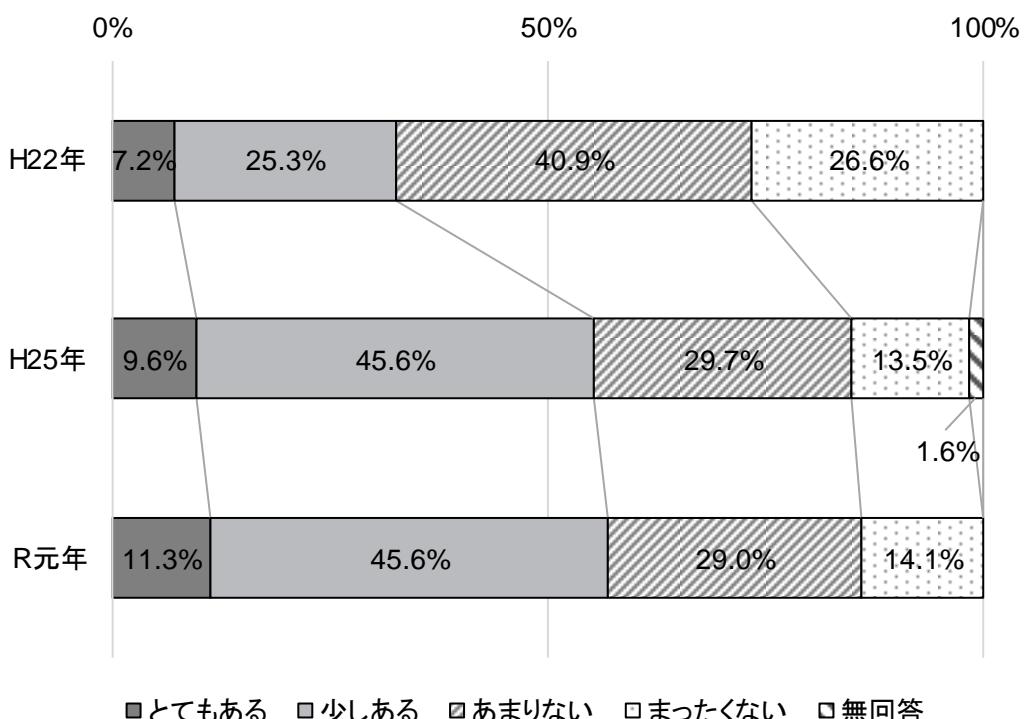
<全体>

朝霞市が好きかどうかは、「好き」(42.3%)、「どちらかといえば好き」(45.9%)を合わせた“好き”の割合が88.2%となっている。一方、「あまり好きではない」(9.7%)、「好きではない」(1.9%)を合わせた“嫌い”的割合が11.6%となっている。



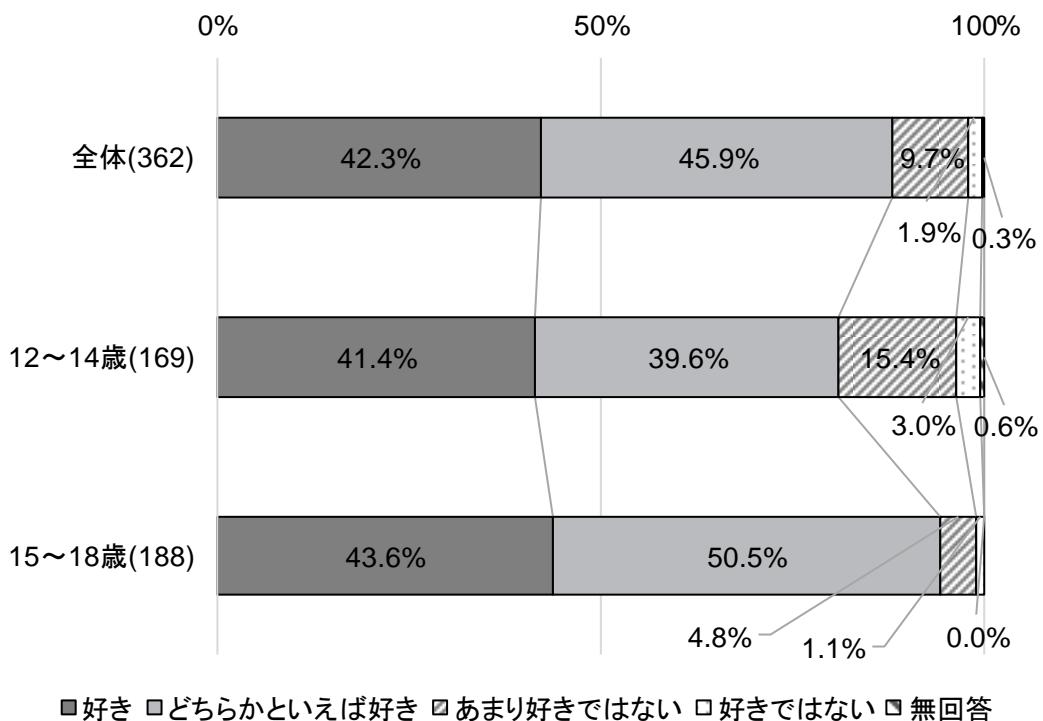
<経年比較>

「好き」、「どちらかといえば好き」の割合は平成22年以降、増加している。
※選択肢「好きではない」は、令和元年に新設している。(平成22年、平成25年は、選択肢「嫌い」を「好きではない」に読み替えてカウントしている。)



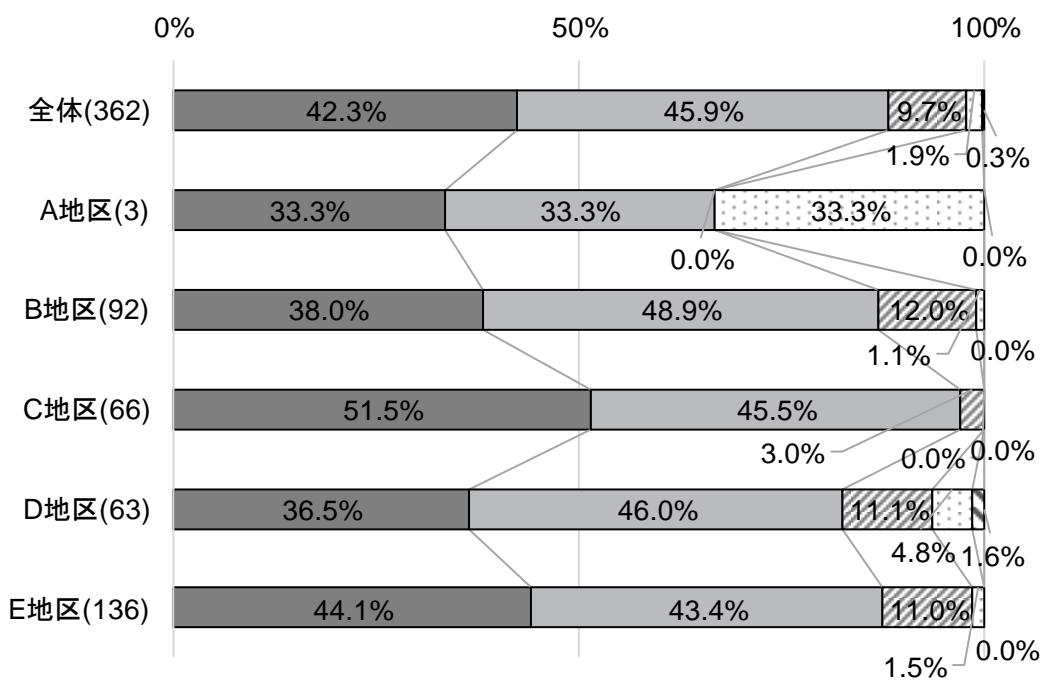
<年代>

“15～18歳”の方が、「どちらかといえば好き」割合が高く、5割を超えており。一方、“12～14歳”の方が、「あまり好きではない」割合が高く、1割を超えている。



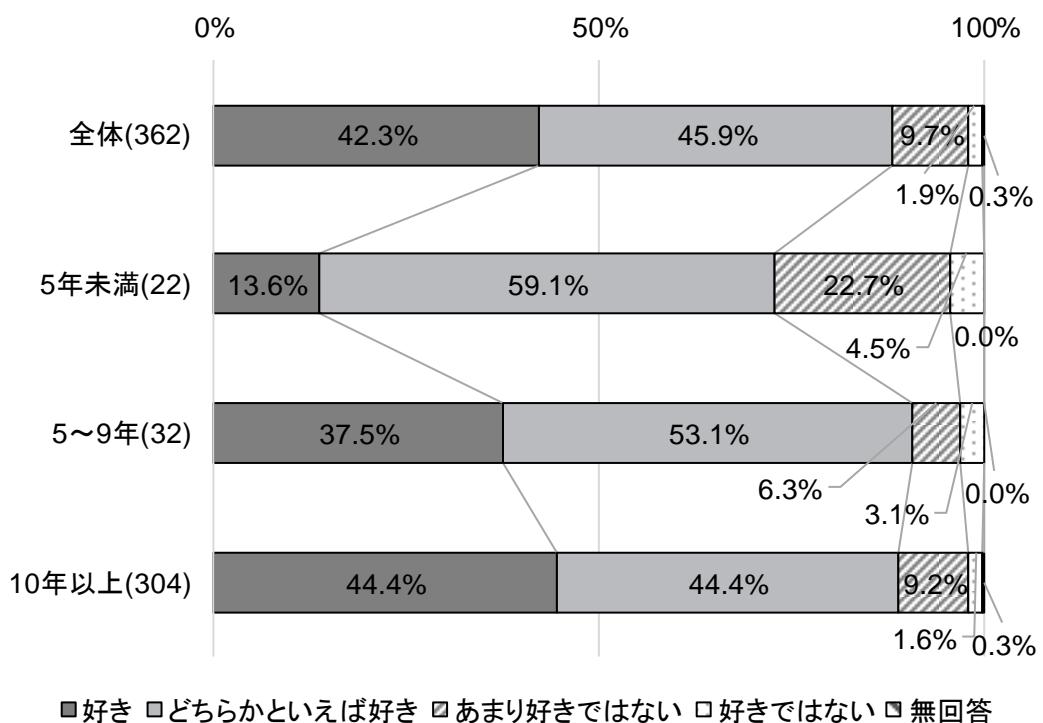
<居住地区>

“C地区”では「好き」割合が比較的高く、5割を超えており。



<居住年数>

年数が長い方が、「好き」割合が高くなる傾向にある。



■好き □どちらかといえば好き □あまり好きではない □好きではない □ 無回答

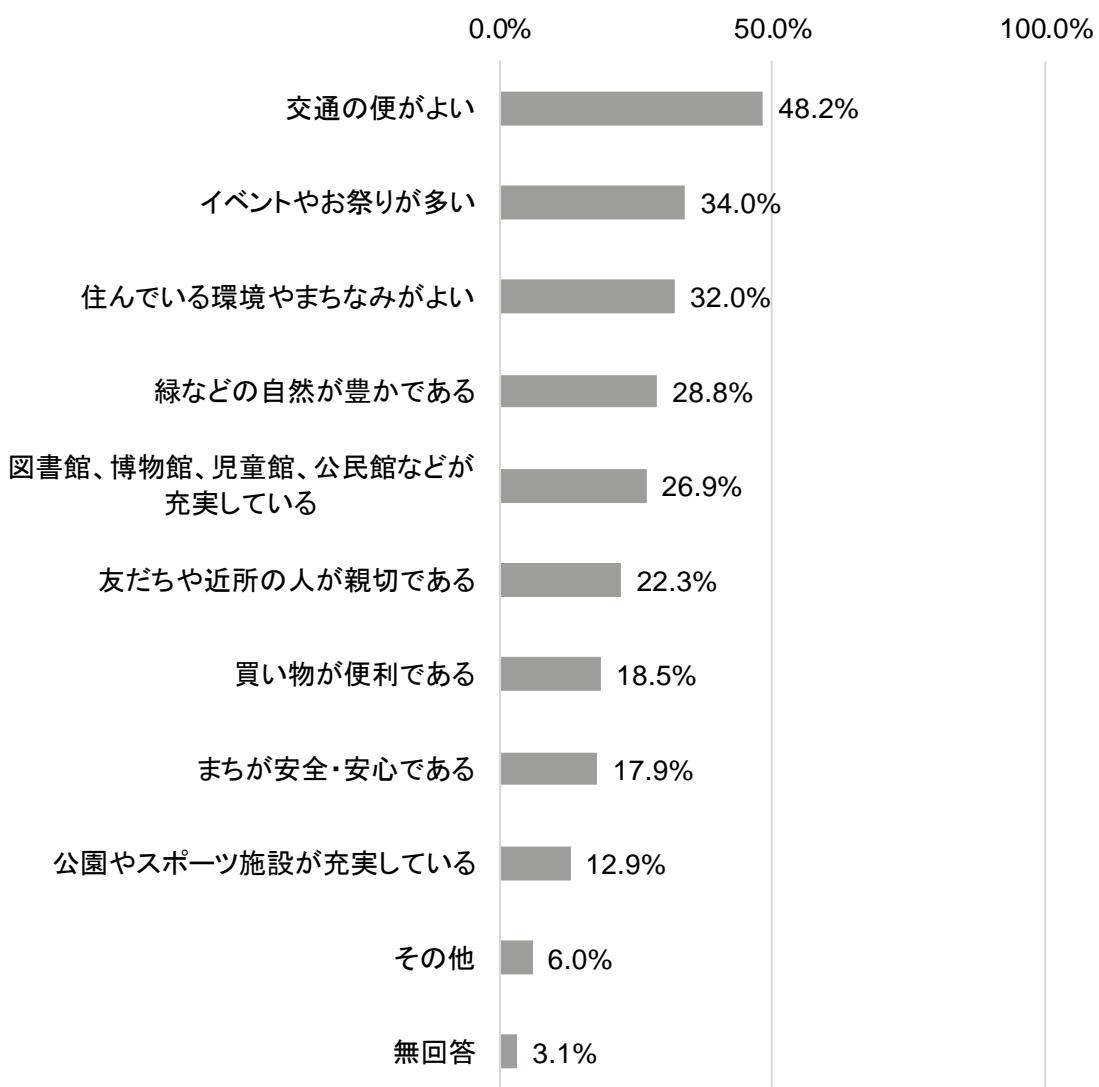
**問3 問2で「1 好き」「2 どちらかといえば好き」と答えた方にお聞きします。その理由は何ですか。次の
中から3つまで選んでください。**

<全体>

朝霞市が好きな理由は、「交通の便がよい」の割合が48.2%で最も高く、続いて「イベントやお祭りが多い」(34.0%)、「住んでいる環境やまちなみがよい」(32.0%)となっている。

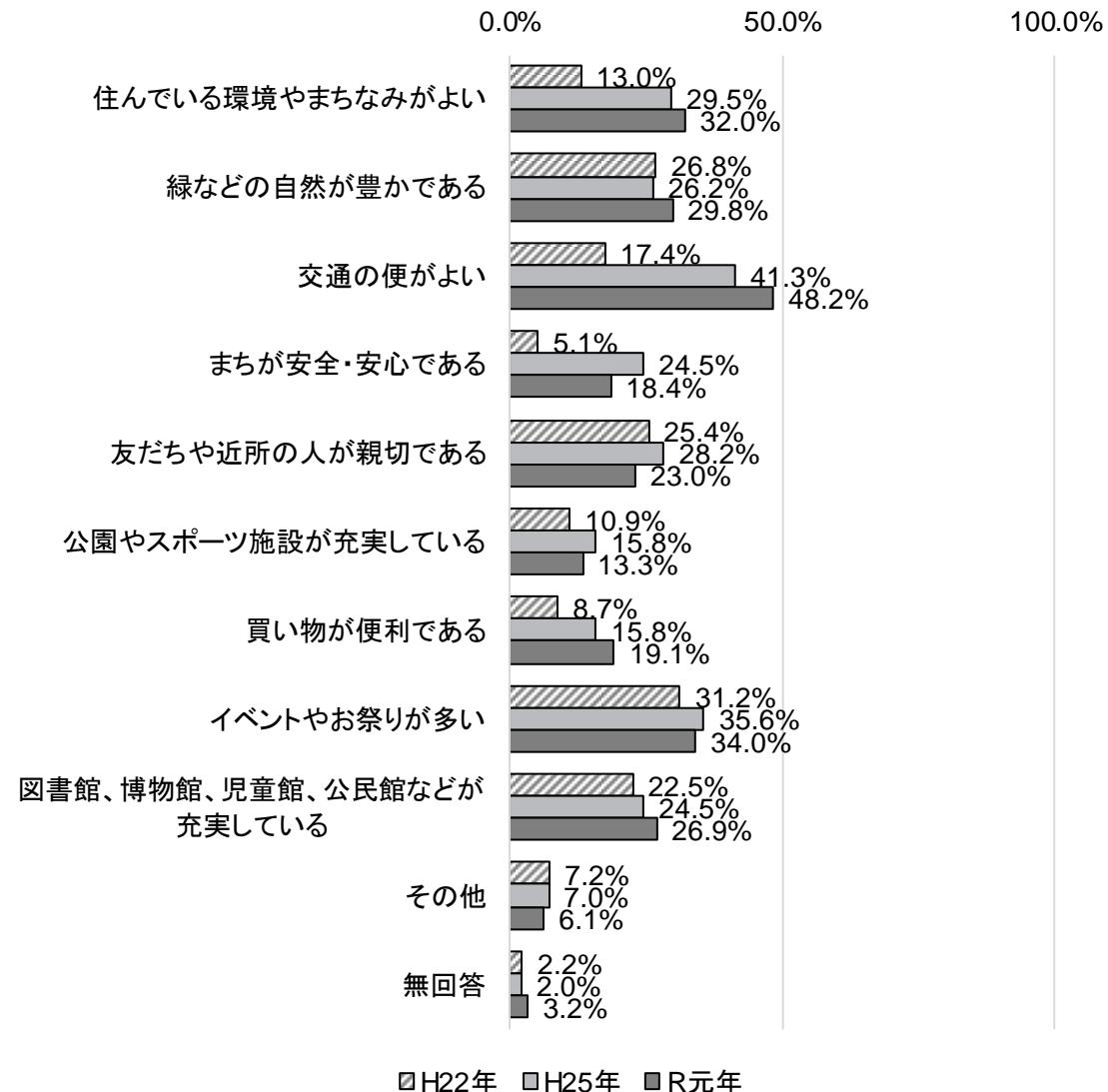
「その他」には、「田舎すぎず、都会すぎず静かで良い」、「駅がきれいで、駅周辺のお店が充実している」などの記述があった。

n=319



<経年比較>

「交通の便がよい」割合は平成 22 年以降、増加している。



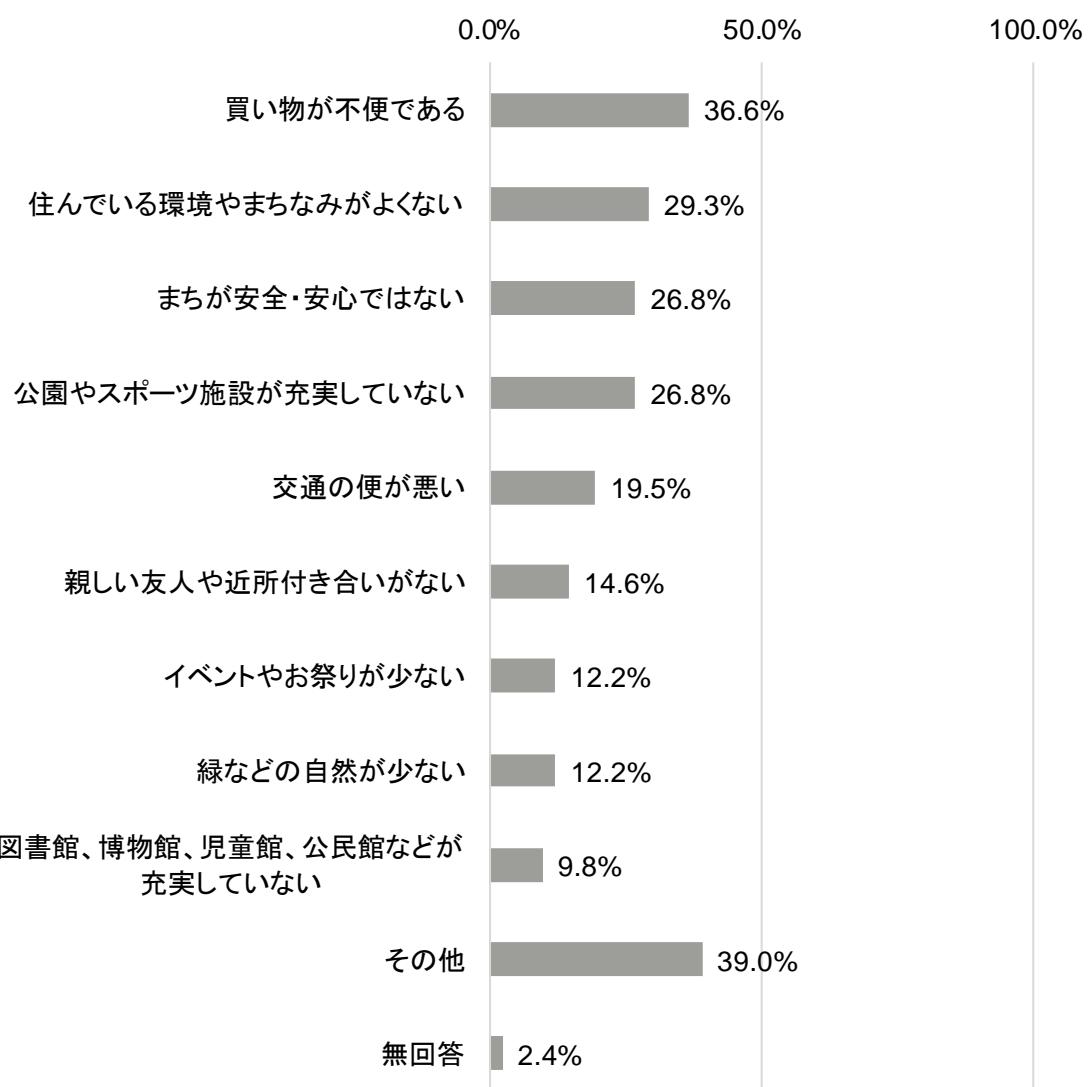
**問4 問2で「3 あまり好きではない」「4 好きではない」と答えた方にお聞きします。その理由は何ですか。
次の中から3つまで選んでください。**

<全体>

朝霞市が嫌いな理由は、「買い物が不便である」の割合が36.6%で最も高く、続いて「住んでいる環境やまちなみがよくない」(29.3%)、「まちが安全・安心ではない」、「公園やスポーツ施設が充実していない」(ともに26.8%)となっている。

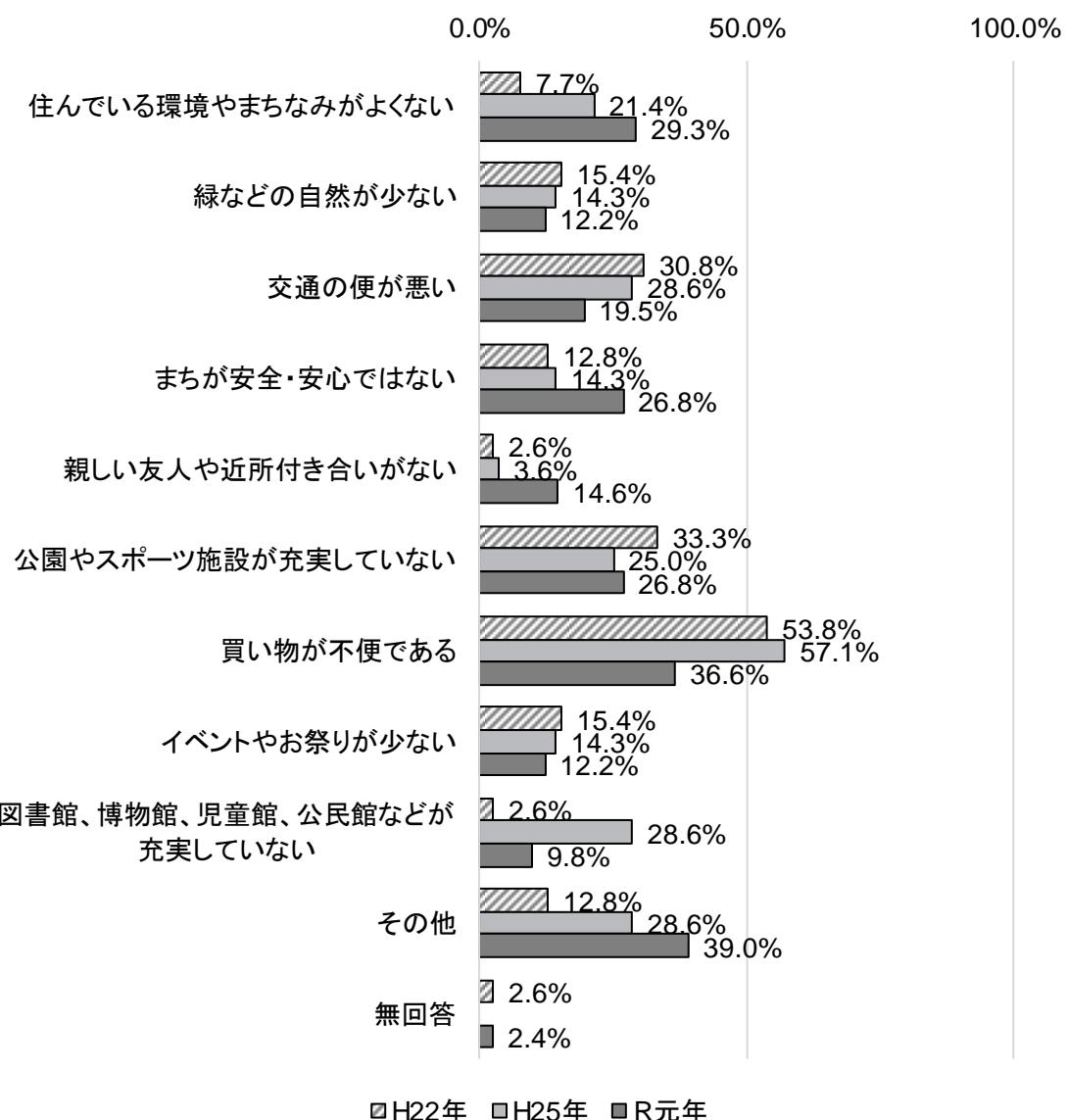
「その他」には、「人が優しくない」などの記述があった。

n=42



<経年比較>

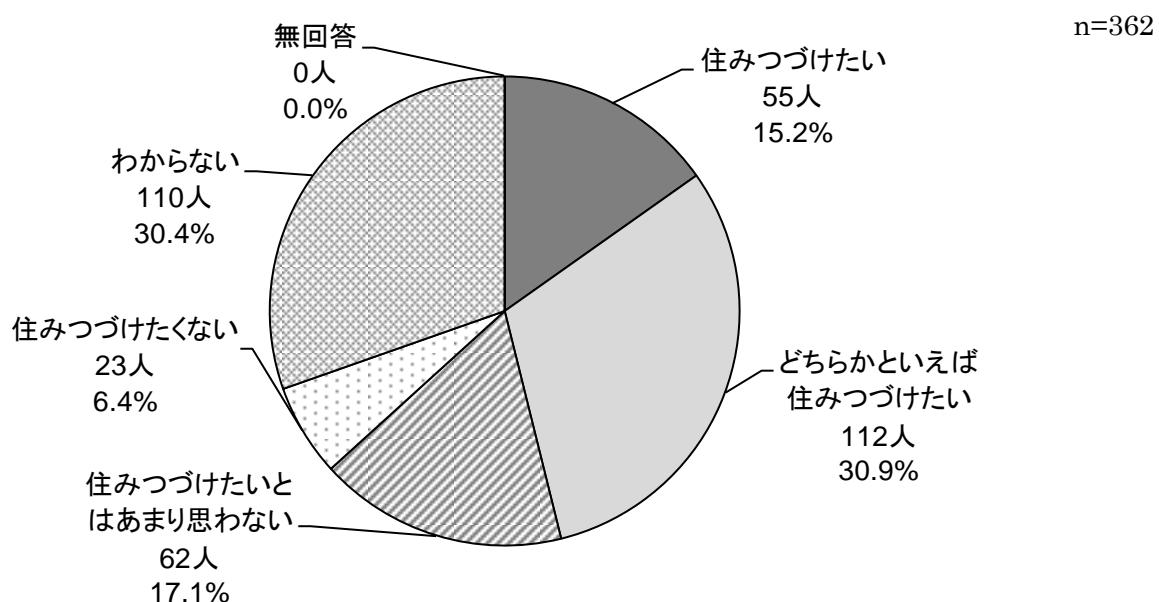
「緑などの自然が少ない」、「交通の便が悪い」割合は平成 22 年以降、「買い物が不便である」、「図書館、博物館、児童館、公民館などが充実していない」割合は令和元年、減少に転じている。一方、「住んでいる環境やまちなみがよくない」、「まちが安全・安心ではない」、「親しい友人や近所付き合いがない」割合は平成 22 年以降、増加している。



問5 大人になっても、朝霞市に住みつづけたいですか。次の中から1つ選んでください。

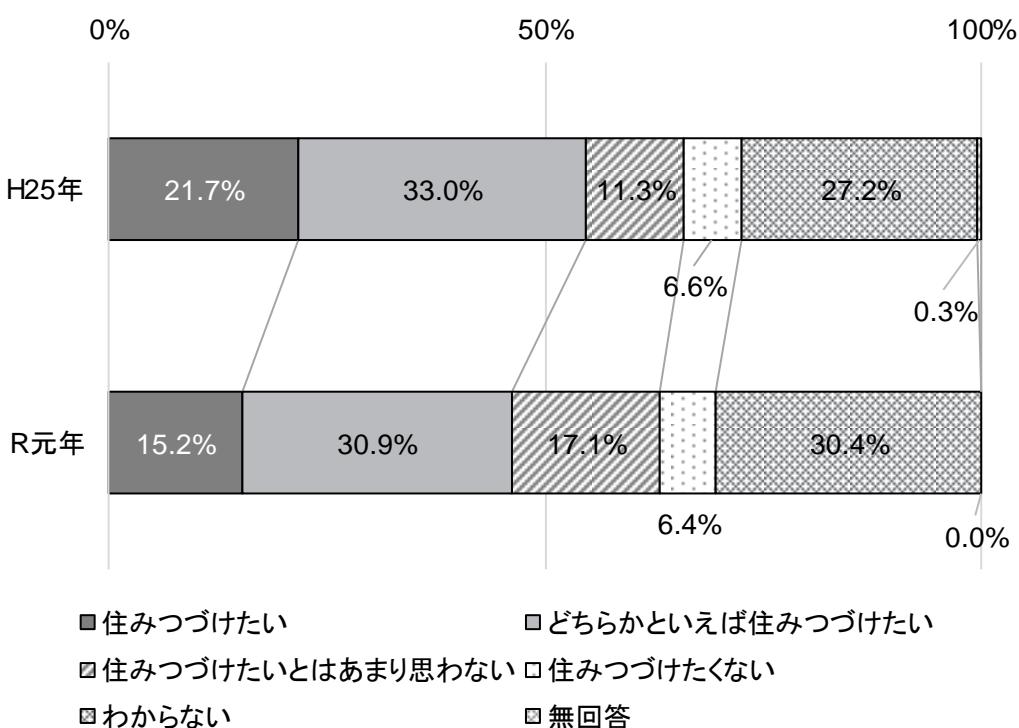
<全体>

大人になっても朝霞市に住みたいかどうかは、「住みつづけたい」(15.2%)、「どちらかといえば住みつづけたい」(30.9%)を合わせた“住みたい”の割合が46.1%となっている。一方、「住みつづけたいとはあまり思わない」(17.1%)、「住みつづけたくない」(6.4%)を合わせた“住みたくない”の割合が23.5%となっている。



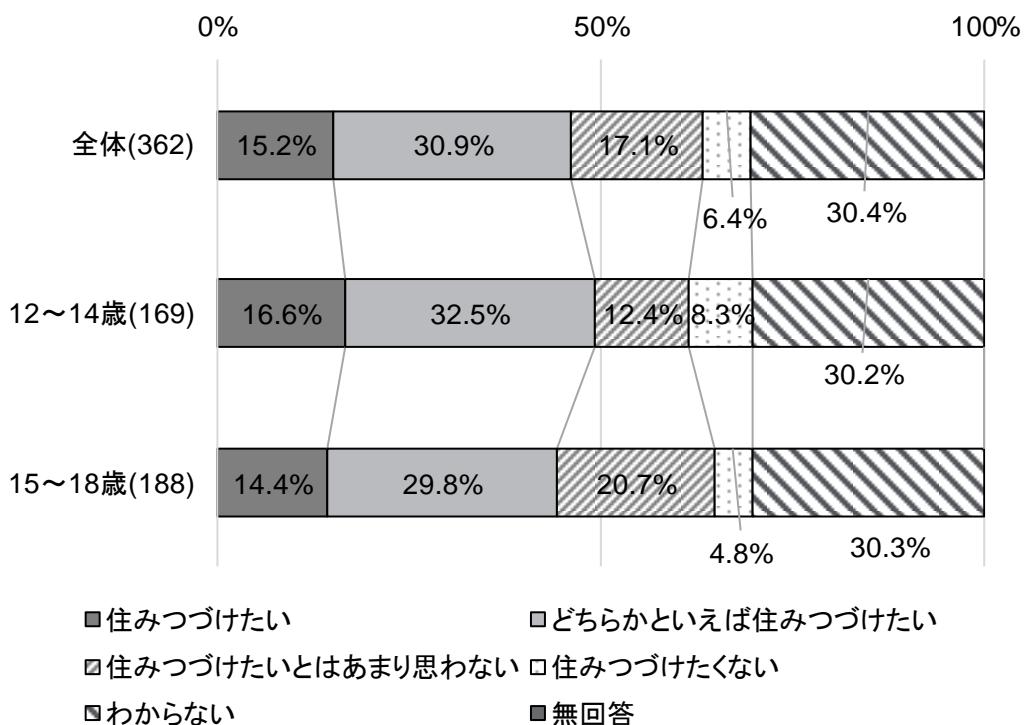
<経年比較>

「住みつづけたい」、「どちらかといえば住みつづけたい」割合は、減少している。一方、「住みつづけたいとはあまり思わない」割合は、増加している。



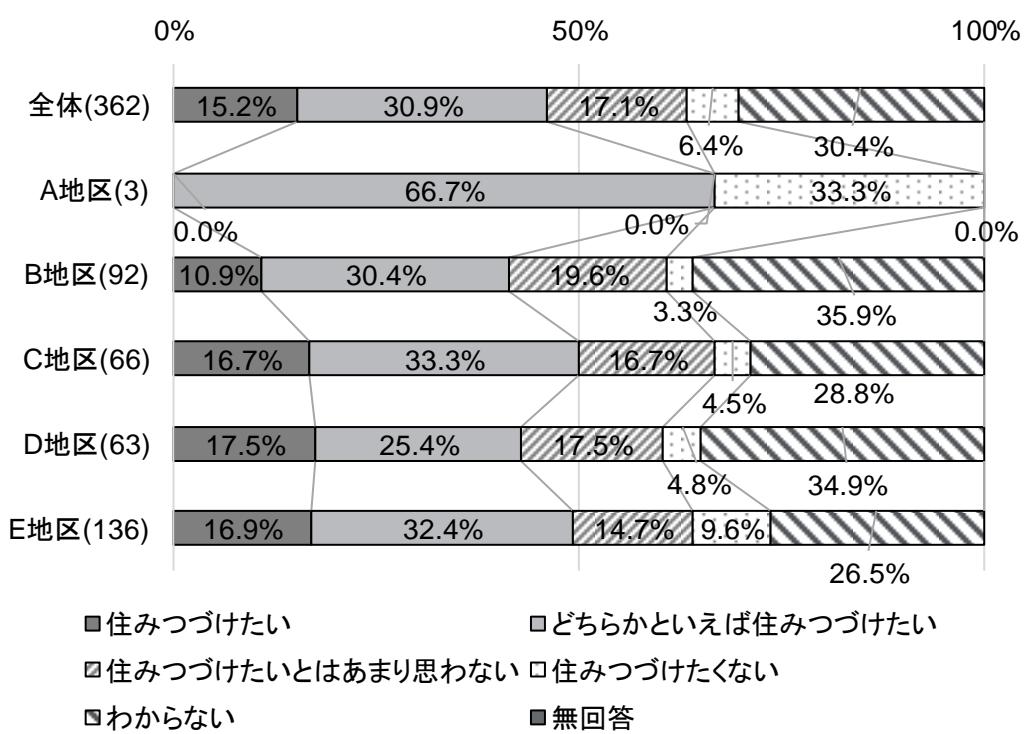
<年代>

“15～18歳”の方が、「住みつづけたいとはあまり思わない」割合が比較的高く、2割を超えている。



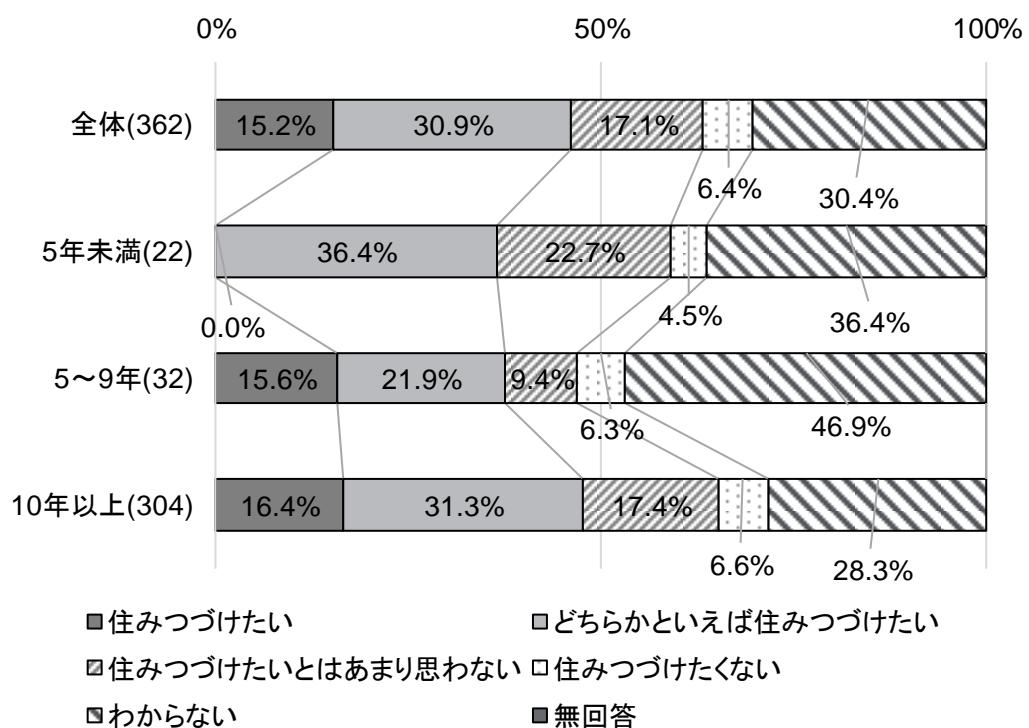
<居住地区>

“A地区”では「どちらかといえば住みつづけたい」割合が比較的高く、6割を超えていている。



<居住年数>

“5年未満”では「住みつけたいとはあまり思わない」割合が比較的高く、2割を超えている。



2. これからのかまちづくりについて

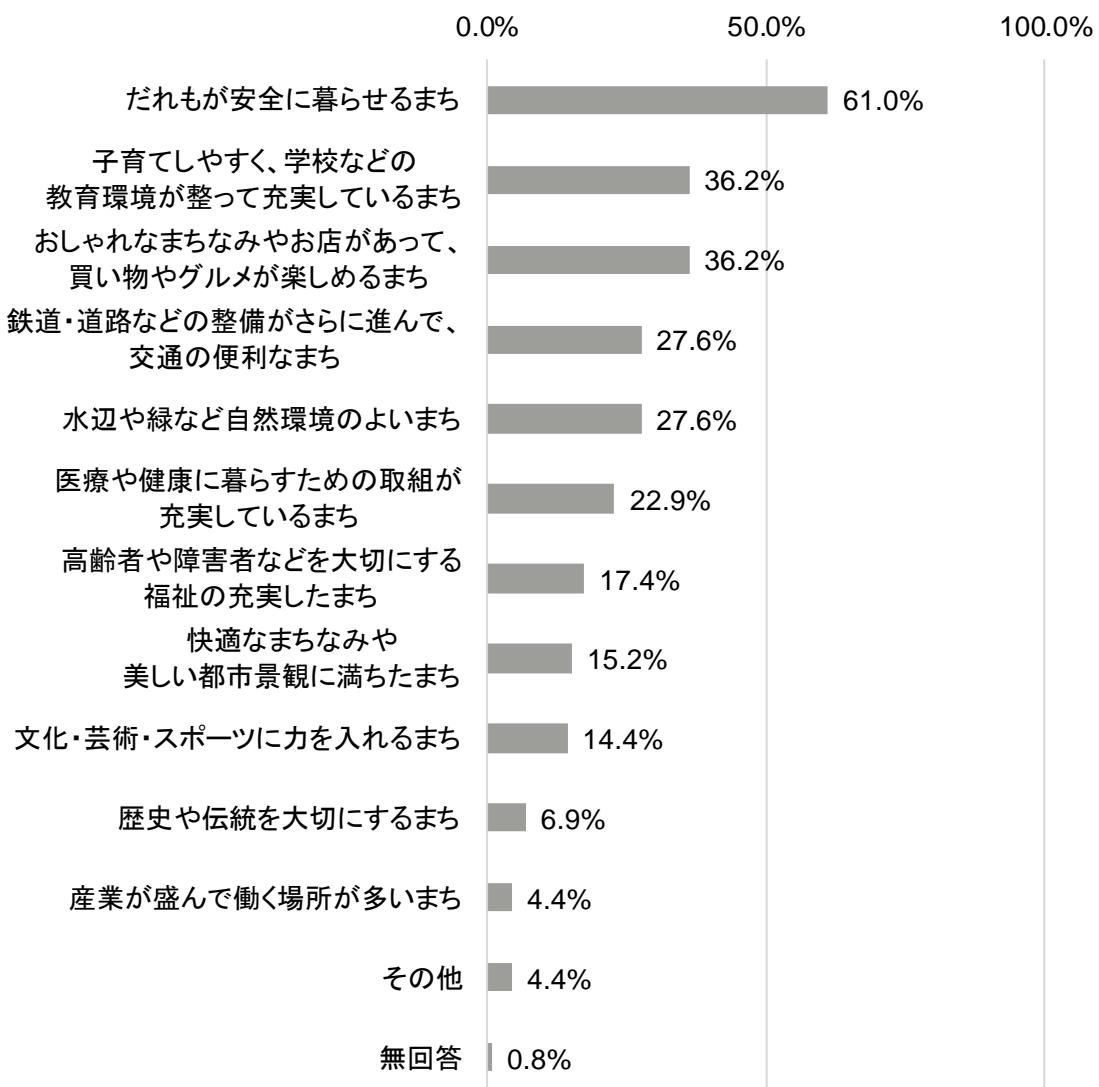
問6 あなたは、将来の朝霞市をどのようなまちにしていきたいと思いますか。あなたのイメージに近いものを、次の中から3つまで選んでください。

<全体>

まちづくりの方向性は、「だれもが安全に暮らせるまち」の割合が61.0%で最も高く、続いて「子育てしやすく、学校などの教育環境が整って充実しているまち」(36.2%)、「おしゃれなまちなみやお店があって、買い物やグルメが楽しめるまち」(36.2%)となっている。

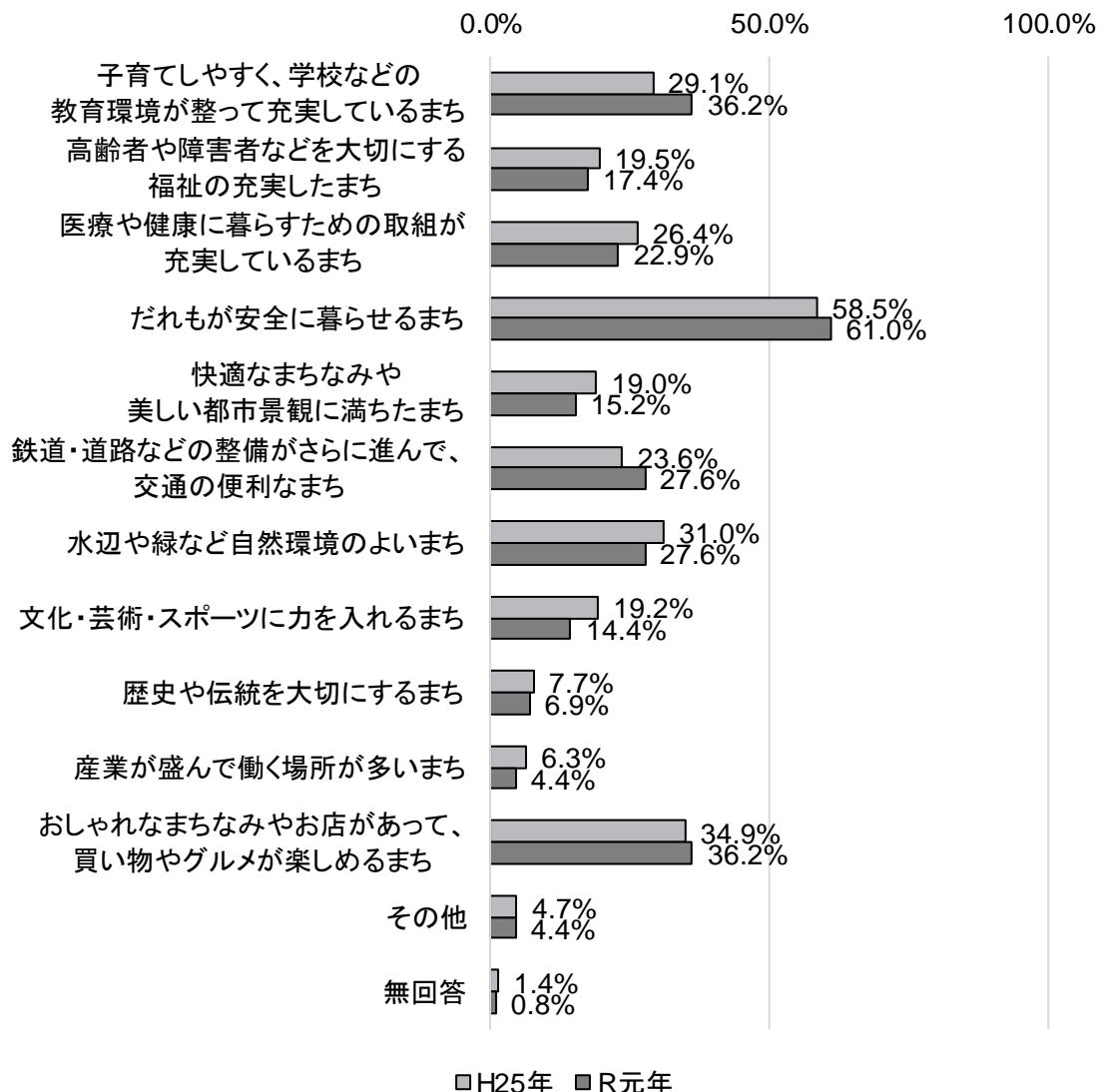
「その他」には、「駅前のシャッター商店街を、きれいに、明るく、栄えさせてほしいです」、「レジャー施設が充実したまち」などの記述があった。

n=362



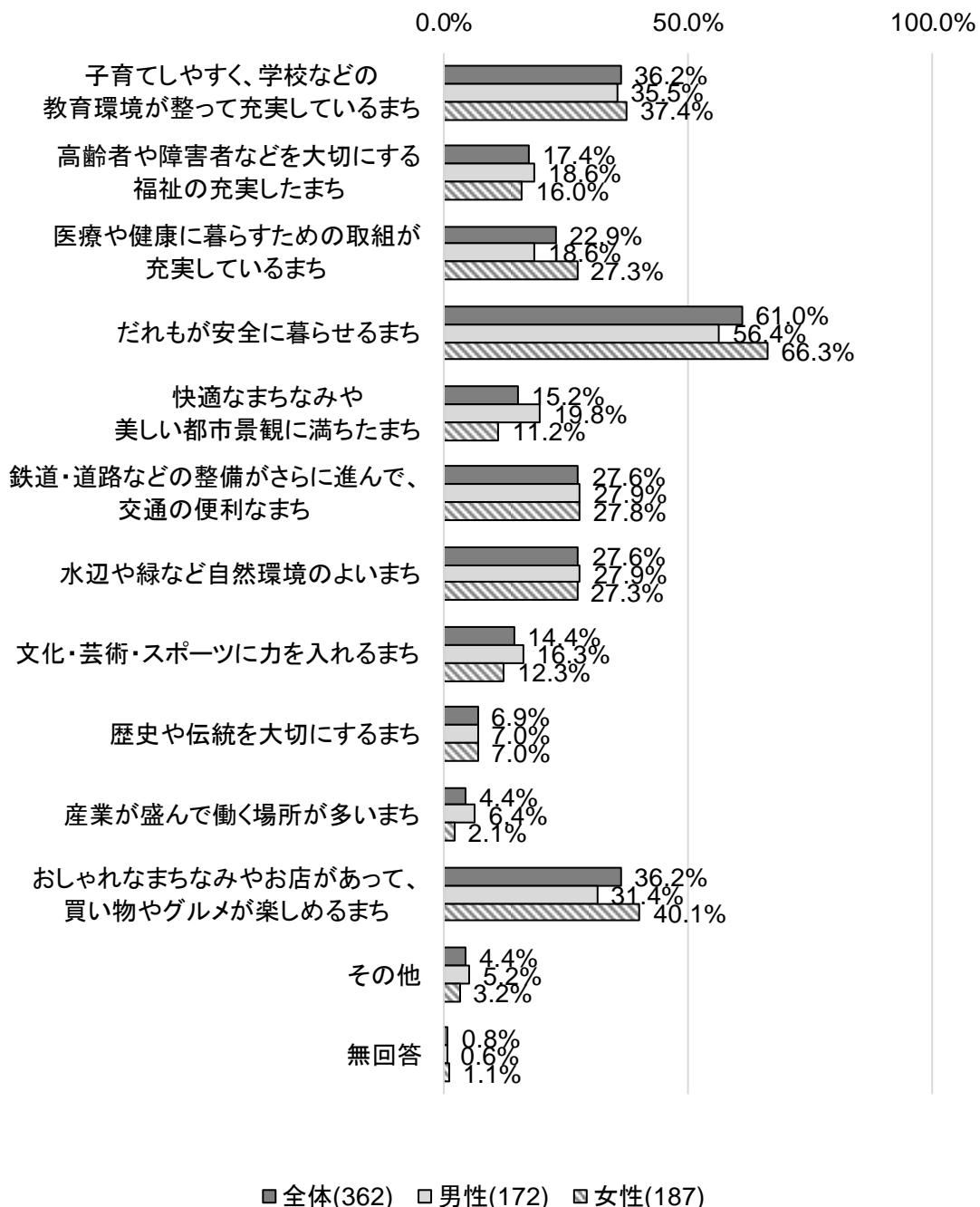
<経年比較>

「子育てしやすく、学校などの教育環境が整って充実しているまち」、「鉄道・道路などの整備がさらに進んで、交通の便利なまち」割合は、増加している。一方、「高齢者や障害者などを大切にする福祉の充実したまち」、「医療や健康に暮らすための取組が充実しているまち」、「快適なまちなみや美しい都市景観に満ちたまち」、「水辺や緑など自然環境のよいまち」、「文化・芸術・スポーツに力を入れるまち」、「歴史や伝統を大切にするまち」、「産業が盛んで働く場所が多いまち」割合は、減少している。



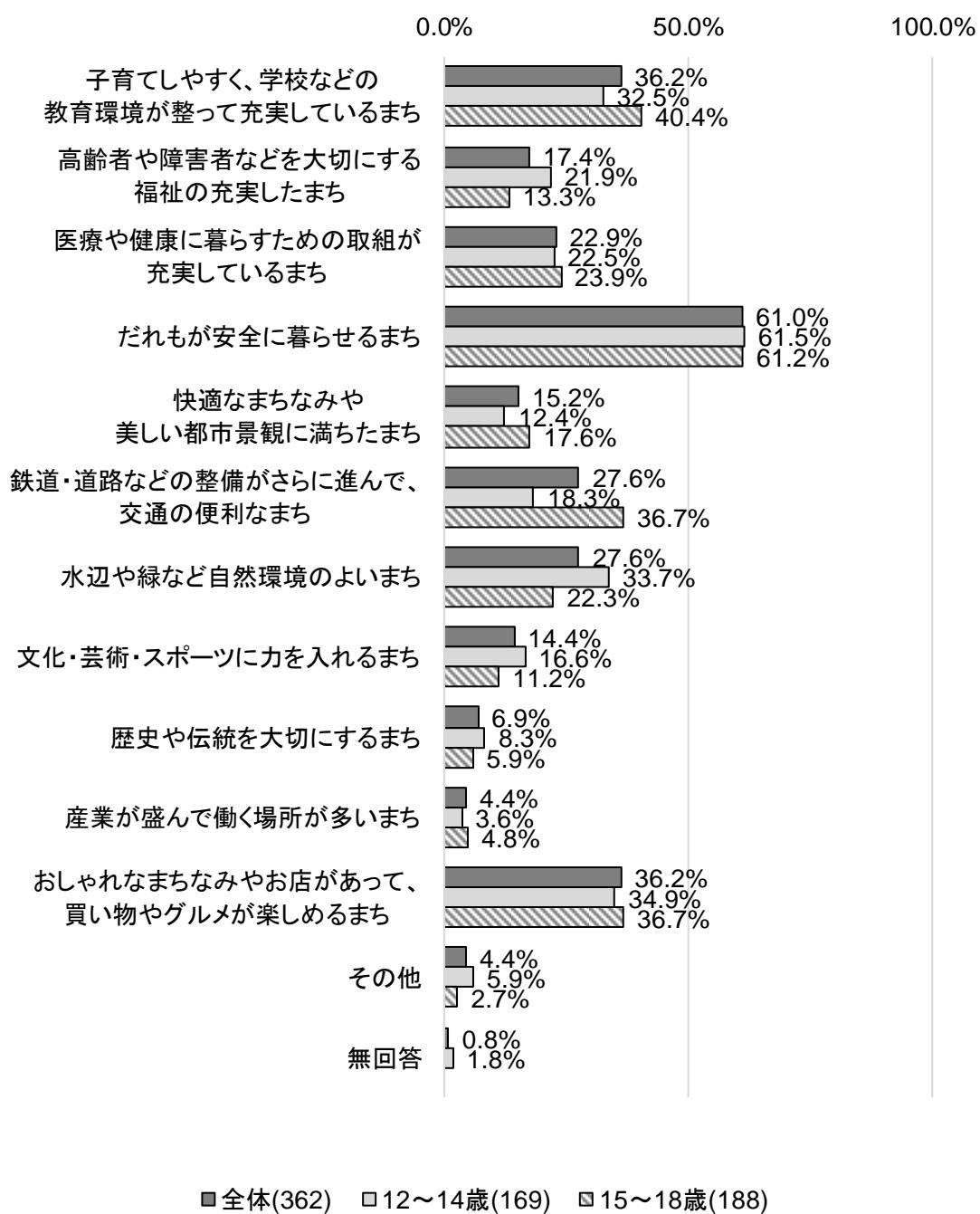
<性別>

“男性”の方が、「産業が盛んで働く場所が多いまち」割合が高い。一方、“女性”の方が、「医療や健康に暮らすための取組が充実しているまち」割合が高く、3割近くに上っている。



<年代>

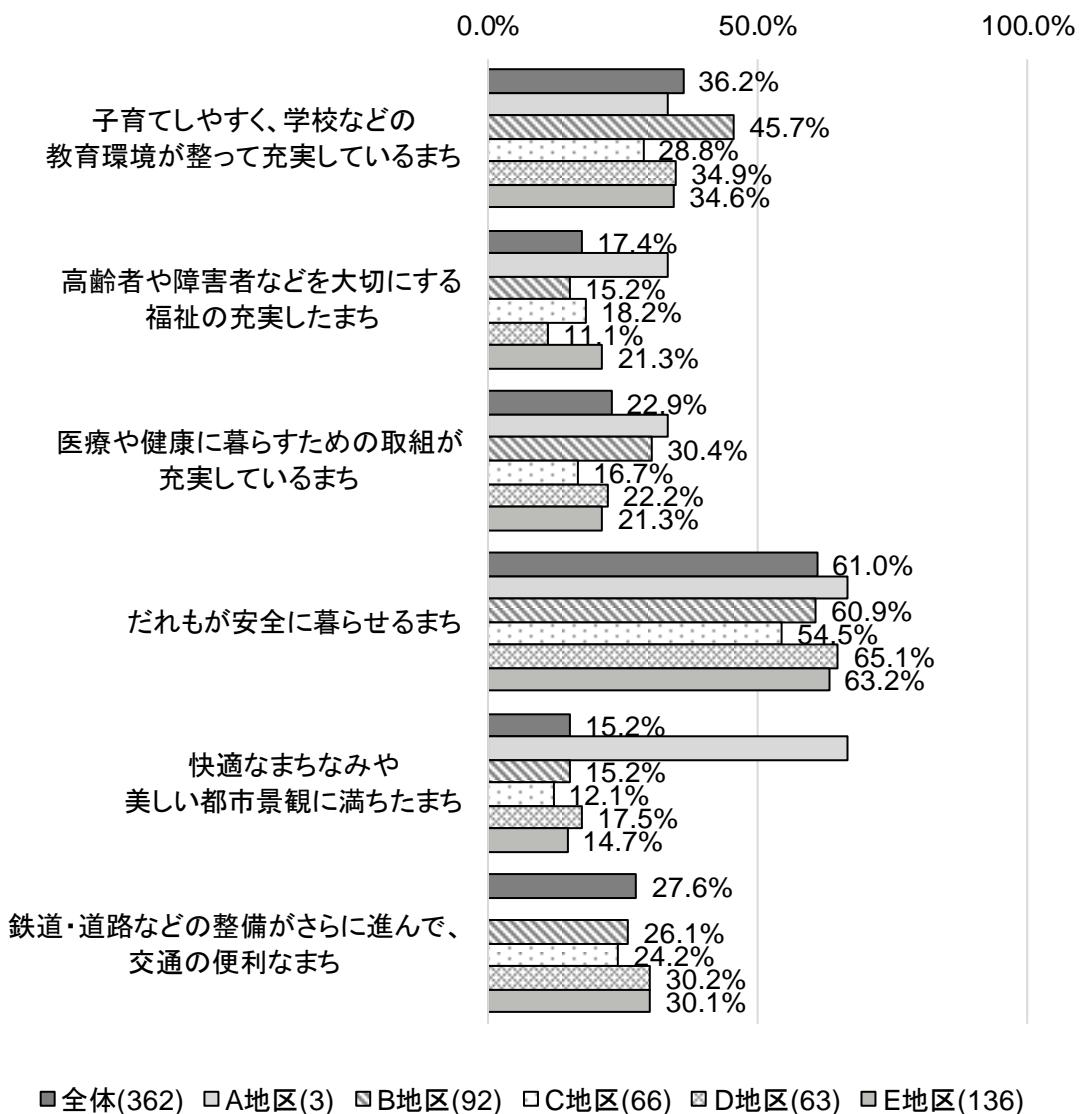
“12～14歳”の方が、「水辺や緑など自然環境のよいまち」割合が高く、3割を超えており。一方、“15～18歳”的方が、「鉄道・道路などの整備がさらに進んで、交通の便利なまち」割合が高く、3割を超えている。

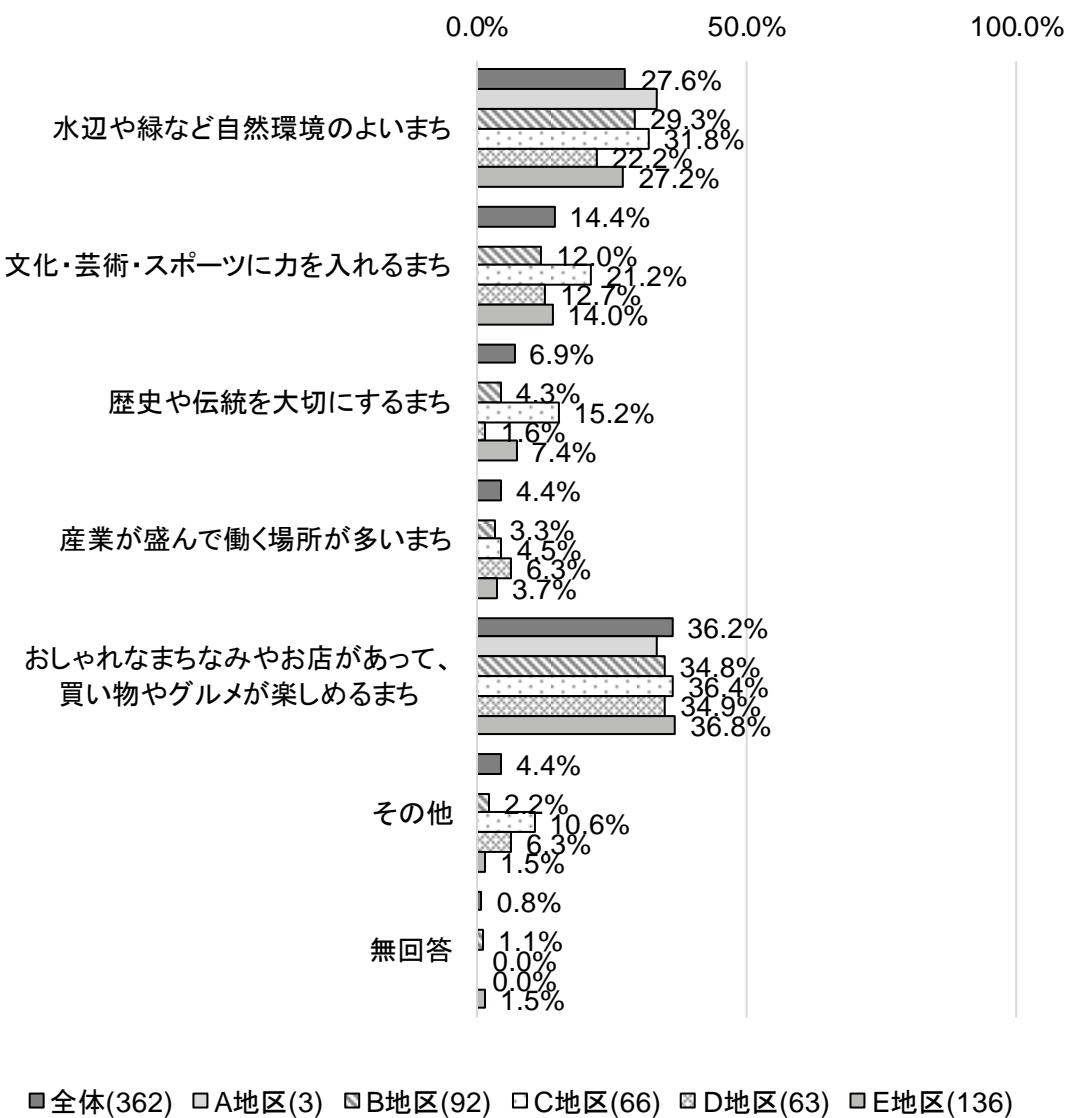


■全体(362) □12～14歳(169) ▨15～18歳(188)

<居住地区>

“B 地区”では「子育てしやすく、学校などの教育環境が整って充実しているまち」割合が比較的高く、4割を超えており。一方、“C 地区”では「歴史や伝統を大切にするまち」割合が比較的高く、1割を超えている。





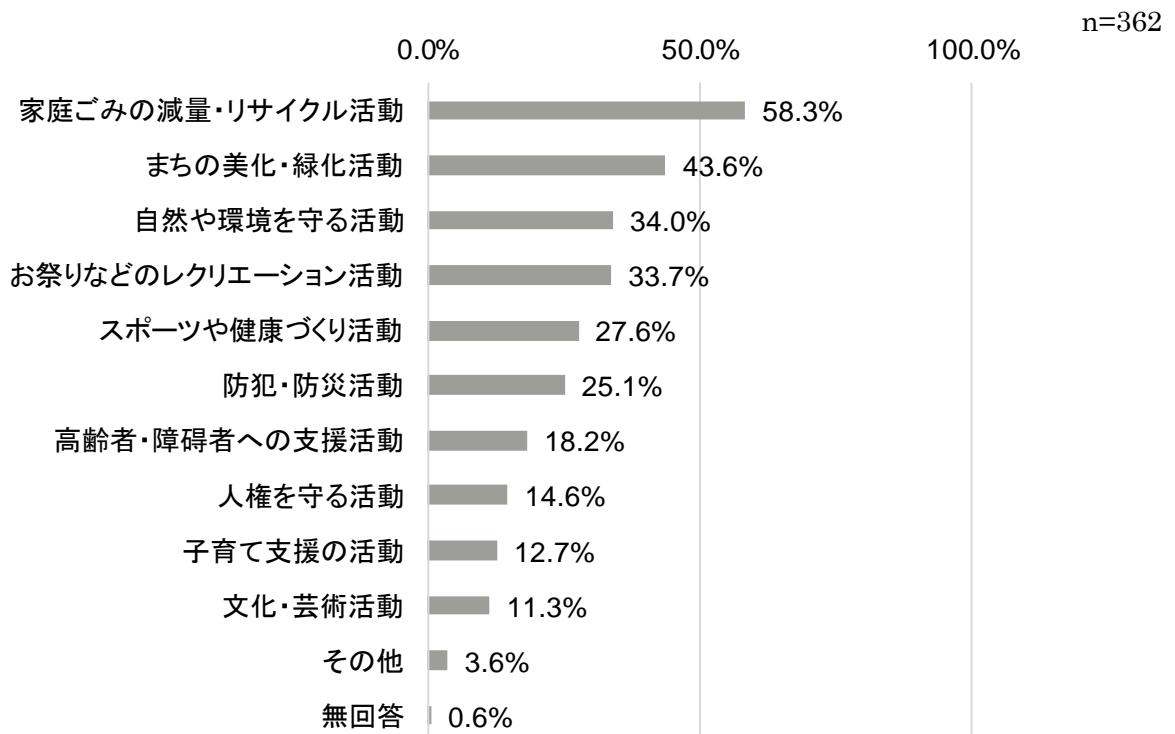
■全体(362) □A地区(3) □B地区(92) □C地区(66) □D地区(63) □E地区(136)

問7 あなたは、朝霞市のまちづくりに、どのように役立てると思いますか。あなたが現在または将来できると思う活動を、次のなかからすべて選んでください。

<全体>

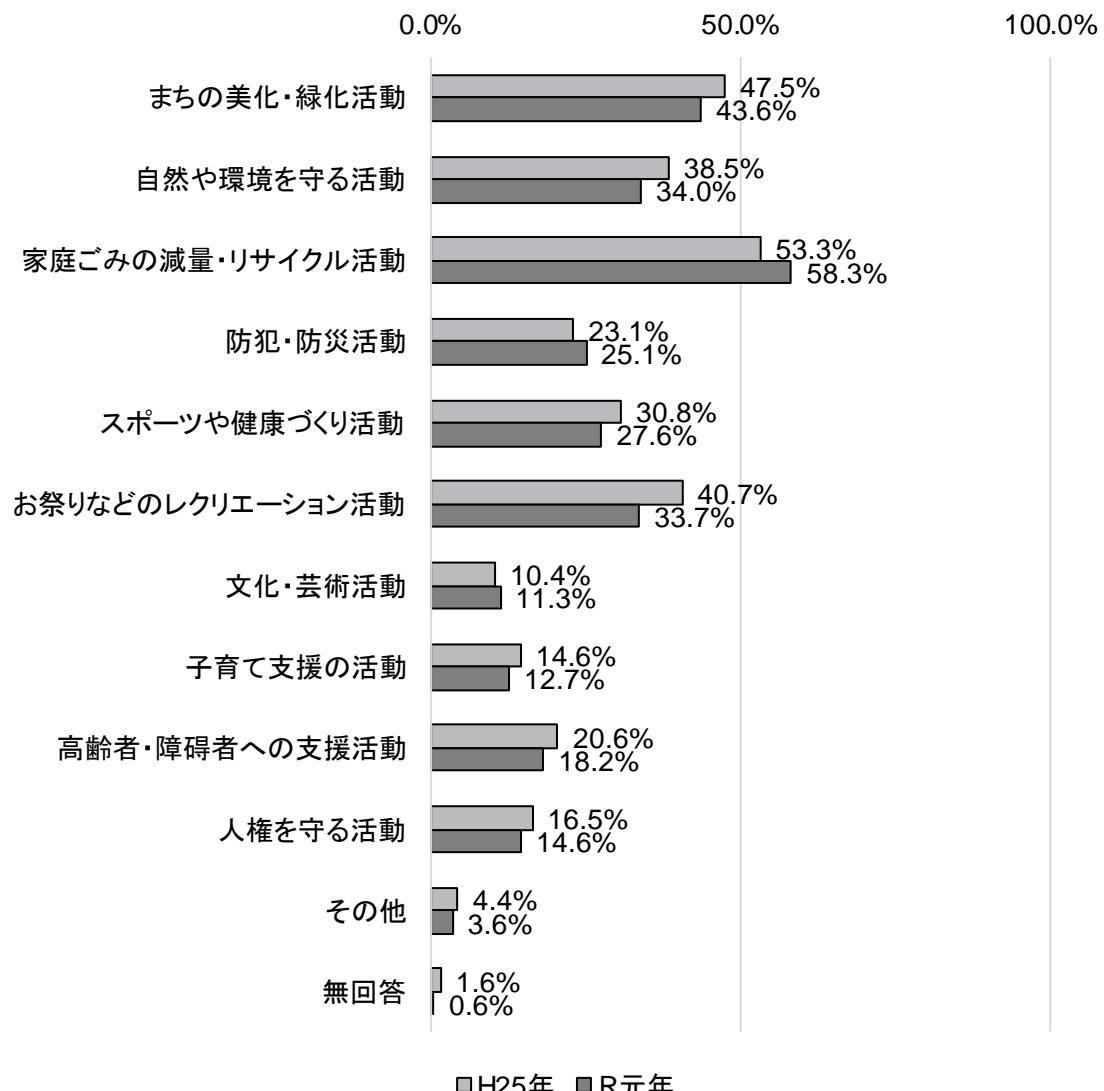
将来できると思う活動は、「家庭ごみの減量・リサイクル活動」の割合が58.3%で最も高く、続いている「まちの美化・緑化活動」(43.6%)、「自然や環境を守る活動」(34.0%)となっている。

「その他」には、「何に役立てるかわからない」などの記述があった。



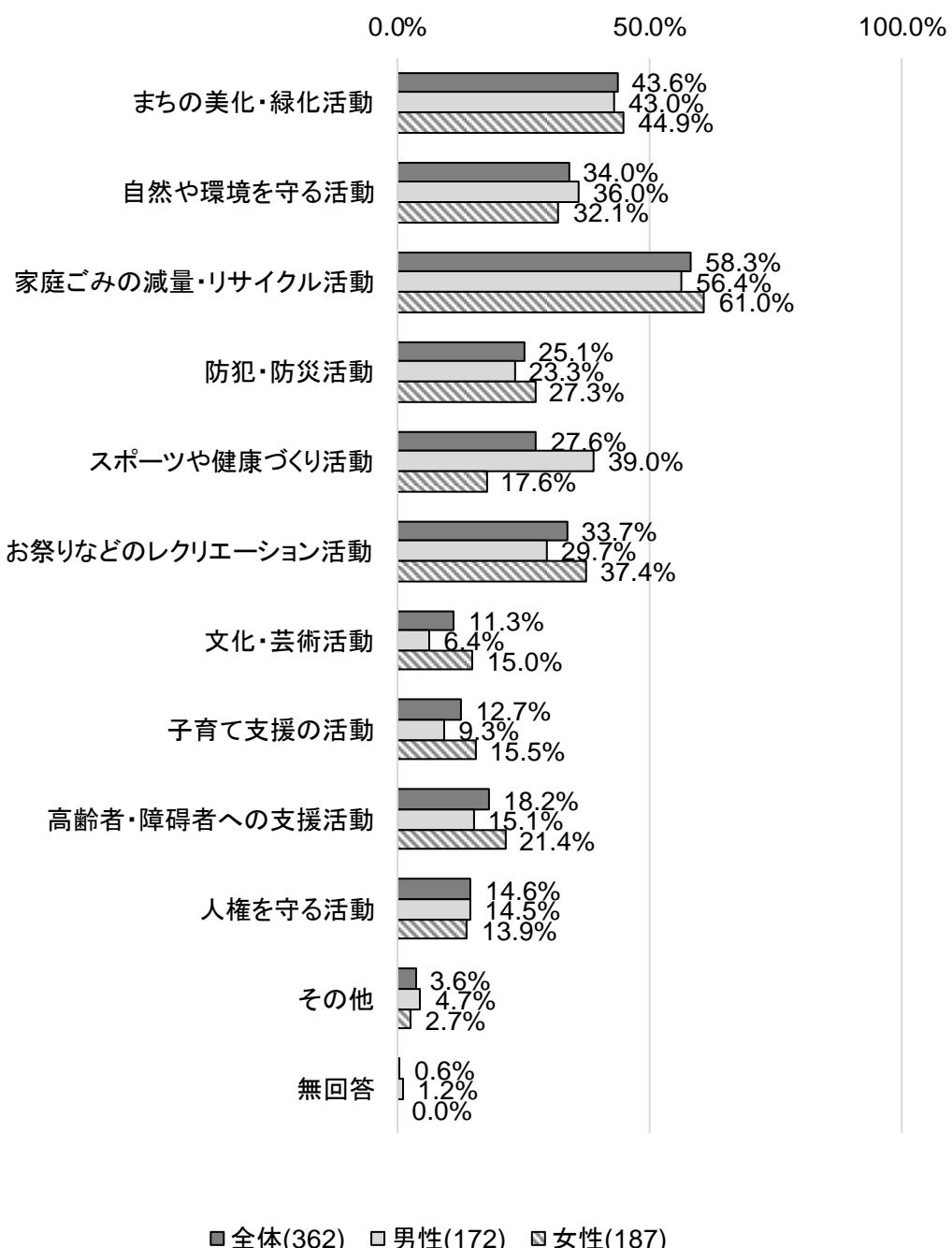
<経年比較>

「自然や環境を守る活動」、「スポーツや健康づくり活動」、「お祭りなどのレクリエーション活動」、「子育て支援の活動」、「高齢者・障碍者への支援活動」、「人権を守る活動」割合は、減少している。



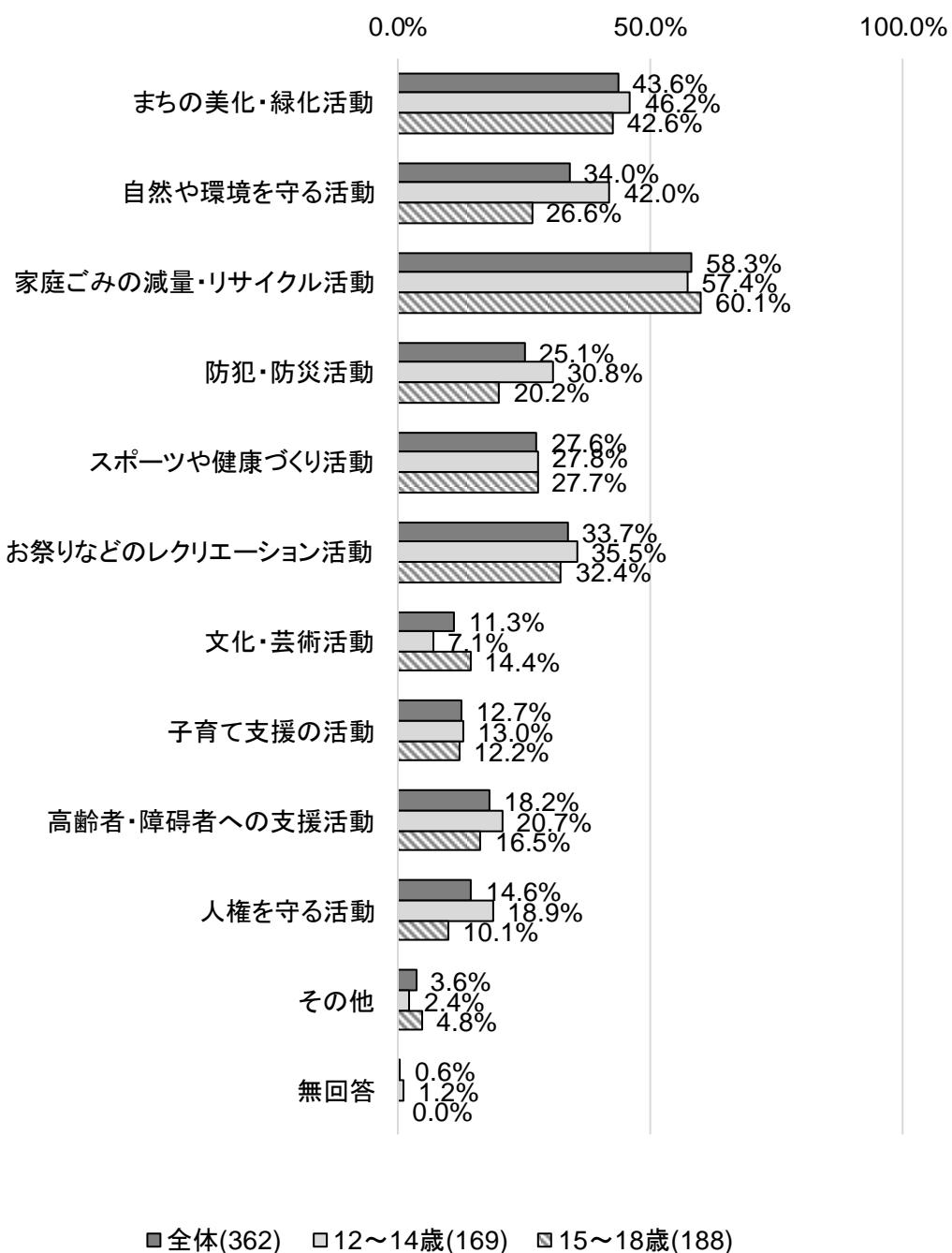
<性別>

“男性”の方が、「スポーツや健康づくり活動」割合が高く、4割近くに上っている。一方、“女性”の方が、「子育て支援の活動」割合が高く、1割を超えている。



<年代>

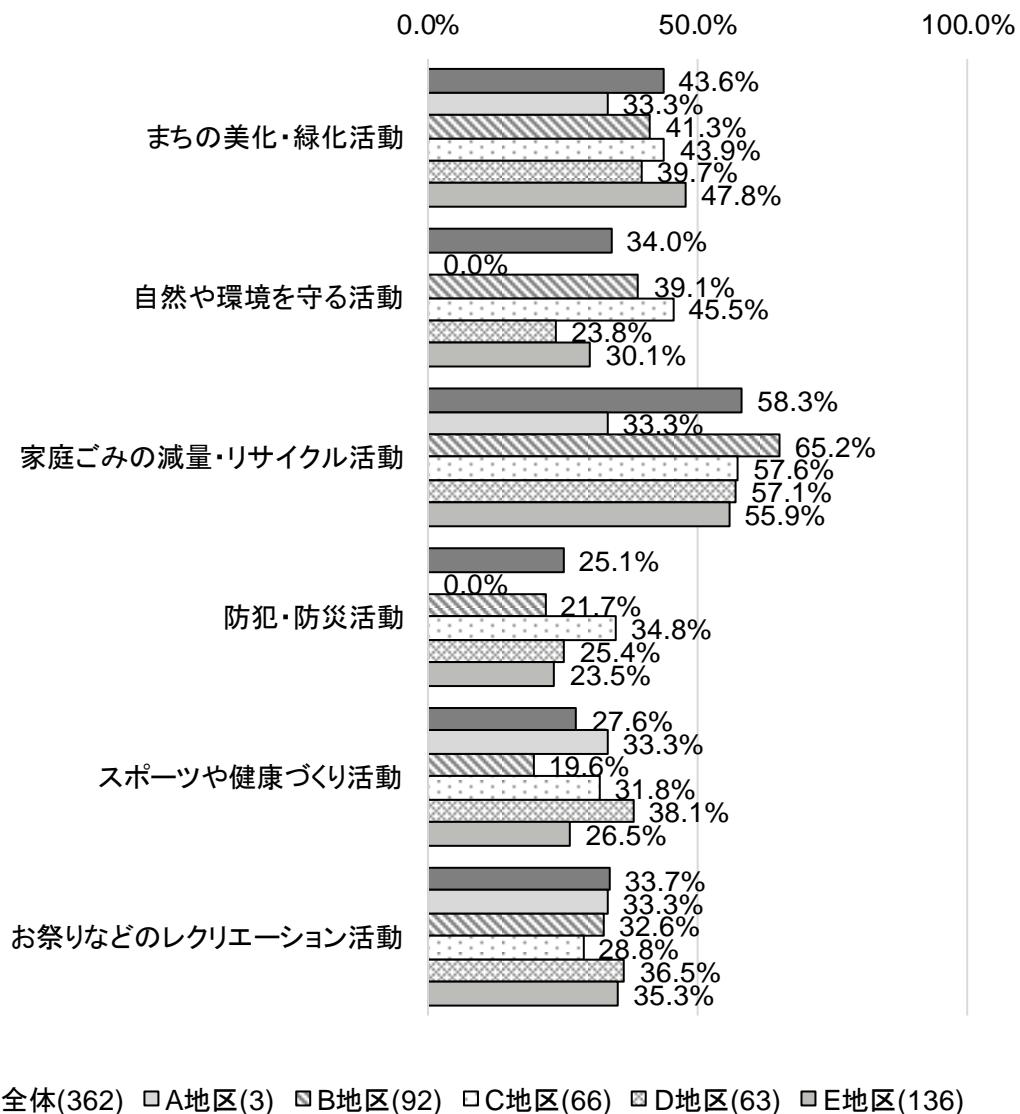
“12～14歳”の方が、「人権を守る活動」割合が高く、2割近くに上っている。一方、“15～18歳”の方が、「文化・芸術活動」割合が高く、1割を超えている。

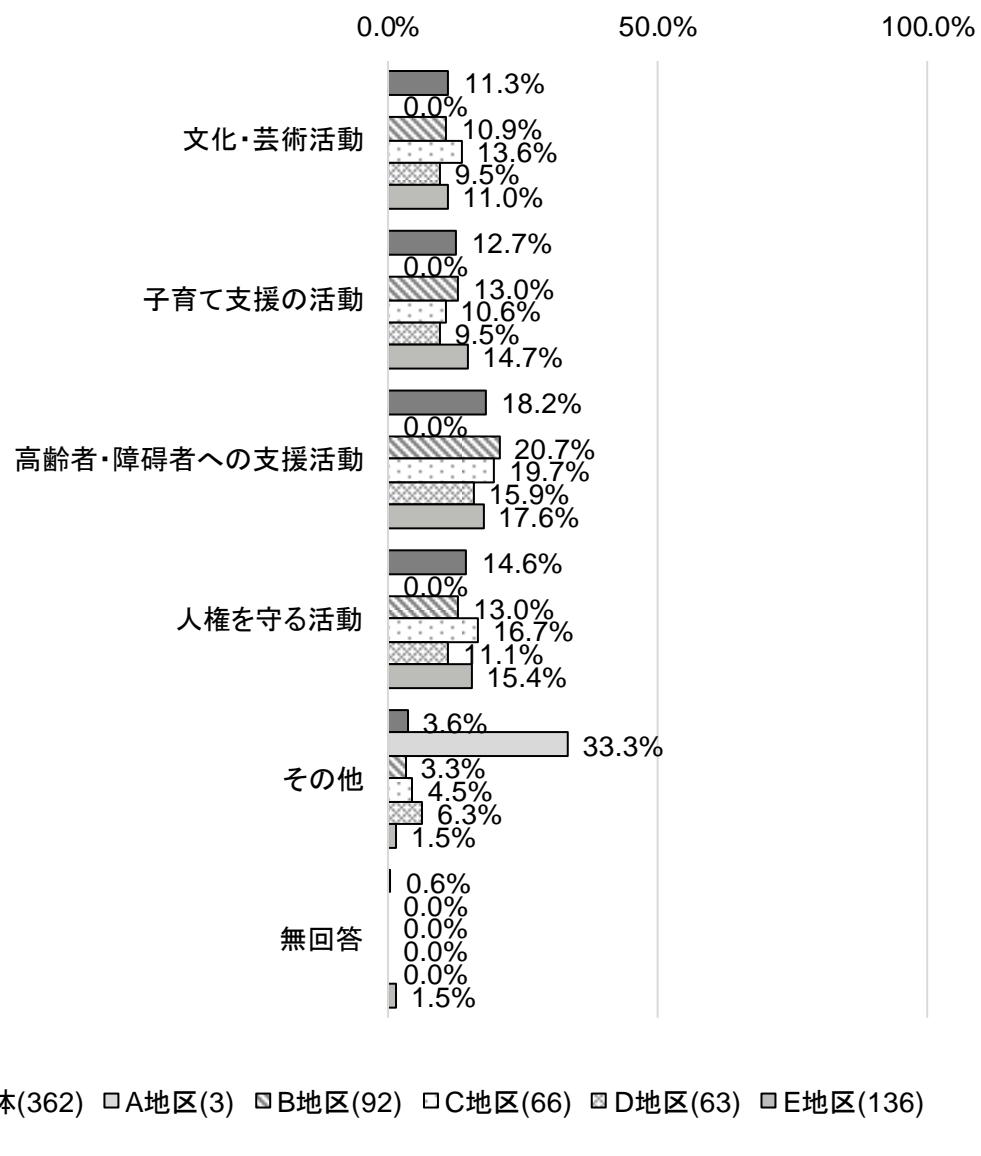


■全体(362) □12～14歳(169) ▨15～18歳(188)

<居住地区>

“C 地区”では「自然や環境を守る活動」割合が比較的高く、4割を超えている。





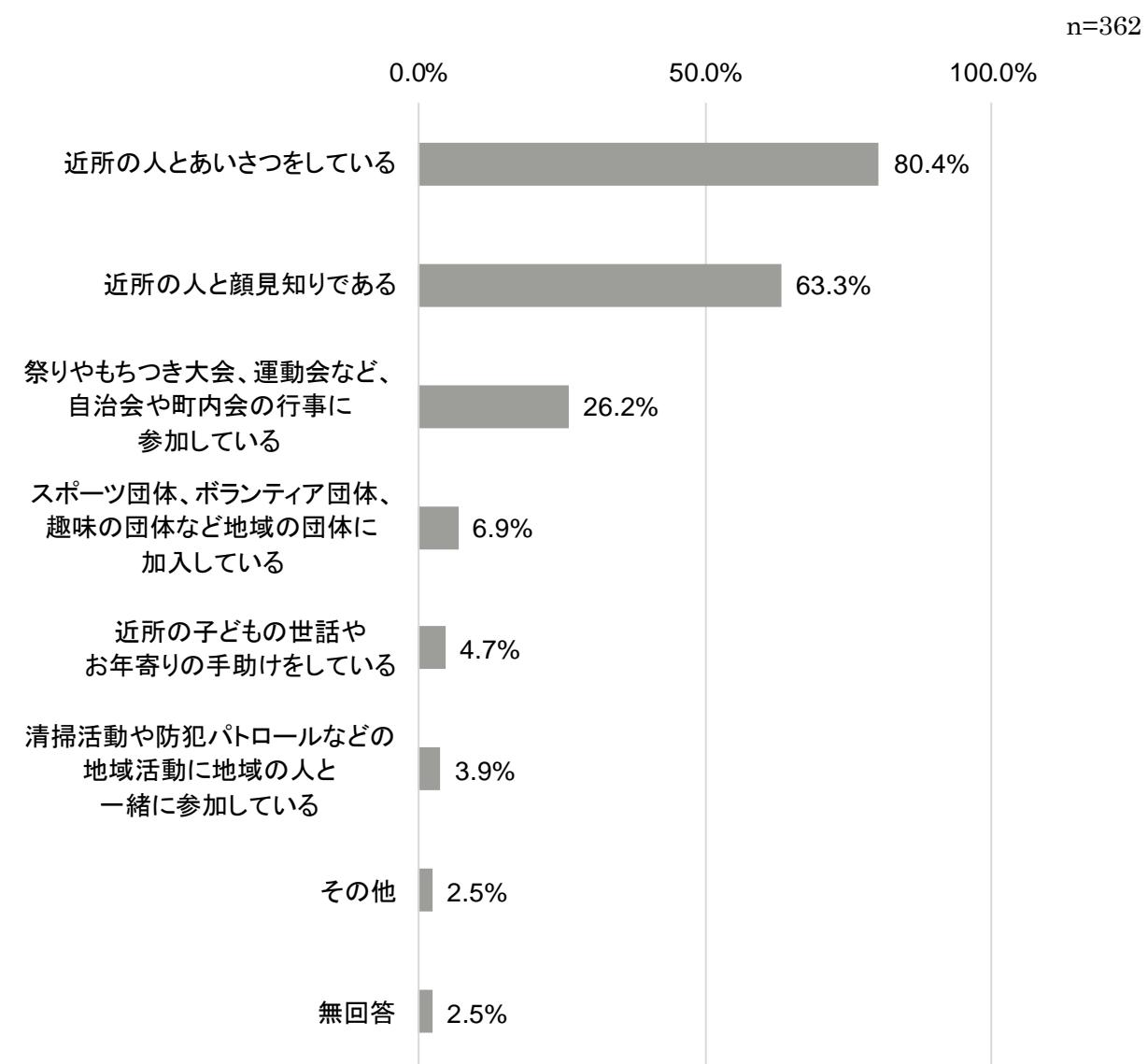
3. 地域との関わりについて

問8 あなたは、日頃、地域とどのような関わりを持っていますか。次の中からあなたに当てはまるものをすべて選んでください。

<全体>

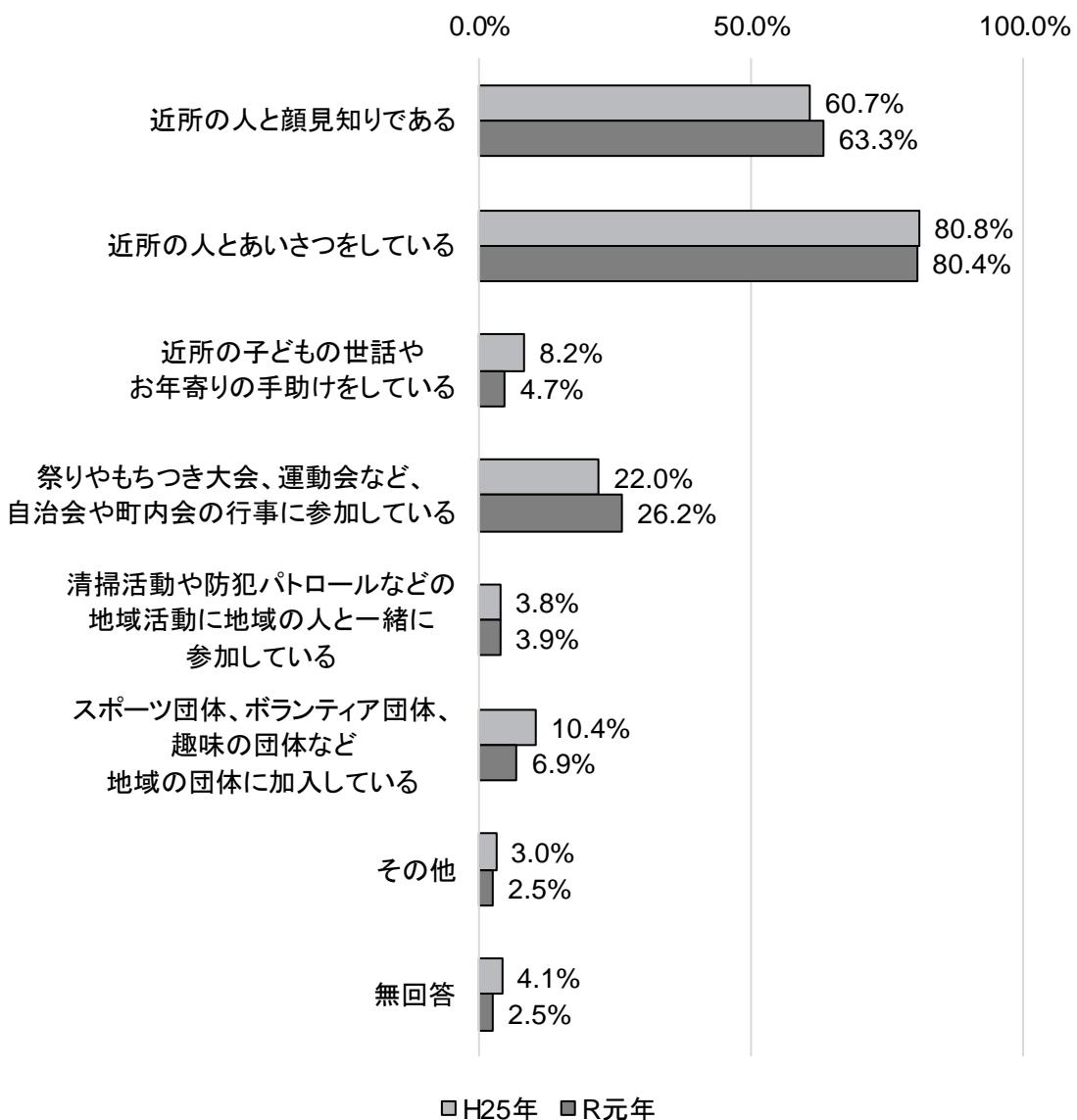
日頃の地域との関わりは、「近所の人とあいさつをしている」の割合が80.4%で最も高く、続いで「近所の人と顔見知りである」(63.3%)となっている。

「その他」には、「関わりを持っていない」などの記述があった。



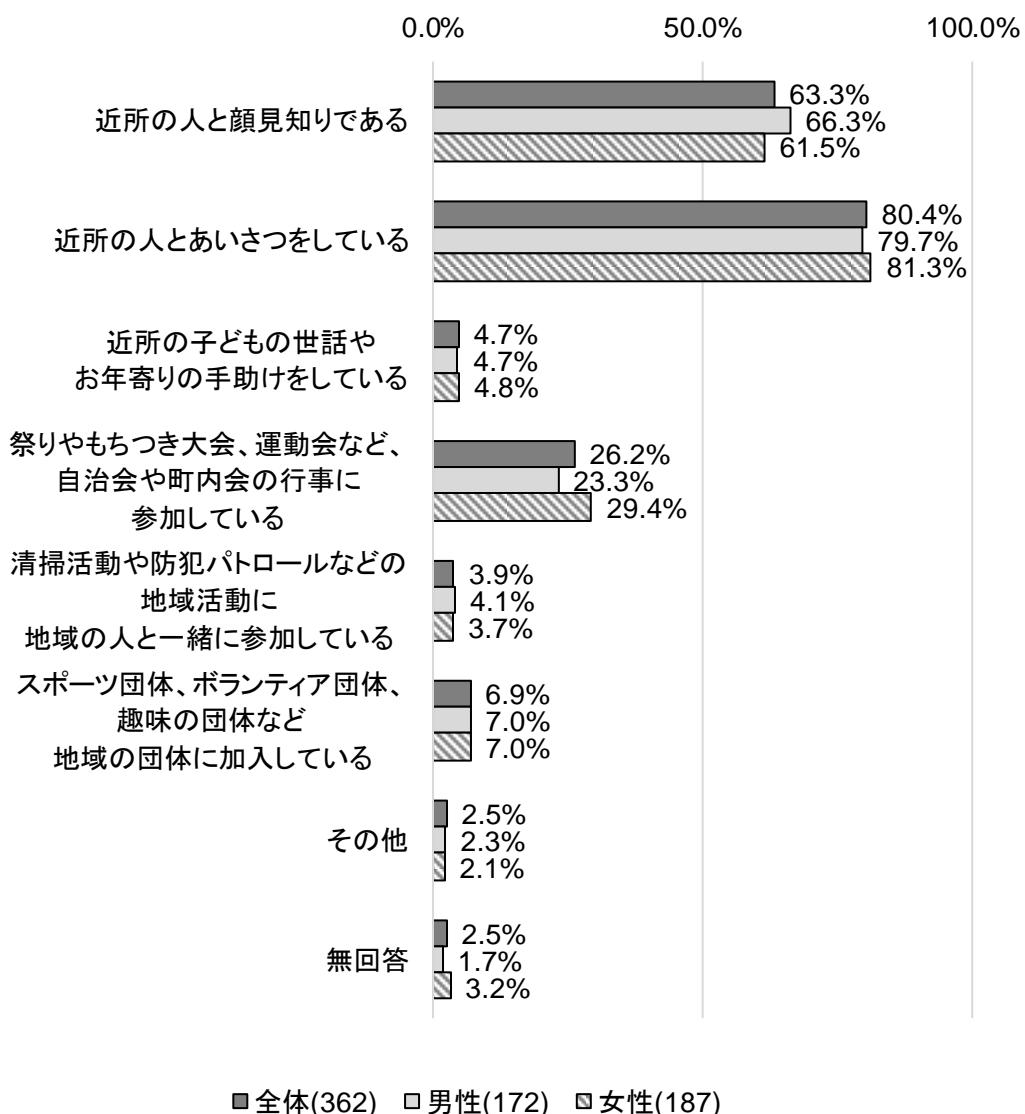
＜経年比較＞

「祭りやもちつき大会、運動会など、自治会や町内会の行事に参加している」割合は、増加している。一方、「近所の子どもの世話やお年寄りの手助けをしている」、「スポーツ団体、ボランティア団体、趣味の団体など地域の団体に加入している」割合は、減少している。



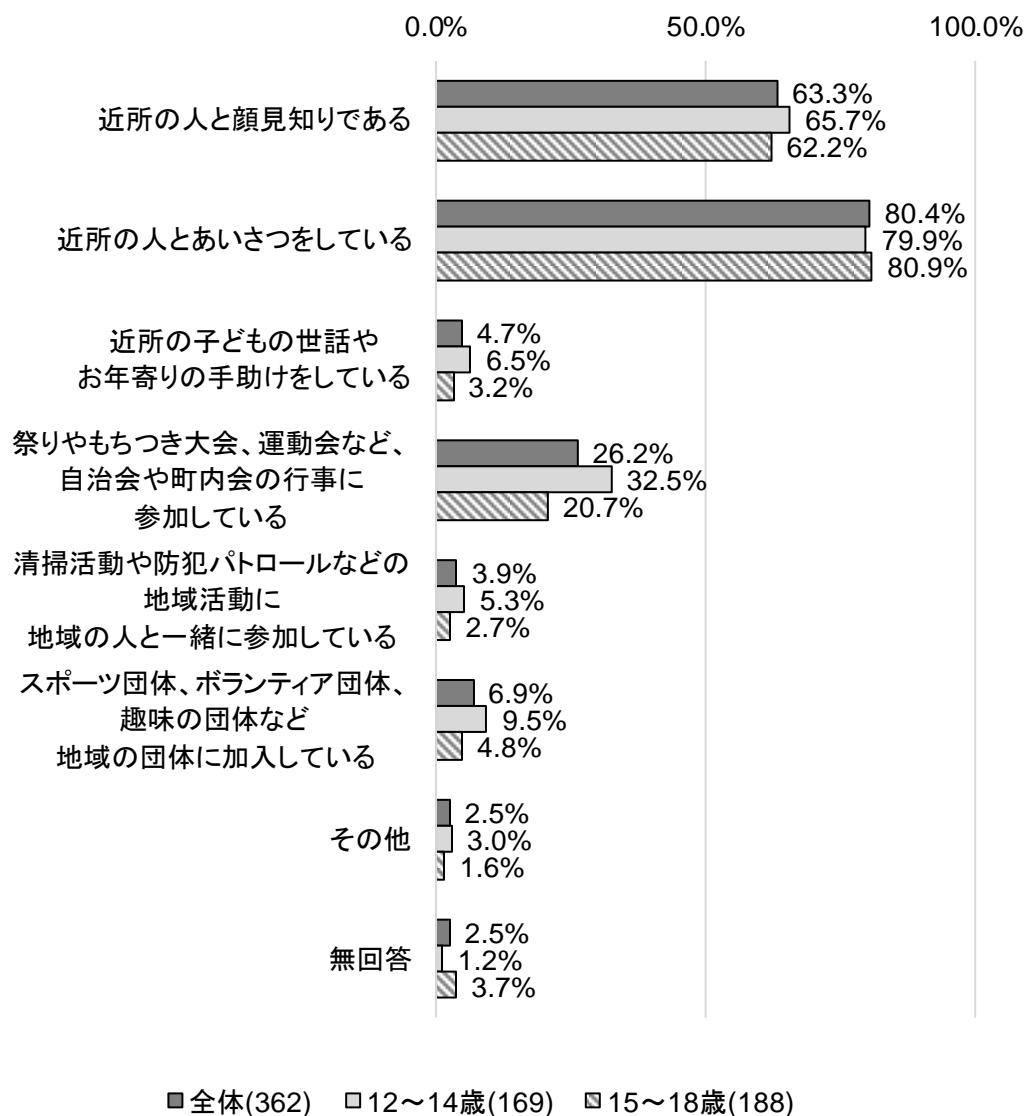
<性別>

“女性”の方が、「祭りやもちつき大会、運動会など、自治会や町内会の行事に参加している」割合が高く、3割近くに上っている。



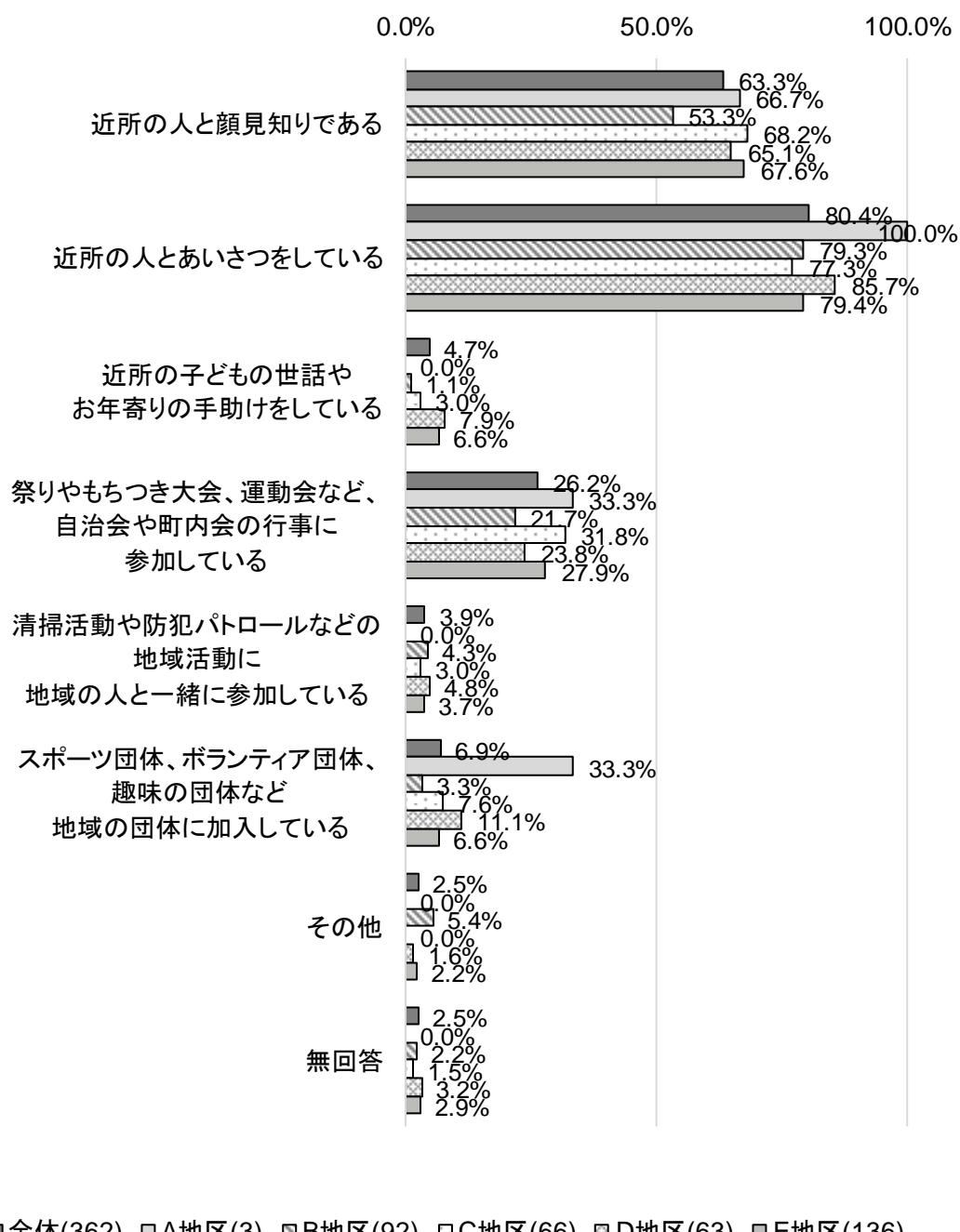
<年代>

“12～14歳”の方が、「近所の子どもの世話やお年寄りの手助けをしている」割合が高い。



<居住地区>

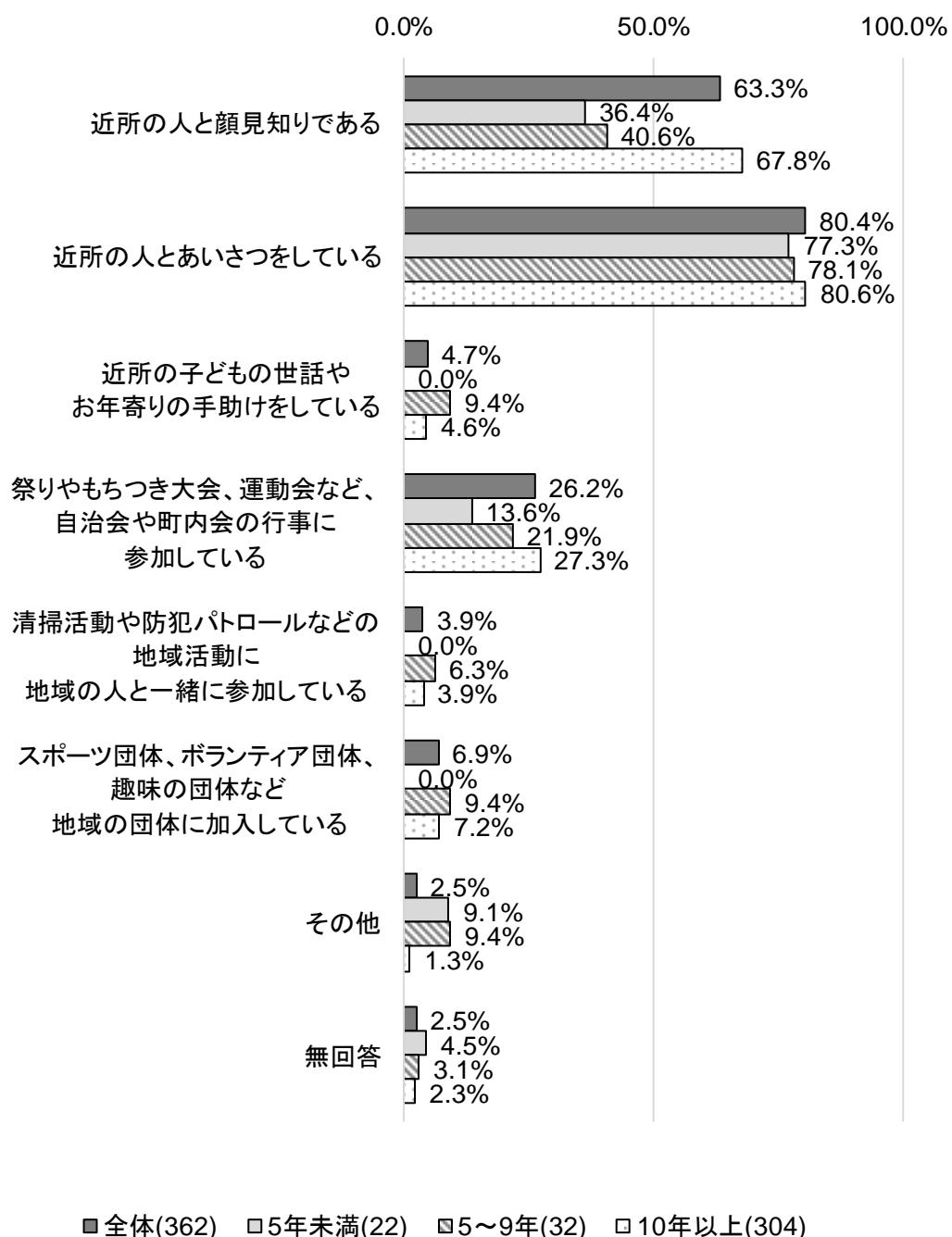
“B 地区”では「近所の人と顔見知りである」割合が比較的低く、5割台である。一方、“D 地区”では「近所の子どもの世話やお年寄りの手助けをしている」割合が比較的高い。



■全体(362) □A地区(3) □B地区(92) □C地区(66) □D地区(63) □E地区(136)

<居住年数>

年数が長い方が、「近所の人と顔見知りである」、「祭りやもちつき大会、運動会など、自治会や町内会の行事に参加している」割合が高くなる傾向にある。



■全体(362) □5年未満(22) ▨5~9年(32) □10年以上(304)

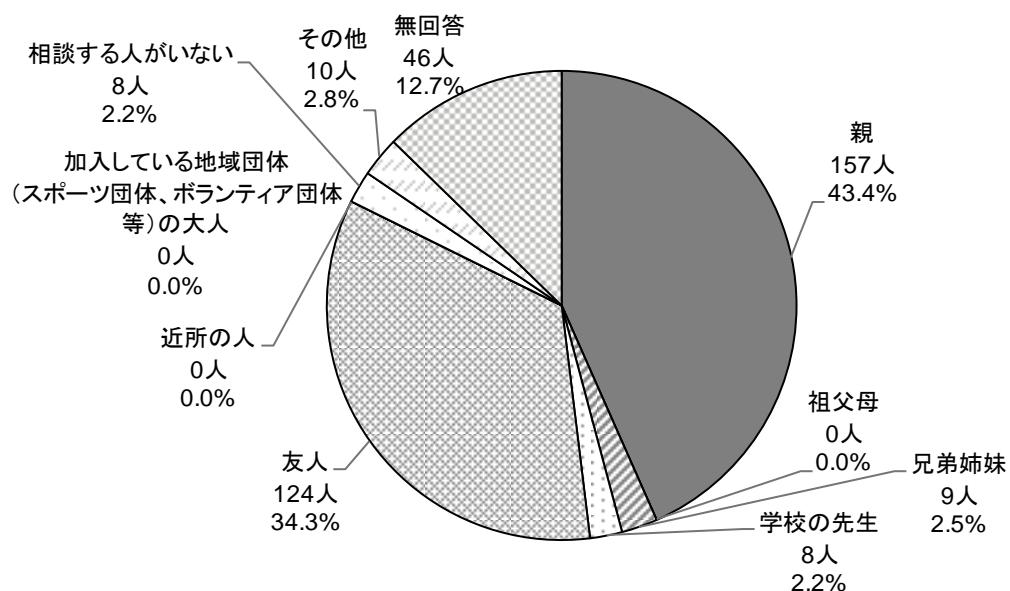
問9 あなたは困ったときや悩んだときに誰に相談することが多いですか。次の中から最も相談することが多い人の番号を1つ選んでください。

<全体>

困ったとき、悩んだときに相談する相手は、「親」の割合が 43.4%で最も高く、続いて「友人」(34.3%) となっている。

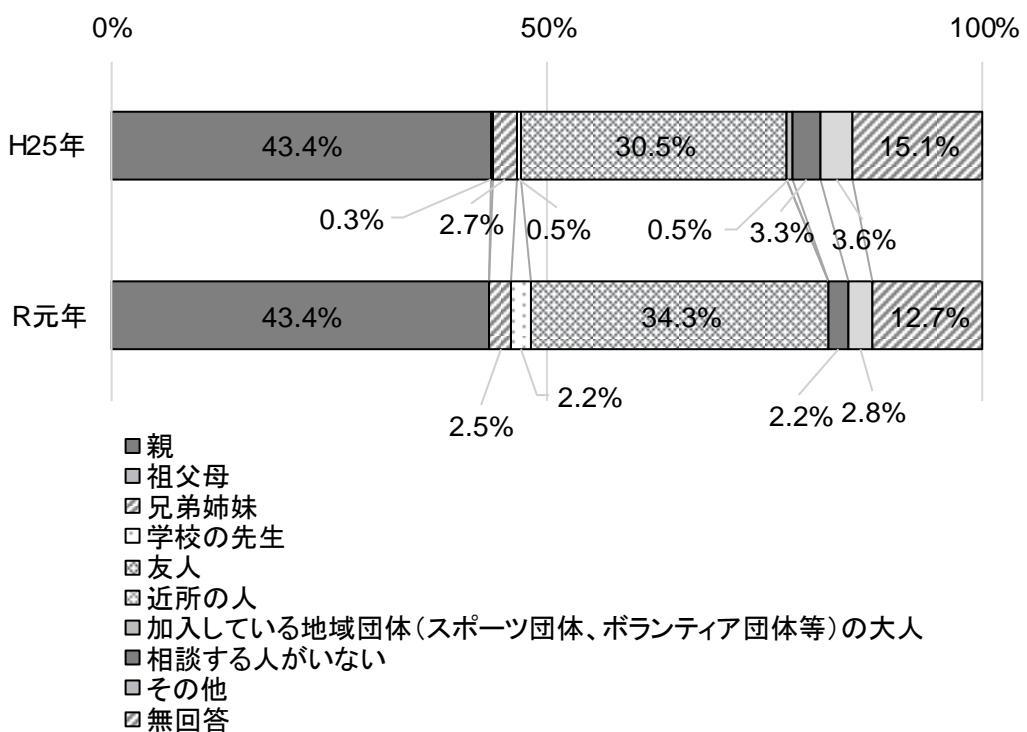
「その他」には、「ネットの人」、「困ったり、悩んだりしない」などの記述があった。

n=362



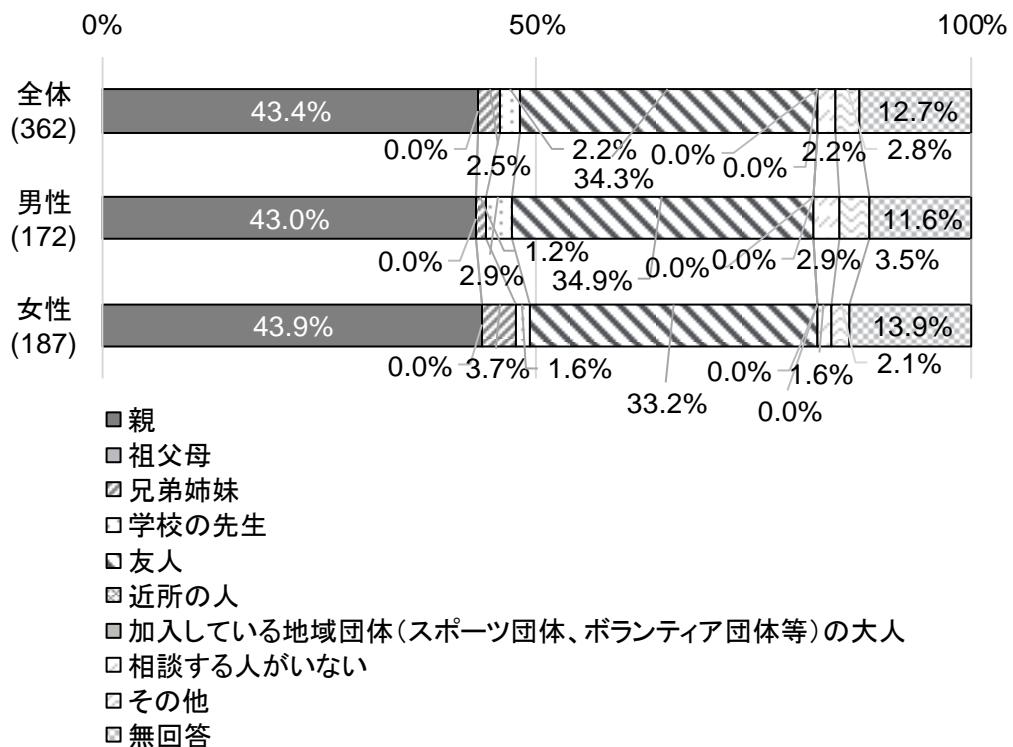
<経年比較>

「友人」の割合が増加している。一方、「相談する人がいない」の割合は減少している。



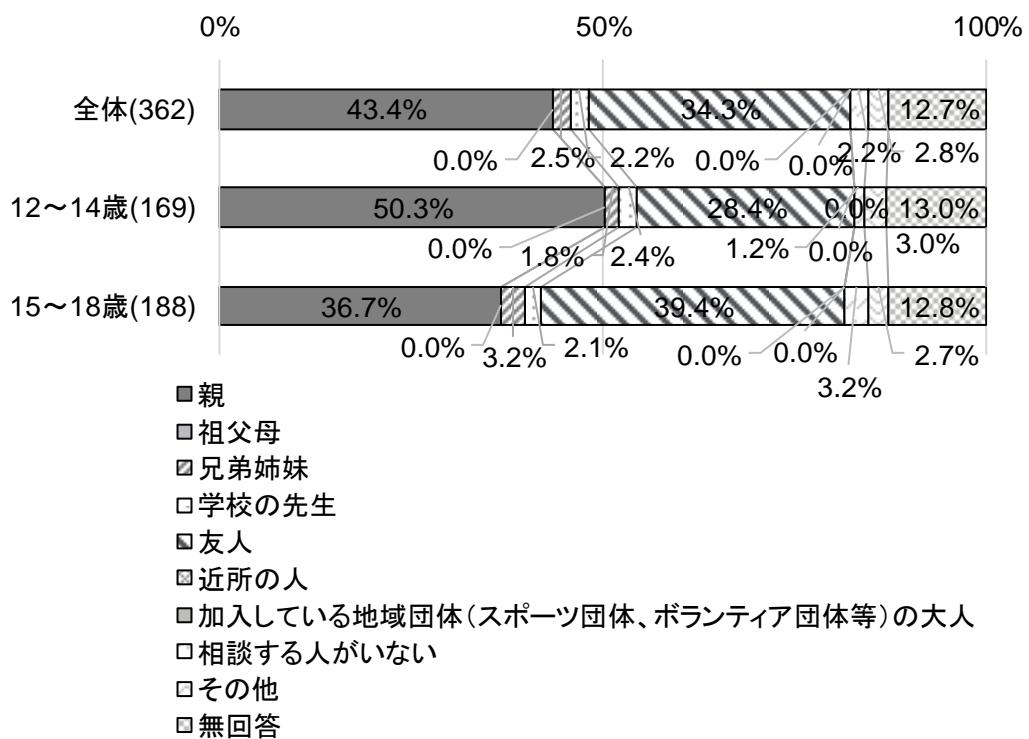
<性別>

性別での特徴は見られない。



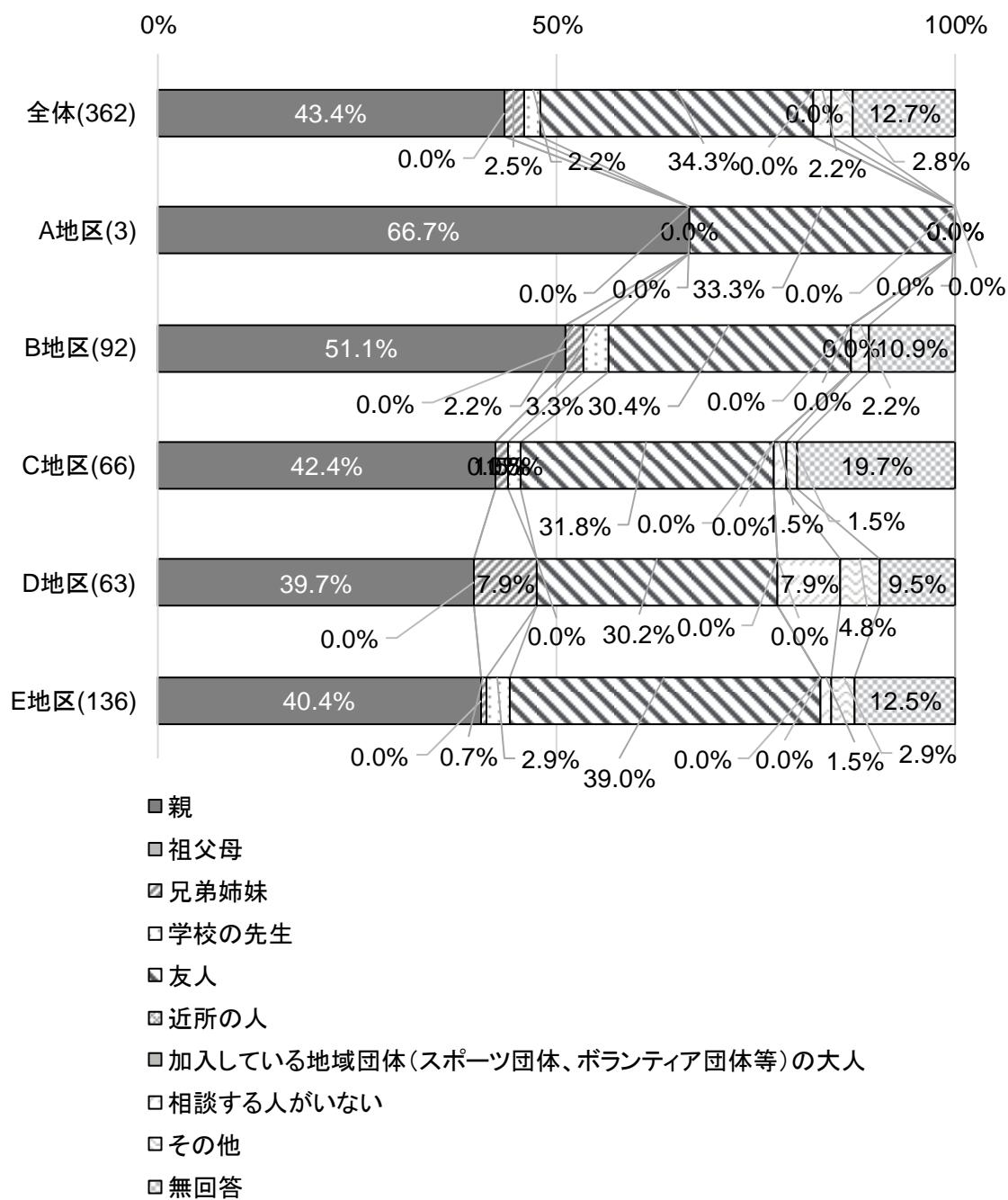
<年代>

“12～14歳”の方が、「親」割合が高く、5割を超えており。一方、“15～18歳”の方が、「友人」割合が高く、4割近くに上っている。



<居住地区>

“E 地区” では「友人」割合が比較的高く、4 割近くに上っている。

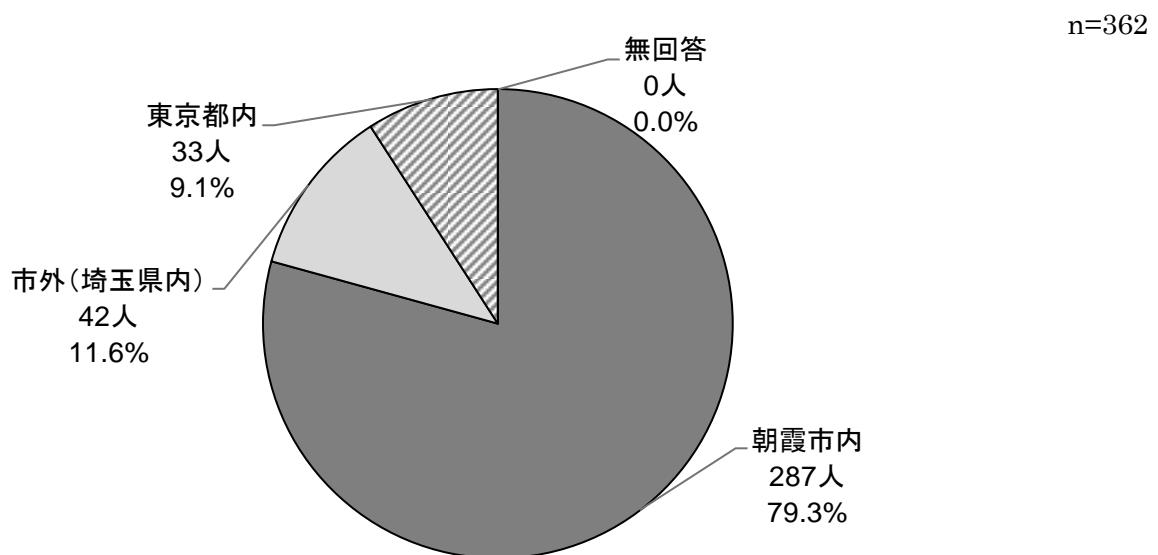


問10 あなたは、平日の放課後(働いている方は仕事が終わった後)や休日は、どこで何をして過ごしますか。次の中から、よく過ごす場所(1つ)と、よくしていること(3つまで)を選んでください。

【平日の過ごす場所】

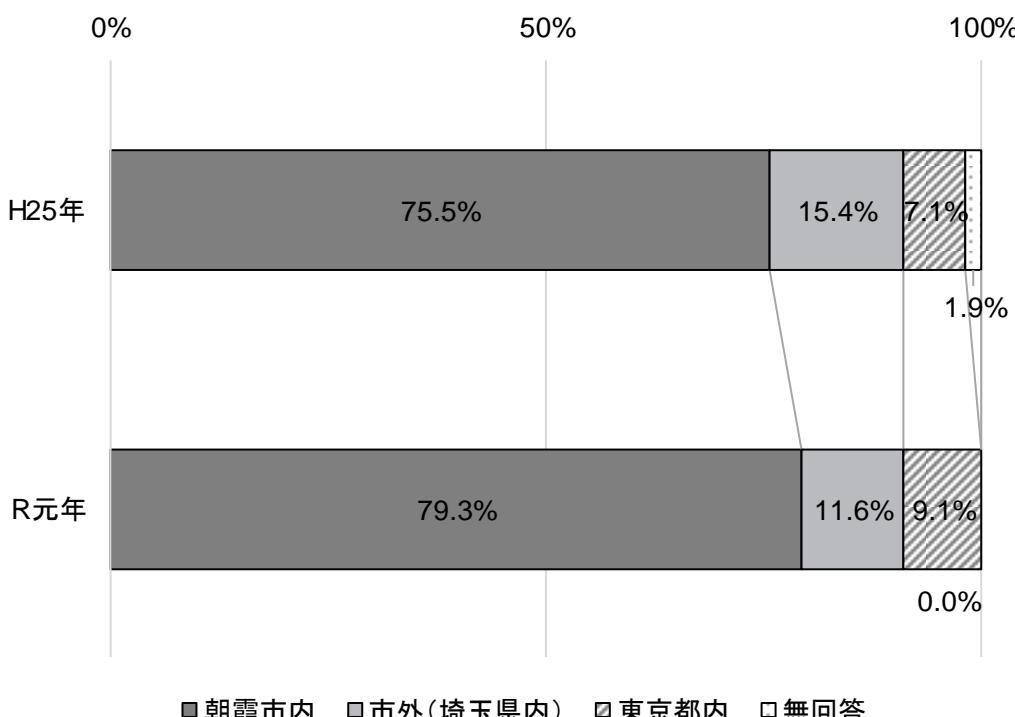
＜全体＞

平日によく過ごす場所は、「朝霞市内」の割合が 79.3%で最も高く、続いて「市外（埼玉県内）」(11.6%) となっている。



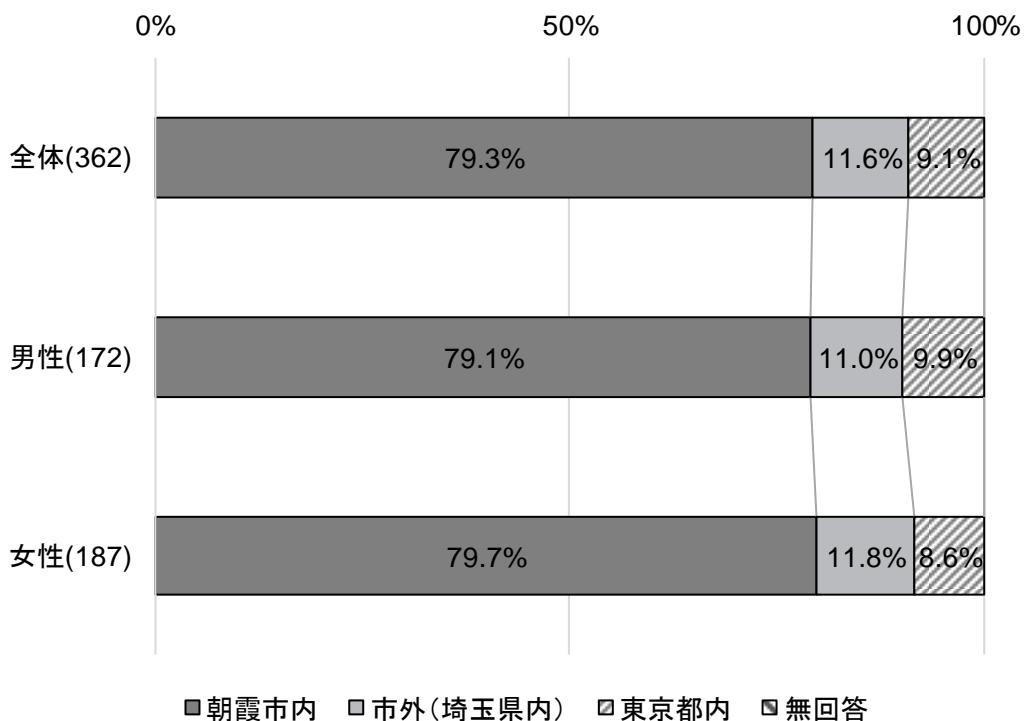
＜経年比較＞

「東京都内」割合は、増加している。一方、「市外（埼玉県内）」割合は、減少している。



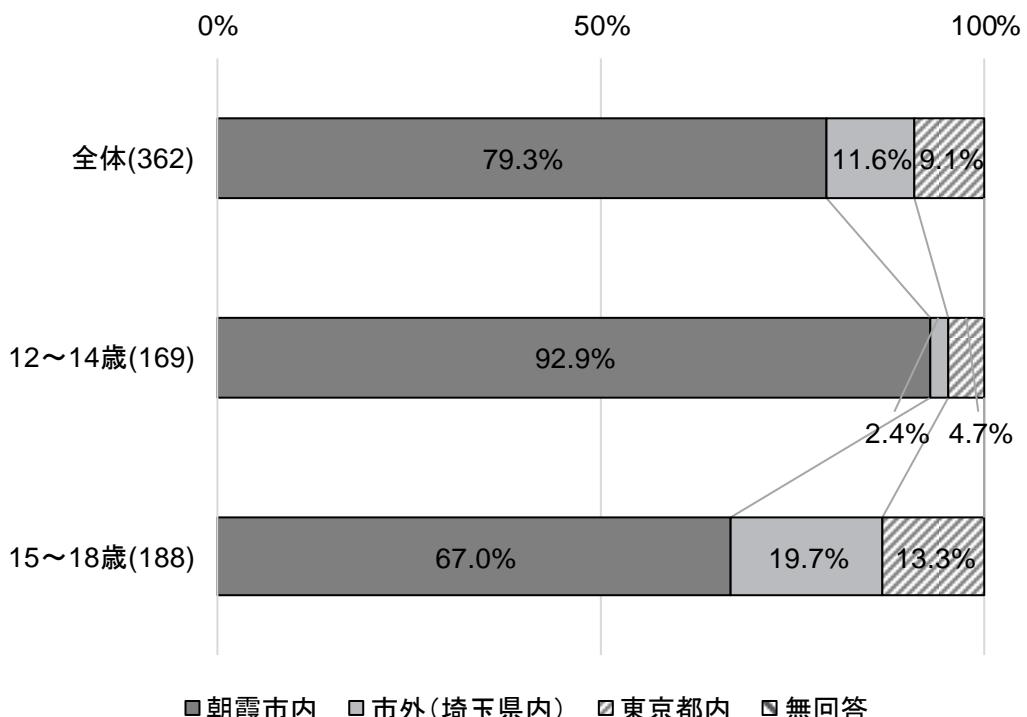
<性別>

性別での特徴は見られない。



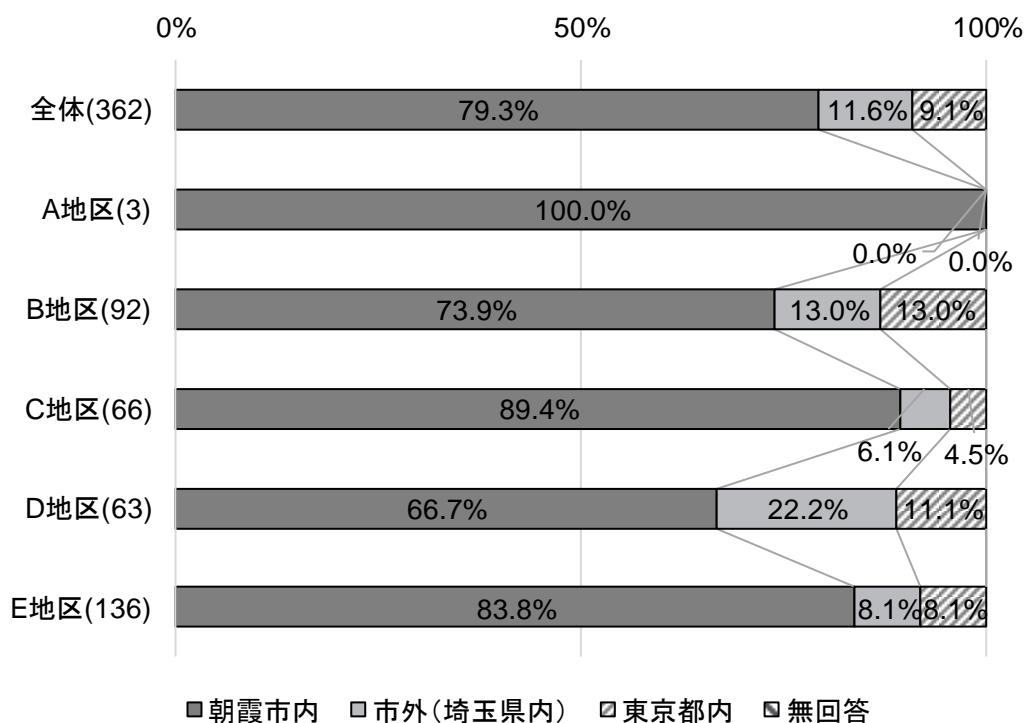
<年代>

“12～14 歳”の方が、「朝霞市内」割合が高く、9割を超えており。一方、“15～18 歳”の方が、「市外 (埼玉県内)」、「東京都内」割合が高く、それぞれ 1 割を超えており。



<居住地区>

“D 地区”では「市外（埼玉県内）」割合が比較的高く、2割を超えている。

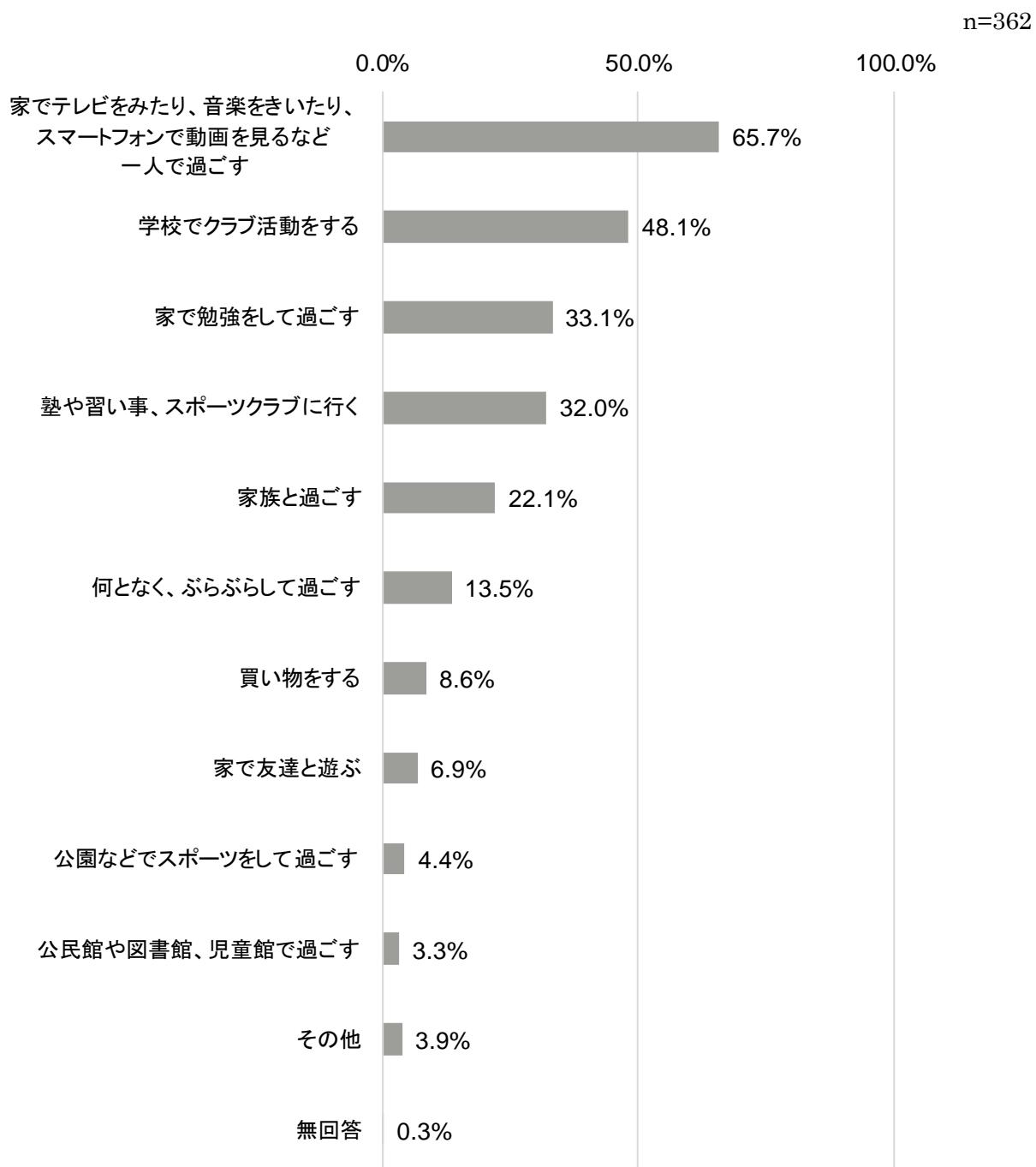


【平日の過ごし方】

＜全体＞

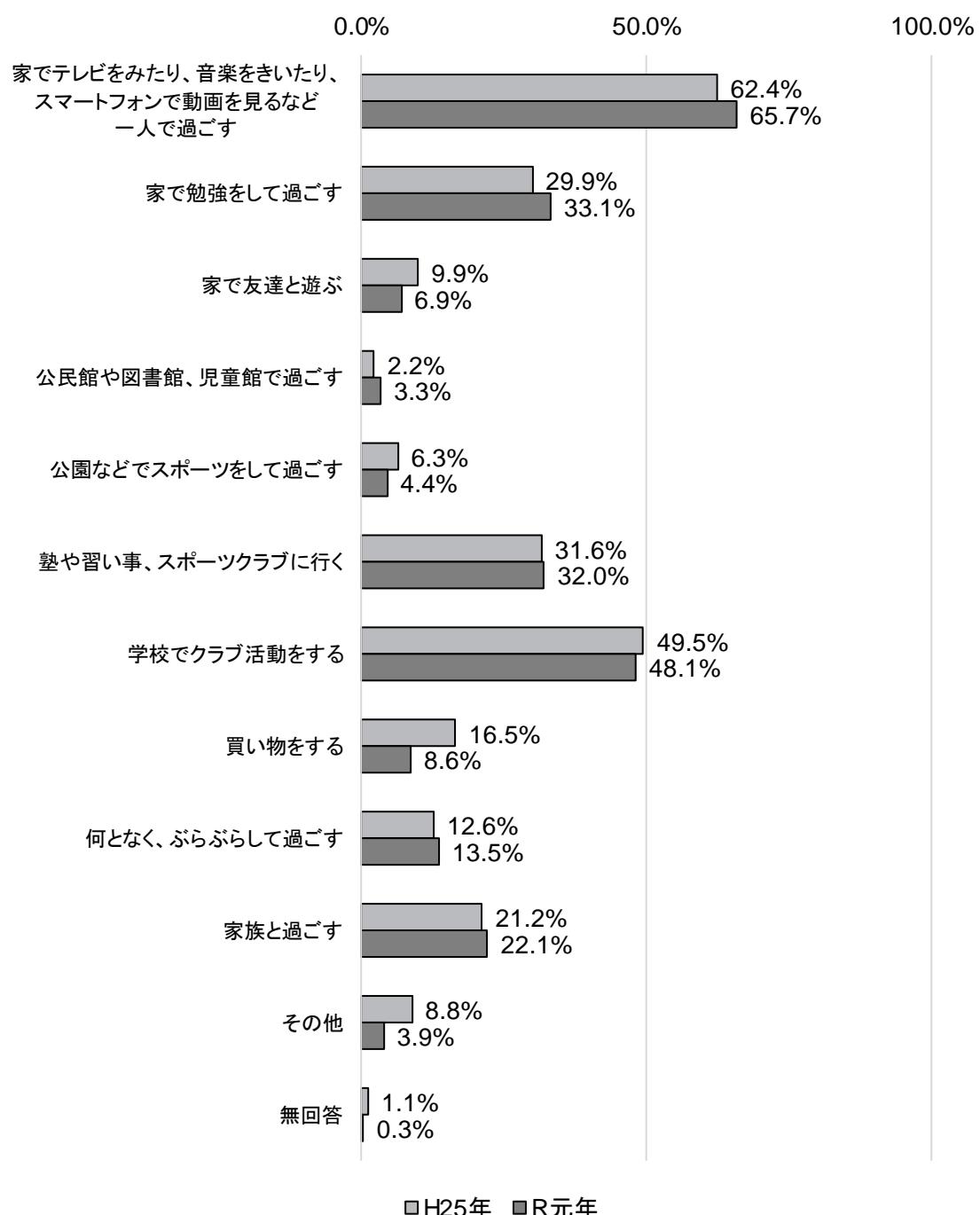
平日の過ごし方は、「家でテレビをみたり、音楽をきいたり、スマートフォンで動画を見るなど一人で過ごす」の割合が 65.7% で最も高く、続いて「学校でクラブ活動をする」(48.1%)、「家で勉強をして過ごす」(33.1%) となっている。

「その他」には、「部活動」、「ボランティア活動」などの記述があった。



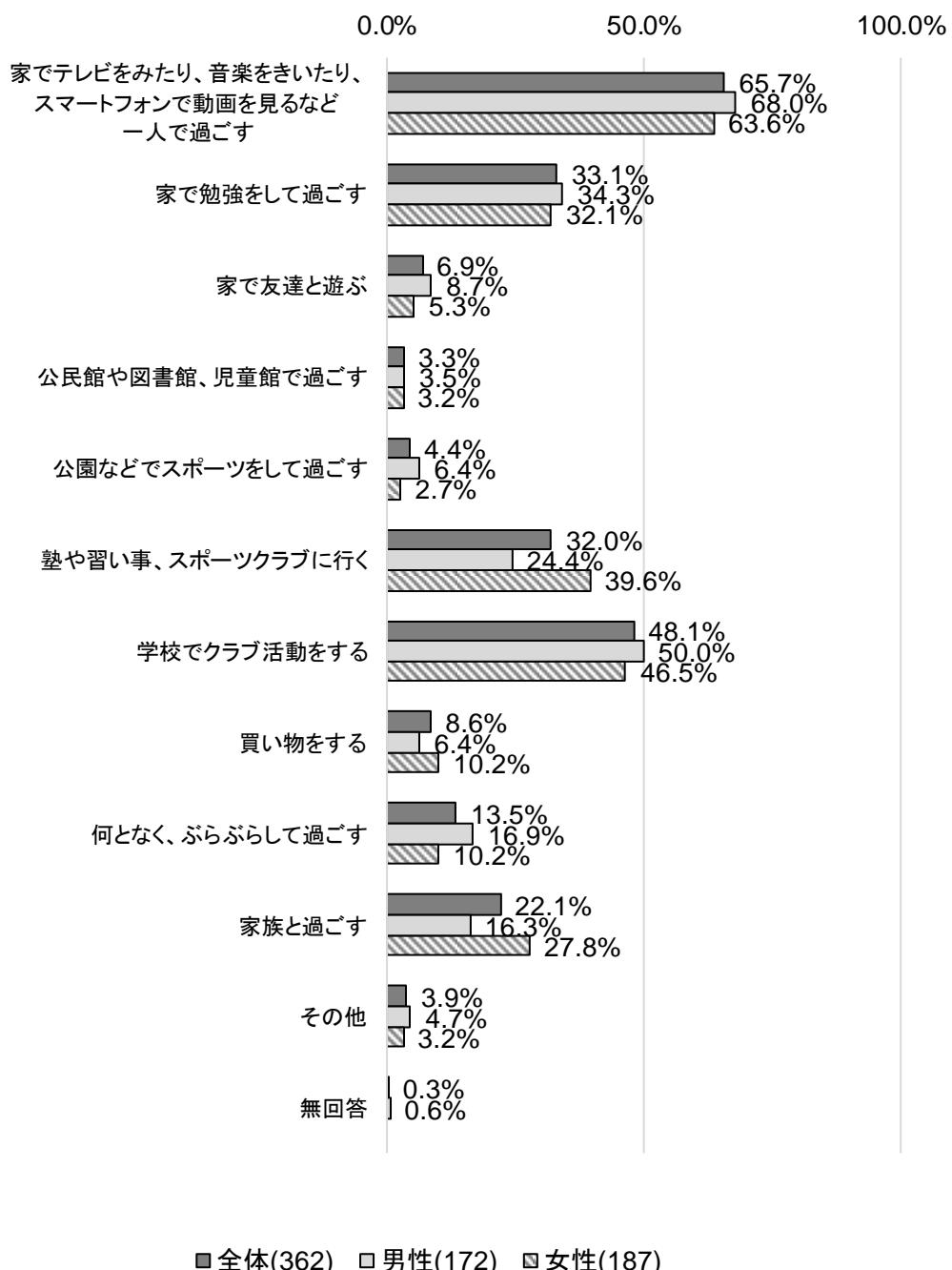
<経年比較>

「家で勉強をして過ごす」、「公民館や図書館、児童館で過ごす」割合は、増加している。一方、「家で友達と遊ぶ」、「公園などでスポーツをして過ごす」、「買い物をする」割合は、減少している。



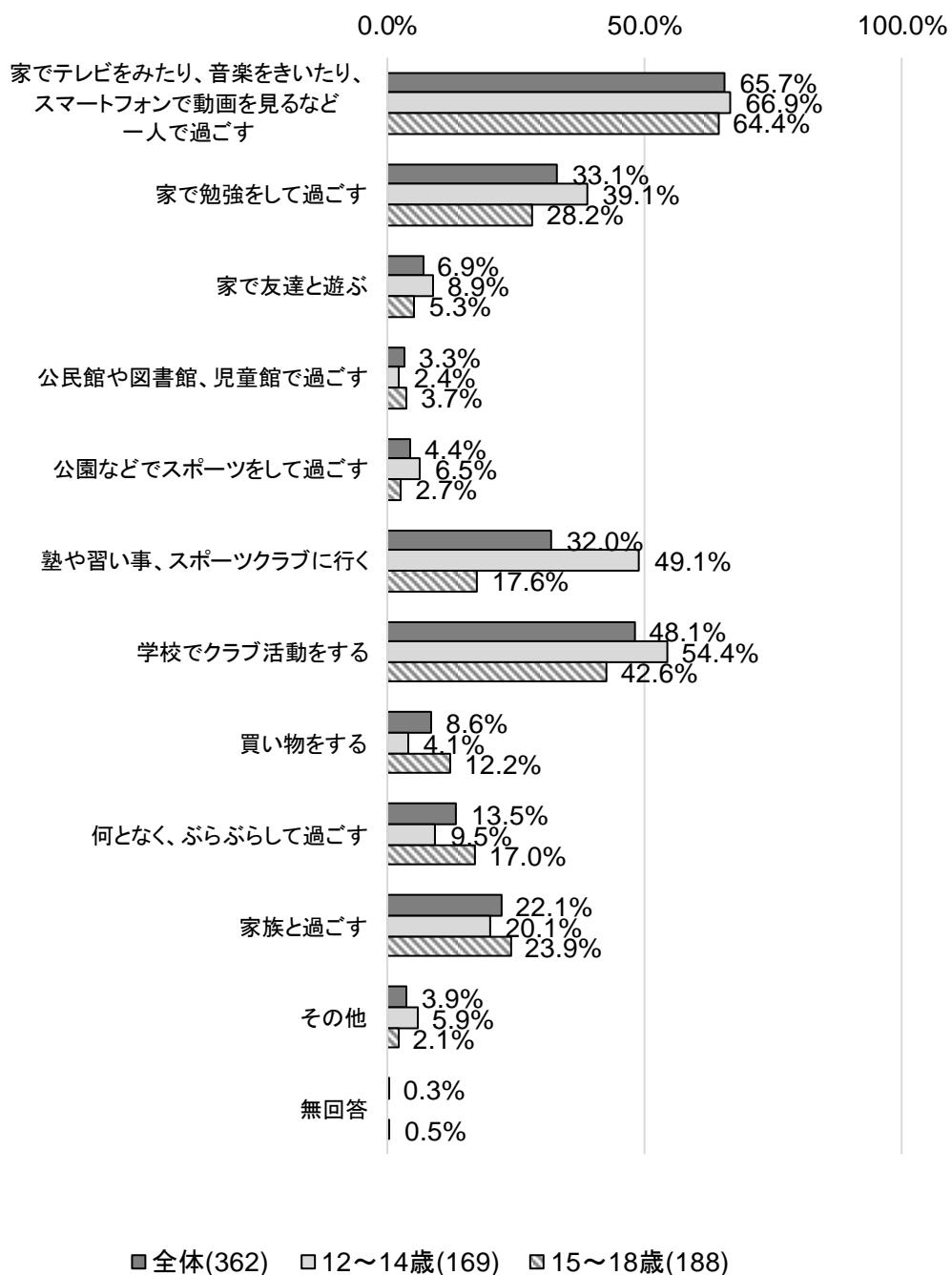
<性別>

“男性”の方が、「公園などでスポーツをして過ごす」割合が高い。一方、“女性”の方が、「塾や習い事、スポーツクラブに行く」割合が高く、4割近くに上っている。



<年代>

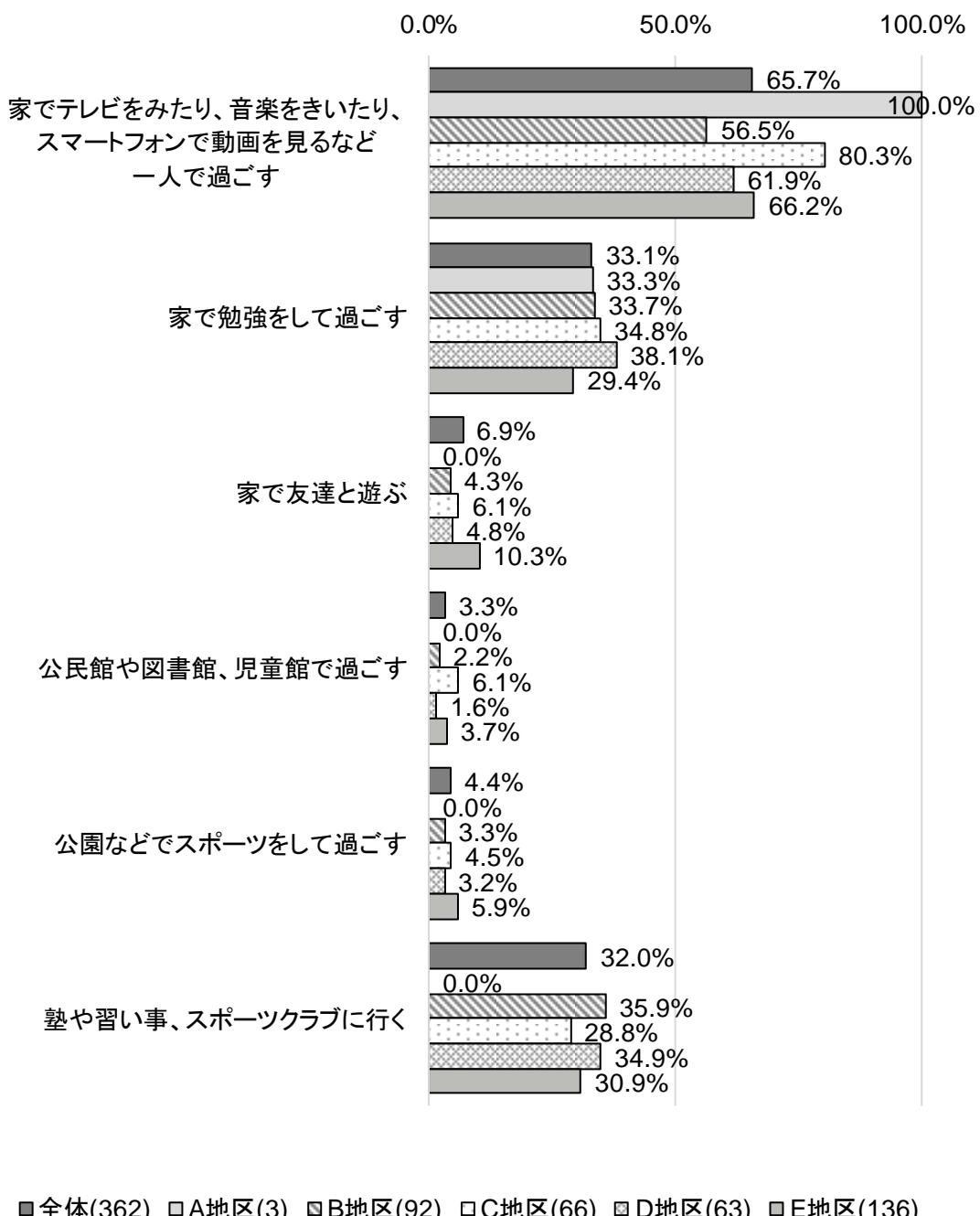
“12～14歳”の方が、「塾や習い事、スポーツクラブに行く」割合が高く、5割近くに上っている。一方、“15～18歳”の方が、「買い物をする」割合が高く、1割を超えている。



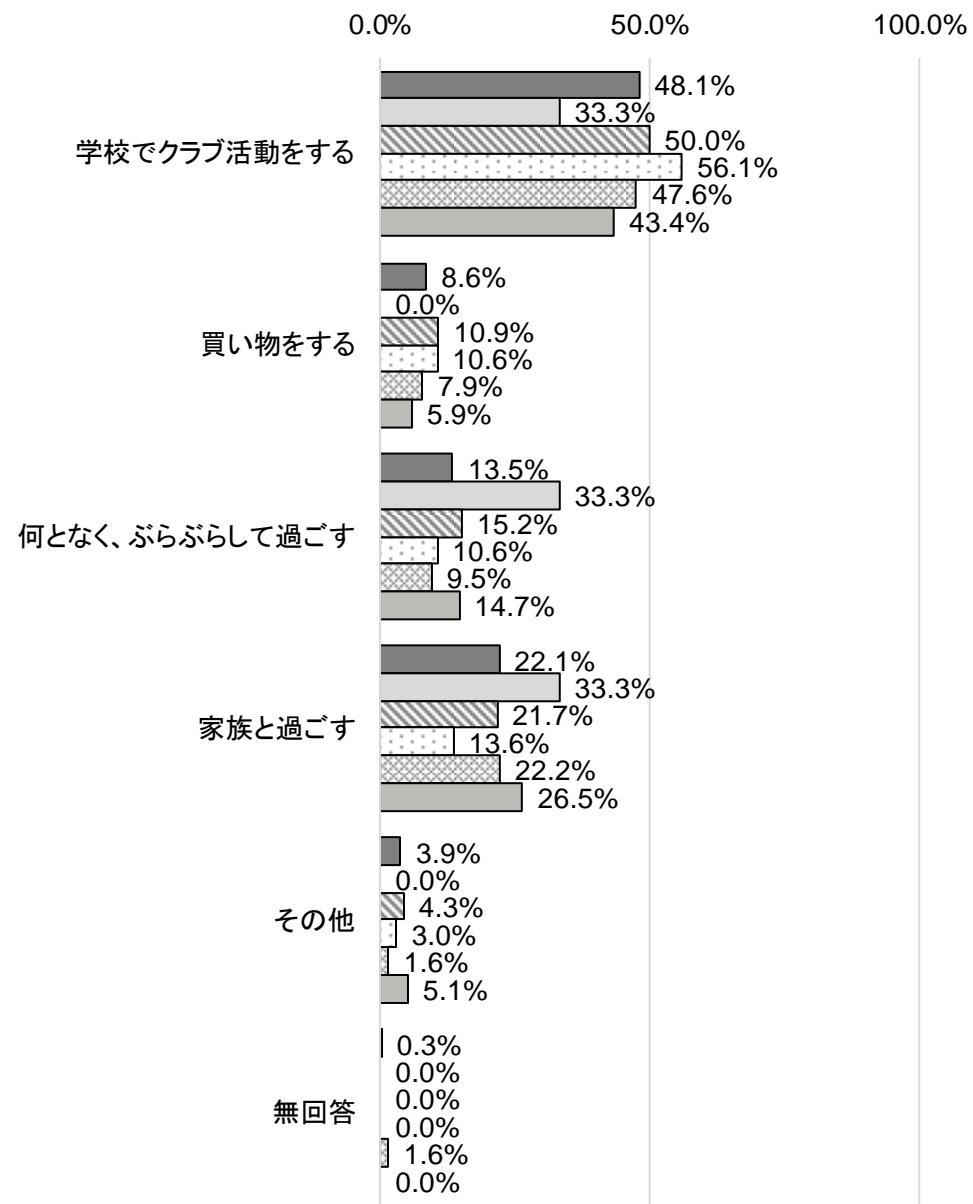
■全体(362) □12～14歳(169) ▨15～18歳(188)

<居住地区>

“A 地区”、“C 地区”では「家でテレビをみたり、音楽をきいたり、スマートフォンで動画を見るなど一人で過ごす」割合が比較的高い。



■全体(362) □A地区(3) □B地区(92) □C地区(66) □D地区(63) □E地区(136)



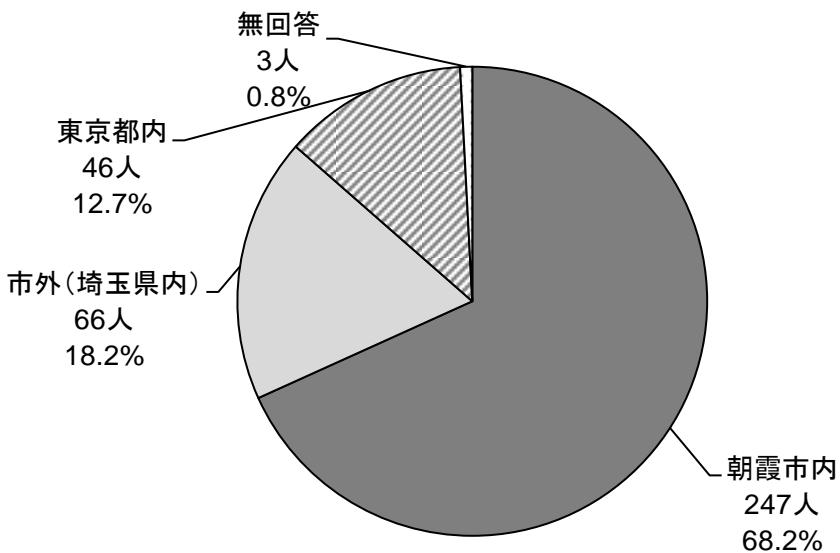
■全体(362) □A地区(3) □B地区(92) □C地区(66) □D地区(63) □E地区(136)

【休日の過ごす場所】

<全体>

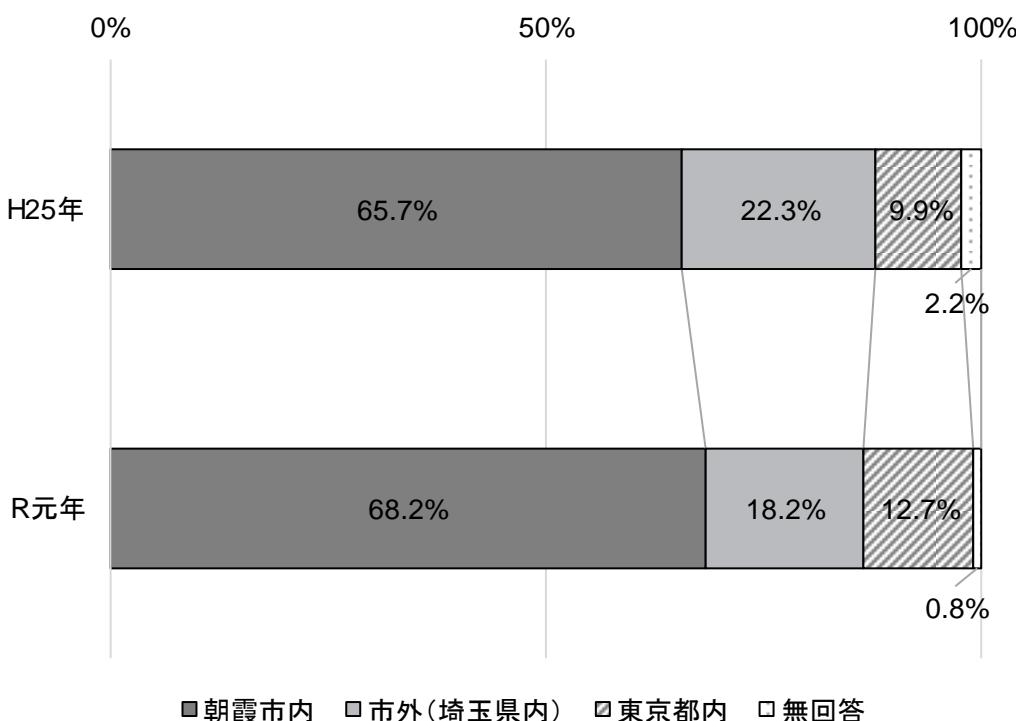
休日によく過ごす場所は、「朝霞市内」の割合が 68.2%で最も高く、続いて「市外（埼玉県内）」(18.2%) となっている。

n=362



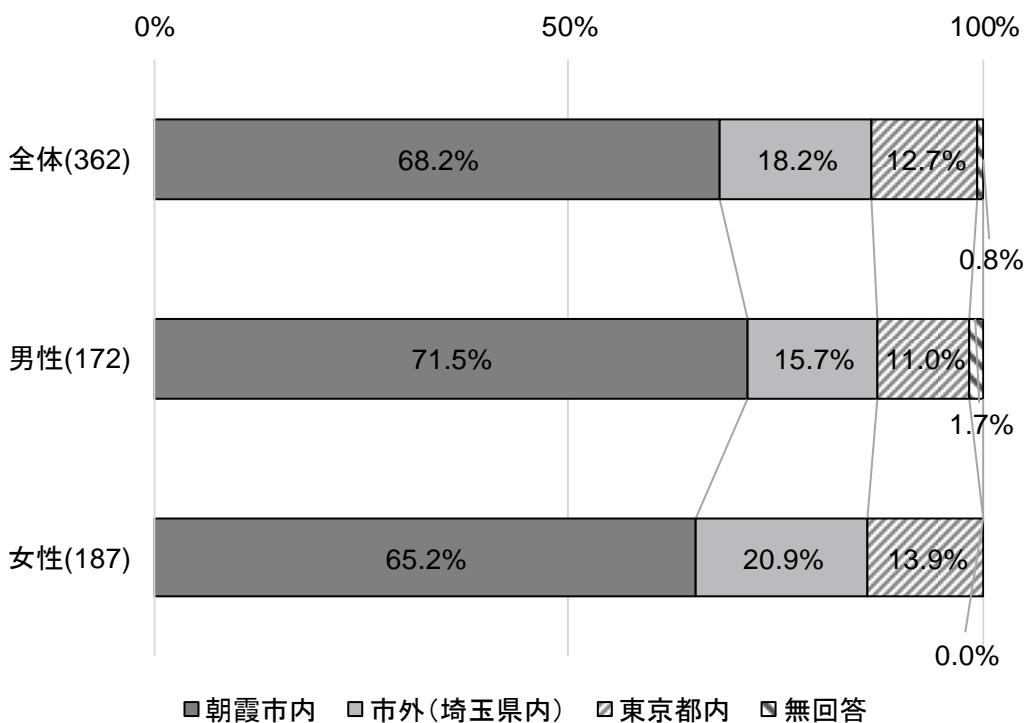
<経年比較>

「東京都内」割合は、増加している。一方、「市外（埼玉県内）」割合は、減少している。



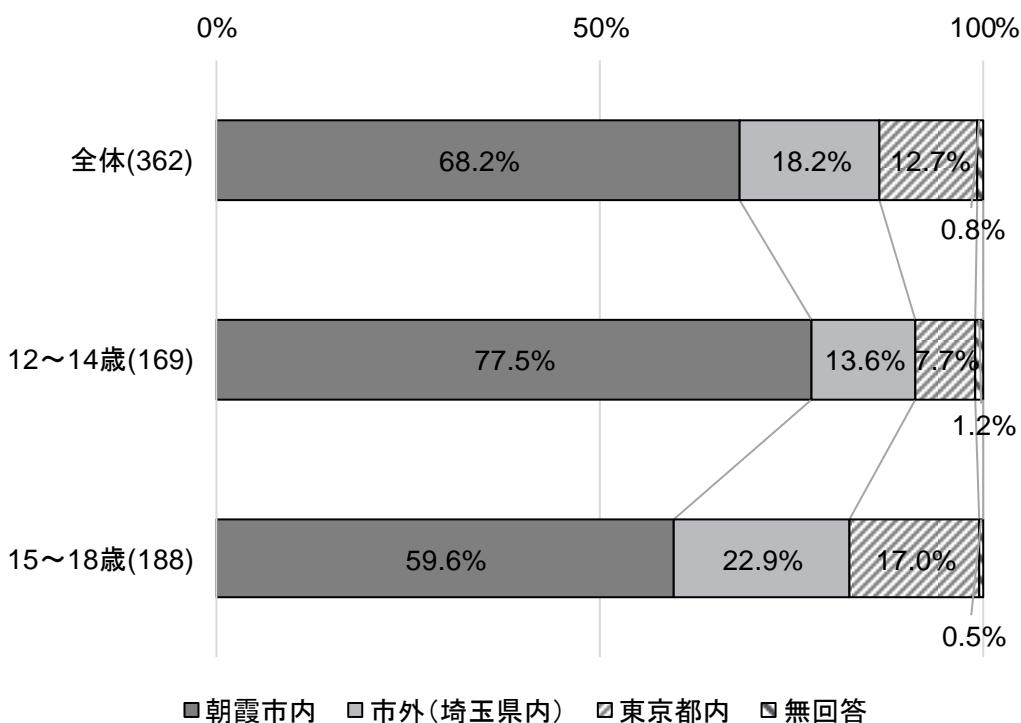
<性別>

“男性”の方が、「朝霞市内」割合が高く、7割を超えており。一方、“女性”の方が、「市外（埼玉県内）」割合が高く、2割を超えている。



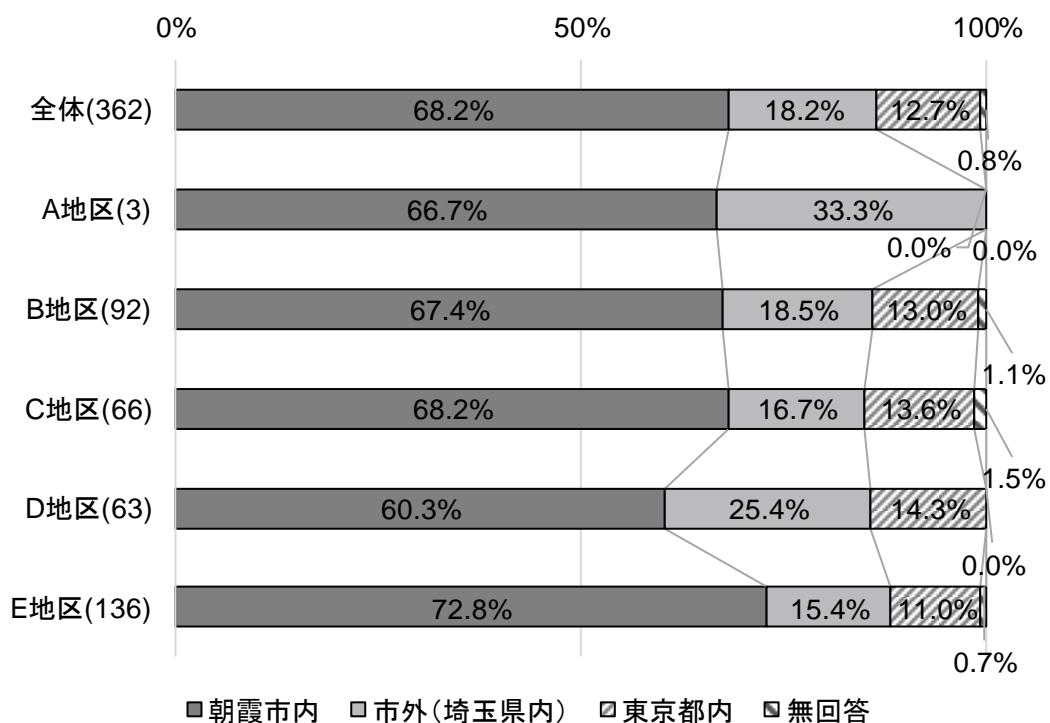
<年代>

“12～14歳”の方が、「朝霞市内」割合が高く、7割を超えており。一方、“15～18歳”の方が、「東京都内」割合が高く、2割近くに上っている。



<居住地区>

“A 地区”、“D 地区” では「市外（埼玉県内）」割合が比較的高く、2割を超えている。



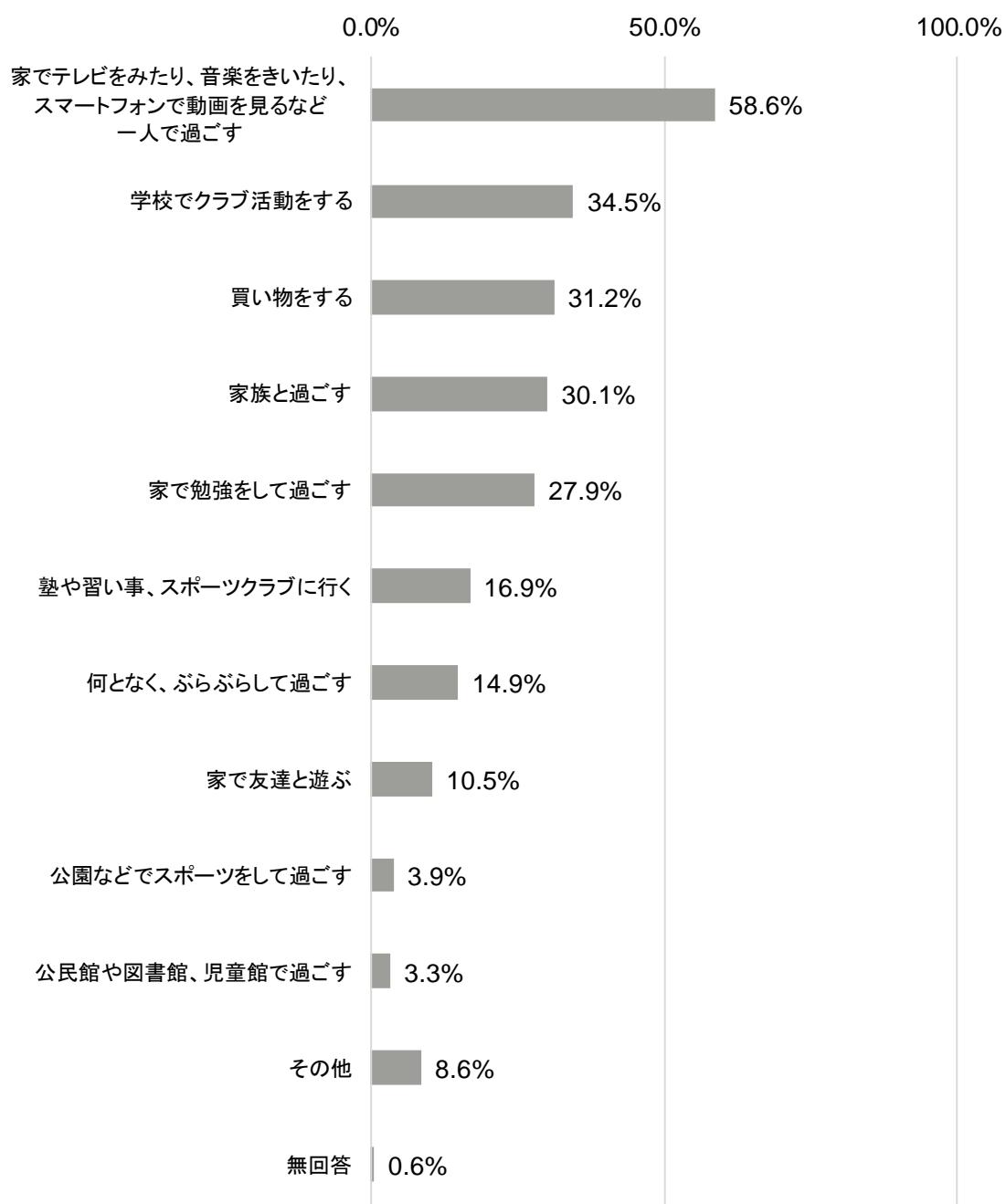
【休日の過ごし方】

<全体>

休日の過ごし方は、「家でテレビをみたり、音楽をきいたり、スマートフォンで動画を見るなど一人で過ごす」の割合が 58.6% で最も高く、続いて「学校でクラブ活動をする」(34.5%)、「買い物をする」(31.2%) となっている。

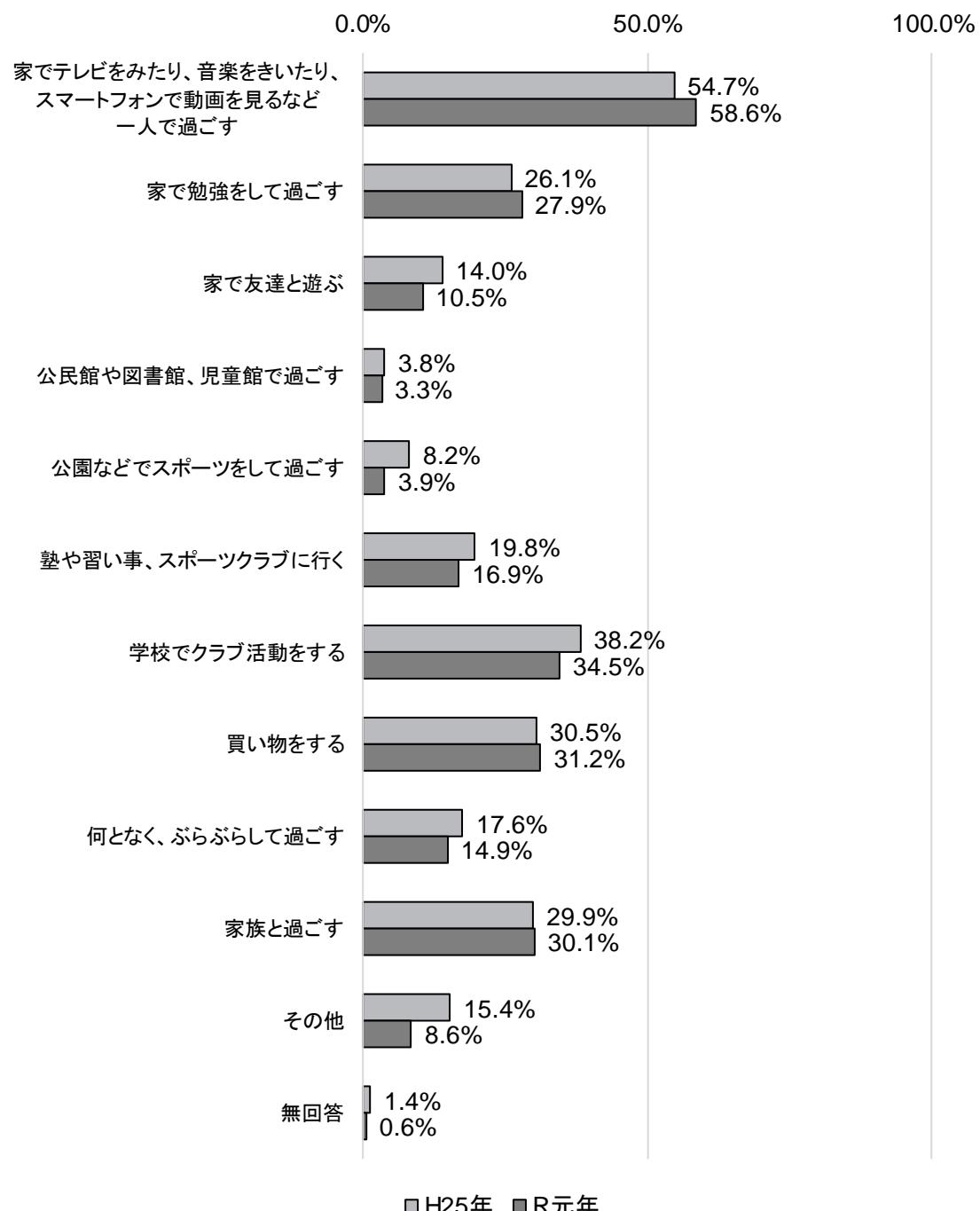
「その他」には、「友達と外で遊ぶ」、「部活動」、「祖父母に会いに行く」などの記述があった。

n=362



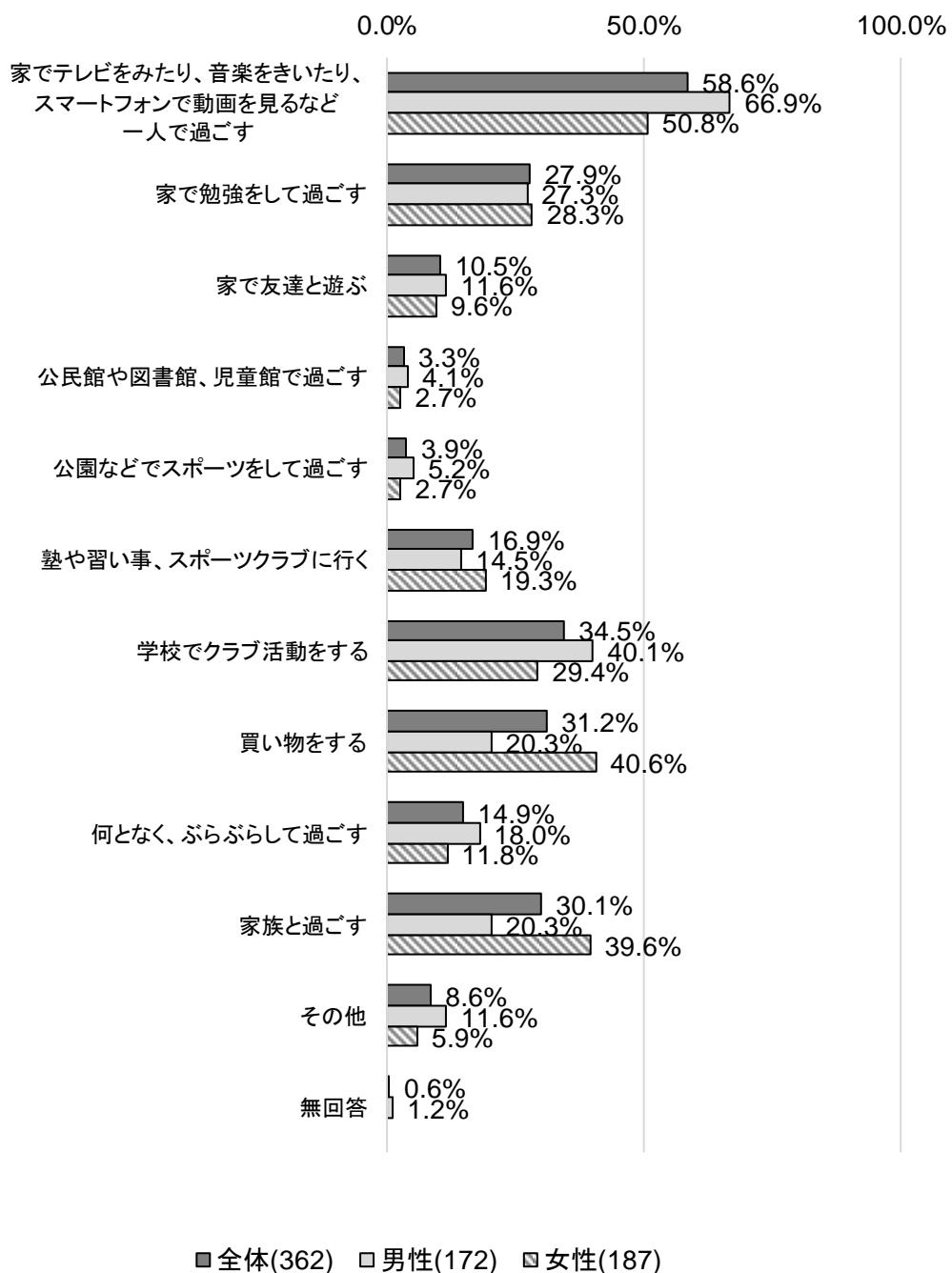
<経年比較>

「家で友達と遊ぶ」、「公民館や図書館、児童館で過ごす」、「塾や習い事、スポーツクラブに行く」、「学校でクラブ活動をする」、「何となく、ぶらぶらして過ごす」割合は、減少している。



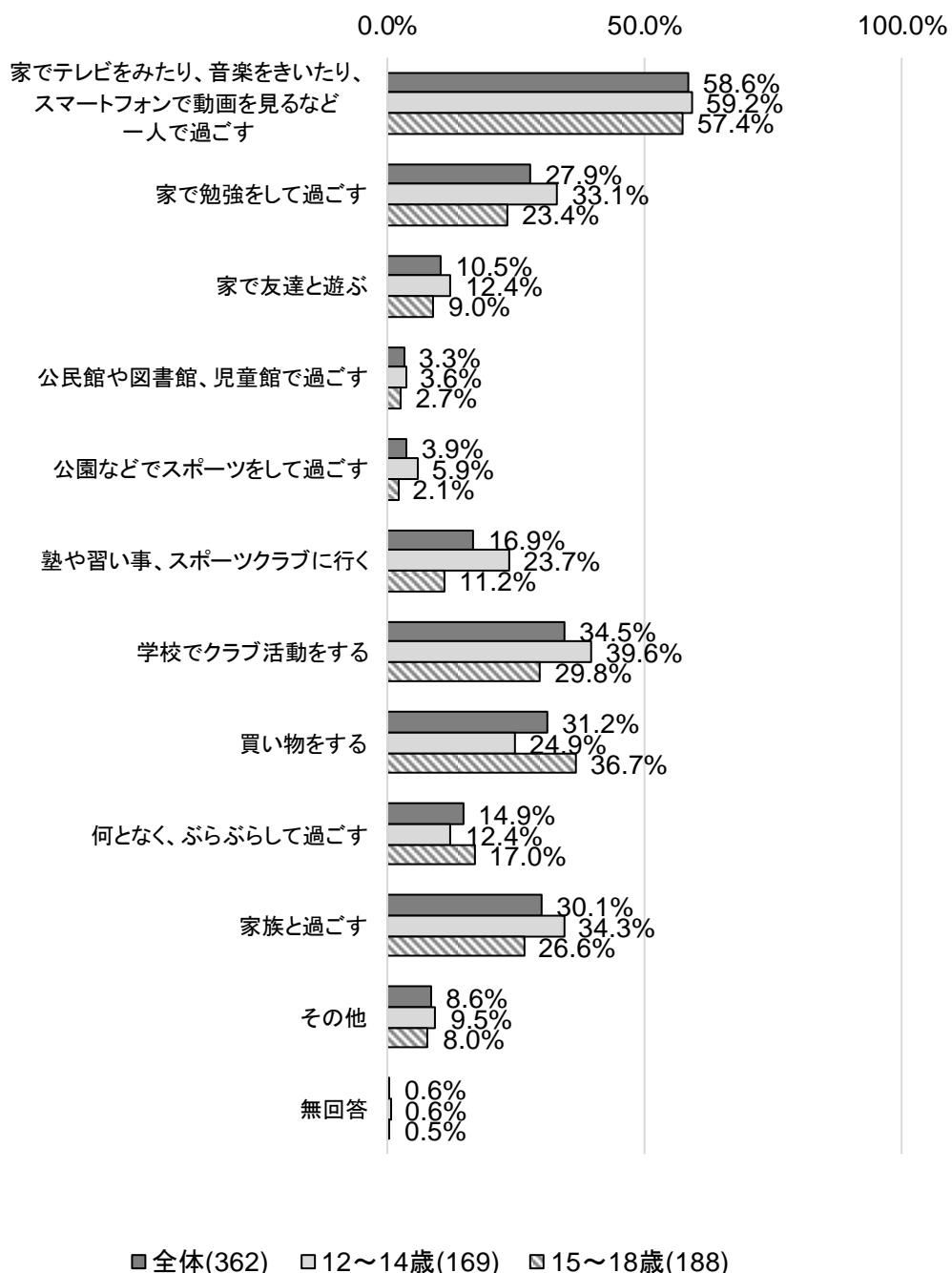
<性別>

“男性”の方が、「学校でクラブ活動をする」割合が高く、4割を超えており、一方、“女性”の方が、「買い物をする」、「家族と過ごす」割合が高い。



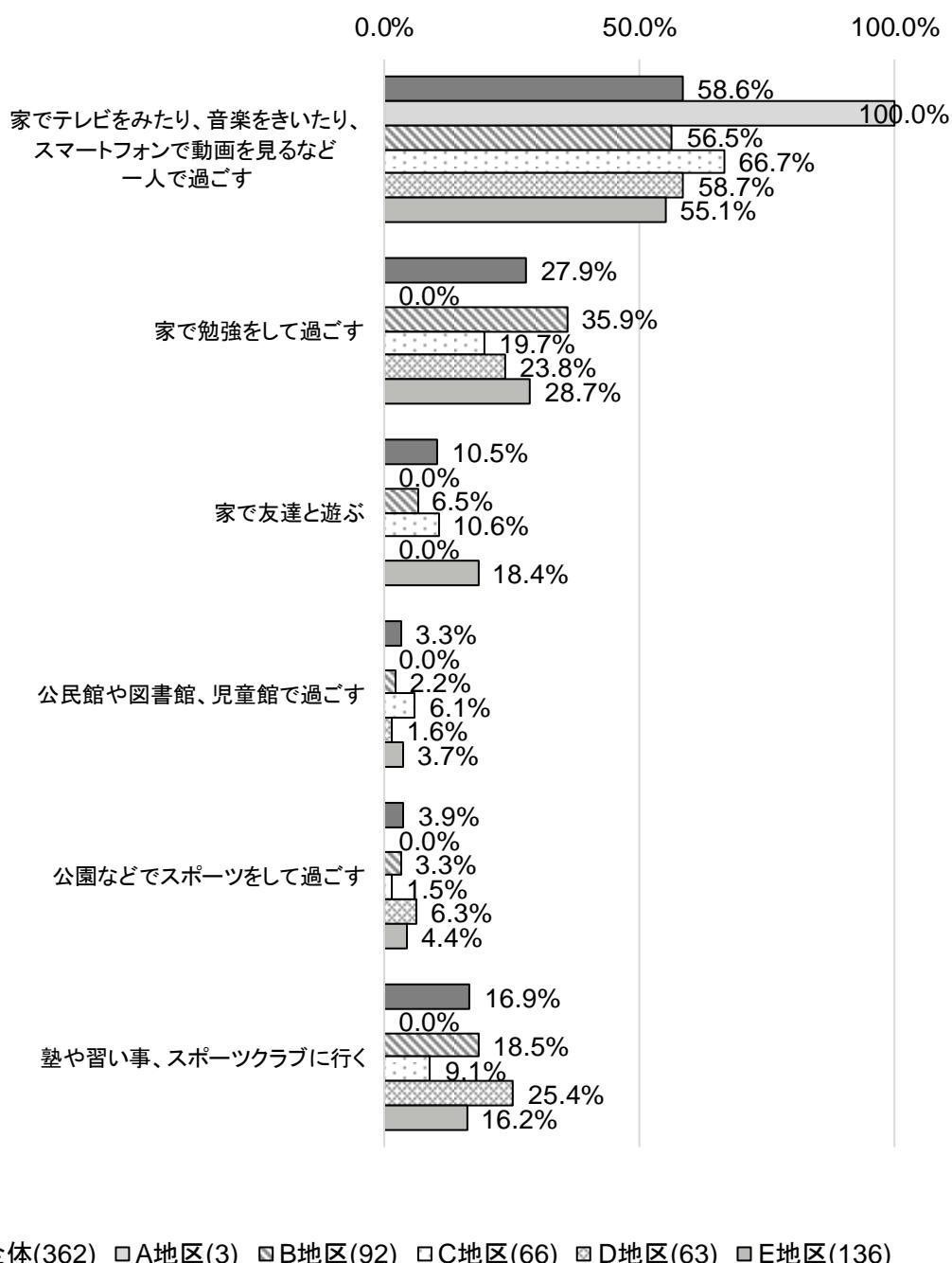
<年代>

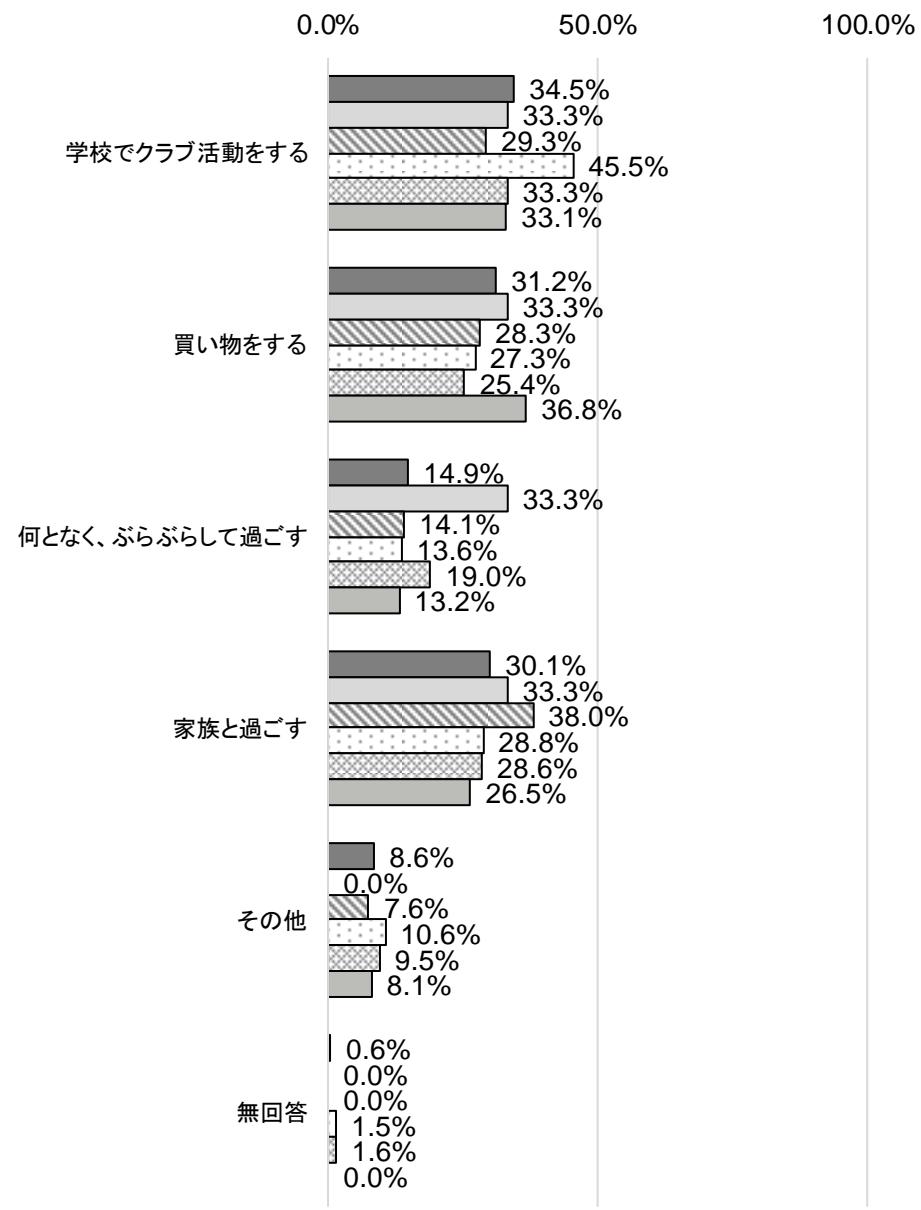
“12～14歳”の方が、「塾や習い事、スポーツクラブに行く」割合が高く、2割を超えている。一方、“15～18歳”の方が、「買い物をする」割合が高く、3割を超えている。



<居住地区>

“B 地区”では「家で勉強をして過ごす」割合が比較的高く、3 割を超えてい る。





■全体(362) □A地区(3) ▨B地区(92) □C地区(66) ▨D地区(63) □E地区(136)

4. 自由記述

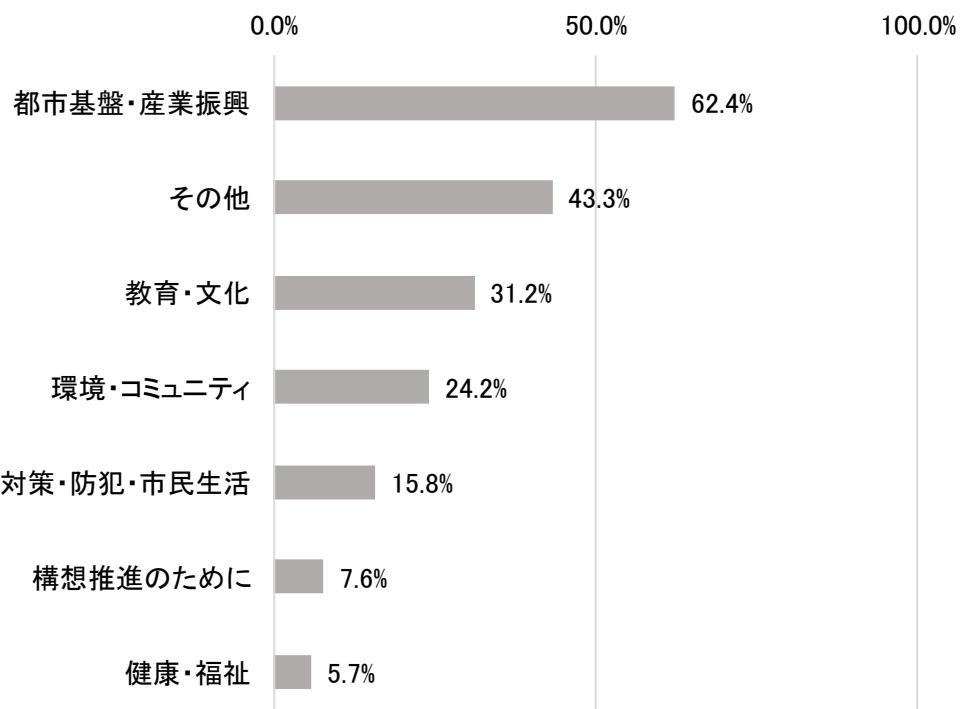
最後に、今後のまちづくりや市政について、ご意見などがありましたらお書きください。

<全体>

自由意見欄に記入があったのは回答者 362 人のうち 157 人（43.4%）である。一人が複数の意見を記入している場合は分割した。このため、意見数は 298 件となった。

政策分野別にみると、「都市基盤・産業振興」の分野が回答者全体の 62.4% と最も多く、続いて、「その他」（43.3%）、「教育・文化」（31.2%）となっている。

n=157



<政策分野>

「災害対策・防犯・市民生活」（24 件）では、「街灯の増設要望」、「パトロール強化への要望」、「安全・安心のまちづくりへの期待」、「不審者対応の改善」に関する意見が多数あった。

「健康・福祉」（9 件）では、「医療費免除の対象年齢引き上げ」に関する意見が多数あった。

「教育・文化」（49 件）では、「学校施設・設備の充実」、「ボール使用可のスペース確保」、「自習スペースの確保・充実」、「彩夏祭への不満・提案」、「東京五輪への期待」に関する意見が多数あった。

「環境・コミュニティ」（38 件）では、「自然環境の保護」、「ポイ捨て対策」、「自然環境の拡充」、「ムクドリ対策強化」、「公園の充実」に関する意見が多数あった。

「都市基盤・産業振興」(98件)では、「道路整備」、「商業施設の充実」、「公共交通（バス）の充実」、「米軍跡地の活用」、「交通の利便性維持」、「信号設置」、「電車の利便性向上」、「駅舎の改修」、「魅力あるまちづくりに向けた施策強化」に関する意見が多数あった。

「構想推進のために」(12件)では、多数にわたる記載はなかった。

「その他」(68件)では、多数にわたる記載はなかった。

資料編：調查票

朝霞の未来のためにあなたの声を聞かせてください！

朝 霞 市 青 少 年 ア ン ケ ー ト

調査へのご協力のお願い

市内に住む青少年のみなさん、こんにちは。

朝霞市では、令和3年度（2021年度）から5年間のまちづくりの指針となる「第5次朝霞市総合計画後期基本計画」をつくるために、朝霞の将来を担う若い世代のみなさんが、日頃どのようにまちを見ているのか、ご意見や考えをお聞きしたいと考えています。

本調査は、市内にお住まいの12歳以上18歳未満の男女1,000人を無作為に選出いたしました。ご回答は全て統計的に処理しますので、回答者が特定されることはございません。

若いみなさんのご意見や考えを計画づくりへと生かしていくため、アンケート調査にご協力を願います。

令和元年（2019年）7月

朝霞市長 富岡 勝則

ご記入に当たってのお願い

- 1 質問への回答は、宛て名にあるご本人がお答えください。
- 2 当てはまる項目に○印を付けてください。当てはまる項目がない場合は、「その他」の番号に○印を付けて、（ ）内に内容をご記入ください。
- 3 ご記入が終わりましたら、同封の返信用封筒にこの調査票を入れ、
令和元年（2019年）8月9日（金）までに、切手をはらずに郵便ポストに投函してください。
- 4 お名前やご住所を書いていただく必要はございません。また、返信の際は、同封の「調査票」以外のものは入れないでください。
- 5 調査結果については、市の広報紙やホームページ等で公表する予定です。

<https://www.city.asaka.lg.jp/soshiki/2/5jisougoukeikaku.html>



朝霞市キャラクター
ぼばたん

問い合わせ先

朝霞市役所 政策企画課 政策企画係
TEL 048-463-3089 (直通)
FAX 048-467-0770



はじめに、あなたご自身のことについてお聞きします

令和元年（2019年）7月1日時点でお答えください

F 1 あなたの性は。

1 男性

2 女性

F 2 あなたの年齢は。

1 12～14歳

2 15～18歳

F 3 あなたのお住まいはどの地区ですか。

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1 青葉台（1丁目） | 2 朝志ヶ丘（1～4丁目） |
| 3 大字上内間木 | 4 大字下内間木 |
| 5 大字台 | 6 大字根岸 |
| 7 岡（1～3丁目、大字含む） | 8 北原（1～2丁目） |
| 9 幸町（1～3丁目） | 10 栄町（1～5丁目） |
| 11 泉水（1～3丁目） | 12 田島（1～2丁目、大字含む） |
| 13 仲町（1～2丁目） | 14 西原（1～2丁目） |
| 15 西弁財（1～2丁目） | 16 根岸台（1～8丁目） |
| 17 浜崎（1～4丁目、大字含む） | 18 東弁財（1～3丁目） |
| 19 膝折町（1～5丁目） | 20 本町（1～3丁目） |
| 21 溝沼（1～7丁目、大字含む） | 22 三原（1～5丁目） |
| 23 宮戸（1～4丁目、大字含む） | 24 陸上自衛隊朝霞駐屯地 |

F 4 あなたは、生まれた時、または幼少の頃から朝霞市にお住まいですか。

1 はい

2 いいえ

F 5 F 4で「2 いいえ」と回答された方におうかがいします。朝霞市に住む以前はどちらにお住まいでしたか。

- | | |
|---------------------|-------------|
| 1 埼玉県内（志木市・和光市・新座市） | 2 埼玉県内（1以外） |
| 3 東京都内 | 4 その他（ ） |

F 6 あなたは、朝霞市にお住まいになってどれくらいになりますか。

1 5年未満

2 5～9年

3 10年以上

朝霞市について日頃感じていることをお聞きします

問1

あなたは「朝霞市のまちづくり」に興味や関心がありますか。次の中から1つ選んでください。

- | | |
|---------|----------|
| 1 とてもある | 2 少しある |
| 3 あまりない | 4 まったくない |

問2

あなたは「朝霞市」が好きですか。次の中から1つ選んでください。

- | | |
|--------------|------------------------------------------------------------|
| 1 好き | } 1または2を選んだ方は、
問3にお進みください
3または4を選んだ方は、
問4にお進みください |
| 2 どちらかといえば好き | |
| 3 あまり好きではない | |
| 4 好きではない | |

問3

問2で「1 好き」「2 どちらかといえば好き」と答えた方にお聞きします。その理由は何ですか。次の中から3つまで選んでください。

- | | |
|----------------------------|--------------------|
| 1 住んでいる環境やまちなみがよい | 2 緑などの自然が豊かである |
| 3 交通の便がよい | 4 まちが安全・安心である |
| 5 友だちや近所の人が親切である | 6 公園やスポーツ施設が充実している |
| 7 買い物が便利である | 8 イベントやお祭りが多い |
| 9 図書館、博物館、児童館、公民館などが充実している | |
| 10 その他 () | |

問4

問2で「3 あまり好きではない」「4 好きではない」と答えた方にお聞きします。その理由は何ですか。次の中から3つまで選んでください。

- | | |
|-----------------------------|---------------------|
| 1 住んでいる環境やまちなみがよくない | 2 緑などの自然が少ない |
| 3 交通の便が悪い | 4 まちが安全・安心ではない |
| 5 親しい友人や近所付き合いがない | 6 公園やスポーツ施設が充実していない |
| 7 買い物が不便である | 8 イベントやお祭りが少ない |
| 9 図書館、博物館、児童館、公民館などが充実していない | |
| 10 その他 () | |

問5

大人になっても、朝霞市に住みつづけたいですか。次の中から1つ選んでください。

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1 住みつづけたい | 2 どちらかといえば住みつづけたい |
| 3 住みつづけたいとはあまり思わない | 4 住みつづけたくない |
| 5 わからない | |

これからのまちづくりについての考え方をお聞きします

問6

あなたは、将来の朝霞市をどのようなまちにしていきたいと思いますか。あなたのイメージに近いものを、次の中から3つまで選んでください。

- | | |
|------------------------------------|--|
| 1 子育てしやすく、学校などの教育環境が整って充実しているまち | |
| 2 高齢者や障害者などを大切にする福祉の充実したまち | |
| 3 医療や健康に暮らすための取組が充実しているまち | |
| 4 だれもが安全に暮らせるまち | |
| 5 快適なまちなみや美しい都市景観に満ちたまち | |
| 6 鉄道・道路などの整備がさらに進んで、交通の便利なまち | |
| 7 水辺や緑など自然環境のよいまち | |
| 8 文化・芸術・スポーツに力を入れるまち | |
| 9 歴史や伝統を大切にするまち | |
| 10 産業が盛んで働く場所が多いまち | |
| 11 おしゃれなまちなみやお店があって、買い物やグルメが楽しめるまち | |
| 12 その他 () | |

問7

あなたは、朝霞市のまちづくりに、どのように役立てると思いますか。あなたが現在または将来できると思う活動を、次の中からすべて選んでください。

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1 まちの美化・緑化活動 | 2 自然や環境を守る活動 |
| 3 家庭ごみの減量・リサイクル活動 | 4 防犯・防災活動 |
| 5 スポーツや健康づくり活動 | 6 お祭りなどのレクリエーション活動 |
| 7 文化・芸術活動 | 8 子育て支援の活動 |
| 9 高齢者・障害者への支援活動 | 10 人権を守る活動 |
| 11 その他 () | |

地域との関わりについてお聞きします

問8

あなたは、日頃、地域とどのような関わりをもっていますか。次の中からあなたに当てはまるものをすべて選んでください。

- 1 近所の人と顔見知りである
- 2 近所の人とあいさつをしている
- 3 近所の子どもの世話やお年寄りの手助けをしている
- 4 祭りやもちつき大会、運動会など、自治会や町内会の行事に参加している
- 5 清掃活動や防犯パトロールなどの地域活動に地域の人と一緒に参加している
- 6 スポーツ団体、ボランティア団体、趣味の団体など地域の団体に加入している
- 7 その他（ ）

問9

あなたは、困ったときや悩んだときに誰に相談することが多いですか。次の中から最も相談することが多い人の番号を1つ選んでください。

- | | | |
|-----------------------------------|----------|--------|
| 1 親 | 2 祖父母 | 3 兄弟姉妹 |
| 4 学校の先生 | 5 友人 | 6 近所の人 |
| 7 加入している地域団体（スポーツ団体、ボランティア団体等）の大人 | | |
| 8 相談する人がいない | 9 その他（ ） | |

問10

あなたは、平日の放課後（働いている方は仕事が終わった後）や休日は、どこで何をして過ごしますか。次の中から、よく過ごす場所（1つ）と、よくしていること（3つまで）を選んでください。

<10-1 平日の放課後の過ごし方>

よく過ごす場所（1つ）

- 1 朝霞市内
- 2 市外（埼玉県内）
- 3 東京都内

よくしていること（3つまで）

- 1 家でテレビをみたり、音楽をきいたり、スマートフォンで動画を見るなど一人で過ごす
- 2 家で勉強をして過ごす
- 3 家で友達と遊ぶ
- 4 公民館や図書館、児童館で過ごす
- 5 公園などでスポーツをして過ごす
- 6 塾や習い事、スポーツクラブに行く
- 7 学校でクラブ活動をする
- 8 買い物をする
- 9 何となく、ぶらぶらして過ごす
- 10 家族と過ごす
- 11 その他（ ）

<10-2 休日の過ごし方>

よく過ごす場所（1つ）

- 1 朝霞市内
- 2 市外（埼玉県内）
- 3 東京都内

よくしていること（3つまで）

- 1 家でテレビをみたり、音楽をきいたり、スマートフォンで動画を見るなど一人で過ごす
- 2 家で勉強をして過ごす
- 3 家で友達と遊ぶ
- 4 公民館や図書館、児童館で過ごす
- 5 公園などでスポーツをして過ごす
- 6 塾や習い事、スポーツクラブに行く
- 7 学校でクラブ活動をする
- 8 買い物をする
- 9 何となく、ぶらぶらして過ごす
- 10 家族と過ごす
- 11 その他（ ）

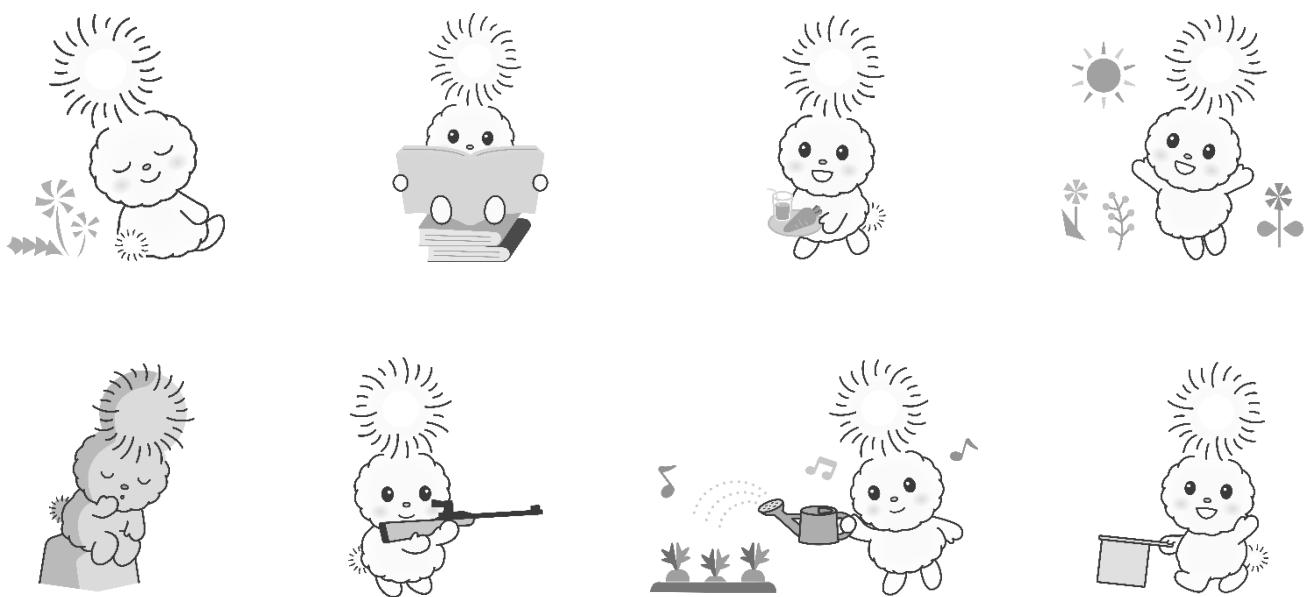
自由意見欄

最後に、これからまちづくりについてご意見などがありましたらお書きください。

調査はこれで終わりです。ご協力ありがとうございました。



朝霞市キャラクター ぽぽたん



むさし・フロント むさか